

ケニア共和国

ケニア国
非行少年・少女の保護・更生に関する
情報収集・確認調査

調査報告書

2021年9月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

ガ平
JR
21-024

ケニア共和国

ケニア国
非行少年・少女の保護・更生に関する
情報収集・確認調査

調査報告書

2021年9月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

為替レート

1 米ドル=109.6820000 円

1 ケニアシリング=1.0190800 円

(2021 年 8 月 JICA レート)



調査対象国地図

★：調査対象地域

出所：United Nations Map No. 4187 Rev. 3 をもとに調査団が作成

略語／用語表

略語	英語	日本語
AAC	Area Advisory Council	地域諮問委員会
ACRWC	African Charter on the Rights and Welfare of the Child	子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章
ACERWC	African Committee of Experts on the Rights and Welfare of the Child	児童の権利・福祉専門家委員会
ACPF	African Child Policy Forum	ACPF (エチオピアに本部のある汎アフリカ機関の名称)
ADR	Alternative Dispute Solution	裁判外紛争解決
AU	African Union	アフリカ連合
BI	Borstal institution	少年院
CARE Model	Coordination, Assessment, Reporting, Evaluation Model	CARE モデル
CCA	Collective Community Action	CCA (ケニアの非政府系団体 (トラスト))
CCPOs	Child Care and Protection Officers	少年保護関連職員
CCUC	Child Court Users' Committee	児童裁判所利用者委員会
CEC	County Executive Committee	カウンティ政府執行委員会
CEFA	European Committee for Training and Agriculture/ Comitato Europeo per la Formazione e l' Agricoltura	CEFA (イタリア系の NGO 名称)
CJF	Child Justice Forum	子どもの司法フォーラム
CLR	Child Law Resource	CLR (ACPF 運営データベースサイトの名称)
C/P	Counterpart	カウンターパート
COVID-19	Coronavirus disease of 2019	新型コロナウイルス
CPU	Child Protection Unit	児童保護ユニット (警察)
-	Children Officer	児童専門官
-	Children remand home	児童拘置所
CPIMS	Child Protection Information Management System	児童保護情報マネジメントシステム
CPV	Child Protection Volunteers	児童保護司
CRC	Convention on the Rights of the Child	子どもの権利条約
CSO	Civil Society Organization	市民社会団体
CUC	Court Users' Committees	裁判所利用者委員会
DAC	Day of African Child	アフリカ子どもの日
DCS	Department of Children Services	児童局
EAC	East African Community	東アフリカ共同体
EU	European Union	欧州連合
FBO	Faith Based Organization	宗教に基づく組織
FGDM	Family Group Decision Making	家族会議
FGM	Female Genital Mutilation	女性性器切除
GRC	Gitagata Rehabilitation Centre	Gitagata 更生センター
IAWG	Inter-Agency Working Group on Children	機関間子どもの作業部会

略語	英語	日本語
ITP	Individual Treatment Plan	個別処遇計画
JCP	Justice for Children Policy	子どもの司法政策
J4C	Justice for Children	子どもの司法
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
JJAs	Juvenile Justice Agencies	少年司法関連機関
JJIMS	Juvenile Justice Information Management System	少年司法情報マネジメントシステム
JLOS	Justice Law and Order Sector	司法・秩序セクター
JSDS	Judicial Statistics Dashboard System	司法統計ダッシュボードシステム
JTI	Judiciary Training Institute	裁判所研究所
KCCA	Kampala Capital City Authority	カンパラ首都長
KCPE	Kenya Certificate of Primary Education	ケニア初等教育修了試験
KCSE	Kenya Certificate of Secondary Education	ケニア中等教育修了試験
KPS	Kenya Prisons Services	矯正局
Ksh	Kenyan Shilling	ケニアシリング
MIGEPROF	Ministry of Gender and Family Promotion	ジェンダー・家族推進省
MINALOC	Ministry of Local Government	地方政府省
MINJUST	Ministry of Justice	司法省
MoCLA	Ministry of Constitutional and Legal Affairs	憲法・法務省
MoEST	Ministry of Education, Science and Technology	教育・科学技術省
MoHCDGEC	Ministry of Health, Community Development, Gender, Elderly and Children	保健・地域開発・ジェンダー・高齢者・児童省
MoHRSAG	Ministry of Human Rights, Social Affairs and Gender	人権・社会問題・ジェンダー省
MoGLSD	Ministry of Gender, Labour and Social Development	ジェンダー・労働・社会開発省
MoJCA	Ministry of Justice and Constitutional Affairs	司法・立憲省
MGCSW	Ministry of Gender, Child and Social Welfare	ジェンダー・子ども・社会福祉省
MoLSP	Ministry of Labour and Social Protection	労働社会保障省
NCAJ	National Council for Administration of Justice	国家司法行政諮問委員会（評議会）
NCCS	National Council for Children Services	国家児童サービス諮問委員会（評議会）
NCP	National Children Policy	国家児童政策
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
NHIF	National Hospital Insurance Fund	健康保険
NIT	National Implementation Team	全国実施チーム
NITA	National Industrial Training Authority	国立産業訓練機構
NCTC	National Counter Terrorism Center	国家テロ対策センター
NPA	National Plan of Action	国家行動計画
NPAD	National Policy Against Delinquency	国家非行対策政策
NPS	National Police Service	警察
NRS	National Rehabilitation Service	国家更生局

略語	英語	日本語
OAU	Organization of African Unity	アフリカ統一機構
ODPP	The Office of the Director of Public Prosecution	検察局
OHCHR	Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights	国連人権高等弁務官事務所
OJT	On the Job Training	実地研修・OJT
OVC	Orphans and Vulnerable Children	孤児
PACS	Probation and Aftercare Services	保護局
-	Probation hostel	保護観察宿舎
-	Probation Officer	保護観察官
P/CVE	Prevention and countering of violent extremism (P/CVE)	暴力的過激主義の予防・対策
PLEAD	Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya	ケニアにおける法的エンパワメントと援助提供のためのプログラム
PMO	Prime Minister's Office	大統領府
PMO-LYED	Prime Minister's Office – Labour, Youth, Employment and Disability	大統領府・労働・青年・雇用・障害
PNI	Programme Network Institute	プログラム・ネットワーク機関
PO-RALG	President's Officer - Regional Administration and Local Governments	大統領府・地方行政自治
PWDS	Persons with Disabilities	障がい者
-	Reception Centre	受理分類センター
-	Rehabilitation school	更生学校
-	Rescue Centre	児童救護所
RHMIS	Remand Homes Management Information System	拘置所マネジメント情報システム
SDGs	Sustainable Development Goals	持続可能な開発目標
SDP	Strategic Development Plan	戦略開発計画
SIP	Strategic Investment Plan	戦略投資計画
SGBV	Sexual and Gender-Based Violence: SGBV	ジェンダーに基づく暴力
SNS	Social Networking Service	ソーシャルネットワーキングサービス
TOR	Terms of Reference	委託条件・TOR
TOT	Training of Trainers	トレーナー研修
TSC	Teachers Service Commission	ケニア教員サービス委員会
UNAFEI	The United Nations Asia and Far East Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders	国連アジア極東犯罪防止研修所
UNAFRI	The United Nations African Institute for the Prevention of Crime and Treatment of Offenders	国連アフリカ犯罪防止研修所
UNCRC	United Nations Convention on the Rights of the Child	国連児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
UNHCR	The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所

略語	英語	日本語
UNICEF	The United Nations Children's Fund	国連児童基金
UNODC	United Nations Office on Drugs and Crime	国連薬物犯罪事務所
VAWC	Violence Against Women and Children	女性・子どもに対する暴力
VPO	Volunteer Probation Officer	保護司（保護局の保護司）
VTC	Vocational Training Centre	職業訓練センター
YCTC	Youth Corrective Training Centre	少年刑務所

主要なアクター解説

アクター	解説
非行少年・少女	children in conflict with the law は、犯罪行為の被疑者、被告人または有罪あるいは法律を違反した児童（18歳未満）と定義され、本報告書では非行少年・少女とする。
要保護児童	children in need of care and protection は、虐待、ネグレクト、残虐な行為、暴力、憲法違反や人権侵害に対して脆弱な児童（18歳未満）と定義され、本報告書では要保護児童とする。
警察	子どもの犯罪・虐待の予防と捜査、容疑者逮捕や児童保護ユニットの運営等を行う。
児童局	ケース発生時や法廷での子どもの安全・保護の保障、非行少年・少女ケースの保護局、矯正局との協働、適切な更生と再統合を行う。
検察局	全ての犯罪の起訴、訴訟、判決前の事案終結などを行う。
裁判所	子どもにやさしい根拠にもとづく判決、子どもの司法促進と子どもの福祉の保障や裁判外紛争解決を含む憲法の理念に基づく迅速な司法手続きを行う。
矯正局	少年刑務所、少年院を所管し、施設内処遇者のコミュニティ再統合に向けた更生を行う。
保護局	保護観察命令に即した非行少年・少女の監督、裁判中の安全とケアの確保、コミュニティレベルの調停促進と長期的な再統合、アフターケア促進のための家庭・コミュニティ環境の調整等を行う。
NCAJ	司法行政及び司法システム改革を行うハイレベルの政策策定、実施、監督調整機関で、子どものタスクフォース（Special Task Force on Children Matters）が設置されている。
NCCS	子どもの権利と福祉に関する全ての側面について、政府に助言する機関で政策文書の策定も行う。
児童保護司	子どもの最善の利益と権利擁護の実現に向けて児童専門官を補完して働くボランティアである。
保護司（保護局の保護司）	コミュニティにおける更生において保護観察官の業務を補佐して働くボランティアである。

出所： [1]、 [2]に基づき調査団作成

ケニア国非行少年・少女の保護・更生に関する情報収集・確認調査 調査報告書

調査対象国地図

略語／用語表

主要なアクター解説

目次

第 1 章	調査概要.....	1-1
1.1	調査の背景・経緯・目的	1-1
1.1.1	調査の背景・経緯	1-1
1.1.2	調査の目的	1-1
1.2	調査デザイン	1-2
1.2.1	調査対象機関・対象者	1-2
1.2.2	調査実施期間	1-2
1.2.3	調査対象サイト	1-2
1.2.4	調査工程	1-2
1.2.5	調査手法と内容	1-4
1.2.6	実施体制	1-4
1.3	データ収集ツール	1-5
1.4	過去の協力概要	1-5
1.4.1	過去の JICA による協力の概要	1-5
1.4.2	前プロジェクトにて作成し、フォローアップ協力にて改訂をしたモジュール の利用状況、研修実施状況.....	1-10
第 2 章	ケニアにおける少年・少女の非行・犯罪の概要及び過激化の現 状.....	2-1
2.1	非行少年・少女の統計情報	2-1
2.2	ケニアにおける少年・少女の非行・犯罪の概要.....	2-2
2.2.1	非行少年・少女の定義	2-2
2.2.2	少年司法手続きを受ける少年・少女の数.....	2-2
2.2.3	罪状	2-4
2.2.4	年齢	2-5
2.2.5	地域	2-5
2.2.6	再犯	2-6
2.3	非行少年・少女の背景	2-6
2.4	非行少年・少女の過激化にかかる現状やリスク、課題.....	2-7
2.4.1	ケニアにおける暴力的過激主義の現状.....	2-7

2.4.2	非行少年・少女の過激化に関するデータについて.....	2-8
2.4.3	非行少年・少女の過激化の現状、背景.....	2-8
2.4.4	過激化のリスクファクターおよびプロテクトティブファクター.....	2-11
2.4.5	非行少年・少女の過激化防止に係る課題.....	2-14
第 3 章	ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生にかかる現状.3-1	
3.1	非行少年・少女の保護・更生に関する施策（処遇）、体制、関連組織等.....	3-1
3.1.1	法制度.....	3-1
3.1.2	政策・施策.....	3-3
3.1.3	体制・関連機関.....	3-7
3.1.4	中央政府における連携と中央と地方との連携の体制等.....	3-17
3.1.5	少年司法の情報データ管理状況.....	3-22
3.2	非行少年・少女の保護・更生に関する地方・コミュニティにおける関連機関、及びその連携の実態.....	3-23
3.2.1	地方の少年司法関連機関による非行少年の更生にかかるサービスの実態.....	3-23
3.2.2	地方レベルでの非行少年・少女の更生にかかる連携・フォーラムの現状.....	3-32
3.2.3	地方の少年司法関連機関とコミュニティの連携の実態.....	3-34
3.2.4	非行少年・少女にかかるコミュニティの認識、コミュニティレベルでの少年司法関連機関による業務実施体制、具体的な取り組みと活用可能な仕組み.....	3-34
3.3	現在の施策、体制、関連組織における課題.....	3-38
3.3.1	Children Act 2001 の改正（Children Bill の承認）の遅延.....	3-38
3.3.2	非行少年・少女にかかる児童専門官、保護観察官の役割分担が不明確.....	3-38
3.3.3	児童局管轄の法定施設と児童専門官事務所間での連携の欠如.....	3-39
3.3.4	脱施設化の流れの中でのコミュニティ内の過激化問題.....	3-40
3.3.5	コミュニティでの連携フォーラム及び少年司法関連機関とコミュニティとの連携の不足.....	3-41
3.3.6	施設に収容された非行少年・少女の教育権の保障.....	3-42
3.3.7	統合されたデータ管理システムの構築.....	3-43
3.4	非行少年・少女の保護・更生にかかるドナー等の動向.....	3-44
3.4.1	UNODC.....	3-44
3.4.2	UNICEF.....	3-47
3.4.3	CCA（Collective Community Action）.....	3-48
3.4.4	CEFA（European Committee for Training and Agriculture／Comitato Europeo per la Formazione e l’Agricoltura）.....	3-50
3.4.5	アクセプト・インターナショナル.....	3-51
第 4 章	ケニアにおける非行少年・少女の保護・更生への COVID-19 の影響.....	4-1

4.1	少年・少女の非行・犯罪の要因における COVID-19 の影響.....	4-1
4.2	COVID-19 による非行少年・少女の保護・更生にかかる施策（処遇）、体制、運用等への影響.....	4-3
第 5 章	アフリカ諸国における非行少年・少女の保護と更生にかかる現状等の確認・分析（文献調査）.....	5-1
5.1	アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生に関する施策（処遇）、体制、関連組織.....	5-1
5.1.1	ブルンジ.....	5-1
5.1.2	ルワンダ.....	5-3
5.1.3	南スーダン.....	5-7
5.1.4	タンザニア.....	5-9
5.1.5	ウガンダ.....	5-13
5.2	アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生にかかるドナー等の動向.....	5-17
5.2.1	UNICEF.....	5-17
5.2.2	UNODC.....	5-21
5.2.3	The African Child Policy Forum (ACPF).....	5-22
5.2.4	Terre des Hommes.....	5-23
5.3	アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生にかかる地域内連携の動向.....	5-23
5.3.1	アフリカ連合（AU）.....	5-23
5.3.2	東アフリカ共同体（EAC）.....	5-24
5.3.3	国連アフリカ犯罪防止研修所（UNAFRI）.....	5-26
5.4	第 5 章のまとめ.....	5-27
第 6 章	ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生にかかる協力方針の検討.....	6-1
6.1	ケニアにおける非行少年・少女の保護・更生にかかる支援ニーズ.....	6-1
6.1.1	支援ニーズの概要.....	6-1
6.1.2	各ニーズの詳細.....	6-2
6.2	コミュニティ内における非行少年・少女の保護と更生にかかるプラットフォームの検討.....	6-6
6.3	今後の協力へ向けた提案.....	6-9
第 7 章	参照文献.....	7-1

添付資料

- 添付資料 1：現地調査日程表
- 添付資料 2：写真
- 添付資料 3：収集資料リスト
- 添付資料 4：面談者リスト
- 添付資料 5：質問票
- 添付資料 6：ワークショップ参加者リスト

図目次

図 1-1	調査工程	1-3
図 2-1	少年司法関連ケース発生時の流れとダイバージョン	2-1
図 2-2	有罪判決を受けて矯正局の施設に収容された少年・少女の数	2-3
図 2-3	非行少年・少女の種別内訳及びケース数	2-3
図 3-1	非行少年・少女のケースの流れ	3-8
図 3-2	AACs の設置・報告体系	3-20
図 4-1	ケニアの 1 日あたりの新規感染者数と政府による対策（2021 年 8 月 23 日 現在）	4-1
図 6-1	コミュニティでの保護と更生にかかる体制（プラットフォーム）案	6-7

表目次

表 1-1	調査チーム構成員と担当分野.....	1-4
表 1-2	本邦研修・短期専門家派遣.....	1-6
表 1-3	協力内容の概要	1-7
表 1-4	協力内容の概要	1-8
表 1-5	協力内容の概要、および目標・成果の達成状況.....	1-9
表 2-1	非行少年・少女の種別.....	2-2
表 2-2	法定施設への収容者数.....	2-4
表 2-3	児童局の法定施設収容者収容理由（非行少年・少女のみ）	2-5
表 2-4	非行少年・少女の背景.....	2-6
表 2-5	非行少年・少女の過激化事例.....	2-10
表 3-1	非行少年・少女の保護と更生に関連する主な法制度.....	3-1
表 3-2	非行少年・少女の保護と更生に関連する主な政策・施策.....	3-3
表 3-3	NPA for Children 2015-2022 非行少年・少女の権利保障のアクション	3-4
表 3-4	Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya の概要.....	3-5
表 3-5	少年司法関連 6 機関の概要.....	3-9
表 3-6	児童保護司制度の概要.....	3-10
表 3-7	保護司（保護局の保護司）制度の概要.....	3-11
表 3-8	少年司法関連施設	3-11
表 3-9	児童救護所	3-12
表 3-10	児童拘置所	3-13
表 3-11	受理分類センター	3-13
表 3-12	更生学校	3-14
表 3-13	更生学校で提供されている資格コース.....	3-14
表 3-14	保護観察宿舎	3-15
表 3-15	少年院	3-15
表 3-16	中央政府-行政官のラインにおける行政単位	3-17
表 3-17	Area Advisory Councils の概要.....	3-19
表 3-18	裁判所利用者委員会（CUC）の概要	3-21
表 3-19	施設における公教育提供状況.....	3-42
表 3-20	PLEAD の概要.....	3-44
表 3-21	PLEAD：UNODC による機関別支援概要.....	3-45
表 3-22	CCA による非行少年・少女の更生支援	3-49
表 3-23	CEFA による非行少年・少女の更生支援	3-50
表 3-24	アクセプト・インターナショナルのケニア事業概要.....	3-52

表 4-1	ケニア政府による主な COVID-19 対策措置.....	4-1
表 4-2	COVID-19 と少年・少女への影響、非行・犯罪及び被害との関連概要.....	4-2
表 4-3	COVID-19 による施策（処遇）、運用への影響.....	4-3
表 5-1	ブルンジ：子どもに関する法制度.....	5-1
表 5-2	ルワンダ：子どもに関する法制度.....	5-3
表 5-3	ルワンダ：National Policy Against Delinquency（NPAD）の概要.....	5-6
表 5-4	ルワンダ：National Rehabilitation Service（NRS）の具体的ミッション.....	5-7
表 5-5	南スーダン：子どもに関する法制度.....	5-7
表 5-6	タンザニア：子どもに関する法制度.....	5-10
表 5-7	タンザニア：A Five Year Strategy for Progressive Reform 2013-2017（第1次 戦略）の成果と課題.....	5-10
表 5-8	Child Justice: The Second Five-Year Strategy for Progressive Reform 2020/21- 2024/25（第2次戦略）の概略.....	5-12
表 5-9	子どもに関する法制度（ウガンダ）.....	5-13
表 5-10	The Fourth Strategic Development Plan IV（SDP IV）FY2017/18-2020/21 の 概要.....	5-15
表 5-11	UNICEF Brundi Country Programme 2019-2023：子どもの保護分野の支援 計画.....	5-19
表 5-12	2020年「アフリカ子どもの日」ACERWC 開催ウェビナー.....	5-24
表 5-13	EAC Child Policy の概要.....	5-25
表 5-14	Framework for Strengthening Child Protection Systems in the EAC の概要	5-26
表 5-15	5か国の子どもに関する法制度整備の状況.....	5-27
表 5-16	5か国の課題、政策・施策、体制・関連組織の状況.....	5-27
表 6-1	主な支援ニーズ.....	6-1
表 6-2	主な法定施設での教育及び技能訓練提供状況.....	6-3
表 6-3	ロケーションレベルプラットフォーム案.....	6-8
表 6-4	サブカウンティレベルプラットフォーム案.....	6-8
表 6-5	元非行少年・少女の保護・更生にかかる包括的アフターケアプロジェクト	6-9

Box 目次

Box 2-1	保護観察官からの過激化に関する聞き取り事例	2-8
Box 3-1	児童保護司の活動事例	3-25
Box 3-2	モンバサにおける CARE MODEL	3-27
Box 3-3	児童専門官事務所による取組の好事例	3-39

第 1 章 調査概要

1.1 調査の背景・経緯・目的

1.1.1 調査の背景・経緯

テロの脅威が拡大しているケニアでは、若者の過激化が課題となっているが、なかでも、劣悪な環境に置かれ、社会・経済的な理由によりギャンググループ等の犯罪に関わる非行少年・少女は特に過激派組織のリクルート対象になりやすく、これらの非行少年・少女の保護と更生は、地域の安定においても重要な課題となっている。また、COVID-19 の影響により、少年院等の法定施設内の過剰収容による感染拡大リスクや、脆弱な立場にある少年・少女のジェンダーに基づく暴力（Sexual and Gender-Based Violence: SGBV）被害の増加も課題となっており、非行少年・少女を法定施設外であるコミュニティ内において保護し、更生を促進させることが喫緊の課題となっている。

JICA はこれまで、ケニアにおいて、少年司法の分野における関連職員の能力強化に焦点を置いた協力を実施してきており、2009 年から 2013 年に実施した「少年保護関連職員能力向上プロジェクト」（以下、「前プロジェクト」）では、少年保護関連職員の基準人材像への到達に向けた研修体制を構築した。また、2019 年度に実施した「少年保護関連職員能力向上プロジェクトフォローアップ協力」（以下、「フォローアップ協力」）では、前プロジェクトで策定した研修モジュール（以下、「モジュール」）の内容を改訂したほか、ケニアにおけるテロ及び過激化の状況や、少年司法関連機関による暴力的過激主義の予防・対策（Prevention and countering of violent extremism (P/CVE)）にかかる取り組みの状況について調査した。以上の背景をふまえ、ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生の課題に対する協力の在り方を検討する上で必要な情報を収集・分析するため、少年・少女の非行の一般的な要因や背景、過激化にかかる課題、コミュニティにおける保護・更生の現状、関連機関間や地方と中央政府の連携の状況等を整理し、同分野における具体的な協力方針を検討する必要があることから、本情報収集・確認調査が実施された。

1.1.2 調査の目的

上記の背景を踏まえ、ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生の課題に対する協力の在り方を検討する上で必要な情報を収集・分析する。具体的には以下の 3 点である。また本調査で対象とする「非行少年・少女」の定義としては、およそ 15 歳から 18 歳未満の、司法手続き中及び社会復帰した少年・少女を主対象とする。

- (1) ケニアにおける少年・少女の非行の一般的な要因や背景に加え、過激化にかかる課題や、非行少年・少女のコミュニティにおける保護・更生の現状、関連機関間や地方と中央政府の連携の状況等を調査する。

- (2) 幅広い機関の巻き込みを行うために必要な協力体制やジェンダー視点の組み込みにかかわる検討を含め、同分野における具体的な協力方針を検討、提案する。
- (3) 将来的なアフリカ諸国への協力モデルの展開を見据えて、アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生の現状を調査すると共に、地域機関などとの連携も見据えた検討を行う。

1.2 調査デザイン

1.2.1 調査対象機関・対象者

主要な調査対象地域及び機関は以下の通り。面談者リストを添付資料4、収集資料リストを添付資料3に示す。

- ・ 内務・政務調整省 保護局及び矯正局
- ・ 労働・社会福祉省 児童局
- ・ 裁判所
- ・ 警察
- ・ 検察局
- ・ 少年院・更生学校・保護観察宿舎等
- ・ 国家テロ対策センター (National Counter Terrorism Centre (NCTC))
- ・ その他関連行政機関
- ・ コミュニティ住民
- ・ 他ドナー・NPO・NGO
- ・ 本邦NPO・NGO
- ・ JICA 海外協力隊

1.2.2 調査実施期間

調査期間は2021年6月1日～2021年9月30日である。

1.2.3 調査対象サイト

ケニア国内（ナイロビ、マチャコス、沿岸部）において現地調査を行った。また、文献調査が可能な範囲内で、ケニア以外のアフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生の現状についても調査を行った。

1.2.4 調査工程

調査全体の流れを図1-1に示す。大まかに第一次国内作業（6月）、調査団と現地再委託先コンサルタントによる現地調査（7月～8月上旬）、第二次国内作業（8月中旬～9月中旬）に分かれている。

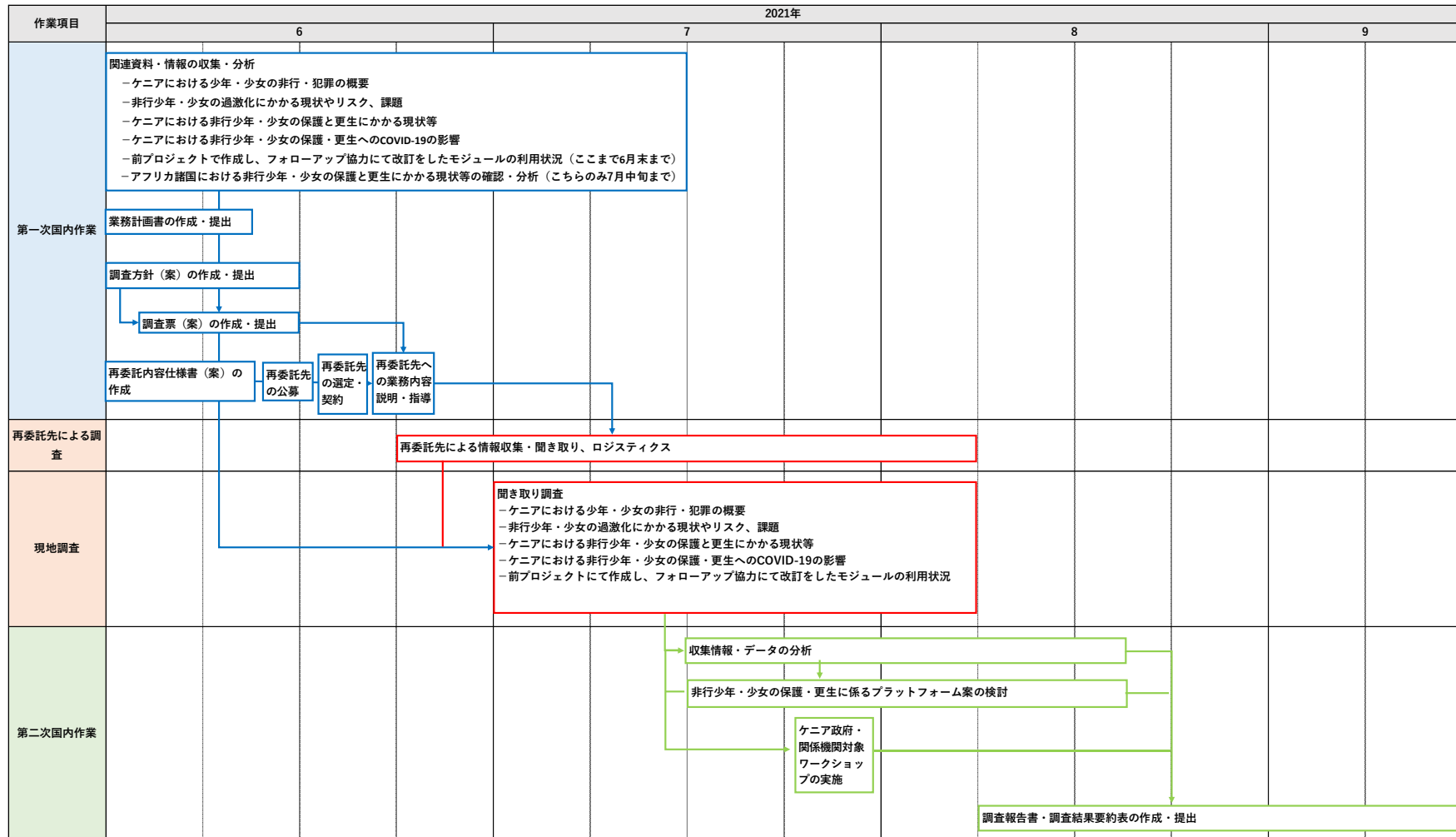


図 1-1 調査工程

1.2.5 調査手法と内容

本調査は、文献調査及び調査票を用いた聞き取り調査によって実施した。作業工程表における各調査項目の実施方法と内容を以下に述べる。

第一次国内作業（2021年6月上旬～下旬）

調査の概要や調査の方針等を業務計画書（和文）にまとめた。その後調査方針（案）と調査票（案）を作成し、JICA からの確認を受けたのち、現地調査の準備（統計や政策文書等の入手、質問票の事前送付、インタビュー調査の日程調整等）を開始した。さらに、日本にて UNAFEI や NPO、JICA 海外協力隊等への聞き取りを行った。日本での聞き取りは、COVID-19 拡大の影響により、オンラインでの聞き取りとなった。またアフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生の現状については、東アフリカ共同体（EAC）域内を中心にウェブサイトにて情報収集を行った。

現地調査（2021年7月上旬～8月上旬）

現地調査では、第一次国内作業での文献調査や日本での聞き取りの結果を踏まえた上で、詳細情報をヒアリング調査によって収集した。ナイロビ、モンバサ、マチャコスでのヒアリング調査の後、最終週の7月28日にはケニア政府及びその他のケニア国内関係機関（内務・政務調整省、労働・社会保護省や他ドナー等）を対象としたワークショップを開催した。児童局、保護局、矯正局、警察、裁判所、検察、NCAJ、UNODC、UNICEF、UNDP、NGO、法定施設からの代表者及び児童保護司／保護司ら23名が、3地域から参加した。このワークショップでは調査結果概要を共有するとともに、具体的な支援策（案）の実施可能性や協力の方向性について、各機関の事業実施能力や調整能力、連携可能性も踏まえながら協議し、意識のすり合わせを行うことを目的として行った。また帰国前には JICA 現地事務所に現地調査報告を行った。

第二次国内作業（2021年8月中旬～9月中旬）

帰国後、JICA に調査報告書ドラフト（和文）を提出し、JICA（本部及びケニア事務所）からのコメントを反映させ、9月中旬に調査報告書及び調査結果要約表（和文）を提出した。

1.2.6 実施体制

調査団は以下の4名で構成され、現地調査中は JICA ケニア事務所が支援を行った。調査団の構成員と担当分野を表 1-1 に示す。

表 1-1 調査チーム構成員と担当分野

担当事項	氏名	所属	現地調査期間
業務主任者／ニーズ分析／住民参加	盛田 詩子	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	2021年7月10日～29日
少年保護・更生(1)	橋場 美奈	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	2021年7月4日～28日

担当事項	氏名	所属	現地調査期間
少年保護・更生(2)	荻野 有子	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	—
過激化予防	伊藤 優	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	2021年7月3日～29日 (自社負担)

1.3 データ収集ツール

調査目的に照らし合わせ調査項目を洗い出し、文献調査により調査可能なものと質問票調査が必要なものとに分類した。調査項目と調査対象機関のマトリックスを作成し、質問案を検討後、各調査対象機関の質問票（添付資料5）を作成した。

1.4 過去の協力概要

1.4.1 過去の JICA による協力の概要

(1) 本邦研修（1990～1991年、2000～2002年）、専門家派遣（1997～2002年）

JICA は、UNAFEI との連携のもと、1990 年より「保護観察官・児童専門官研修（本邦研修）」を実施してきた。1992 年から 1996 年までは、ケニア側の国内事情により支援は一時的に停止したものの、1997 年以降、JICA の短期専門家として毎年 2 名程度の UNAFEI の教官が派遣され、「児童専門官、児童保護司及び児童収容施設職員のための全国基準」の起草、実務マニュアルの作成等が行われた [3]。その後、短期専門家派遣の成果の定着と制度の一層の充実を図るため、2000 年から 2002 年にかけて、UNAFEI と連携のもと、「非行少年処遇制度研修（本邦研修）」を実施した。本邦研修・短期専門家派遣の主な目的・内容は以下の通り。

表 1-2 本邦研修・短期専門家派遣

研修・専門家派遣	目的	主な内容	対象者
保護観察官・児童専門官研修 (本邦研修) (1990～1991)	日本の少年司法制度の紹介	日本の少年司法制度に関する講義 日本の少年司法関連施設の見学 日本の保護観察官, 保護司との懇談会	保護観察官、 児童専門官
短期専門家派遣(1997～2002)	全国基準及び児童保護司制度を含む少年司法制度の構築及び少年保護関連職員的能力向上 児童保護司制度の導入	児童保護司制度の導入 児童局の全国基準の策定・施行(児童保護司, 児童専門官及び児童保護司の研修, 継続的処遇等に関するもの等) 児童専門官・児童保護司の研修制度の確立	児童専門官
非行少年処遇制度研修 (本邦研修) (2000～2002)	日本の少年司法制度の紹介 ケニアにおける行動計画の策定	日本の少年司法制度に関する講義 少年鑑別所, 少年院, 保護観察所での実習 保護司との座談会	児童局職員、 地区児童諮問委員

出所：国際協力機構「ケニア共和国少年保護関連職員能力向上プロジェクト」終了時評価調査報告書をもとに調査団が作成

(2) 青少年犯罪防止及び処遇制度改善プロジェクト（2003～2006年）

ケニア政府は、児童の権利条約の批准後、児童法の全面改正を2001年に実施し、児童の保護・福祉向上に向けた各種の施策に取り組んではいるものの、劣悪な環境に置かれ保護を要する児童や犯罪少年の増加は依然として問題である。適切な援助を受けられず放置されたために、生き延びる術として非行・犯罪に追い込まれていく児童が少なくなく、福祉・少年司法の二領域での適切な援助が求められている。現状として、児童局職員や警察や裁判所等の関係機関の連携が不十分なことにより、福祉と少年司法の対象者が同じ施設で区別なく扱われている等、不適切な処遇を改善するため、本技術協力プロジェクトが実施された[4]。協力内容の概要は以下の通り。

表 1-3 協力内容の概要

上位目標	ケニア共和国内務省児童局における、要保護児童、非行・犯罪児童、虞犯児童等に対する、少年司法制度を基盤とした適切な支援・処遇の制度を確立すること
プロジェクト目標	1) ケニア共和国内務省児童局職員において、児童法に沿った要保護児童、非行・犯罪児童、虞犯児童等に対する各種の支援や処遇を行うため必要な、実効性ある基準やマニュアル類を整備すること。 2) 児童局職員・児童保護司が上記基準やマニュアル類に沿った適正かつ効果的な業務を遂行する
成果	1) 社会内処遇及び施設内処遇に関する具体的基準となるべき通達・マニュアル類の整備 2) 児童局職員が、社会内処遇については児童保護司制度及び児童専門官・児童保護司に対する体系的研修制度についての、施設内処遇については入所児童のリスク・ニーズに対応するための鑑別制度についての知識及び技術を十分に習得し、また、児童局職員が少年司法制度を基盤とした適切な支援・援助制度の具体化を促進するための監査制度についての知識及び技術を十分に習得し、行動計画などによりそれらの実行に向けた計画を立て、これを後に検証すること 3) 児童局職員が、警察、裁判所、児童局の連携強化による要保護児童、非行・犯罪児童、虞犯児童に対する支援に係る問題点の同定及びその解決のための継続的処遇についての知識を十分に習得し、行動計画などによりそれらの実行に向けた計画を立て、これを後に検証すること

出所：国際協力機構「青少年犯罪防止及び処遇制度改善プロジェクト」案件概要表を元に調査団が作成

(3) 特別な配慮を要する子供の犯罪防止、リハビリテーション及び保護プロジェクト（2006～2009年）

本プロジェクトは、「青少年犯罪防止及び処遇制度改善プロジェクト」に引き続き、少年司法・保護制度の更なる改善、および行政サービスに携わる人材の育成及び行政活動の質の改善を図るために、2006年6月～2009年3月までの約3年間で実施された。それまで特別な配慮を要する児童が、犯罪傾向等の相違点について考慮されることなく少年鑑別所や更生学校に混在した形で収容されていたことに対して、再犯危険度等により収容を区分して処遇を行うガイドライン及びマニュアルが作成された。また、児童保護司を適正に採用し、

社会において支援が必要な児童の個別の問題に適切な措置が取れる環境を整えるためのマニュアル等が作成された。協力内容の概要は以下の通り。

表 1-4 協力内容の概要

上位目標	要保護児童，非行・犯罪児童の適切な保護及び更生指導，アフターケア制度の整備により、児童の社会復帰が促進され、再犯の循環・連鎖が回避される。
プロジェクト目標	1) ケニア共和国における要保護児童、非行・犯罪児童、虞犯児童等に対する司法機関による処分決定、処遇（施設内・社会内）及びアフターケアが、2001年児童法及び関係通達に基づいて適切に実施される。 2) 児童局及び児童局管轄機関と警察、裁判所等関係諸機関の、児童の保護及び処遇に関する連携・協力関係が構築される。
成果	1) 施設処遇における分類処遇（保護を要する児童と非行・犯罪児童、高リスク児童と低リスク児童）が推進され、これに伴う施設の再分類化が行われる。 2) 地域において指導・保護を要する児童及びその家族に対する児童専門官、児童保護司による適切な指導、援護が行われるとともに、施設に収容中の児童の環境調整の実施により、早期社会復帰を促進する。 3) 適性を伴う児童保護司が継続的にリクルートされ、その活動が定着する。 4) 児童の早期かつ適切な移送及び児童に関する情報の適切な伝達のための警察、裁判所、保護・矯正局、児童局等関係機関の横の協力関係が構築される。

出所：国際協力機構「特別な配慮を要する子供の犯罪防止、リハビリテーション及び保護プロジェクト」案件概要表を元に調査団が作成

(4) 少年保護関連職員能力向上プロジェクト

上記の通り、JICA は少年司法の分野における関連職員の能力強化に焦点を置いた協力を実施してきた。しかし、それまでのプロジェクトで培われてきた知見・技術含め、少年保護を扱う関係職員が最低限必要な知識・技能を得るための研修体制・制度がなく、多くの児童専門官が十分な知識のないまま地方で活動をしているのが実態であった。これを受けケニア政府より、児童・少年保護関連職員（特に児童専門官）への研修実施体制構築のための支援の要請があり、「少年保護関連職員能力向上プロジェクト」（以下、「前プロジェクト」という）を実施した。協力内容の概要、および目標・成果の達成状況は次表の通り。

表 1-5 協力内容の概要、および目標・成果の達成状況

目標・成果	達成状況
上位目標	
関連 5 機関の少年保護関連職員 ¹ によるサービスが向上する	上位目標はプロジェクト終了後に検証されるものであるが、既に研修生によるサービス向上が見られる。
プロジェクト目標	
少年保護関連職員の基準人材像 ² に向けた研修実施体制が開発される。 注：研修制度＝理論のモジュールサイクルと実習との組合せから構成される研修制度	第 3 グループ研修の遅延、ならびに持続的な研修のために実現可能な計画が未策定であることから、達成される見込みが低い。
アウトプット	
少年保護関連職員の基準人材像が作成される。	達成済み。少年保護関連職員の基準人材像の要素は、研修ニーズ調査（2009）により明確になっており、以下 5 つの分野（セマティック・エリア）から構成される。 1) 少年司法手続 2) ケースマネージメント 3) 更生処遇プログラム 4) 多機関連携・サポートネットワーキング 5) 職員倫理及び業務管理 また、少年保護関連職員の評価基準として、「少年保護関連職員の機関別サービス評価指標（The CCPO Service Delivery Indicators in JJAs）」の最終版が開発された。
少年保護関連職員研修の質がパイロット研修の Plan-Do-See プロセスを通じて向上する	成果 2 の達成度は部分的。研修リソースの開発は達成された。他方、研修実施に関する指標（試行研修/スーパービジョンワークショップへの参加人数にかかる指標）は、省庁再編によるカウンターパート機関のキーパーソンの異動・交代等の影響により、第 3 グループの研修が遅延したことにより、未達成。
少年保護関連職員研修の運営体制が確立する	達成済みである。但し、第 3 グループの研修を実施しながら、全国実施チーム（National Implementation Team（NIT））／事務局がマニュアルを試行することは未達成。

出所：国際協力機構「ケニア共和国少年保護関連職員能力向上プロジェクト」終了時評価調査報告書をもとに調査団が作成

前プロジェクトにより、少年保護関連職員の基準人材像への到達に向けた 5 機関合同の研修制度が構築された。3 回の集合研修（Residential training）と実習（Practicum/OJT）のサイクルから構成される約 1 年間の研修プログラム（以下、「CCPO 研修」という）である。研修カリキュラム・教材、評価モニタリングのツールとして、以下の 5 点が開発された。

¹ 少年保護関連職員：児童局、保護局、矯正局、警察、裁判所の政府機関又は政府が認可した機関等に所属し、要保護児童又は非行・犯罪少年の福祉、教育及び司法手続に関わる者を指す。

² 基準人材像：必要不可欠な知識、技能及び態度を身に付けた少年保護関連職員

- 1) 少年保護関連職員研修カリキュラム
- 2) ファシリテーター用マニュアル（第1課程（モジュール1））
- 3) ファシリテーター用マニュアル（第2課程（モジュール2））
- 4) ファシリテーター用マニュアル（第3課程（モジュール3））
- 5) 研修管理マニュアル（添付資料として各種評価モニタリングツールが含まれる）

カリキュラムや教材は2009年から2013年にかけて行われた一連のNITワークショップを通じて行われ、うちいくつかにはUNAFEIからの短期専門家も参加し、技術面でのインプットがなされた。これらのカリキュラム・教材は、少年司法関連機関の5機関合同研修というコンセプトのもとに最終化された。しかし、プロジェクト終了時点で研修運営体制は決定しておらず、実行可能な予算・人事・運営メカニズムが明確に決まっていなかったことから、少年司法関係5機関の役割分担と責任範囲の不明確さ、予算確保にかかる課題が教訓として指摘されていた。

(5) 少年保護関連職員能力向上プロジェクトフォローアップ協力

前プロジェクトのフォローアップとして、2019年度に「少年保護関連職員能力向上プロジェクトフォローアップ協力」（以下、「フォローアップ協力」という）が実施された。前プロジェクトでは3つのモジュールを6週間で実施することを想定した研修体制となっていたが、ケニア側の実施体制や予算確保に課題があり、2016年以降は研修が実施されていなかったほか、前プロジェクト終了後に非行少年の起訴権限が警察に代わり検察官に移ったことなどをふまえて、研修モジュールの内容を改定する必要性が生じた。児童局、保護監察局、警察、刑務所、裁判所によって構成されるNITによるモジュール改訂作業を支援するため、UNAFEIをパートナーとする協力を実施した。

フォローアップ協力では、前プロジェクトで策定した3つの研修モジュール（以下、「モジュール」という）のうち、総論に係るモジュール1（第1課程）の内容が改訂された。また、ケニアにおけるテロ及び過激化の状況や、少年司法関連機関によるP/CVEにかかる取り組みの状況についての調査が実施された。また、主に少年司法関連機関のDirectorレベルから構成されるNCAJ（National Council Administration of Justice）のTaskforce on Children Mattersを巻き込むことに成功し、NCAJがCCPO研修の再開をリードする組織となった。

1.4.2 前プロジェクトにて作成し、フォローアップ協力にて改訂をしたモジュールの利用状況、研修実施状況

前プロジェクト終了後、2014年、2015年の2年間で、ケニア政府の予算で児童局が中心となりCCPO研修が3回実施された。対象地は、①モンバサ・キリフィ・クワレの沿岸部3カウンティ、②東部、北東部のカウンティ、③ナクルカウンティである。それぞれ3週間ずつの集合研修が実施されたが、前プロジェクト時のような実習やそのスーパービジョンは行われなかった。各回児童局が15名、裁判所が5名、警察、保護局、矯正局からはそれぞれ10名ずつが参加した。現地調査で聞き取りを行ったオフィサーの中には、ケニア政府に

よる CCPO 研修 (2 週間×3 回の 6 週間) を受けた人もおり、他の参加機関の業務を理解し、協働しようとする雰囲気が醸成できたことが良かったという声が聞かれた。しかし上述のとおり、関係機関の役割分担と責任範囲の不明確さ、予算確保の問題により、2016 年以降研修が中断されている。フォローアップ協力にてモジュールが改訂され、NCAJ が CCPO 研修をリードすることが決定し、カリキュラムとモジュールのバリデーションが 2020 年の第一四半期に行われたが、予算・連携不足およびコロナの影響により再開には至っていない。

モジュールの利用状況について、NCAJ からの聞き取りでは、5 機関合同の CCPO 研修は中断しているが、カリキュラム、モジュール、およびファシリテーター用のマニュアルは今も活用されているとのことであった。他方保護局によると、CCPO 研修のモジュールが複数機関の合同研修を想定したものであることから、例えば保護局単独で研修を実施しようとしても適用することが難しいため、局内での研修についても使用していないとの回答があった。その他の組織についても各組織内の研修で使用されているという情報は得られず、実質的にはあまり活用されていないと思われる。なお、NIT のメンバーはモジュールの存在を認識していたが、カウンティ以下のフィールドレベルのオフィサーはモジュールの存在を把握していなかった。

今後 CCPO 研修が再開された際の理想の実施体制については、意見が分かれた。保護局の複数の関係者によると、現在のとおり NCAJ が CCPO 研修の予算を確保し全体を統括するリード組織となり、その下に NIT³、NIT の下に運営準備・調整を担当する Secretariat が来る体制が理想という意見であった。NCAJ は各少年司法関連機関の局長クラスで構成されているため、特にドナー支援も含めた資金調達に適しており、意見のとりまとめを行う機関としても最適とのことであった。NCAJ への聞き取りでは、NCAJ と裁判所研究所 (Judiciary Training Institute (JTI)) が中心となるべきとの意見であった。矯正局への聞き取りでは、司法制度のトップである裁判所が決裁責任機関となり、NCAJ が取りまとめを担い、現行通り NIT が研修の実務を担うのがよいという考えであった。NCAJ を取りまとめ機関とするのが適切という意見が多い中、児童局は児童局が中心となるべきであるとの考えであった。今後再開していくためには、予算の手当・人事・運営メカニズムの明確化 (関係機関の役割分担・責任範囲の明確化を含む) が必要である。

将来的に CCPO 研修が再開された際の実施方法・対象人数については、オンラインと既存の対面研修を組み合わせたり、カウンティレベルのダイレクターやサブカウンティレベルのオフィサーが研修を受け、その先は TOT を実施することで受講人数を増やし、年間 100～150 名程度としたいという野心的な意見が聞かれた (NCAJ、マチャコスカウンティ保護観察官事務所、保護局)⁴。研修頻度については、四半期ごとに実施したいという意見があ

³ NIT のメンバーは研修講師を担当する。

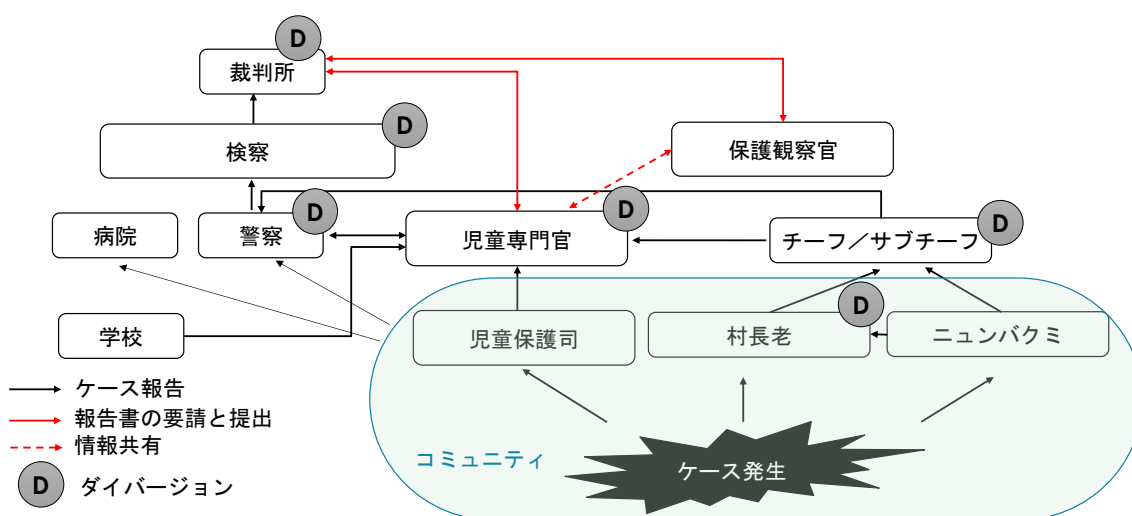
⁴ 当初は 1 年間で 3 モジュールの集合研修 3 回及び実地研修が 80 名を対象に行われていた。

ったが、約 1 年間に要する研修プログラムであることと研修運営のキャパシティを考慮して決定するのが望ましい。

第2章 ケニアにおける少年・少女の非行・犯罪の概要及び過激化 の現状

2.1 非行少年・少女の統計情報

非行少年・少女の統計については、児童局、保護局、矯正局、裁判所、警察、検察でそれぞれの機関で取り扱ったケースのデータを保有している。しかし、全体を包括的に取りまとめたデータベースは存在していない。また、慎重に扱うべき度合いが極めて高いことから、少年司法関連機関の間でも共有しておらず、外部への共有は不可とのことであった。さらに、ケース発生後、チーフや児童専門官事務所、警察、検察等へリファーされる際に、ダイバージョン⁵が行われるケースが相当数あり、その記録は取られていないため、非行・犯罪の検挙件数や人数等の正確な数値は、ケニアの各少年司法機関でも把握できていない。少年司法関連のケースの流れは図 3-1 に詳しいが、ここではケース発生時の流れとダイバージョンが行われる段階を参考として示す。



出所：聞き取りに基づき、調査団作成

図 2-1 少年司法関連ケース発生時の流れとダイバージョン

また、公開されているウェブサイトや犯罪報告書等の情報は、ほとんどが年齢別の情報となっていないため、少年司法に関するデータが入手できない状況である。したがって、本章は、文献及び、聞き取り調査から把握できた限定的な情報に基づき記載しており、情報に制約があることをお断りしておく。

⁵ ダイバージョンとは、少年の反社会的態度を減少させ、司法手続きを経ることなく、少年の支援や更生を図ることを目的として、司法プロセスからコミュニティベースの枠組みに戻るようにするシステムである。 [9]

2.2 ケニアにおける少年・少女の非行・犯罪の概要

2.2.1 非行少年・少女の定義

ケニアでは少年司法の対象は 18 歳未満であり、刑事責任は 8 歳以上から発生する [5]⁶。非行少年・少女 (children in conflict with the law) の中には、怠学 (child truancy)、犯罪少年・少女 (child offender)、触法・虞犯少年・少女 (child delinquency)、過激化 (child radicalization) が含まれている [6]。これらの非行の種別は以下のように定義づけられている。また、日本では違法とされない自殺 (未遂含む) や中絶もケニアでは違法とされ、それらを行った少年・少女は少年司法手続きを受けることに留意する必要がある。

表 2-1 非行少年・少女の種別

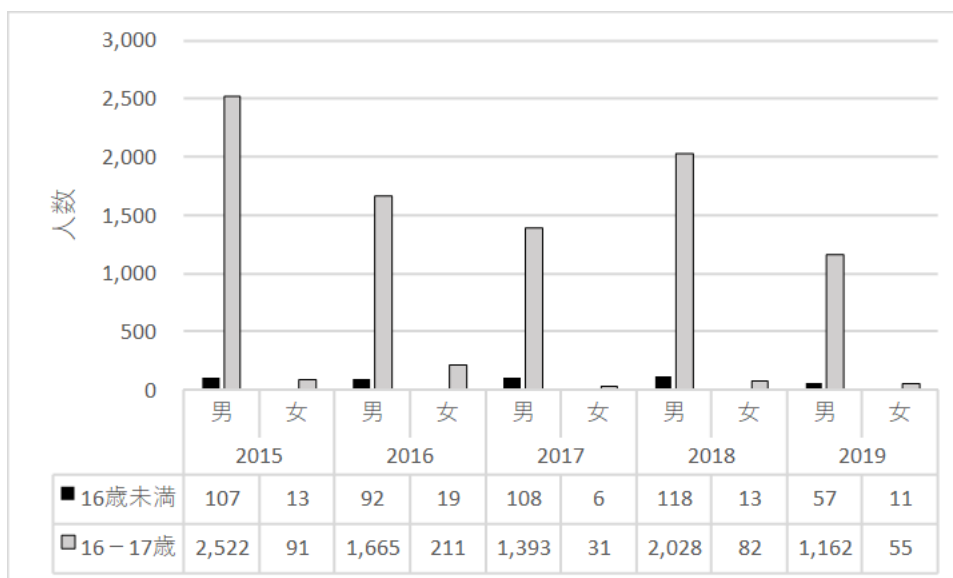
種別	定義
怠学 (child truancy)	適切な理由なしに学校に行かず、悪い交友関係に陥る少年・少女
犯罪少年・少女 (child offender)	犯罪を犯し、裁判所で有罪判決を受けた未成年者
触法・虞犯少年・少女 (child delinquency)	刑法に違反した、もしくは反抗的、みだら、モラルに反した行動をした一定の年齢の少年・少女
過激化 (child radicalization)	子どもの成長に負の影響を与えるような、子どもを洗脳するプロセス。過激的な社会的・宗教的見方、思想、信念、行い、態度、願望を身につけさせたり、現代的な考えや選択の自由の表明を弱体化させる。

出所：[6]

2.2.2 少年司法手続きを受ける少年・少女の数

少年司法の対象となる 17 歳以下の検挙件数及び人数は非公開とのことで、正確な数字は把握できなかった。しかし、矯正局のデータによると、有罪判決を受けて矯正局の施設に収容された者のうち、17 歳以下の人数は図 2-2 の通りとなっている。近年は減少傾向にあり、17 歳以下の犯罪者数は 2018 年の 2,241 人 (うち女子 95 人、男子 2,146 人) から 2019 年の 1,285 人 (うち女子 66 人、男子 1,219 人) へと 42.7%減少している [7]。他の年齢層も減少傾向にはあるが、減少率はこれほど大きくない。17 歳以下の犯罪者数の大幅な減少の背景として、少年司法分野でのダイバージョンが進んでいることがあると考えられる。また男女別内訳では、男子が約 95%と大多数を占める。

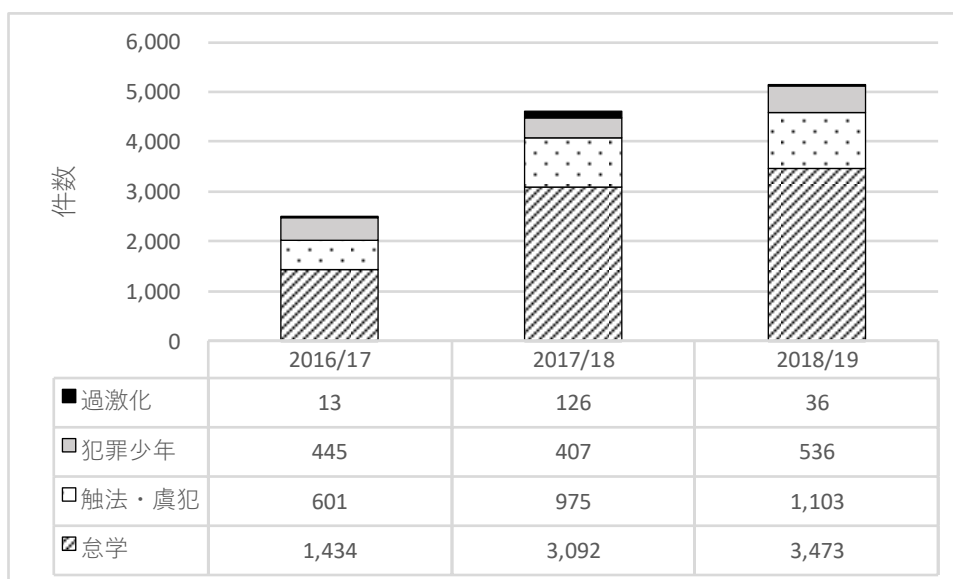
⁶ 現在国会で審議中の The Children Bill では、刑事責任の発生する年齢が 12 歳以上と改定されている。



出所： [7]

図 2-2 有罪判決を受けて矯正局の施設に収容された少年・少女の数

また、児童局が扱った非行少年・少女のケース数と種別内訳は図 2-3 の通りである。ただ、少年司法手続きを経ることによる将来への重大な影響を鑑み、多くはカウンセリング、裁判所命令なしの監督、誓約書などで済ませられるケースが多い⁷。



出所： [6]を基に調査団作成

図 2-3 非行少年・少女の種別内訳及びケース数

⁷ [6]

社会内処遇を含む、少年司法関連機関が扱った全体のケース数は不明であるが、2021年7月時点で、法定施設に収容されている少年・少女の数は、以下のとおりであった。下表からも分かるように、女子は総計の6.5%と、男子が圧倒的に多い。

表 2-2 法定施設への収容者数

監督機関	施設	施設数	女子	男子	合計
児童局	拘置所	14	16	206	222
	更生学校	9	1	68	69
保護局	保護観察宿舎	4	16	48	64
矯正局	少年院	3	16	308	324
	少年刑務所 (YCTC)	1	0	122	122
総計		33	54	768	822

注：児童局の数値については、非行少年・少女のみの数を記載している。警察からのデータは提供されなかった。保護観察宿舎はこの他、18歳以上の男性を対象とする Makadara Probation Hostel と Kimumu Senior Probation Hostel があるが、Makadara Probation Hostel の聞き取り（2021年7月8日）では17歳以上を対象としているとのことである。
出所：[8]、質問票回答

2.2.3 罪状

罪状について、複数の少年司法関係機関のデータを確認したところ、性犯罪及び、窃盗などの財産犯が多い傾向があることが明らかになった。また、聞き取りによると、薬物の浸透も小学校高学年程度からかなり深刻な課題となっている⁸。ミラーやカナビスサティバなどケニアでは合法となっている薬物から始まり、ヘロインなどに進んでいく⁹。しかし使用している薬物が合法的なものであったり、周りの成人も使用していることもあり、薬物の保有、使用で捕まることは少ないようである。学校での売買の場合には停学、退学処分を受けるようだが、裁判を受ける前にダイバージョンで社会内処遇となることも多い¹⁰。

8カウンティ（ナイロビ、ブンゴマ、キスム、キリフィ、ニャンダルア、マクエニ、ナロク、ガリッサ）を対象とし、2016～2018年に警察が対応した少年ケースのデータによると、性犯罪（59.9%）、窃盗と押し入り（7.8%）、暴行（4.1%）、薬物関係（1.4%）、その他（6.8%）となっており、そのほか保護とケア（20.0%）が確認されている [9]。その他の中にはネグレクト、放火、殺人、自殺、誘拐、迷惑行為、怠学、暴力的過激主義/テロリズムなどがある。警察本局からの聞き取りでも、少年の事案で多いのは性犯罪であるという話があった。

ミリマニとトノノカの児童裁判所からサンプリングしたデータによると、同裁判所で扱われたケースの内訳は、窃盗や損壊などの財産犯（34.64%）、性犯罪（30.06%）、その他（18.95%）、暴力（9.15%）、薬物犯罪（7.19%）であった [10]。

⁸ Nyali subcounty education officer からの聞き取り（2021年7月16日）

⁹ Area Chief of Maweni sublocation からの聞き取り（2021年7月12日）

¹⁰ Khadija Secondary School、Athi-river Sub-County Probation Office からの聞き取り（2021年7月26日、8月3日）

上記警察、裁判所の例のほか、児童局の施設に収容されている非行少年・少女の収容理由のうち、二桁以上の人数が報告されている罪状は多い順に以下の通りである。財産犯、性犯罪のほか、怠学や触法・虞犯も上位の収容理由となっている。

表 2-3 児童局の法定施設収容者収容理由（非行少年・少女のみ）

順位	拘置所	更生学校
1	窃盗	怠学（保護者による選択）
2	殺人	窃盗
3	押し入り	排斥（態度）
4	性犯罪	家庭の貧困による怠学
5	触法・虞犯	触法・虞犯
6	怠学	押し入り
7	強盗／徘徊／暴行（同率）	怠学（本人の意思）

出所： [11]

2.2.4 年齢

児童局の Child Protection Information Management System の 2016 年から 2020 年の少年犯罪者のデータによると、どの年度も 12 歳からケースが増加しており、特に男子の増加率が大きい。また 16 歳男子の数が突出している。また、児童局の報告書によると、非行少年・少女のうち、10 歳以上が全体の 86.1%、10 歳～14 歳が 58.1% を占めていた [6]。聞き取りでも、ギャンググループに所属するのは 12 歳から 14、15 歳程度が多いとの話があった¹¹。過激化のケースについては、全ケースのうち 44.6% を 10 歳以下が占め、低年齢化が進んでいる。

2.2.5 地域

児童局の非行少年・少女のデータ（2016 年度～2018 年度の平均）によると、ケース数が多い上位 6 カウンティは、順にキリフィ（9.4%）、ナイロビ（6.3%）、サンプル（5.7%）、キアンブ（4.5%）、マチャコス及びキリニヤガ（同率 4.3%）である。しかし、年度によって上位カウンティは大きく変動していること、ダイバージョンが相当数行われていること、人口が異なることを考慮すると、地域による少年犯罪件数の多寡は容易に判断できない。

他方、調査団の聞き取り調査では、深刻な課題が地域によって異なると感じられた。たとえば、ナイロビでは窃盗、薬物、性行為、モンバサでは薬物使用やギャンググループへの参加、マチャコスでは女兒・女子や児童対象の性犯罪が特に深刻であることが伺えた。

したがって、地域による違いは件数のみならず、地域が抱えている特に深刻な課題について情報を監理し、その重みづけと対処方針を検討することが必要であるが、現在両者を把握できる情報システムはない。

¹¹ クワレのコミュニティ住民からの聞き取り（2021 年 7 月 15 日）

2.2.6 再犯

児童局の法定施設に収容される少年・少女のうち、再収容者は 5～6%であり、大半は初犯もしくは他施設からの転入である [11]。拘置所からの聞き取りによると、受け入れ家族の元に戻っても環境が整っておらず、施設に戻りたいがために、再犯を繰り返す少年・少女も多いとのことだった¹²。

2.3 非行少年・少女の背景

トラビス・ハーシの社会的絆理論では 1) 愛着 (attachment)、2) コミットメント (commitment)、3) 巻き込み (involvement)、4) 規範概念 (belief) の 4 つの社会的絆が弱まったり、途切れた時に非行が起こるとされている¹³。日本の非行少年・少女の更生にかかわる NPO や、ケニアの関係機関からの聞き取りでも、上記の 4 つの絆、特に愛着の欠如が非行の誘因となっていることが示唆された。また、少年非行の原因・背景を考察するにあたり、早期幼児期からの被虐待経験や発達障害、メディアなどの有害環境が思春期に非行という問題行動となって出現するという報告もある [12]。児童局の扱うケースの中で、子どものネグレクト及び放棄が毎年約 60%¹⁴と深刻な課題となっているケニアでも、非行の背景として上記報告の内容はあてはまっており、聞き取りでも同様の要因が挙げられた。また非行の背景として、家族や周囲の大人が問題の根源であり、多くの非行少年・少女も要保護のケースであると指摘する関係者が多かった¹⁵。以下ケニアでの聞き取りから得られた、非行少年・少女にみられる主な背景を記載する。

表 2-4 非行少年・少女の背景

<p>家庭環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的に貧困家庭。親は無職であったり、日雇い労働従事であったりして、経済的に不安定。 • 7割くらいは片親（シングルマザーが多い）か、実親から離れて暮らしている。親の再婚で継父母と同居している場合も多いが、その場合、継父母との関係が悪いことが多い。孤児の子も多い。 • 適切な父親像がないため、思春期に自我が目覚めると問題行動を起こしやすい。 • 親、保護者が仕事で多忙、無関心、アルコールや薬物中毒等で、子育てが十分にできていない。また、思春期の子どもの発達について理解していない。 • 文化的に女性の社会進出が現実的でなく、男性に経済的に依存している。そのため、夫を次々変えて別の男性の子どもを出産するような機能不全の家庭が多い。
--------------------	---

¹² Likoni Remand home、Machakos Girls' Rescue Centre and Children Remand Home からの聞き取り（2021 年 7 月 14 日、7 月 22 日）

¹³ 愛着は家族や友人との感情的な絆、コミットメントはそれまでに自身が費やした努力等から、行動する際に損得や将来を考慮すること、巻き込みは社会的役割への従事、没頭、規範観念は正義や道徳的価値観を指す。 [114]

¹⁴ [11]

¹⁵ Machakos County Coordinator からの聞き取り（2021 年 7 月 19 日）

	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーに基づく暴力（SGBV）が日常的に行われている家庭が多い。 暴力的な内容のメディアに触れる機会が多い。
教育水準	<ul style="list-style-type: none"> 親自身も読み書きできず教育を重視していないことや、貧困等の理由から、小・中学校に通学していない子が多い。 小・中学校に通学している子もいる。
雇用状況	<ul style="list-style-type: none"> 家庭が貧困であることから、違法ではあるが、子ども自身が低賃金労働に従事している場合もある。職種は、道端での農産物販売など非行性の低いものから、武器や薬物の運び屋など犯罪性を含むものまで様々。
身体的あるいは精神的疾患の有無	<ul style="list-style-type: none"> 非行ケースでは見られない¹⁶。
コミュニティの環境	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを利用する大人がいる。例えば少額のお金を払ってポルノを撮影したり、違法性のある物品の運搬や売人をさせるなど。
非行・犯罪のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ギャンググループなど仲間の同調圧力 暇のもてあまし（親が教育費用を払えないため、子は中学校に進学できず、同時に義務教育年齢のため就労は違法） 貧困 薬物中毒・薬物の蔓延 家庭環境 コミュニティからのラベリング、嫌悪 政治家から雇われて暴動行為を実施
非行を引き留める要因	<ul style="list-style-type: none"> 教育 親が子の発達段階を理解した子育てを行うこと 忙しさ 新たな家庭や子供を持ち、先のことを考えるようになること 同世代の若者による非行予防の話
非行・再犯リスクの高い少年・少女の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ギャンググループとかかわりがあり、法定施設から戻ってきても、またそのようなグループと行動を共にしてしまう少年・少女 少年・少女自身が変わっても、法定施設から戻った先の環境が同じであれば、また再犯してしまう可能性が高い。

出所：キベラサブチーフ、Kibera Sub-County Probation Office、Area Chief of Maweni sublocation、マウエニの元受刑者、Likoni Remand home、クワレのコミュニティ住民、Khadija Secondary School、Machakos Girls' Rescue Centre and Children Remand Home からの聞き取り（2021年7月7日、7月12日、7月14日、7月15日、7月16日、7月22日）

2.4 非行少年・少女の過激化にかかる現状やリスク、課題

2.4.1 ケニアにおける暴力的過激主義の現状

ケニア警察局の2018年年次報告書によると、ケニア全体で2017年には計80件、2018年には計44件のテロが記録されている [13]。発生地域は北東部のマンデラカウンティ（19件）、ガリッサカウンティ（11件）、ワジルカウンティ（7件）、南東部のラムカウンティ等、北東部に集中している。他方、2019年には2014年以来最悪の被害をもたらしたナイロ

¹⁶ ただし、児童局の報告書によると、非行ケースの内0.2%（精神障害、身体障害各0.1%）は障害のある少年によるものと報告されている。 [6]

ビのホテルでのアルシャバブによる自爆テロ・襲撃事件が発生した [14]。件数・被害規模等からテロリズムによる影響を指数化した Global Terrorism Index 2020 では、2020 年にケニアは 163 か国中 23 位で、2019 年の 21 位、2018 年の 19 位から 3 年連続で改善の傾向にある [15]。しかし依然としてテロの脅威は大きく、暴力的過激主義への対応は同国の安定において重要な課題となっている。

2.4.2 非行少年・少女の過激化に関するデータについて

2.1 で述べた通り、少年・少女の犯罪件数（年齢別・罪状別、地域別）については、各関係機関で別々の情報管理システムを運用しており、統合されたデータベースが存在しない。また、ダイバージョンされたケースについては各機関のデータベースには含まれていない。そのため、少年・少女による犯罪件数の総数、およびそれらのうち過激派組織または過激化思想と結びついた犯罪の件数、年齢/地理的分布などを定量的に分析することができない。また、フォローアップ協力時の JICA 調査によるとテロ・暴力的過激主義に関する犯罪は、NCTC、Anti-Terror Police Unit (ATPU)、National Police Service (NPS)、National Intelligence Service (NIS)、Directorate of Criminal Investigations (DCI) 等の様々な機関で扱われているが、これらに関わった個人・グループの内訳を年齢別に整理したデータは入手できなかった。上記の制約をふまえ、現地調査における聞き取り、および関連文献に基づき、非行少年・少女の過激化について定性的な分析を行う。

2.4.3 非行少年・少女の過激化の現状、背景

現地調査での聞き取りでは、そもそも非行行為で捕まる少年・少女が過激化しているかどうかを判別することの難しさが明らかになった。過激化という罪状はなく、一般的な非行行為を行ったとして保護観察官のもとに送られてくるためである¹⁷。過激派組織に加入していることを子ども自身が申告することは少なく、各組織の特徴（服装、ボディマーク等）に保護観察官が気づいて、過激派組織への所属確認を始めてはじめて判別できる¹⁸。また NCTC は、保護観察官に限らず少年司法関連機関全般で、過激派グループへの所属判別能力が十分でない¹⁹と指摘している。上記の事情により、過激化している非行少年・少女を定量的に把握することが困難であるが、現地調査で確認された具体事例を表 2-5 に記載する。

Box 2-1 保護観察官からの過激化に関する聞き取り事例

－保護観察官からの過激化に関する聞き取り事例－

少年・少女の過激化については、「過激化」という罪名があるわけではないので、罪状は別になるが、裁判所に提出される社会調査報告書の中で、非行の背景などの詳細情報の中に過激派グループへの参加やギャンググループにおける反社会的な活動の従事などの

¹⁷ Makadara probation office からの聞き取り（2021 年 7 月 8 日）

¹⁸ Makadara probation office からの聞き取り（2021 年 7 月 8 日）

¹⁹ NCTC からの聞き取り（2021 年 7 月 9 日）

情報が出てくることがある。判別が難しい場合が多いが、各ギャンググループの特徴（服装、ボディマーク等）に保護観察官がたまたま気づき、過激派組織への所属が確認できる場合もある。保護観察対象の少年・少女の一定数が過激派グループへの関与がある。

特にナイロビのスラム居住地区に所在するキベラ保護観察所では、多くの保護観察対象者が少年・少女のうちから過激グループに所属して、銃などの武器も持ち犯罪行為を繰り返している。法定施設に入っても、出所後に戻る環境が変わらないので、また同じグループに誘われ、戻ってしまう。施設内で受けてきた更生のプログラムを生かすことができず、再犯に走ることも少なくない。

表 2-5 非行少年・少女の過激化事例

	ケース 1	ケース 2	ケース 3
過激化判明時の年齢	14 歳	16 歳	15 歳以下
性別	男	男	男
非行歴	なし	あり（強盗、窃盗、暴力等多数）	なし
家族の過激派組織所属有無	あり	不明	不明
リクルートされた方法	家族によりアルシャバブにリクルートされた	キリフィカウンティのマリンディ地域で保護観察中に逃走し、アルシャバブから勧誘された。	ワカリカオ等のギャンググループに入った後、参加。
逮捕時の状況等	カムクンジ地域の出身でソマリアに向かう途中で犯罪を行い逮捕。	保護観察期間中に逃走し、捜索の未逮捕された。	ラム州で制服を着て自爆するようにトレーニングされていた。
情報元	NCTC	NCTC	Kisauni subcounty children office

	ケース 4	ケース 5	ケース 6
過激化判明時の年齢	不明	14 歳	不明
性別	男	女	男
非行歴	あり	あり（不登校、脅迫）	あり
家族の過激派組織所属有無	不明	なし	不明
リクルートされた方法	不明。ナイロビの別の保護観察所の管轄地域の少年院（BI: Borstal institution）で、テロ組織とつながりのある非行少年と接触し、過激化の影響を受けた可能性がある。	不登校・脅迫により更生学校に入った。その後、ナイロビ北東部のティカにある自宅に戻ったが、生活は苦しく、過激派のリクルートを受けた。	保護観察宿舎収監中に脱走し自宅に帰ったが、帰還前の環境調整を行う前で受入れ環境が整ってなかった。自宅に居づらくなり家出し、マドラサに入ったがマドラサが過激派になるよう教化。
逮捕時の状況等	BI を出所後にテロ行為を実施していた。	消息不明で実母が捜索願を出したが、名前を変え追跡を逃れていた。	過激派になるか、死を選ぶかの2択になった状況で、どちらも嫌になり施設に逃げ帰ってきた。
情報元	Kibera Sub-County Probation Office	Office of Nairobi County Coordinator	Shanzu Probation Hostel

出所：現地調査での聞き取りを元に調査団が作成

表 2-5 によると、非行歴のない子もおり、リクルートされた方法も様々であるが、施設の中での過激化、およびギャンググループを通じたリクルートの可能性が確認された。また、非行歴のある少年・少女はルールに従わないことが多く、過激派組織に参加するリスクが高く、崩壊した家庭環境、貧困、同調圧力 (peer pressure) 等の背景により、一般の少年・少女に比べて過激化しやすい傾向にあるとのことであった²⁰。定量的な統計はないものの、現地での聞き取り結果から、非行少年・少女は家庭環境等の脆弱性に加え、施設内で過激化した子と接触する機会があるため、過激化のリスクが比較的高いのではないかと推測される。

2.4.4 過激化のリスクファクターおよびプロテクティブファクター

ケニアにおける過激化については数多くの研究がなされている。これらの研究、および現地調査の結果から、非行少年・少女の過激化への脆弱性を高めうるリスクファクター、過激化を防止しうるプロテクティブファクターを以下に整理する。リスクファクターが存在する状況でも、プロテクティブファクターがより高ければ、非行少年・少女の過激化は予防可能だと考えられる。

(1) リスクファクター

1) 経済的な困窮

失業や不安定な雇用状況等により経済的に困窮している場合、過激派組織からの金銭的なインセンティブに対し脆弱になりやすい。フォローアップ協力時に実施されたケニアにおけるテロ対策と少年司法に関する JICA 調査においては、調査回答者 950 名中 689 名 (72.5%) が、経済的インセンティブが若者のテロ行為への参加の動機になると回答している [16]。現地調査においても、モンバサの元非行少年から、「自分たちは貧しいため、オファーがあれば過激派組織でも簡単に参加する」とのコメントがあった²¹。

2) 社会・経済・政治からの疎外感

少数派の民族、宗教グループ、または地方部に住む人々が、自分たちが社会経済的に排除されていると認識し、所属グループを「守る」という名目で過激化することがある [17]。例えば、Ministry of Public Service, Gender and Youth Affairs が管轄する Youth Enterprise Development Fund などの基金について、沿岸部の若者はその他の地域よりも申請上限額が低く設定されており、構造的な不平等として沿岸部の若者の不満の種となっている [18]。こうした不満が経済的な困窮やその他のリスクファクターと相まって、過激化を促進しうる。

3) Poor parenting、家庭崩壊

親が子どもが何日間も家を空けていても居場所を把握していないなど、子どもへの愛情・注意が不足していることがしばしばある。また、アルコールや薬物依存による家庭

²⁰ DCS, NCTC からの聞き取り (2021 年 7 月 5 日、7 月 9 日)

²¹ モンバサのマウエニの元受刑者からの聞き取り (2021 年 7 月 12 日)

環境の崩壊などにより、家庭に居場所がないと感じた子が居場所を求めて過激派組織に加入することもある [19]。

4) アイデンティティ・人生の意味・ロールモデルの欠落

自分が何者であるかを探求中で人生の意味を見いだせていない個人は、過激派組織からしばしば過激化しやすいターゲットとしてみなされる [20]。特に少年については、12 歳ころになるとアイデンティティの基盤として父親像を求めるようになる。父親が不在の場合、過激派グループが入り込み、過激な思想を持つ誤った父親像をアイデンティティとして教え込み、少年を過激派に取り込んでいくことがある²²。

5) 政府の治安部隊に対する恐怖・恨み

ケニアでは警察による嫌がらせ、恐喝、暴力等が少なからず存在し、それに対する恐怖心・恨みが募り、報復のために過激化することがある [19]。

6) 宗教指導者等の影響力のある人による過激化への煽動

宗教指導者が、暴力的過激主義を正当化する方向に教えを捻じ曲げて広め、信者に過激派組織への参加を奨励するケースもある。特にイスラム教徒の多いモンバサで見られるとされ [19]、今回の現地調査においてもモンバサで特に顕著であった。モンバサの Bongwe sub location では、マドラサに通わせる親が多く、同地域の非行少年のほとんどがマドラサで過激な教えを受けていた²³。2017 年 12 月には、モンバサのリコニ地域で過激な教えを説いていたマドラサの教師数名を逮捕し、100 人の生徒が保護拘留された [21]。

7) 仲間からの同調圧力

学校や近所の仲間から同調圧力・勧誘をうけて過激派グループに参加することもある。マチャコスカウンティでの聞き取りによると、大人の知らないところで、中等学校の学生同士で勧誘が進んでいるとのことであった²⁴。

8) 身近な人、信頼する人からの影響

表 2-5 の事例にもあるとおり、家族からリクルートを受ける場合もある。また、特に貧しい環境で育った少女や早期妊娠・出産をしている少女の場合、恋人が過激派に関係している場合、その影響を受けやすい²⁵。

9) 収容施設内での過激化

収容施設内で過激化した非行少年・少女と生活を共にすることで、過激化影響を受けることもある [16]。現地調査においても、少年刑務所では過激化した非行少年・少女は他

²² NCTC、Athi river sub county probation office からの聞き取り（2021 年 7 月 9 日、8 月 3 日）

²³ Bongwe sublocation のアシスタントチーフからの聞き取り（2021 年 7 月 15 日）

²⁴ Athiriver sub county (Lukenya Location) のチーフ・年長者からの聞き取り（2021 年 7 月 23 日）

²⁵ NCTC からの聞き取り（2021 年 7 月 9 日）

の子とともに収容されており、特別な処遇がないとのことであった。問題行動がそれほど表出していなくても思考は洗脳されていて危険であり、収容場所も通常の非行少年・少女と分けるべきとの意見があった²⁶。

10) メディアや SNS、インターネットの影響

メディアや SNS は過激派組織の広報やリクルート手段となっている。また、インターネットを通して、暴力的な情報や映像が身近にアクセスできることも過激化を促進する²⁷。金銭や暴力の環境・文化にさらされすぎると、それほど貧しくなくても過激化する可能性がある²⁸。

(2) プロテクトティブファクター

1) 周囲の適切な監督、相談相手がいること

親やコミュニティのメンバーが子どもの様子がおかしいことに早期に気づき、適切な対応を取ることが大切である。また、家族やチーフ以外に、相談にのったり助言を与える身近なメンターの存在が重要²⁹。

2) 手本となるロールモデルの存在

特に、少年の場合は父親的存在が身近にいることが重要³⁰。

3) 宗教の平和的な教え

宗教の教えはリスクファクターにもプロテクトティブファクターにもなる。例えばイスラム教では、7 - 13 歳からマドラサに通い始め、そこでの教えが子どもの思考に与える影響は大きい³¹。宗教指導者が平和的な教えを広めることは、過激化防止にもつながる。

4) 教育、職業訓練等

ドロップアウトして過激派にリクルートされる子もいるため、学校に行って教育を受け続けることは過激化のリスク低減につながる。また、経済的自立のための職業訓練、学校等でのカウンセリング・ガイダンスも過激派防止に貢献する³²。

5) 過激派のリクルートに対する警戒心向上のための啓発

過激派組織にリクルートされ、利用される可能性があることに子ども自身が気付くことができ、リクルートを受けた際に周りの大人に相談できる能力、およびそれを向上するための啓発は重要³³。実際モンバサでマドラサに通う子どもたちが先生の教えが過激

²⁶ 保護観察局からの聞き取り（2021年7月12日）

²⁷ Kibera Sub-County Probation Office からの聞き取り（2021年7月7日）

²⁸ Athi river sub county probation office からの聞き取り（2021年8月3日）

²⁹ NCTC からの聞き取り（2021年7月9日）

³⁰ NCTC からの聞き取り（2021年7月9日）

³¹ NCTC からの聞き取り（2021年7月9日）

³² Athi river sub county probation office、保護観察局からの聞き取り（2021年8月3日 2021年7月5日）

³³ NCAJ からの聞き取り（2021年7月5日）

でおかしいことに気づき通報できたことにより、過激化したマドラサの存在が発覚し、未然に対応できた例もある³⁴。

上記の過激化のリスクファクターは、2.3 で述べた非行少年・少女の背景と重複する部分が多い。但し、リスクファクターを多く抱えがちな非行少年・少女であっても、適切な介入と支援によりプロテクティブファクターをより高めることができれば、過激化のリスクを低減できると思われる。

2.4.5 非行少年・少女の過激化防止に係る課題

まず、少年司法関連機関の職員が、通常の非行少年・少女と過激派と関係している非行少年・少女を十分に判別できていないことが課題である。洗脳など過激化特有の事象に対応するためのカウンセリングや、他の非行少年・少女へ影響が及ばないような対策を取る上でこれは非常に重要である。この点について NCTC が保護観察官へのトレーニングを提供しているが、他の少年司法関連機関職員にも拡大の余地がある。

次に、少年院等の施設収容が過激化防止に十分対応していないことも課題である。保護局からの聞き取りでも指摘されたが、施設内で過激派グループに属していた子とそうでない子が分けて収容されるのが望ましい。また、フォローアップ協力時の JICA 調査で指摘されたとおり、施設内での監視システムも必要と思われる。加えて、トラウマカウンセリングや過激な思想からの脱却をサポートするため、施設のカウンセラーの能力強化が必要である。

上記の課題に対応するとともに、それぞれのリスクファクターの低減のための対策（例えば、経済的困窮に対しては雇用創出や職業訓練、起業支援等）、およびプロテクティブファクターの促進（例えば、子ども自身の過激化へのレジリエンス強化として、学校等での過激化に対する啓発を行う等）のための対策が必要である。

³⁴ トノノカ児童裁判所からの聞き取り（2021年7月12日）

第3章 ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生にかかる現状

3.1 非行少年・少女の保護・更生に関する施策（処遇）、体制、関連組織等

3.1.1 法制度

(1) 全体概要

ケニア政府は、「国連児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）（United Nations Convention on the Rights of the Child: UNCRC）」を1990年に批准し、アフリカ地域憲章である「子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（African Charter on the Rights and Welfare of the Child: ACRWC）」を2000年に批准した。これら国際条約、地域憲章に則り国内法を整備して Children Act 2001 が制定された。要保護児童（Children in need of protection and care）、非行少年・少女／犯罪少年・少女（children in conflict with the law/child offender）を含め、子どもの権利や保護に関することは Children Act 2001 が基本法となる。

表 3-1 非行少年・少女の保護と更生に関連する主な法制度

条約・法律	概要
国際・地域	
国連児童の権利に関する条約（UNCRC）／子どもの権利条約（CRC）	18歳未満を「児童」と定義し、国際人権規約において定められている権利を児童について敷衍し、児童の権利の尊重及び確保の観点から必要となる詳細かつ具体的な事項を規定したもので、1989年国連総会において採択され、1990年に発効
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（ACRWC）	国連児童の権利に関する条約（UNCRC）の理念をアフリカの文脈に即して規定した地域憲章で、アフリカ統一機構（Organization of African Unity : OAU）（2002年よりアフリカ連合（African Union: AU））により1990年の採択・発効
国内	
Children Act 2001	UNCRC、ACRWCの理念を反映した子どもに関する基本法で、子どもの権利と福祉の擁護、親の責任、子どもに関する行政、施設、児童裁判所（Children's Court）、親権・扶養、後見人、子どもの保護命令、要保護児童、里親、養子縁組、犯罪を行った子ども等に関する規定あり
National Police Service Act No. 11 of 2011	警察（NPS）の根拠法
Probation of Offenders Act (Cap64) and Community Service Orders Act No. 10 of 1998	保護観察に関する根拠法で、保護観察命令（Probation Order）の発出、保護観察宿舍送致、社会奉仕命令（Community Service Order）含む
Prisons Act (Cap 90)	矯正局の管轄下にある施設での拘置（detention）に関する根拠法
Borstal Institution Act (Cap 92)	少年院（犯罪時15歳～17歳の少年・少女の法定施設）に関する根拠法
Penal Code (Cap 63)	犯罪と刑罰に関する基本法で、刑事責任を問う年齢も規定（8未満は刑事責任を問わない等）

出所： [1]に基づき調査団作成

(2) 非行少年・少女の定義

非行少年 (children in conflict with the law) は、「犯罪 (criminal offence) 行為の被疑者 (suspected)、被告人 (accused) または有罪 (found guilty) となった児童あるいは法律を違反した児童」と定義され、「Penal Code または他の法律のもと、作為 (act) または不作為 (omission) の結果の認知可能な犯罪の場合に当該児童は “in conflict with the law” とみなされる」 [1]。

要保護児童 (children in need of care and protection) は、Children Act 2001 において明確に定義されていない。しかし、要保護児童と判断される 18 カテゴリーが示されており、虐待、ネグレクト、残虐な行為、暴力、憲法違反や人権侵害に対して脆弱な子どもを要保護児童とみなす [2]。

(3) Children Act 2001 と Children Bill 2020

Children Act は 2001 年に制定され、2002 年 3 月に施行された。子どもに関する基本法である Children Act の制定は大きな進展であったが、準拠すべき政策枠組みを持たずに制定されたこともあり、その後の法の実践においては課題があった。Children Act は 2012 年に一部修正されたが、2010 年に制定された憲法 (Constitution of Kenya 2010) が反映されていないことや、過激化 (radicalisation)、子どもの人身取引 (child trafficking)、インターセックスの子ども (intersex children) といった近年の新たな課題に関する記載はなく、ダイバージョンなどの裁判外紛争解決 (Alternative Dispute Resolution : ADR) の取り組みに関する記述も不十分であった [2]。そのため、上記の課題を盛り込んだ抜本的な改正に向け、UNICEF 支援のもと 2018 年に法案 (Children Bill 2018) が作成された。しかし、2021 年 7 月の本調査時点ではまだ国会の承認を得ていない³⁵。

昨年度の法案である Children Bill 2020 の Children Act 2001 からの主な変更点は、以下の点をカバーしていることである³⁶。Children Bill 2020 の詳細は収集資料³⁷を参照されたい。

- 2010 年に制定された新憲法 (Constitution of Kenya 2010) との整合性
- 子どもにとっての最善の利益 (Best interest of child) の定義
- ダイバージョンという選択肢
- インターセックスの子どもの存在
- 裁判外での紛争解決 (ADR) の課題
- 刑事責任年齢 (8 歳) の引き上げ
- 過激化やサイバークライム

³⁵ UNICEF からの聞き取りによると、Children Bill が国会を通らないのは国会での優先順位が低いためであり、今国会で審議中なのは確かなので待つしかないとのことであった。(2021 年 7 月 12 日)

³⁶ NCAJ、DCS 及び UNICEF からの聞き取り (2021 年 7 月 5 日、7 月 5 日、7 月 12 日)

³⁷ Extract from the Report on the AUDIT OF THE CHILDREN BILL, 2020: Reforms in Legislation Introduced by the Bill to Repeal the Children Act, 2001 By: DR. KIBAYA IMAANA LAIBUTA (LEGISLATIVE COUNSEL/EXPERT)

Children Bill の国会承認と Children Act の改定は、少年司法分野における喫緊の課題となっている。

3.1.2 政策・施策

(1) 全体概要

非行少年・少女の保護と更生に関連する主な政策・施策ならびにガイドライン等を以下にまとめた。

表 3-2 非行少年・少女の保護と更生に関連する主な政策・施策

政策・施策	機関	年	概要
1. National Children Policy Kenya	NCCS	2010	子どもの国家政策
2. National Plan of Action for Children 2015-2022	NCCS	2015	子どもの国家行動計画
3. Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya	児童局	2021	非行少年・少女の更生・社会再統合のブループリント
4. National Family Promotion and Protection Policy	MoLSP	不明	家族と社会の福祉政策
5. Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017	保護局	不明	Juvenile と Youth の保護観察戦略
6. Diversion Policy	検察局	2019	ダイバージョン政策
ガイドライン・ハンドブック等	機関	年	概要
Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in Conflict with the Law in Kenya	児童局	2021	更生・再統合プログラムのマッピングと効果の検証
Diversion Guidelines and Explanatory Notes	検察局	2019	ダイバージョンのガイドライン
Guidelines for the Formation and Operation of Area Advisory Councils (Revised 2020)	NCCS	2020	Area Advisory Council の形成と運営ガイドライン
Bail and Bond Policy Guidelines	NCAJ	2015	保釈・保釈金のポリシーガイドライン
Handbook for Child Protection Volunteers (CPVs)	児童局	2019	児童保護司制度のハンドブック
Throughcare Guidelines	児童局 保護局 矯正局	2013	施設内処遇の少年・少女に関する Throughcare と Aftercare のガイドライン
Court Users' Committee (CUC) Guidelines	NCAJ	2019	CUC ガイドライン
Child Court Users' Committee (CCUC) Guidelines	NCAJ	不明	子どもの CUC ガイドライン

出所： [22] [1]他に基づき調査団作成

(2) 主な政策・施策の概要

1) National Children Policy Kenya (2010)

National Children Policy (NCP) Kenya は、Children Act 2001 の実践のための包括的な政策文書であり枠組みとして、2010 年に国家児童サービス諮問委員会 (National Council for Children's Services: NCCS) により策定された。NCP の中で特に非行少年・少女に関する既述としては、「子どもと法」の項目において、「全ての子どもは法に反したとされる場合は

保護ならびに法的支援を受ける権利があり、ACRWCにも規定のとおり、あらゆるケースで、子どもの拘束 (custody) を避けるための努力がなされるべきである」としている。その具体的な方法として以下を挙げている。

- 子どもにやさしい (child friendly)、ジェンダーに配慮した (gender responsive) 司法システムの提供
- 非行少年・少女のコミュニティへの再統合
- 非行少年・少女へのダイバージョンの活用促進
- 全ての子どもの無償の法支援へのアクセスの提供

2) National Plan of Action (NPA) for Children 2015-2022

National Plan of Action (NPA) for Children 2015-2022 は、NPA for Children 2008-2012 に続く国家計画として NCCS により策定された。策定時に、実践における課題やリスクとして認識されたのは以下の点である。

- 計画策定のため子どもに関する様々な個別データ・情報不足
- 法律・政策の執行力の弱さ
- 子どもに関与するセクターの主要ステークホルター間の連携不足
- 計画された活動実施のリソース不足
- 高い貧困率 (人口の 46% が貧困線を下回る) のため本計画の実現に貢献できない可能性

NPA for Children 2015-2022 は、新憲法 (Constitution of Kenya 2010) に即し、Kenya Vision 2030 (2008 年策定) の掲げる目標の実現に貢献することを念頭にデザインされた。また、子どもの権利である生存 (Survival)、発達 (Development)、保護 (Protection)、参加 (Participation) の権利保障のために、様々な活動を盛り込んだ持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) も反映している。具体的なアクションとして、特に非行少年・少女に関する記述を抜粋すると、保護と参加の箇所以下が述べられている。

表 3-3 NPA for Children 2015-2022 非行少年・少女の権利保障のアクション

保護 (Protection)
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 全国の警察署に児童保護ユニット (CPU) を設置・改善する ▪ 非行少年・少女向けの法支援を促進する ▪ 刑事責任年齢を 12 歳に引き上げるとともに司法への子どものアクセスを確実にする ▪ 非行・犯罪を犯した子ども向けに効果的な報告手順と起訴を確立する ▪ 他の戦略でも、より子どもにやさしい活動を通じて非行少年・少女の更生を強化する
参加 (participation)
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 少年司法に関与する子ども (非行少年・少女及び要保護児童) に対して国家負担による法支援の提供を実現する

出所： [23]に基づき調査団作成

3) Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya

児童局により、非行少年・少女の更生・社会再統合のための Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya（以下「ブループリント」という）が 2021 年 1 月に策定された³⁸。ブループリントは、2021 年 4 月に、Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in conflict with the Law in Kenya（以下「アセスメント」という）と合わせて、労働社会保障省（MoLSP）により正式に公表（launch）された。アセスメントは、少年司法システムにおける核となる機関の役割や連携の現状を確認するとともに、更生・社会再統合プログラムのマッピングを行いその効果について検証したものである。なお、ブループリントとアセスメントの策定には、国連薬物犯罪事務所（United Nations Office on Drugs and Crime: UNODC）が技術的な支援を行った³⁹ [24]。

ブループリントは、少年司法システムの関連施設における更生・社会再統合プログラムの枠組みを提供するもので、主な目的と項目は以下のとおりである。

表 3-4 Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya の概要

主な目的
ブループリントは、子どもの司法分野の各施設における更生・再統合プログラムの実施に関する枠組みを提示するもので、目的は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 非行少年・少女のための体系的・組織的な更生・再統合プログラムの促進 子どもの司法システムにおける施設間プログラムやサービスの調整（harmonize） 子どもの司法システムにおける更生・再統合の効率化のための枠組みの提示 更生・再統合プロセスに関与する機関間の調整促進
項目
ダイバージョン
警察署での拘留（remand at the police station）
裁判プロセス
施設内の更生プログラム <ul style="list-style-type: none"> リスク・ニーズアセスメント、更生を助長する環境整備、オリエンテーション 教育、図書サービス、職業訓練、ライフスキル 心理的サポート（カウンセリング、家族・被害者・加害者会議、親・保護者支援、ペアレンティング、メンター、宗教ベースの更生プログラム、クリエイティブアート） 特別プログラム（薬物・麻薬やアルコール依存、性犯罪の加害者・被害者等）
再統合プログラム <ul style="list-style-type: none"> 出所前（pre-release）プログラム 出所後（post-release）プログラム

出所： [22]に基づき調査団作成

³⁸ 児童局からの聞き取りによると、児童局内の Alternative family care section と Institution Section が連携して、現在促進されている脱施設化の潮流により施設収容者数を減らして、コミュニティ内での更生を促進する方向にシフトするために、このブループリントができたと理解しているとのことである（2021 年 7 月 5 日）

³⁹ 資金はカナダ政府支援

4) National Family Promotion and Protection Policy

National Family Promotion and Protection Policy は、家庭と子どもの社会福祉の根幹にある政策である⁴⁰。同政策の社会的保護分野では、脆弱な人びと（vulnerable persons）を、孤児（Orphans and Vulnerable Children: OVC）、障がい者（Persons with Disabilities: PWDs）、高齢者（older persons）のほか、路上家族（street families）、犯罪者・元犯罪者、寡夫・寡婦、国内外の避難民等とし、全人口のおよそ40%を占めると推定している [25]。

児童局によると、本計画に含まれている Cash transfer（給付金）プログラムは、元々世銀の支援で実施されていたが⁴¹、現在はケニア政府予算が確保され、孤児、高齢者、障がい者の3つのカテゴリーに分けられ実施されている⁴²。また Cash transfer のほかに、対象となる家庭に対する NHIF（National Hospital Insurance Fund-いわゆる健康保険）のカバーや中等学校の必要経費などの支援も含まれている。Cash Transfer プログラムの中央、カウンティ、サブカウンティ、ロケーションのそれぞれの行政役割については、中央は予算執行、カウンティは全体的な調整役としての責任を果たし、実際の制度の運用はサブカウンティレベルの児童専門官事務所で行われる。ロケーションの役割は、ニーズがあり受給対象となる条件を満たしている家庭の選定、またその家庭の変化をモニタリングして報告することである⁴³。

5) Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017

Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017 は、juvenile と youth の中で増加する犯罪対応において、保護観察官向けに全体像を提示する目的で保護局により策定された。なお、本戦略における juvenile は8歳から17歳、youth は18歳から25歳の定義を採用している⁴⁴。本戦略の具体的な目標は以下8つである [26]。

- ① 司法システムにおける juvenile と youth の犯罪者（offender）に関する情報取得改善
- ② コミュニティで社会内処遇とされた Juvenile と youth の犯罪者の監督
- ③ juvenile と youth の犯罪者の更生の改善
- ④ juvenile と youth の犯罪者の再統合と再定住の向上
- ⑤ juvenile と youth のための犯罪予防プログラムの強化
- ⑥ juvenile と youth のためのデータ収集強化

⁴⁰ 最終確定版は入手できなかったためドラフトである Draft National Family Promotion and Protection Policy (December 2019) に基づく

⁴¹ Cash Transfer for Orphans and Vulnerable Children (CT-OVC) Project for Kenya は2009年3月（承認）～2018年12月（終了）

⁴² Cash Transfer プログラムは①Cash Transfer for Orphans and Vulnerable Children (CT-OVC) ②Older Persons Cash Transfer (OPCT)、③Persons with Severe Disabilities Cash Transfer (PWSD-CT) の他、④.Hunger Safety Net Programme (HSNP) がある

⁴³ DCS からの聞き取り（2021年7月5日）

⁴⁴ juvenile と youth の定義は国際的にも国内的にも様々である。ケニアの憲法では youth は18歳から35歳未満、Kenya National Youth Policy (2006) では15歳から30歳とある。刑事責任年齢の規定は8歳からであるが、ほとんどの法廷では刑を科すのは10歳からである [26]

- ⑦ juvenile と youth の犯罪問題プログラム開発へ関係者・親を巻き込むこと
- ⑧ juvenile と youth のプログラムのモニタリングと評価の体制確立

なお、2019年に新たに Children and Youth Justice Strategy 策定支援を UNODC が行っている模様である⁴⁵。しかし、新戦略に関する保護局からの情報提供はなく現状の詳細は不明である。

6) Diversion Policy

Diversion Policy は、2019年、UNODC の技術支援と欧州連合 (European Union: EU) の資金援助による Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya (PLEAD) を通じて検察局により策定された。(PLEAD の詳細については 3.4.1 UNODC の項で後述する)

ダイバージョンは、フォーマルな司法手続きを経ることなく解決を行うプロセスのことで、単なる警告 (a simple caution or warning)、被害者への謝罪 (an apology to the victim)、賠償金の支払い (payment for damage done) から、より組織的なダイバージョンプログラムや修復的司法 (restorative justice) 等もある。ダイバージョンは、フォーマルな司法手続きや有罪判決、犯罪歴によるネガティブな影響を避けることができ、子どもの最善の利益の追求と更生の必要性に鑑み、スティグマや施設内処遇による悪影響を避けるための取り組みとして、特に非行少年・少女のケースに推奨されている。ダイバージョンを行うことが望ましい理由として以下を挙げている [27]。

- ① ケニアの刑事司法制度で処理されるケースの 7 割は軽微な犯罪で、未処理案件のために裁判が滞っていること
- ② 起訴を担当する人的・運営上のリソースが限られること
- ③ 刑務所が混んでいること
- ④ 保護観察とアフターケア部門があること

なお、ケニアにおいてダイバージョン自体は新しい概念ではなく、警察や検察では、フォーマル、インフォーマルに多く行ってきたとある⁴⁶。ダイバージョンは、Children Bill にも盛り込まれたとおり、ケニアの少年司法の潮流において重要性を増している。

3.1.3 体制・関連機関

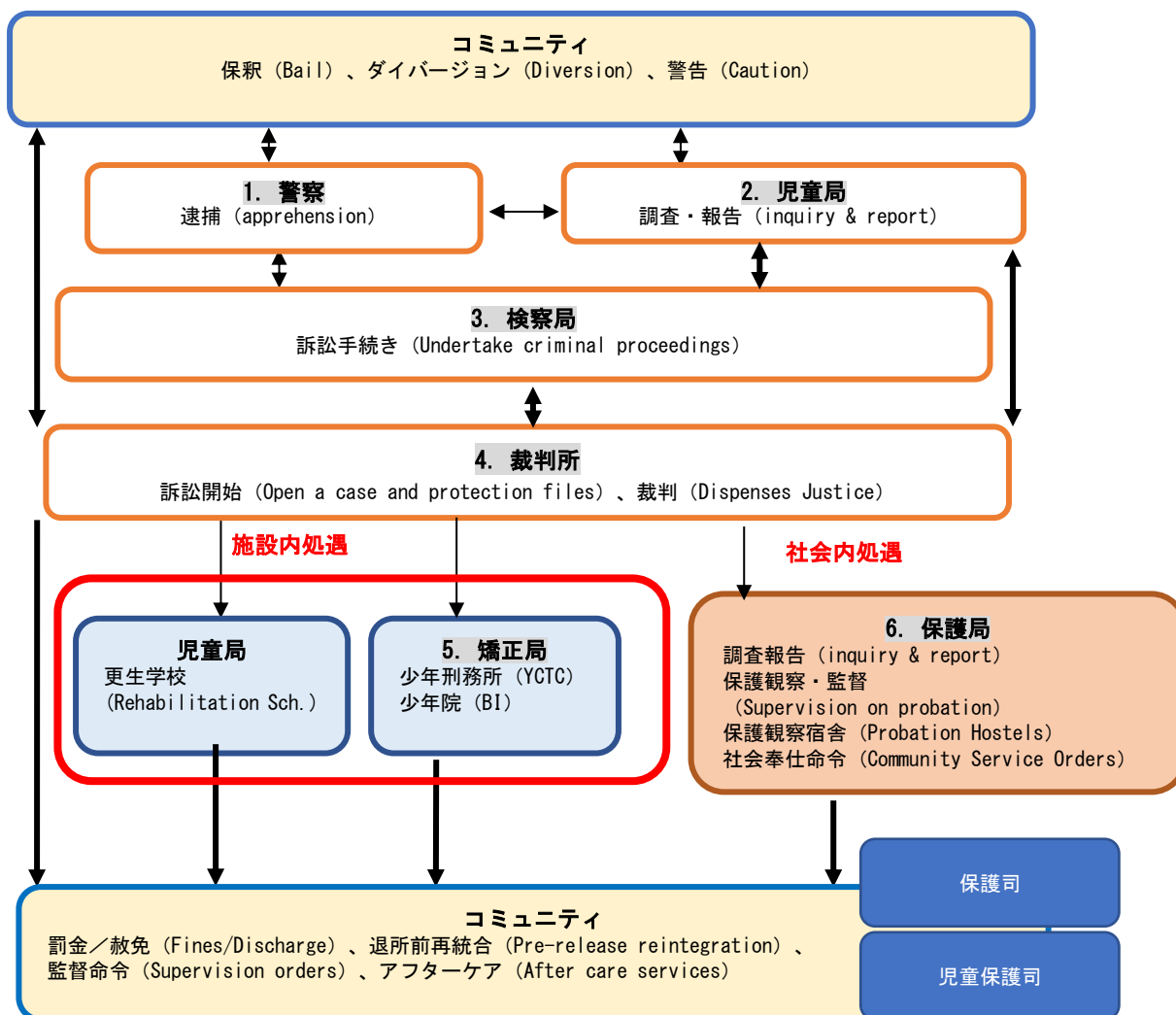
(1) 非行少年・少女のケースの流れ

大まかな流れとしては、コミュニティでケースが発生後、警察による逮捕や児童専門官による調査等を経て検察局により起訴が行われ、裁判所が非行少年・少女の処遇に関する判決・命令を行う。処遇には、施設内処遇と社会内処遇がある。施設内処遇の場合は、児童局

⁴⁵ PLEAD の一環として 2019 年に Children and Youth Justice Strategy の 2020 年の最終化を支援するとある [42]

⁴⁶ 非行少年・少女を対象としたパイロットプログラムが 2001 年に実施されたが、リソース等の問題によりフルスケールに展開されなかった。非行少年・少女も対象としたプログラムが、中央ケニアの Karatina と Othaya で実施されているとある [ODPP, 2019]

管轄の更生学校、矯正局管轄の少年院や少年刑務所（YCTC）に送致され、施設内で更生が行われる。社会内処遇は、施設内ではなく社会の中で更生を行うもので、保護観察決定が出されると社会に戻り、定められた保護観察期間中は保護局の保護観察官により指導・支援が行われる。戻る家がない場合の保護観察宿舎への送致や、社会奉仕活動も社会内処遇である。流れを以下の図に示した。



出所： [1]等に基づき調査団作成

図 3-1 非行少年・少女のケースの流れ

(2) 政府主要 6 機関

少年司法関連機関（Juvenile Justice Agencies: JJAs）は、Children Act の Child Offenders Rules に規定されており、特に非行少年・少女のケースで核となる政府 6 機関について、根拠法とマンデート・役割等を表にまとめた。

表 3-5 少年司法関連 6 機関の概要

機関	根拠法	マニフェスト・役割
1. 警察 (NPS)	Article 243, Constitution of Kenya, 2010 National Police Service Act, 2011	子どもの犯罪・虐待予防、子どもの犯罪・虐待案件捜査、容疑者逮捕、裁判外紛争解決 (ダイバージョン・仲介・仲裁等) 実施支援、児童保護ユニットの運営等を行う。
2. 児童局 (DCS)	Children Act 2001	ケース発生時ならびに法廷での子どもの安全・保護の保障、非行少年・少女について保護局、矯正局との協働、適切な更生サービス、更生後の再統合を行う。 *児童専門官は本局の他、サブカウンティレベルの児童専門官事務所や、児童局管轄施設に配置される。
3. 検察局 (ODPP)	Article 157, Constitution of Kenya, 2010	全ての犯罪の起訴、訴訟、判決前の事案終結などを行う。 *検察局は、「全ての犯罪事案の起訴」を行う機関として、非行少年・少女の起訴権限が警察から検察官に移った
4. 裁判所	Article 159, Constitution of Kenya, 2010 Cha 8 of Judicature Act	子どもにやさしい根拠にもとづく判決、子どもの司法促進と子どもの福祉の保障、裁判外紛争解決を含む憲法の理念に基づく迅速な司法手続きを行う。 *児童裁判所は全国に 2 カ所ある ⁴⁷
5. 矯正局 (KPS)	The Prisons Act (Cap. 90) Borstal Institutions Act (Cap.92)	少年刑務所 (YCTC)、少年院を所管し、施設内処遇者のコミュニティ再統合にむけた更生を行う。
6. 保護局 (PACS)	Probation of Offenders Act (Cap. 64) Community service Orders Act No. 10 of 1998	裁判中の安全とケアの確保、保護観察命令に即した非行少年・少女の監督、コミュニティレベルの調停促進と長期的な再統合、アフターケア促進のための家庭・コミュニティ環境の調整等を行う。 *保護観察官は本局の他、サブカウンティレベルの保護観察所に配置される。

出所： [1] [2]に基づき調査団作成

(3) 少年司法を支えるボランティア制度

1) 児童保護司 (CPV)

児童保護司 (Child Protection Volunteer: CPV) は、当初、1998 年に Volunteer Children's Officer として日本の協力のもとケニアに紹介され、パイロット⁴⁸を経て全国に導入された。その後名称を現在の Child Protection Volunteer (CPV) と変えている。児童保護司は、児童専門官を補完して働くもので、子どもの最善の利益と権利擁護を実現するためのボランティアであり、一般市民である。児童局が、地域諮問委員会 (Area Advisory Council: AAC) と協力して

⁴⁷ 独立した児童裁判所 (Children Court) は Nairobi (Milimani) と Mombasa (Tononoka) の全国で 2 か所のみだが、原則、全国全ての裁判官が子どものケースを担当できる。また、Makadara や Nakuru の法廷では、子どもにやさしい環境づくりとして子ども専用の部屋を整備して、裁判、登録、遊戯やカウンセリングができるようにしている [2]。

⁴⁸ パイロットは 3 カ所の County (Trans Nzoia, Kisumu, Nairobi) で行われた [28]

募集、審査、訓練、連携を行う。児童保護司ハンドブックは Community Child Support Section が作成しており、改訂版が最終化される予定である。また、トレーニングマニュアルは Planning Section で作成中である。改訂版（最終ドラフト）のハンドブックに基づく概要は以下のとおり。なお、児童局からの聞き取りによると、ボランティア用の予算はないとのことである⁴⁹。

表 3-6 児童保護司制度の概要

定義	児童保護司（CPV）は、子どもの最善の利益と権利擁護のために、自らの時間、スキル、リソースを提供し、認められた必要経費の返金以外には何ら金銭的な見返りを期待しない個人（individual）である
募集	AAC が募集決定・案内、申請書受理・ショートリスト作成、審査を行う。コミュニティが承認する。
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 人格・行動がコミュニティにおいて高く尊敬されていること ▪ 子どもの問題や福祉への熱意と関心を備えていること ▪ 年齢は最初の任用時に 25 歳以上 65 歳未満 ▪ 当該ロケーションに 2 年以上居住している（除く外国人ボランティア） ▪ 最低 8 年間（class 8）相当の教育 ▪ チーフの推薦 等
任期	一期 3 年間で要件を満たせばもう一期の再任用あり
任命	AAC の推薦により児童局長が任命する
活動	サブカウンティ 児童専門官の指導・監督のもと、 <ul style="list-style-type: none"> ▪ コミュニティでの子どもの更生と再統合支援 ▪ 子どもの権利と福祉に関するコミュニティの啓発 ▪ 家庭訪問 ▪ 施設配属のボランティアは、専門的知識に応じてカウンセリング、子どもの監督や退所時のエスコート ▪ 家族との再統合支援等

出所：[28]に基づき作成

2) 保護司（保護局の保護司）（VPOs）

2004 年に保護司（Volunteer Probation Officers : VPOs）プログラムとして導入された。その背景には、1990 年代半ばより、公務員の雇用に制限がかかるなか、3 万人もの監督（Supervision）を必要とするケース数に対し、2005 年時点では 267 名の保護観察官しかおらず人員が大幅に不足していたことがある。コミュニティにおいて保護観察官の業務を補佐する目的で導入されたもので、日本の保護司制度をモデルとし、日本の協力のもと開始されたボランティア制度である⁵⁰。現在は、名称を Community Probation Volunteer（CPV）と変えている。概要は以下のとおり。なお、保護局により作成中のガイドラインやマニュアルは提供されなかったため、CCPO 研修向けの FACILITATOR'S MANUAL（2020）および保護観察官（本局）が作成した研修資料（2019）に基づき概要を整理した。

⁴⁹ DCS からの聞き取り（2021 年 7 月 5 日）

⁵⁰ UNAFEI の協力により保護司制度の紹介が行われ、2000 年度には UNAFEI 支援により Kisumu と Dagoretti において児童保護司制度が導入された（終了時評価報告書添付資料）

表 3-7 保護司（保護局の保護司）制度の概要

定義	給与を伴う雇用の責任範囲を超え、報酬を期待することなく、人道、慈善の観点から時間とサービスを提供し保護局の使命の達成を補佐する個人（individual）である。
募集	不明
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 30 歳以上 ▪ コミュニティにおいて尊敬されている ▪ 人格・行動において社会的信望がある ▪ ボランティア活動に時間を提供する意思がある ▪ 無償のサービスを提供する意思がある ▪ 就職活動の一環としてではなくボランティア活動のできる安定した立場であること等
任期	一期 3 年間（再任用あり）
任命	初任者研修後に保護局長が任命する
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 保護観察官の求めにより情報の整理と確認 ▪ 保護観察官により特定された地域において社会内処遇となった犯罪者の監督（職探しや犯罪リスクのある若者への指導等も含む） ▪ 再定住、和解、復帰（resettlement, reconciliation and restitution）支援 ▪ 犯罪予防と予防におけるコミュニティ参加支援 ▪ 保護観察・アフターケア及び VPOs の役割にかかるコミュニティの啓発等

出所： [28] [29]に基づき作成

同制度の全国展開の状況については、保護局からの情報提供がなく不明である。保護局のウェブサイト上の記述（2009 年頃と推察）によると、予算不足、交通手段の問題、インセンティブ不足による高い離職者数などの課題が挙げられている [30]。

(4) 少年司法関連施設

1) 法定施設の全体概要

少年司法に関連する法定施設の全体概要は以下のとおり。なお、期間及び年齢については規定とされる情報を記載したが、実際の運用は必ずしもこの通りではない。

表 3-8 少年司法関連施設

施設種別	所管	数	期間	役割
① 児童保護ユニット（Child Protection Units: CPUs）	警察	7	最長 24 時間	一時的に子どもを保護し、聴取を行う警察署に設置された施設
② 児童救護所（Rescue Centres）	児童局	5	不明	虐待や、コミュニティにおいて困難な状況に暮らす子どもの保護とケアを提供する施設
③ 児童拘置所（Children Remand Homes）	児童局	14	6 か月以内	裁判の判決を待つ間に収容される拘留施設
④ 受理分類センター	児童局	2	最長 3 か月	更生学校に送致される子どもの事前のアセスメントとリスクに応じた分類（classification）を行う施設

施設種別	所管	数	期間	役割
(Reception Centres)				
⑤ 更生学校 (Rehabilitation Schools)	児童局	9	最長 3 年間	非行少年・少女の更生を行う施設で、公教育のほか、各種教育・職業訓練プログラムなども提供される
⑥ 保護観察宿舎 (Probation Hostels)	保護局	4	1 年 (最長 3 年)	仲間の影響や機能不全な親、社会的なプレッシャーなどから離れて、自らの考えや行動を振り返り、保護観察官の支援のもと社会再統合を目指す施設
⑦ 少年院 (Borstal Institutions : BI)	矯正局	3	最長 3 年	15 歳から 17 歳のハイリスクの非行少年・少女を対象とする更生・矯正のための施設
⑧ 少年刑務所 (Youth Corrective Training Centre: YCTC)	矯正局	1	4 か月	18 歳未満を対象とする判決待ち拘置機能と、17 歳から 21 歳の初犯者を対象とする刑務所機能がある

注： この他、18 歳以上の男性を対象とする Makadara Probation Hostel と Kimumu Senior Probation Hostel があるが、Makadara Probation Hostel の聞き取り (2021 年 7 月 8 日) では 17 歳以上を対象としているとのことである。

出所： [2] [1]各機関ヒアリング、DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

2) 各法定施設の概要

①児童保護ユニット (CPU)

子どものケースを警察署が認知して介入する場合、警察署の子どもに関する相談窓口である子どもデスク (children's desk) または 児童保護ユニット (CPU) において、成人とは別に対応する。児童保護ユニットは、一時的に子どもを保護し、最長 24 時間以内に聴取 (investigations) を行う施設である。児童保護ユニットは、子どもの保護とケアの訓練を受けた「子どもにやさしい警察官 (child-friendly police officers)」が配置されることになっている。警察によると、現在、機能している児童保護ユニットは、ナイロビのキリマニ、カサラニ、ブルブル、カベテの 4 か所で、他にナクル、キスム、ディアニ⁵¹にもある。施設は建設されていても、施設の運営費の予算がなく、食事の提供などが難しいことが課題となっている⁵²。

②児童救護所 (Rescue Centres)

虐待を受けたり、コミュニティにおいて困難な状況に暮らす子どもの保護とケアを提供する施設で、全国に 5 か所ある。0 歳未満～17 歳までの子どもが児童専門官により、裁判所の Care Order を通じて入所する。

表 3-9 児童救護所

No.	名称	カウンティ
1	ナイロビ児童救護所	ナイロビ

⁵¹ Plan International による支援

⁵² 警察からの聞き取り (2021 年 8 月 2 日)

No.	名称	カウンティ
2	ガリッサ児童救護所	ガリッサ
3	ティカ児童救護所	キアンブ
4	マチャコス児童救護所	マチャコス
5	キスム児童救護所	キスム

出所：DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

③児童拘置所 (Children Remand Homes)

裁判の判決を待つ間に収容される拘留施設で、要保護児童、非行少年・少女とも対象である。全国 14 カ所に設置されている。

表 3-10 児童拘置所

No.	名称	カウンティ	実績		
			女	男	合計
1	エルドレッド児童拘置所	ウアシンギ シュ	6	29	35
2	ケリチョ児童拘置所	ケリチョ	2	23	25
3	キアムブ 児童拘置所	キアンブ	3	11	14
4	キスム児童拘置所	キスム	9	16	25
5	リコニ児童拘置所	モンバサ	5	21	26
6	マチャコス児童拘置所	マチャコス	9	21	30
7	マンガ児童拘置所	ニヤミラ	4	25	29
8	メル児童拘置所	メル	2	6	8
9	ムランガ児童拘置所	ムランガ	1	9	10
10	ナイロビ児童拘置所	ナイロビ	6	9	15
11	ナクル児童拘置所	ナクル	9	32	41
12	ニエリ児童拘置所	ニエリ	8	15	23
13	カカメガ児童拘置所	カカメガ	0	30	30
14	マリンディ児童拘置所	キリフィ	0	24	24
合計			64	271	335

注：実績は 2021 年 7 月 12 日時点

出所：DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

④受理分類センター (Reception Centres)

更生学校に送致される子どもの事前のアセスメントとリスクに応じた分類 (classification) を行う施設で、女子用、男子用に各 1 カ所設置されている。

表 3-11 受理分類センター

No.	名称	カウンティ
1	キリギティ受理分類センター (女子)	キアンブ
2	ゲタトゥール受理分類センター (男子)	ナイロビ

出所：DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

⑤更生学校 (Rehabilitation Schools)

非行少年・少女の更生を行う施設で、最長で3年間であるが、1年間滞在後、2年間のアフターケア期間と合わせて3年間となるケースが多い。フォーマル教育のほか、各種教育・職業訓練プログラムなども提供され、資格取得のためのコースもある。

表 3-12 更生学校

No.	名称	カウンティ	定員	実績		
				女	男	合計
1	ダゴレットィ女子更生学校	ナイロビ	na	42	0	42
2	キリギティ女子更生学校	キアンブ	na	23	0	23
3	カベテ更生学校	ナイロビ	120	0	13	13
4	カカメガ更生学校	カカメガ	na	0	23	23
5	ケリチョ男子更生学校	ケリチョ	na	0	33	33
6	キスム更生学校	キスム	na	0	20	20
7	リコニ男子更生学校	モンバサ	na	0	33	33
8	オタヤ男子更生学校	ニエリ	na	0	51	51
9	ワムム男子更生学校	キリンヤガ	na	0	39	39
合計			na	65	212	277

注：実績は2021年7月12日時点

出所：DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

児童局の提供資料によると、各施設で行われている資格コースは以下のとおり。なお、公教育 (formal education) が行われていない施設もあるが、原則、全てにおいて初等教育が提供される⁵³。

表 3-13 更生学校で提供されている資格コース

No.	更生学校	石工	電気	洋服仕立て	製パン製菓	自動車整備	木工	モーター整備	農業	塗装・装飾・看板	皮製品	配管	アカデミック	溶接	塗装	職人	理容・美容	畜産	公教育
		1	ダゴレットィ女子更生学校	✓		✓	✓										✓		
2	キリギティ女子更生学校	✓	✓	✓	✓											✓			
3	カベテ更生学校	✓	✓	✓	✓	✓	✓												
4	カカメガ更生学校	✓	✓	✓								✓							
5	ケリチョ男子更生学校																	✓	
6	キスム更生学校																		✓
7	リコニ男子更生学校	✓	✓	✓	✓		✓							✓					
8	オタヤ男子更生学校	✓					✓												✓
9	ワムム男子更生学校	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓						

注：craft certificate courses, trad test examined by NITA, formal education by KNEC i.e KCPE and KCSE

出所：DCS, Institution Division 提供資料に基づき調査団作成

⁵³ Likoni Boys' Rehabilitation School からの聞き取り (2021年7月14日)

⑥保護観察宿舎 (Probation Hostels)

保護観察宿舎は、仲間の影響や機能不全な親、社会的なプレッシャーなどから離れて、自らの考えや行動を振り返り、保護観察官の支援のもと社会再統合を目指す施設で、裁判所の保護観察命令により入所する。収容期間は基本的に1年で、延長する場合は最長で3年である。子ども専用の施設は以下4カ所で、このほか、18歳以上の男性を対象とするマカダラ保護観察宿舎⁵⁴とキムムシニア保護観察宿舎がある。

表 3-14 保護観察宿舎

No.	名称	カウンティ	定員	実績		
				女	男	合計
1	ナクル保護観察宿舎	ナクル	50	na	na	na
2	シャンズ男子保護観察宿舎	モンバサ	44	-	22	22
3	キムムジュニア保護観察宿舎	キムム	40	na	na	na
4	シアラ保護観察宿舎	シアラ	40	na	na	na
合計			174	na	na	na

注：実績はShanzu Boys Probation Hostel は2021年7月13日時点、他は2021年8月16日時点
出所：保護局提供資料に基づき調査団作成

⑦少年院 (Borstal Institutions)

15歳から17歳の再犯に対してハイリスクの非行少年・少女を対象とする更生のための施設で、全国に男子用2カ所、女子用1カ所がある。

表 3-15 少年院

No.	名称	カウンティ	定員	実績	
				女	男
1	シクサ少年院	カカメガ	男：72	-	250
2	カマエ少年院	ナイロビ	女：27	100	-
3	シモラテワ少年院	モンバサ	男：237	-	250
合計			女：27 男：309		

注：実績は2021年7月13日時点
出所：KPS 提供資料に基づき調査団作成

⑨ 少年刑務所 (Youth Corrective Training Centre: YCTC)

少年刑務所 (YCTC) は、ナイロビ市内のカミティにあり、18歳未満を対象とする判決待ちの拘置 (Remand) 機能と、17歳から21歳の初犯者を対象とする刑務所機能がある。少

⁵⁴ Makadara Probation Hostel からの聞き取りによると、17歳以上の男性が入所し年齢上限はないが、他の施設 (Mombasa 等) に送致される予定の17歳未満の少年の移動日までの一時滞在も受け入れているとのこと (2021年7月13日)

年刑務所全体の定員は 130 名で、入所期間はいずれの機能の場合も、4 か月間である。出所後に戻る先がないケースでは、中間施設⁵⁵に入るための手続きも行う⁵⁶。

(5) カウンティ政府と中央政府 - 行政官のライン

地方における行政体系には、新たに導入されたカウンティ政府 (County Government) と、従来からの中央政府 - 行政官のラインとがある。

カウンティ政府は、2010 年に制定された新憲法の第 3 編に定められたカウンティ政府の機能及び権限に基づき、47 カウンティ政府制度が施行されている。具体的には憲法の第 4 付属文書の第 2 編に規定されている行政機能がカウンティ政府執行委員会 (County Executive Committee) によって執行されることになっている。カウンティ政府執行委員会が行政部門になり、予算編成とカウンティ議会 (County Assembly) での決議もカウンティ政府内で遂行され、中央政府の予算成立の過程とは異なる。County Government Act 2012 によれば、カウンティ政府執行委員会はカウンティガバナー (County Governor) によって指名されるが、カウンティガバナーは辞職させる権限も持つ。5 年に一度の選挙により、County Governor 及びカウンティ議会の変更に伴い、カウンティ政府執行委員会のメンバーについても変更される。またカウンティ内の行政レベルは、サブカウンティ、ワード、村 (village) となっており、County Public Service Board により指名された Administrator がそれぞれのレベルでの行政機能の執行のために配置されている [31]。

カウンティ政府の非行少年・少女の保護と更生に関連するマנדートとしては、Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017 によると、若者と犯罪の問題を扱う政策の策定、少年司法システムの支援機関との連携、youth を犯罪から引き離すために従事するプログラムの開発等とある [26]。しかし、非行少年・少女の更生と再統合において重要な関係機関であるにもかかわらず、公式な参画に関する規定や協力分野等については、明確になっていないことも指摘されている [32]。

中央政府 - 行政官のラインは、以前は大統領府が行政官ラインであったが、新憲法下の現在では、内務・政務調整省内に再編成されている。憲法の第 4 付属文書の第 1 編に規定されている中央政府による行政サービスにかかる調整機能を果たすことになっている。National Government Co-ordination Act 2013 に行政官の役割や責任範囲が定められている。カウンティ以下は、次のような行政区分となっており、それぞれの管轄責任者となる行政官が配置されている。ワードのアシスタントカウンティコミッショナーまでは、全国転勤の国家公

⁵⁵ イタリア系のカトリック教会が運営する、St. Joseph Cafasso Consolation Halfway House や NGO が運営する Ossirigi Halfway House がある。Caffasso Halfway House は、2005 年に設立され、YCTC を退所した男子を受け入れて、更生と家族・社会への再統合に向けた支援を行っている。オリエンテーション、基礎教育、職業訓練、カウンセリング等が行われ、職業あっせん、起業支援も親や後見人と協力して行う。ソーシャルワーカーが活動全体をモニターする [1]。

⁵⁶ YCTC からの聞き取り (2021 年 7 月 6 日)

務員であるが、ロケーションを管轄するチーフ以下は、その土地の出身者が採用され、従事している。

表 3-16 中央政府 - 行政官のラインにおける行政単位

行政単位	行政官
County	County Commissioner
Sub-County	Deputy County Commissioner
Ward	Assistant County Commissioner
Location	Chief
Sub-Location	Assistant Chief
Village	Village Elder

出所：調査団作成

コミュニティで非行ケースが発生すると、チーフや副チーフ (Asst. Chief) に相談が持ち込まれることが多い。また、警察が実施している Community Policing の担い手であるニュンバクミ (Nyumba Kumi) ボランティア⁵⁷と共にコミュニティ内の治安維持に従事しているため、非行・犯罪の情報には精通している。そのため、チーフは、社会調査報告書の作成のための情報提供を求められることが多い。非行少年・少女の更生や社会再統合の局面では、特にロケーション以下の区分におけるコミュニティの支援と関与が重要である。しかし、更生支援に関しては、明確な制度的な規定はない模様である。少年司法システムにおいては、サブカウンティレベルの AAC (子どもに関する児童局系のフォーラム) や Case Committee (保護局系の保護観察ケース検討委員会) の会議における議長を副カウンティコミッショナー (Deputy County Commissioner) が務めることになっている。

3.1.4 中央政府における連携と中央と地方との連携の体制等

多機関が参加する連携フォーラムとして、司法及び子どものハイレベルカOUNシルである NCAJ と NCCS、地方・コミュニティレベルまで設置されている児童局系の地域諮問委員会 (Area Advisory Council: AAC)、保護局系の保護観察ケース検討委員会 (Probation Case Committee)、裁判所利用者委員会 (Court Users' Committee: CUC)、施設入所児童の更生・再統合を継続的に行うスルーケア (Throughcare) とアフターケア (Aftercare) を取り上げた。

(1) 国家司法行政諮問委員会 (NCAJ)

国家司法行政諮問委員会 (National Council for Administration of Justice: NCAJ) は、ハイレベルの政策策定、実施、監督調整機関で、2012年に設立された。裁判所、法務省 (Ministry of Justice)、State Law Office などの国家機関や、国家人権委員会 (National Commission on Human Rights) など非国家機関のメンバーで構成される。NCAJ のマンデートは、「司法行

⁵⁷ ニュンバクミとはスワヒリ語で 10 の家という意味で、10 軒の家庭を一つのクラスター単位として、そのクラスター内の家庭レベルの安全を監督する立場のボランティアのこと。

政及び司法システム改革における透明性、連携、効率的、効果的および相談的 (consultative) アプローチの確保」である。NCAJ には、現在 7 つの委員会⁵⁸が設置されている。

NCAJ は、2016 年 1 月、子どもの司法における課題に取り組むために、NCAJ の中に Special Task Force on Children Matters (以下「タスクフォース」という) を立ち上げた。タスクフォースは、6 少年司法関連機関 (JJAs) を中心に、政府及び民間の司法関連機関から構成されている⁵⁹。タスクフォースは、少年司法に関して合計 16 の業務を行うことをマニフェストとして設置され、16 の業務は、①法制度・政策改革、②質の高いケア、インフラおよびデータ、③子どもの司法分野の全てのアクターの連携・啓発の 3 つの分野にわけられる⁶⁰ [2]。

タスクフォースは、2019 年 11 月に Status Report on Children in the Justice System in Kenya を作成した。その中で、”broken justice chain-link”、すなわち司法の鎖が壊れており (司法関連機関間の連携がとれておらず)、子どもの被害者や犯罪者の保護と安全が効率的、効果的に守られていないことが課題であると警鐘を鳴らし、政府・非政府のアクターが協働するためのボトルネックを取り除く必要があるとして、7 つのアクション (7-point call to action) を提言している。

- ① Children Bill 2018 を即刻制定すること
- ② 子どもの司法政策実施及びクオリティコントロールのための委員会の NCAJ による設置 (メンバーは教育や保健セクター、地方行政、コミュニティリーダー、ニュンバクミ、学術機関等へも拡大する)
- ③ 11 月のサービスマンス・サービスウィーク⁶¹実施手順の全裁判所での適用と必要な予算措置
- ④ 少年司法施設における初等教育および中等教育の提供と教育省による教員派遣
- ⑤ 子どもの拘束は最終手段であり、プロセス迅速化のために、裁判外紛争解決メカニズム、裁判所に付属する仲介、ダイバージョン、司法取引 (plea bargaining) 等の活用
- ⑥ 子どもが入所する施設や機関の拘留状況を改善するために十分な予算とリソースを提供すること、及び監督メカニズムを通して子どもの権利保障を強化すること
- ⑦ 国家およびカウンティ政府レベルにおいて公的・民間セクターの全機関が、警察・裁判所等関連機関へ子どもの虐待報告を行うとともに子どもの権利保障のための安全なスペースづくりに取り組むこと

⁵⁸ NCAJ のホームページで確認できるのは以下 6 つの委員会のみである (Court User’s Committee, Bail & Bond Implementation Committee, Special Taskforce on Children Matters, Criminal Justice Reform Committee, Working Committee on Traffic, Active Case Management) [118]

⁵⁹ メンバーリストによると、大学、研究機関、NGO なども含まれている [2]

⁶⁰ 16 の業務は [2]参照

⁶¹ 目的は、この期間に未決で滞留している子どものケースについて集中的に聞き取りを行うこと [2]

(2) 国家児童サービス諮問委員会（評議会）（NCCS）

国家児童サービス諮問委員会（評議会）（National Council for Children Services: NCCS）は、Children Act 2001 の制定を受けて 2002 年に設立された。NCCS のマンドートは、子どもの権利と福祉に関する計画、財政及び連携全般の監督と規制であり、子どもの権利と福祉に関する全ての側面について、政府に助言することである。NCCS は、上述のとおり子どもにかかる政策文書の策定も行っている。後述する AAC の上位機関でもあり、児童保護司の募集、審査、推薦等も行う。

(3) 地域諮問委員会（AAC）

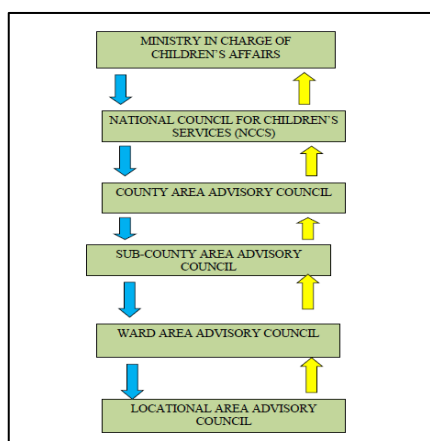
地域諮問委員会（Area Advisory Council: AAC）は、子どもの権利、福祉、利益はコミュニティレベルで守ることが最善であるとして、NCCS によりカウンティからロケーションのレベルまで設置されている⁶²。AACs は、四半期に一度、児童関連機関が集まり、子どもに関する課題を話し合うフォーラムである。ガイドラインによる AACs の概要は以下のとおり。

表 3-17 Area Advisory Councils の概要

目的	<p><u>主要目的:</u> 管轄区域における子どもの権利と福祉の増進の監督</p> <p><u>具体的な目的:</u> Children Act 2001 に規定されている NCCS の目的に即して以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 管轄区域における子どもの権利と福祉にかかるプログラムの計画・調整 ② 管轄区域における子どもの福祉にかかる活動へのリソース動員・配布 ③ 子どもの権利と福祉の普及・啓発 ④ 子どもの権利と福祉の課題に関する国家政府・カウンティ政府への助言 ⑤ 管轄区域における子どもの福祉プログラムの規制 ⑥ 子どもの福祉プログラムのモニタリング・評価 								
構成	<p>議長は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="411 1294 1023 1422"> <tr> <td>County</td> <td>County Commissioner</td> </tr> <tr> <td>Sub-County</td> <td>Deputy County Commissioner</td> </tr> <tr> <td>Ward</td> <td>Assistant County Commissioner</td> </tr> <tr> <td>Location</td> <td>Chief</td> </tr> </table> <p>メンバーは、レベルによって多少異なるが、カウンティとサブカウンティでは、児童専門官事務所、保健、社会開発、児童委員会、教育、児童裁判官、NGO や民間セクターの参加者等から構成される。ワードとロケーションには警察も加わり、ロケーションには児童保護司も含まれる。</p>	County	County Commissioner	Sub-County	Deputy County Commissioner	Ward	Assistant County Commissioner	Location	Chief
County	County Commissioner								
Sub-County	Deputy County Commissioner								
Ward	Assistant County Commissioner								
Location	Chief								

出所：[NCCS, 2020]に基づき調査団作成

⁶² AACs の前身は、1992 年に District Children Advisory Committees (DCACs) であるが、Children Act 2001 制定とともに AACs と名称も変更して、NCCS により設立された [33]



AACs の設置体系及び報告体系は左図のとおりで、各レベルの AACs の上位機関が NCCS、最上位機関が MoLSP である。このように、コミュニティに近いレベルから中央まで子どもの問題に関する多機関協働による連携フォーラムが設置されている。しかし、児童局によると、AACs は NCCS からの予算で賄われてきたが、2016 年より予算配布がなくなり多くの AACs が機能していないとのことである⁶³。

出所： [33]に基づき調査団作成

図 3-2 AACs の設置・報告体系

(4) 保護観察ケース検討委員会 (Probation Case Committee)

保護局にかかる連携フォーラムとして、保護観察ケース検討委員会 (Probation Case Committee) がある。更生の進捗については、ケースカンファレンス (Case Conference) と Case Committee を通じてレビューすることとなっており、その目的は、リファール (他機関への送致、連絡、紹介など他機関につなぐこと) のために、新しいアイデアやインプット、支援などを他機関・関係者から得ることである。ケースカンファレンスは保護観察官が参加して行われる制度で 4 半期毎あるいは必要に応じて頻繁に行われることになっている。ケース検討委員会は、様々な専門職や機関からのメンバーにより構成され (カウンティコミッショナー、宗教指導者、地方法域管轄区内の関連機関の長、NGO マネジャー等)、半年ごとに会合を開き、保護観察官の報告をレビューする [1]。

(5) 裁判所利用者委員会 (CUC)

裁判所利用者委員会 (Court Users' Committee : CUC) は、司法セクターのアクターとユーザーが協働するプラットフォームで、Judicial Service Act No.1 (2011) によって制度化された。市民参加と関係者の関与を促進し、裁判運営にかかる市民の理解を深めるとともに、司法セクターの効果的なパートナーシップを促進する連携フォーラムの一つである。上級裁判所 (High Court Station) からカウンティまで様々なレベルに設置されており、児童裁判所もその一つである。改訂ガイドライン (2019) が、Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya (PLEAD) を通じて作成されており、以下は同ガイドラインに基づく委員会の概要である。

⁶³ DCS 聞き取り (2021 年 7 月 5 日)

表 3-18 裁判所利用者委員会 (CUC) の概要

目的	<p>全体：それぞれの裁判所の管轄地域における司法行政の合理化</p> <p>具体的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 司法の透明性、連携、効率的、効果的および相談的アプローチの確保 ▪ 司法システムの全てのアクター、特に子ども、女性、障がい者への司法アクセスとサービス提供の改善 ▪ 司法における市民参加・関与の促進 ▪ 関係者間の情報共有・学習の促進 ▪ 関係者・裁判所ユーザー間のフィードバック機能強化・対話の促進 ▪ 効果的な司法に向け NCAJ が実践する政策・法律の提案 ▪ 運営に付随する全機能の遂行
構成	司法機関、裁判官、検察局、警察、矯正局、保護局、児童局、人権関連機関、カウンティ政府等で、15 人以上 35 人未満
会合	NCAJ と協力して 3 か月に 1 回開催 (サブ委員会は必要に応じて)
予算	NCAJ を通じて国家予算が配布される 各委員会において資金動員・ドナー支援可
業績指標	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 判決までの裁判期間の短縮 ▪ 保釈/保釈金 (Bail or bond) による保釈者数の増加 ▪ 警察による逮捕令状執行や目撃者召喚期間の短縮 ▪ 裁判所にサービスを求める人数の増加 ▪ 市民、訴訟人、受刑者からの苦情の減少 ▪ 2 年毎の関係者サーベイ結果の報告 ▪ 年間業務計画に設定された目標の達成

出所： [34]

なお、大規模な裁判所では児童裁判所利用者委員会 (Child Court Users' Committee : CCUC) が設立されており、NCAJ のタスクフォースにより、ガイドラインも作成されている [2]。しかし、予算がついていないので、どのようにして予算確保すべきか検討中とのことである⁶⁴。

(6) スルーケア (Throughcare) とアフターケア (Aftercare)

“Throughcare “とは、施設送致となった非行少年・少女に対し施設内から出所後まで継続的な監督 (supervision) と支援を行うことで、公的および民間セクターの支援による”Aftercare”を通じ、コミュニティへの再統合の促進を図ることである。

Throughcare に関しては、CCPO プロジェクト実施中に、特に現場の関連機関の間で子どもに関する情報共有がなされていないこと、機関を跨ぐリファラシステムが分断されていること、該当する子どもの機関を跨ぐ統合データがまとめられていない等といった課題があり、関連機関を横断するマルチシステムアプローチが必要となっている。そこで、2013 年に児童局、保護局、矯正局の協働により、Throughcare ガイドラインが作成された。同ガイドラインにおいては以下の点が目的として掲げられている。

①施設に収容されている子どもの収容～出所～コミュニティへの再統合の一連のプロセスの明確化

⁶⁴ NCAJ 聞き取り (2021 年 7 月 5 日)

- ②少年司法関連機関間の連携改善
- ③Throughcare における制度的ギャップへの取り組み
- ④各関連機関間の情報共有
- ⑤子どもの効果的な復帰（re-entry） と Aftercare の監督（supervision）

Throughcare ガイドラインには、更生学校、児童救護所、保護観察宿舎、少年院の各施設の Throughcare 及び Aftercare の手順が示されている。Throughcare における多機関委員会（multi-agency committee）は、核となる少年司法関連機関ならびにステークホルダー全体から構成される。また、各少年司法関連機関では、このガイドラインに即した手続きを適用することになっている [35]。

更生学校、保護観察宿舎、少年院の場合は Aftercare の期間は 2 年間であり、裁判所の命令を通して施設に 1 年収容された後、出所後 2 年間の Aftercare が必要となるため、計 3 年間、公的セクターによる監督が行われることとなる。少年刑務所出所者については、Prisons Act には Aftercare にかかる記載がないが、少年院出所者の再統合プロセスの手順を適用して、刑務官が保護観察所に連絡し、子どもの引き受けと再統合プロセスを開始する（犯罪からの離脱及び再統合の計画作成） ことになっている。

3.1.5 少年司法の情報データ管理状況

各少年司法関連機関がそれぞれ独自にデータ管理をしており、統合された管理システムはない。データ収集は標準化されておらず、年齢、性別、障がいの有無などの情報は整合性がない、あるいはデータがない状況である。特に、逮捕日時に関する情報は、意図的に削除されていることもある。これは、警察は 24 時間以内に警察の拘置所に拘束されたケースを扱わなければならないという規定があるからである。また、収集データはほとんどが紙ベースで、整理されておらず使い勝手も悪いといった課題があった [2]。

この状況を改善するために、NCAJ では、Juvenile Justice Information Management System (JJIMS) の確立を目指した。JJIMS は、司法システムに関与する非行少年・少女と要保護児童のケースマネジメントのツールであり、非行少年・少女が司法手続きに関与するプロセスの最初から最後まで状況をモニターするためのシステムである⁶⁵。まず、タスクフォースにより JJIMS のプロトタイプの開発が行われ、警察が 3 カ所のパイロット警察署を設定した。児童局では、既にデジタルデータベースとして Child Protection Information Management System (CPIMS) ⁶⁶を整備していたが、子どもに特化したデータ収集ツールを持たない裁判

⁶⁵ システムの運用の仕方としては、チーフからの事案の報告後、対象者のデータについて警察でシステムに入力。ケースが裁判に持ち込まれなかった場合、検察によるシステム入力は不要となるが、裁判になった場合は検察、裁判官が同じシステムに入力し、施設に入所後は施設でも入力する。子どもが司法手続きに関与しているかがわかるようにすることが目的（UNICEF からの聞き取り（2021 年 7 月 12 日））

⁶⁶ DCS の Child Protection Information Management System (CPIMS) は、全国のケースマネジメントのデータツールとして UNICEF 等の支援のもと開発され、2017 年より本格的に運用が開始された [40]

所、矯正局、警察向けに開発を行い、全ての子ども（女、男、インターセックス）の情報把握を目指した [2]。しかし、開発を支援した UNICEF からの聞き取りによると、JJIMS は、パイロット地域での運用を行ったが最終化されておらず、その他地域への展開はなされていないとのことであった⁶⁷。

3.2 非行少年・少女の保護・更生に関する地方・コミュニティにおける関連機関、及びその連携の実態

3.2.1 地方の少年司法関連機関による非行少年の更生にかかるサービスの実態

(1) 児童専門官事務所

聞き取りでは、本局のほかに、カウンティ及びサブカウンティの児童専門官、児童保護司から聞き取りを行った。以下、主に聞き取り内容に基づく、サービス実態の概要を記載する。

1) 児童専門官事務所の主な業務内容

児童専門官事務所は警察と並び、コミュニティで子どもに関する何らかのケースが発生した場合にチーフやコミュニティ住民から最初に相談される機関である。そのため、要保護児童と非行少年の両ケースを扱っているが、児童専門官事務所が特に比重を置いているのは、要保護児童のケースである。マנדートである子どもの事案には要保護ケースが多いことに加え、職員の数が少ないため、各児童専門官の業務負担が大きい⁶⁸という制約も影響している。

要保護児童への対応の中で特に多いのが、育児放棄（ネグレクト）のケースである。ネグレクトは、親の責任放棄により、適切な子育てがなされない深刻な課題であり、非行を含めた子どもたちの問題行動の原因となるという見解が多く関係者から聞かれた。次に多いのが、Alternative Family Care の潮流を受けた、養子縁組や里子制度の手続きにかかる業務、また養育権にかかる裁判手続きの業務である。この傾向は、児童局が 2016 年より導入し、各児童専門官事務所にて毎日更新される Child Protection Information Management System (CPIMS) からも裏付けられた。

非行ケースに関して、ギャンググループに関与し過激化の傾向が進んでいる少年・少女のケースは、脱過激派研修を受けるよう保護観察所にリファーしているという話もあったが⁶⁹、保護観察所との連携はあまり聞かれなかった。

また施設出所者の社会再統合支援については、施設送致はあまりないため、取り扱ったことがない、施設からの連絡がないため実施していないという意見がほとんどで、出所者の監督やアフターケアは行われていない。児童局の法定施設である更生学校と児童専門官事務

⁶⁷ UNICEF からの聞き取り（2021 年 7 月 12 日）

⁶⁸ 職員のバーンアウト症候群が課題になっていると言及する児童専門官も複数名いた。

⁶⁹ Kisauni subcounty children officer からの聞き取り（2021 年 7 月 14 日）

所との間での調整がなされていないことが、非行少年・少女の社会内での更生の課題であると回答した者もいた⁷⁰。

2) 非行少年・少女の更生支援業務に対する意識

1) で述べたように、児童専門官事務所は要保護児童のケースに重点を置いているため、非行少年・少女の取り扱いについては、多くの場合重要課題と認識されていない。ただし、この意識は、児童専門官事務所が所在する地域の特性によっても違いがある。ナイロビのスラム居住区のように、サブカウンティの規模が小さいために児童専門官事務所へのアクセスが容易であり、もともと犯罪・非行率が高い場所では、非行ケースが児童専門官まで相談される件数が多くなり、非行少年・少女の取り扱いの重要度が上がる。しかし、サブカウンティの規模が広大な地域では、児童専門官への直接の相談は少ないため、非行ケースへの意識はそれ程高くない。例えば、マチャコスではチーフが多くの非行ケースを取り扱い、ダイバージョンをしているが、チーフから少年非行の相談件数について児童専門官事務所に報告するシステムはなく、ダイバージョンにかかる状況は把握していないとのことであった⁷¹。

また、司法手続きを経ることによる将来的な影響の大きさに鑑み、相談を受けたケースのうち大半はダイバージョンしていて、初めての非行行為により裁判所で審判を受けるケースは5分の1程度とのことであった⁷²。

3) 児童保護司の役割

児童保護司 (Child Protection Volunteers) は、児童専門官からの指示のもと、コミュニティで要保護児童及び非行少年・少女のケースの情報収集や支援を行っている。多くてもサブカウンティで10名以下程度の人数であり、無給ボランティアであることも影響して当初10名以上いたが半数以下になっているようなサブカウンティもあった。主な業務内容は、法廷への付き添い、裁判で必要な書類を作成するための必要情報の収集、虐待された子どもの保護と警察や病院への付き添いである。また児童専門官の業務である Cash Transfer の支給に際し、対象家庭選定のための情報収集や受給家庭のモニタリングにも従事していた。活動の対象は基本的には要保護児童であり、非行少年・少女の更生支援のための監督やモニタリングを行っていることが聞き取りで確認できたのは、ナイロビのキベラ及び、任意で保護観察官とも連携をしているマチャコスのアティリバーの児童保護司のみであった。また、児童保護司のガイドラインやハンドブックの改訂版は、地方の児童専門官事務所並びに児童保護司には配布されていなかった。

⁷⁰ Nairobi County Coordinator からの聞き取り (2021年7月7日)

⁷¹ Machakos County Coordinator からの聞き取り (2021年7月19日)

⁷² キベラ児童専門官事務所からの聞き取り (2021年7月7日)

Box 3-1 児童保護司の活動事例

－児童保護司の活動事例－

ボランティアの活動内容は、そのボランティア個人の特性や強みを生かすような形で、自由度が高い。ある児童保護司は、コミュニティヘルスボランティアと兼業しており、病気の子どもの病院へのリファーを中心に活動している。一方、本業が牧師のボランティアは、子どもたちに対してスピリチュアルガイダンスを行い、本業が警察官のボランティアは幹線道路沿いで迷子になった子どもを保護し、家庭へ送り届けるなどの活動をしている、といった具合である。

(2) 児童局法定施設（児童拘置所及び更生学校）

受け入れ対象や収容期間等の概要は 3.1.3 (4) に記載されているが、両機関とも児童局の管轄であり、児童専門官 1 名が施設長として配置されている⁷³。その他の職員はアシスタント児童専門官で、長年同じ施設内に勤務することが通例となっている。

児童拘置所は、原則的に審判を待つ子どもの短期収容施設のため、実質的なプログラムやフォーマル教育が実施されていない。更生学校では職業訓練プログラムや小学校教育が提供されているものの、指導員・教員不足のために、質的な課題がある。この点は、教員サービス委員会 (Teachers Service Commission) や児童局の施設での支援プログラムを実施している UNODC、長年少年司法分野の支援を行っている CEFA (European Committee for Training and Agriculture/ Comitato Europeo per la Formazione e l' Agricoltura) からも指摘されている。

教育プログラム以外の、再統合・社会復帰に向けた施設内における準備に関しては、カウンセリング、家族を呼んでの家族会議、家庭に戻るまでのエスコート⁷⁴、家庭に戻った際に行われる、チーフや教員など関係者を巻き込んでの家族会議 (FGDM: Family Group Decision Making) などが、特定の少年・少女のケースのみ、外部の NGO の支援を通じて実施されている。現状では、外部の支援を受ける形でのみこのような業務が行われており、児童拘置所及び更生学校が独自で実施することはない。また、Throughcare ガイドラインに記載されている児童専門官事務所との報告書のやり取りを通じた連絡調整はなされていない。この背景として、出所と再統合に関する予算が少ない⁷⁵、人員が足りない点が挙げられる。

(3) 保護観察所

本局のほかに、カウンティ、サブカウンティの保護観察官、保護司から業務にかかる現状や非行少年・少女の事案について聞き取りをした。

⁷³ 以前は副施設長 (Deputy Manager) までが児童専門官であったが、フィールドの児童専門官事務所へ異動し、現在は施設の児童専門官は 1 名体制となっている。

⁷⁴ 非行少年・少女が施設から家に戻る際の交通費の支出と付き添い。

⁷⁵ 聞き取りによると、カベテ更生学校の場合、四半期で Ksh5,000 のみとのことである。

1) 保護観察所の主な業務内容

保護観察所の主な業務内容は、ケース発生後、裁判所から提出を求められる社会調査報告書の作成及び、非行少年・少女を含む、保護観察命令もしくは社会奉仕命令を刑罰として受けている対象者の監督である。非行少年・少女のケースの場合は、この社会調査報告書の提出は必須であり、児童専門官もしくは保護観察官がこれを作成している。児童専門官事務所側からは、15歳以下の低年齢の児童は、非行のケースであっても基本的に児童専門官事務所が取り扱うとの話が聞かれたが、ケニアの刑事責任年齢である8歳以上であれば保護観察所の監督対象になることがある⁷⁶。

2019年より、保護観察官が取り扱っているケースに関しては、日ごとに内容を報告するデータツールを使用して、本局まで提出している。しかし、本局からは、取り扱いの件数など、データにかかる情報を入手することはできず、データ入力とその管理が各保護観察所でどの程度浸透しているのかは不明である。

裁判所で処遇が決定した非行少年・少女の更生、社会再統合支援については、施設内処遇を受けた法定施設（更生学校・保護観察宿舎・少年院）から出所した少年・少女に対するThroughcareを実施している。特に少年院と保護観察宿舎については、保護観察官からの環境調整報告書の提出が義務付けられており、出所後の少年・少女の監督も行っている。コミュニティでの犯罪・非行予防活動なども任務にはいるが、保護観察所における運営経費の予算が限られているため、コミュニティへのアウトリーチがなかなかできていない⁷⁷。ただし、昨年度600名、今年度400名の新人保護観察官を採用するなど、この2年間で大幅に増員しており、児童専門官と比べ、人員不足の問題は深刻ではない。

2) 業務上の課題

保護観察所はコミュニティからの理解を必要とする社会内処遇を担当しているが、一般社会における知名度が低いため、コミュニティからの協力を得にくい状況にある。保護観察官の職務は、裁判所に付随するものであり、一般市民からは敷居が高い行政機関として見られがちである。保護観察所の役割として、非行少年・少女の更生に必要な地域社会からの受容とサポートにかかる啓発活動を実施することが求められているが、その役割は十分果たされていない。ナイロビのマカダラ保護観察所も、ラジオ局からの発信を通じて唯一そのような啓発活動を行っていたが、NGOからの支援が得られた期間のみに留まり、資金が得られなくなった現在は実施できていない。

⁷⁶ 一例として、シャンズ保護観察宿舎には、10歳の少年が収容されていた。また14歳以下の低年齢の少年が収容される更生学校にも、保護観察官による送致が行われることがある。

⁷⁷ マチャコスカウンティ保護観察官及びアティリバーサブ・カウンティ保護観察官からの聞き取り（2021年8月3日）

3) 保護司の役割

保護司の業務内容は、保護観察官から指示された保護観察対象者の追跡や定期的な面会を通じた監督、モニタリングである。また、裁判所に提出する報告書の情報収集なども、保護観察官から依頼があれば、守秘義務を意識しながら行っている。ただし、これらの業務からさらに発展した支援、例えば、対象者が必要とする支援（教育や就職）の提供元を探すなどの活動は行っていない。またコミュニティにおける啓発活動や非行・再犯予防の活動なども行っていない。保護観察官からの指示に限定された活動は忠実にしているが、コミュニティで対象の少年・少女に役立つ支援、リソースについて、情報を共有し、提案するといったような自由度やボトムアップの思考はないように見受けられた。

保護司は、保護観察対象者の家庭訪問に伴いトラブルになることも多いため、保護司としての ID 証明が必要だが、自らのステータスを証明できるバッジのようなものは供与されていない。また対象非行少年・少女の家族が理解を示さずトラブルになった際にはチーフからの介入・説明により円滑に進んだ事例があったとのことで、コミュニティレベルでの活動においては、チーフとの連携や協力体制の構築が必要であることが明らかになった。

なお、UNODC の支援により 2021 年に新たに策定される予定である保護司ガイドラインを基に、今年度中に全国で 1 万名の新保護司を採用するという計画があり、各カウンティで約 200 名ずつの新規採用を図る予定であるとのことである⁷⁸。

保護観察官事務所では、少年院から出所する非行少年・少女の社会再統合に関して、地方の保護観察所を起点とした試験的事業の実施も確認された。その一例である、モンバサカウンティの CARE MODEL について Box 3-2 に示す。

Box 3-2 モンバサにおける CARE MODEL

少年院に一番近い保護観察所はリエゾンオフィスとして定められている。シモラテワ少年院のリエゾンオフィスであるキサウニ保護観察所から、この取り組みについて以下の内容を聞いた。モンバサではギャンググループの活動なども活発で、行政機関の過激化への関心が高いことから、パイロット地域に選定された。保護観察官によるシモラテワ少年院退所予定の少年のアセスメントを実施し、2020 年 2 月に初めてのワーキンググループの会議で退所について協議・検討を行ったが、その後コロナ禍のため停止している。保護観察局では、この取り組みに関して、全地方レベル（Regional Probation Office）での実施を目指しており、全国の保護観察官の共通理解の促進が求められているとのことである。

—CARE MODEL—

保護観察局では、ワーキンググループの形成と協議、少年・少女のアセスメント、報告書の作成と保護観察所への送付、更生プログラムの評価の一連のサイクルを CARE

⁷⁸ マチャコスカウンティ保護観察官からの聞き取り（2021 年 8 月 3 日）

(Coordination, Assessment, Reporting, Evaluation - CARE) REINTEGRATION MODEL と呼び、ケニア全国の各地方 (Reginal Level) でワーキンググループが設立されることを目指している。これは Throughcare ガイドラインにはなかった新たな試みである。各段階の詳細は以下の通り。

Coordination : ワーキンググループは、カウンティコミッショナーを中心とし、子どもに関わる政府・民間両方の機関が参加する。政府系では、警察、児童専門官事務所が関与し、民間では人権団体やビジネスセクターも就職支援や資金協力面での協力が期待されて、参加している。カウンティ政府も過激化防止アクションプラン (County Action plan on countering violent and extremism) を策定し、高い関心があるため、County Executive Committee Member of Youth オフィサーが参加している。

Assessment: 少年院に収容中の少年・少女について、釈放前の調査、アセスメントをリエゾンオフィスの保護観察官が行い、家庭や社会に戻った後の更生のための計画を作成している。なお、保護観察局は、過激化の傾向もみられる、少年・少女に特化したアセスメントのツールを 2020 年に策定した (全国共通ではない)。

Reporting: 保護観察所から上げられる家庭環境調査報告書 (Environmental Adjustment Report) と少年院から出所する少年・少女のプログレス報告書の両方を参照して、レポートを作成する。

Evaluation: 少年・少女自身の興味関心を聞き出し、個別に更生に必要な支援内容を判断する。その後、ワーキンググループで報告書の内容をレビューし、協議する。このワーキンググループで決議された報告書は少年院の出所決定委員会 (Board of visitors) に提出され、また少年・少女が非行を犯したサブカウンティを管轄する保護観察所にも送付される。

(4) 保護観察宿舎

保護観察宿舎 (少年・少女対象) は、家庭に問題があり、居住することができない対象者に対して居住スペースを提供する施設である。自由度が高く、この宿舎から近郊の一般の学校に通学する。聞き取りを行ったシャンズ保護観察宿舎については、職業訓練は実施されていない。外部の学校への通学に加え、カウンセリング、各自の才能を発掘する特別活動、衛生指導なども行っている。収容期間は実際の運用上は 1 年となっている。出所の際は、Throughcare ガイドラインにのっとり、送致決定報告書を裁判所に提出した保護観察官と報告書をやり取りし、少年・少女の状況を報告するとともに、家庭側の準備状況について情報を入手している。ただし、施設からフィールドの保護観察官への情報共有は、収容されている少年・少女全員に関して行っているわけではない。また報告書のやり取りだけでなく、必要に応じて電話などでも連絡を取り合っているとのことだった。収容されている少年・少女

の一部には過激化傾向が見られるが、過激化更生のために特化したプログラムがなく、基本的なカウンセリング程度しか提供できないことに問題意識を持っていた。

(5) 裁判所

1) 主な業務内容

非行少年・少女に関しては、検察から挙げられた事案について、審判を行い、施設内処遇もしくは社会内処遇の判決を下す。現在では、全ての裁判官（判事）が児童裁判官となっているとのことだったが、実務上では、決められた児童裁判官のみが主に、①育児放棄や虐待などの要保護児童、②親権・養育権、③非行／犯罪少年・少女のケースを担当していた。審判後は、義務もないため、特にフォローは行っていないとのことだったが、裁判所ができることとして、監督が必要な子どもに関するファイルを、一定期間保管することや、出所後統合され、アフターケア中の子どもについて、任意で児童専門官から報告の提出を求めることなどが考えられるとのことであった。ただし、このような取り組みの根拠となる政策がないため、継続的な監督やアフターケアを義務化するには、根拠法や政策が必要との見解が示された。

2) 取り扱い事案

ナイロビのミリマニ児童裁判所は、オフィス街に所在する裁判所で、非行事案自体があまりないとのことであったが、モンバサは、人身取引や売春ツーリズム、過激化（マドラサにおける過激化思想の洗脳）、ギャンググループと関わりを持つ少年・少女の事案についても取り扱っている。ただしケース数が多い主要な非行は、怠学や合意の上での性行為（強姦ではない）といった犯罪である。ケニアでは18歳未満の性行為は違法なため、同世代同士の恋愛関係の結果であっても、性犯罪（Defilement⁷⁹）として、司法手続きを求められる場合がある。その場合、たいていはダイバージョンとするとの回答であった。マチャコスでは、薬物や窃盗などの事案があるとのことであった。

3) 子どもの事案に関する考え方

モンバサ、マチャコスの児童裁判官は両者とも、少年・少女の施設処遇をなるべく避け、社会内処遇、できれば司法手続きによらない手段でコミュニティや家庭に戻して問題を解決する、通常的生活環境の中でコミュニティや家庭が子どもを見守り、そのなかでの更生を促すと明言した。マチャコスの児童裁判官は、施設送致を最小限にしているが、その場合非行少年・少女は家庭にとどまることから、親の責任に関しては、政府によるさらなる介入が必要だと考えていた。ケニアの新憲法にも親の責任は規定されており、親が子どもに責任を持たず、非行についても簡単に諦めて、人任せにする傾向を懸念しており、親としての責任・義務、養育について理解を広める必要があるとしていた。なお、聞き取り相手の児童裁判官は、子どもの審判にかかる研修は受けたことがないとのことだった。

⁷⁹ Defilement とは未成年者との性交を指す。 [6]

(6) 刑務所（少年院及び少年刑務所）

聞き取りでは、ナイロビの少年刑務所（Youth Correctional Training Centre: YCTC）及びカマエ少年院、モンバサのシモラテワ少年院を訪問した。刑務所が管轄する少年院としては、男子が収容されるシクサ少年院、シモラテワ少年院に加えて、2016年に新たに開設された女子のためのカマエ女子少年院（女子が収容される）がある。

少年院には15歳～18歳未満の少年・少女が収容される。少年院では職業訓練プログラムが充実しており、特にシモラテワ少年院では機械整備、配管工、溶接、大工、縫製、石工、洋裁など数多くのプログラムから興味があるものをいくつでも選ぶことができる。最も人気があるのは雇用機会が多い大工とのことである。職業訓練プログラムの修了時には、NITA (National Industrial Training Authority) の試験官を少年院に迎え試験を実施する。なお、男子向けの職業訓練について、従来の洋裁、大工、溶接などだけでなく、時代に適したIT分野等の訓練を取り入れるべきという意見もあった⁸⁰。シモラテワ少年院にはコンピューターラボがあり、IT教育なども取り入れられているが、サイバー犯罪で収容されている少年もいるため、職業訓練については慎重な姿勢であった⁸¹。

少年院での教育体制については、刑務官が教員を務めるフォーマル教育施設が内部にあり、小学校と中学校レベルの全国統一試験を受験することが可能である。全国統一試験で優秀な成績を収めた少年もおり、奨学金支援を受けて中等教育以降を継続できるようにするなど、教育環境は充実している様子であった⁸²。

少年院に入所する少年・少女は、すべて保護観察官による社会調査報告書に基づき、裁判所の決定で送致される。児童専門官による関与はない。入所日から、Throughcareを意識しており、Throughcareガイドラインに基づいて保護観察官との報告のやり取りが行われている。最終のEnvironmental Adjustment Reportにより、家庭で少年・少女の受け入れ態勢が整っていることが確認されるまでは、出所会議（Board of Visitors Meeting）で出所の検討ができない仕組みになっている。少なくとも、出所後の2年間（収容期間3年のうちたいていはRelease on License⁸³により1年で出所する。）は保護観察官の監督下に置かれる。また職業訓練で身に着けた技術に関する道具の供与なども保護観察官との連携のもと実施されている。

少年刑務所（YCTC）は、17歳～21歳の初犯の若者が4か月のみ収容される施設である。保護観察官との連携がなされておらず、出所後に継続的な監督やケアなどが行われない。また、収容が短期間であることから職業訓練プログラムの内容も限定的である。出所後は民間の中間施設から、農業訓練やそれに関連したインターンシップ・就職先のあっせんの支援を

⁸⁰ ワークショップ参加者によるグループワークからの聞き取り（2021年7月28日）

⁸¹ ワークショップ参加者によるグループワークからの聞き取り（2021年7月28日）

⁸² シモラテワ少年院からの聞き取り（2021年7月13日）

⁸³ Borstal Institution Act Cap.92、26条に定められている。少年院の施設長からの許可による仮出所。残りの刑期は、社会内で監督される。

受ける子もいる。また少年刑務所では NGO (CEFA) の支援により出所時の交通費の支援や付き添い、家族会議の実施、仕事を始めるための道具の提供等の支援がなされている。少年刑務所では、COVID-19 の影響で収容人数が以前より減少しており、現地調査実施時の収容人数はわずか 25 名であった。なお、少年刑務所の敷地内に、少年拘置所 (Juvenile Remand Home) が併設されており、訪問時には審判を待つ少年・少女 95 名が収容されていた。

(7) 警察- 児童保護ユニット及びジェンダー&子どもデスク

ナイロビのブルブル警察署内の児童保護ユニット (Child Protection Unit-CPU) 及びジェンダー&子どもデスク、モンバサのマクパ警察署内とマチャコス警察署内のジェンダー&子どもデスクの警察官に聞き取りを行った。

1) 主な業務内容

ジェンダー&子どもデスクは暴力の被害者である女性や子ども向けの相談窓口として全国のワードレベルにある Officer Commanding police Station- OCS 警察署全てに設置されている。

2) 取り扱い事案

ジェンダー&子どもデスクが扱うケースの約 7 割は要保護児童のケースであり⁸⁴、非行少年・少女のケースについては具体的な事案の情報が得られなかった⁸⁵。

要保護児童のケースでは、ナイロビでは迷子のケースが最も多く、マチャコスとモンバサでは、未成年者への性交、性虐待のケースが最も多かった。少年・少女の非行については、モンバサでは性犯罪を重く見て警察で取り扱っているが、他の軽微な非行は、児童専門官事務所に取り扱われている⁸⁶。マチャコス警察署内のジェンダー&子どもデスクでは、要保護児童のケース (特に性虐待) が最も多く、次に不登校のケースが多いが、不登校については児童専門官事務所の方に相談するとのことであった。

なお、ナイロビのブルブル警察署の CPU には子どもの一時保護のための宿泊施設があり、裁判所からの命令に従い、審判前の非行少年・少女も一時的に預かることがある⁸⁷。その際は要保護児童と混じらないように鍵をかけ、内部にはトイレやお風呂もあり、行き来できないようになっている。ただし児童拘置所と比べ、セキュリティが強固ではなく、脱走が相次いだことから、審判前の非行少年・少女の収容場所として、裁判所が同宿泊施設を指定することは少なくなった。

⁸⁴ モンバサ マクパ警察署ジェンダー&子どもデスクからの聞き取り (2021 年 7 月 12 日)

⁸⁵ 警察本部のジェンダー部局では、非行少年のケースについてもジェンダー&子どもデスクで取り扱うと回答があったが、別の部署で取り調べ等を受けている可能性がある。一般の小・中学校を含む他の機関では、少年の薬物問題について頻繁に言及があったにもかかわらず、警察 (マチャコス警察署内のジェンダー&子どもデスク) では、薬物の事案を取り扱ったことがないとの回答だったためである。

⁸⁶ モンバサ マクパ警察署ジェンダー&子どもデスクからの聞き取り (2021 年 7 月 12 日)

⁸⁷ ナイロビ ブルブル警察署からの聞き取り (2021 年 7 月 8 日)

3) 業務上の課題

警察官の能力面、設備面の両方に課題が見られた。能力面においては、研修機会の不足が挙げられる。警察が行う主要な訓練・研修にはジェンダーや子どもの事案の取り扱いに関する内容は入っておらず、また、配置されている警察官も子ども事案やジェンダーに特化した研修は受けていない。NGO など民間支援団体や外国のドナーによる研修の機会があれば参加するという程度にとどまっている⁸⁸。また、設備面においては、子どもの被害者に心を開いてもらうための遊戯療法用の施設がないことが挙げられる。

また予算面でも課題がある。例えば CPU の運営において、日々の食事の提供にかかる費用などは教会など外部からの支援等で賄っている。また、実地捜査に必要な交通費が出ない場合は警察官のポケットマネーで対応することもある⁸⁹。

3.2.2 地方レベルでの非行少年・少女の更生にかかる連携・フォーラムの現状

(1) 非行少年・少女の社会再統合のための施設と児童専門官事務所・保護観察所間での連携の実態

前プロジェクトにて、児童局、保護観察局、刑務所の 3 局間で 2013 年に策定された Throughcare ガイドラインの規定によれば、施設処遇を受けた少年・少女に関しては、施設送致につながる社会調査報告書を作成した児童専門官または保護観察官と送致された先の施設（更生学校、児童救護所、保護観察宿舎、少年院）との間で連絡調整をし、互いの進捗を報告書で確認しあい、出所後の社会再統合に備えることになっている。このガイドラインに従い、少年院に収容されている少年・少女に関しては、少年院と保護観察所との間で連絡・調整が行われている。少年・少女が施設に収容されている期間中、保護観察所が責任をもって、家庭状況について調べたり、家族に対し必要な調整を行っている⁹⁰。さらに上述の通り、モンバサでは、保護観察官によるアセスメントと処遇計画の策定が少年院の出所前に行われ、その報告書が保護観察所へと渡されていた。これに対し、児童局関連の施設とサブカウンティの児童専門官事務所との間での連絡・調整が行われているかは確認できなかった。施設とフィールドの連携は特に出所後の社会再統合には不可欠であるが、選定された少年・少女に対してのみ、施設から家庭へ戻して家族会議を実施するまでの一連の支援を NGO などが担っているのが実態である。

(2) 地方レベルでのフォーラムの現状

1) 児童専門官事務所：Area Advisory Council (AAC)

AAC は四半期ごとに、サブカウンティの児童専門官事務所を中心に実施されることになっている会議である。子どもに関わる課題などを児童専門官事務所により選定された関係

⁸⁸ ナイロビ ブルブル警察署からの聞き取り（2021年7月8日）及び警察本部への聞き取り（2021年8月2日）

⁸⁹ モンバサ マクパ警察署ジェンダー&子どもデスクからの聞き取り（2021年7月12日）

⁹⁰ ナイロビのマカダラ保護観察所への聞き取り（2021年7月8日）

者が出席して話し合う。議長はサブカウンティの Deputy County Commissioner で書記は児童専門官が務める。

2016 年より、ケニア政府において、同会議のための予算が確保されず、同会議の開催は、経費サポートを行う支援団体がある児童専門官事務所に限定されている⁹¹。例えば、ナイロビのスラム地域などでは、NGO など民間非営利団体による支援が活発であり、サブカウンティだけでなくロケーション・レベルでも会議が頻繁に行われている。特に、ナイロビのスラム居住地区があるキベラ・サブカウンティでは、民間からの支援を受け、サブカウンティ内にある 6 ロケーションのうち 4 つでロケーション・レベルでの AAC が開催されている⁹²。ロケーション・レベルの場合は、チーフが議長を務め、児童保護司が書記を務める。

出席者の選定は、児童専門官事務所で決めることになっているが、民間からの出席者は、NGO 枠は 2 名、Faith Based Organization⁹³ (FBO) 2 名、民間企業 1 名までと限定されている [33]。政府機関からは、サブカウンティの事務所における代表者もしくはその代理が出席することになっており、子どもの事案を取り扱う担当者レベルは出席しない。警察は関係機関として出席対象となっているが、警察署長 (Officer Commanding police Station- OCS) やその代理が出席していると思われ、子どものケースを取り扱う実務者の出席が考慮されていない⁹⁴。例えば、警察署のジェンダー&子どもデスクの担当の警察官は、AAC の存在すら把握していなかった。

2) 保護観察所 : Case Committee

Case Committee は、年に 2 回、保護観察局予算により各保護観察所レベルで実施されている会議である。議長は、サブカウンティの Deputy County Commissioner 及び同じサブカウンティ内の裁判所の児童裁判官である。保護観察命令、社会奉仕命令で取り扱うケースについて概況を報告し、特に関係者間で相談やリファールが必要なケースについて協議する。成人ケースも、非行少年・少女のケースも扱われる。特に非行少年・少女の場合、エンパワメント (教育費・学費支援) の支援者を探す相談などがここで行われる。出席者は、サブカウンティ内の主要な政府機関、教会関係者、NGO などで、出席者の枠 (特に民間の出席者枠) には制限がある。政府系の参加者は上述の児童専門官事務所における AAC と同様に、行政機関のサブカウンティレベルのオフィサーが出席する事が多い。

3) 裁判所 : Court User's Committee (CUC)

裁判所にて司法関係の NGO や FBO、刑事・少年司法関連の行政機関を招いて開催される会議を CUC と呼び、最低でも四半期に 1 度は開催されることになっている [34]。司法に関わる課題や犯罪の傾向などについて話し合う。この委員会メンバーにより形成されたチー

⁹¹ 児童局からの聞き取り (2021 年 7 月 5 日)

⁹² ナイロビのキベラサブカウンティ児童専門官事務所からの聞き取り (2021 年 7 月 7 日)

⁹³ 教会やモスクなど、宗教に基づく組織。

⁹⁴ マチャコス警察署のジェンダー&子どもデスクの担当者からの聞き取り (2021 年 7 月 22 日)

ムにより社会貢献活動として、少年司法関連施設（児童拘置所）や学校を訪問したり、寄付などが行われている。

3.2.3 地方の少年司法関連機関とコミュニティの連携の実態

3.2.2 で述べたフォーラムは、いずれも各地域に存在する政府機関及び教会などの宗教組織や NGO などの民間支援組織によって構成されたものであり、基本的にはサブカウンティで形成されている。サブカウンティと別の行政レベルをつなぐ、縦の連携を促進するフォーラムは形成されていない。

少年・少女の更生や社会再統合においては、彼らが戻る家庭や学校、将来的な職場、地域の行政官など、コミュニティレベルでの協力や連携の体制が必要となるが、少年司法関連機関が主催する現状のフォーラムはそれを実現できるものではない。

コミュニティにおいて更生支援に実際に関わることが求められている様々な関係者と少年司法関連機関との関係が脆弱であることが課題である。連携というレベルに至っておらず、関係そのものがない場合もある。例えば、学校の教員は AAC などのフォーラムの存在すら知らないといった状況である。サブカウンティレベルの AAC では教育事務所が出席者に指定されているが、サブカウンティの教育官が出席するのみである。また、保護観察所などは、その任務すらも把握されていない。例えば、保護観察所は「地域における犯罪・非行の予防活動」にも従事することになっており、これは広くコミュニティ内で認知されるべき任務である。子どもたちの潜在的な非行行為や過激化傾向、薬物など関連課題を抱えている学校と保護観察所の連携が非常に弱く、ないに等しいということは、重大な問題である。上述の AAC と同様に、保護観察所で開催される Case Committee のメンバーには、サブカウンティの教育事務所のみが含まれ、実際の学校の教職員が入っていないことも少年司法関連機関とコミュニティの連携がなされない原因となっている。

3.2.4 非行少年・少女にかかるコミュニティの認識、コミュニティレベルでの少年司法関連機関による業務実施体制、具体的な取り組みと活用可能な仕組み

(1) 非行少年・少女に係るコミュニティの認識

非行少年・少女に対するコミュニティの理解は乏しく、コミュニティでの非行少年・少女への差別や拒絶が更生を妨げる原因となっている。この点については、多くの関係者が問題意識を有している。また、ケニア社会では犯罪をした者をコミュニティで裁く「mob justice」と呼ばれる仕組みが古くから存在している。非行少年・少女が施設から戻り地域で再犯すれば、コミュニティ住民に殺される場合もある⁹⁵。Mob justice による殺害は違法であるが、コミュニティが犯人をかばうこともあり、犯人が逮捕されないまうやむやになることも多い。

⁹⁵ モンバサ マウエニサブローケーションのアシスタントチーフからの聞き取り（2021年7月12日）

(2) コミュニティレベルでの少年司法関連機関による業務実施体制

ケニアの中央政府ラインにおける最末端の行政機関事務所は、サブカウンティ (Sub-County) レベルである。少年司法関連機関についても同様にサブカウンティレベルが最末端である。実際に家庭復帰と更生が行われるのはコミュニティレベルであるが、サブカウンティの事務所から全てのコミュニティをカバーすることは難しく、児童専門官・保護観察官のコミュニティでの保護・更生への関与は非常に限定されている。例えば、児童専門官・保護観察官がサブカウンティの中心部にある事務所からコミュニティに出向くには時間も交通費もかかり、十分なフィールドワークをすることができないことが課題となっている⁹⁶。

サブカウンティ以下の行政単位における少年司法関連機関の従事者は、児童局の児童保護司(Child Protection Volunteers)、保護観察局の保護司 (Community Probation Volunteers) である。ただし、上述の通り人数は限られており、広大な面積を持つ地方部のサブカウンティにおいては十分な活動ができない。また、無報酬で交通費等の負担を個人に強いる制度となっているため、経済的に余裕のある人以外は従事することが難しい。加えて、研修などの知識・技術面でのサポートが乏しいこともボランティア活動への意欲の維持を難しくさせている⁹⁷。これらの点に留意が必要だが、保護観察局はボランティア増員の計画があることから、増員後の効果については期待できる⁹⁸。

コミュニティレベルでのその他の保護・更生を担うアクターとして、警察が実施している Community Policing の担い手であるニュンバクミというボランティアが存在する。ニュンバクミとはスワヒリ語で 10 の家という意味で、10 軒の家庭を一つのクラスター単位として、そのクラスター内の家庭の安全を監督する [36]。全国のニュンバクミのボランティアの総数は確認することができなかったが、都市部、農村部を問わず全国で浸透している制度であり、10 家庭ごとに 1 名となると相当の数のボランティアが存在する。例えば、マチャコスのアティリバーサブカウンティのルケニア・ロケーションだけでも約 320 名のニュンバクミボランティアが存在する⁹⁹。

他の少年司法関連機関である裁判所、刑務所、検察には、コミュニティレベルでの保護・更生の従事者は存在しない。

(3) 少年司法関連機関とチーフとの連携・調整

聞き取り調査において、コミュニティでの非行少年・少女の更生にかかる関係者として必ず回答に上がってきたのが、チーフである。しかしながら、チーフの業務として非行少年・

⁹⁶ マチャコス アティリバーサブカウンティ児童専門官 (2021 年 7 月 20 日)、保護観察局及びマチャコスカウンティ保護観察官の聞き取り (2021 年 8 月 2 日及び 3 日)

⁹⁷ 多くの場合、研修は採用当時に受けた新任研修のみである。継続的に研修が実施されないと、ボランティアを活用することは難しいと思われる。

⁹⁸ マチャコスカウンティ保護観察官からの聞き取り (2021 年 8 月 2 日)

⁹⁹ マチャコス アティリバーサブカウンティのルケニア・ロケーションのチーフからの聞き取り (2021 年 7 月 23 日)

少女の更生は明文化されておらず、少年司法関連機関からの報告や相互の相談体制が形成されているわけでもなく、その役割は具体性に乏しい。

チーフによる非行少年・少女の更生及び社会復帰・再統合への関与をより確実なものにするには、児童専門官もしくは保護観察官が作成する各少年・少女のアセスメント後の個別処遇計画にチーフが負うべき具体的な TOR が盛り込まれる必要がある。また、個別処遇計画が作成された上で、チーフとその他コミュニティレベルの関係者間で合意形成がされ、報告体制が構築されることも必要である。しかしながら現状では、少年司法関連機関とチーフの連携はドナー支援が活発な一部の地域を除き存在しない。そもそも、アセスメントと個別処遇計画の策定自体がどの程度行われているかという点も明確でないが、計画に基づいた関係者の連携については聞き取りでは確認することができず、行われている可能性は非常に低い。

非行少年・少女の更生へのチーフの関与として、アドホックに更生学校での会議へ出席すること、および保護観察官や児童専門官からの依頼を受けて情報収集を行うことが確認された¹⁰⁰。更生学校での会議については、NGO の CEFA などが支援する出所前の家族会議に出席者の一員として、少年・少女が復帰する先の地域のチーフが招へいされたものと思われる。他方で、児童専門官や保護観察官が非行少年・少女に関する個別の会議に独自にチーフを招聘したという情報はなかった。また、チーフが保護観察官や児童専門官から電話で依頼を受け、裁判前調査のための情報収集を行うケースは多い。基本的には少年司法関連機関のオフィサーからの依頼に応じる形でのみチーフは活用されているというのが現状である。

(4) コミュニティでの非行少年・少女の更生の取組み

児童専門官もしくは保護観察官からの依頼によるもの以外の更生や社会復帰への関与は、チーフ自身の個別の問題意識やコミットメントによるものが大きい。モンバサのニヤリ・サブカウンティのマウエニ・サブロケーションのアシスタントチーフによる地元スラム居住地区の若者支援はその例である。

このアシスタントチーフは、コミュニティによる「拒絶」の傾向があることを理解しており、コミュニティによる差別を克服するために2週間に1度、自分の開催するバラザ（住民集会）にて、受刑者の受け入れについて依頼し、何かあった場合は自分に報告することも要請するなど、積極的にコミュニティの理解と協力を求める活動をしている。またバラザだけではなく、彼らの親との対話、スポーツ活動やコミュニティ活動への元受刑者たちの巻き込み、（不定期職ではあるが）職の紹介などを実施しており、元非行少年の若者たちからの信頼も厚い。しかし、これは児童専門官や保護観察官との連携の下で行っているものではなく、アシスタントチーフによる独自の取組であり、制度として実施されているわけではない。

¹⁰⁰ マチャコス アティリバーサブカウンティのルケニア・ロケーションのチーフからの聞き取り（2021年7月23日）

ただし、コミュニティの状況から mob justice など非行少年・少女らの身に危険が及ぶ可能性が懸念される場合は、アシスタントチーフは保護観察官と連絡を取り、家庭状況を法定施設へ伝えて、コミュニティに戻さないようにしてもらいなどの手段をとる。チーフは、このような保護観察官への情報提供を通じて、環境調整の一端を担っている。

しかし、少年司法関連機関に所属するボランティア、保護司、児童保護司のいずれからもあまり協力は得られていない¹⁰¹。ボランティアも家族がおり時々しか活動ができず、個人での費用負担を伴う活動は継続が難しく、数が減少傾向にある。しかし、このアシスタントチーフは、自分の生まれ育ったコミュニティでの非行や犯罪の多いこと、また非行少年・少女にも福祉的なニーズが高いことを理解しており、予算はないが地道な活動を続けている。

(5) コミュニティでの保護・更生に活用可能な仕組み

上記の例のような地元を大事に思う内発的な動機が、更生保護の分野では重要となる。日本の保護司も、コミュニティ内に存在する町内会などのフォーラムから保護司会へと上げられる推薦を経て、その地域の有力者や篤志家などが選ばれるが、この地元の将来のためにボランティア活動をするという精神に基づいている [37]。

ケニアのボランティア制度の中で、特にニュンバクミはこの地元を守る精神に根差したものである。聞き取りで話を聞いたチーフ及び村長老によると、「報酬がない事は他のボランティアと変わらないが、自分の住む地元をより良くするという動機に根付いているので、ニュンバクミのボランティアは機能している。」とのことだった。これに加え、自分の居住する家の周辺で行う活動であるため、周りからの認知も高く、交通費などのコスト負担が掛からない事も活動が継続され、定着してきた理由であると推測される。

ニュンバクミが更生に関わることができるのか、という点については、意見が分かれる。受刑者の更生を主な任務とする保護観察官によっては、逮捕する側の人間に更生の支援は担えない、厳罰主義の色が強くなりすぎる懸念があると言及する者もいる。しかし、上述のようにボランティアの絶対的な人数の多さと、地元に着して認知度が高く、また重要な関係者であるチーフ、村長老らと密接に関わってボランティア活動を行っていることなどを考えると、コミュニティの既存のシステムにおいては、最も活用の可能性が高いといえる。親組織の警察だけでなく、更生保護を担当することになっている児童専門官事務所や保護観察所の業務とうまく連携できる形を模索・構築し、また更生の担い手としての能力向上をはかる研修なども行うことで、効果を発揮することは十分可能であると思われる。

¹⁰¹ モンバサのマウエニサブローケーションのアシスタントチーフからの聞き取り（2021年7月12日）

3.3 現在の施策、体制、関連組織における課題

3.3.1 Children Act 2001 の改正（Children Bill の承認）の遅延

Children Bill の国会承認と Children Act の改定は、少年司法分野における喫緊の課題である。3.1.1 で既述のとおり、2021 年 7 月の本調査時点ではまだ国会の承認を得ていない。NCAJ による Children Bill 2018 作成以降、改正法案の成立がないまま既に 4 年目に入っている状況である。

Children Act は CRC、ACRWC の批准（それぞれ 1990 年、2000 年）に伴い制定された子どもの基本法で、少年司法においても基本となる理念と法的枠組みを提供するものである。子どもの分野において、同法の成立は大きな意味を持つ。ケニアに限らず、法律が制定されてもその執行や実践に課題が残ることはままあることだが、特にケニアの Children Act 2001 制定時の課題として、Act の各条項を実行するための手順の規定（rules of procedures）を欠いたまま制定されたことで、各機関は Act ではなく既存の規定を適用することになったことが指摘されている [2]。また、新憲法が 2010 年に制定されていることから、新憲法との整合性を確保することも非常に重要である。刑事責任を問う年齢についても 8 歳となっており、国際的なスタンダードと比べても低い。少年司法における潮流である ADR やダイバージョン等に加え、近年の課題（過激化、人身取引、インターセックスチルドレンの存在等）へも有効に対応できるよう、Children Act の改正を早急に行って実効性のある法的枠組みを整備することが望まれる。

3.3.2 非行少年・少女にかかる児童専門官、保護観察官の役割分担が不明確

聞き取りにより、非行少年・少女の取り扱いを行う担当官についての認識が統一されていないことが判明した。例えば、保護観察官は、低年齢の子どもであっても「非行性」が認められる事案はすべて保護観察官が担当すると主張するが、18 歳以下の子どもに関しては、非行少年・少女であっても要保護児童であってもすべて基本的に児童専門官が担当するという意見の関係者もいる。UNODC も Children's Act の理念を根拠に、児童局に焦点を当てた支援を実施している [22]。

児童専門官事務所と保護観察所の関与については、裁判所から、非行少年・少女の事案にかかる社会調査報告書が児童専門官事務所と保護観察所、どちらの事務所によって記載されたかというデータを入手しない限り、正確な実態を把握することが難しいと思われる。本調査から判明したことは、児童専門官事務所は非行少年・少女の取り扱いも行っているが、審判前の段階までが主であるということである。更生学校に送致された非行少年・少女の個別情報を管理し、それを基に、家庭やコミュニティでの環境調整や再統合支援を行っている事実は確認できなかった。

保護観察官からの聞き取りでは、社会調査報告書の作成から関与し、社会内処遇となった非行少年・少女を保護観察の対象者として監督すること、また彼らの更生を任務として自覚

していることが確認できた。また、そのために必要となる施設との連絡調整を行っていることも確認された。社会調査報告書の作成にあたっては、保護司のほか、児童専門官からも情報を得ていることも明らかとなった。

Box 3-3 児童専門官事務所による取組の好事例

ー児童専門官事務所による取組の好事例ー

非行少年・少女のケースについて、児童専門官が保護観察所よりも頻繁に取り扱っていることが唯一確認されたのが、ナイロビのキベラ・サブカウンティの児童専門官事務所である。同サブカウンティの保護観察所も同時に訪問をしたが、保護観察官は少年・少女の事案はほとんど取り扱っていないと回答し、児童専門官事務所では毎月 2、3 件は少年司法制度で審判を受けるケースを取り扱うという回答があった。

また非行のダイバージョンのケースも多く取り扱い、児童保護司の家庭訪問により、少年・少女のモニタリング・監督をしている。また、モニタリング・監督の報告書様式が同事務所で策定されており、学校もしくはチーフからのコメントも反映させ、児童保護司が記載して提出している。

ナイロビのスラム居住区は、特殊な環境である。治安は劣悪で犯罪・非行率が高く、非行少年・少女のケース数が多い。一方、大小さまざまな民間の支援が入りやすく、行政機関とも連携・協力をして政府予算だけでは実施しきれない業務をサポートしている。キベラ・サブカウンティの場合、AAC についても外部支援を受けて実施できていた。また、児童保護司に対する支援などもあり、ボランティアを十分に活用することもできている。キベラ・サブカウンティと類似の環境であるナイロビのマカダラ・サブカウンティでも、要保護児童の福祉のケースを多く扱いながらも、非行も少なからず取り扱っていた。しかし、それ以外でのカウンティ及びサブカウンティでの児童専門官事務所による非行少年・少女関連業務については、聞き取りの中で明確に言及されることはなかった。

3.3.3 児童局管轄の法定施設と児童専門官事務所間での連携の欠如

施設内処遇を受けた非行少年・少女が出所した後、家庭やコミュニティで継続的に更生とその後の自立を図るためには、法定施設とサブカウンティの児童専門官事務所との出所前の連絡調整が必須である。しかし、施設から児童専門官事務所への情報共有がなされていないため、児童専門官事務所では更生学校等へ送致された非行少年・少女に関する個別データを管理できておらず、それゆえに、両者間での少年・少女と家庭の状況についての進捗の情報共有が行われていない。さらに、被害者ケアと和解の準備、家族の受け入れ準備、学校など少年・少女が関わる予定の機関との調整、出所後の継続的監督、アフターケアもなされていないという状況である。この課題は特に更生学校で顕著である。

更生学校側は、少年司法分野、特に社会再統合に対して長年支援を行っている NGO の介入により、出所者の一部に対して、家族会議や少年・少女の出所前の準備を実施できている。

しかし、入所の連絡と入所直後の少年・少女のアセスメントについては、Throughcare ガイドラインの規定上、少年・少女の出身地の児童専門官事務所に連絡することが定められているが、実際には実施されていない。児童専門官事務所側も、家庭及びコミュニティに戻ってからのアフターケアを行うことになっているにもかかわらず、実施できていない。

少年院と保護観察所の間では部局を超えて情報のやり取りをしており、この体制が社会再統合やアフターケアを通じた更生・自立につながっている。他方で、児童局のラインにおいては、制度及び業務規程上は法定施設と児童専門官事務所間での情報共有を行うことが求められているものの、現実的には十分に実施されていない。この問題の原因については、より詳細な情報収集と分析が必要である。UNODC の報告書が指摘しているように、様々なレベルの児童専門官やアシスタントチルドレンオフィサーに対する Throughcare にかかる研修が不足している可能性や [32]、広範な業務内容に対し、人員が不足している可能性などが考えられる。いずれにしても、施設と児童専門官事務所間での情報のやり取りと双方におけるデータの管理がなければ、少年・少女自体が社会内に戻った際に、更生学校などの施設から出所している事実自体が把握されていないことになり、その先の個々の少年・少女に必要なサポートの提供にまで達することができない。児童局でも Throughcare ガイドラインの規定が実施される体制が作られることが、まずは課題解決の第一歩である。

3.3.4 脱施設化の流れの中でのコミュニティ内の過激化問題

脱施設化の流れ、ダイバージョン、司法手続きによらない Alternative Resolution を目指す傾向が強まっていることが司法関連機関の聞き取りから確認された。起訴権限が警察から検察に移り、検察は Diversion policy に沿ってこれを推進している。また、裁判所の審判を受けた後も「施設は最後の手段（少年・少女の施設収容の最小限度の使用）」という国際準則 [38] の原則に従い、児童裁判官は施設送致に消極的であることから、社会内処遇の需要は高まり、ますます社会内での更生プログラムが求められているといえる。

「社会内処遇」について、保護観察官による保護観察命令や社会奉仕命令に付された少年・少女の監督だけでなく、ダイバージョンで司法手続きにより処理されなかった非行少年・少女の事案やギャンググループ活動のケースまで範囲を広げて考える場合、誰がどのようなフォローアップをするのかは何も決まっておらず、何もされていないケースも多々あると思われる。ダイバージョンを通じて、コミュニティ内に非行少年・少女が存在し続けることになるが、彼らはいわゆる保護観察命令を受けているわけではない。コミュニティレベルの関係者が主体となって監督やモニタリングを行う必要はあるが、現実的には、ダイバージョンを受けた少年・少女の把握すらできていない。チーフらがダイバージョンのケースに携わることはあるが、これらを記録したデータはなく、これらがサブカウンティレベルの児童専門官などに共有されるシステムもまた存在しない。

児童局の非行少年・少女の取り扱いの不明瞭さ、希薄さの課題ともつながるが、このダイバージョンの対象となったコミュニティ内の非行少年・少女を誰が監督するのかが決まっていないという点は非常に深刻である。非行少年・少女には過激化のリスクが少なからず存在することから、ダイバージョンの対象となった非行少年・少女の保護・更生が適切に行われないと、コミュニティ・地域の安定にとって大きな脅威となる。

保護観察所は基本的に裁判所に付随した業務を担当する。司法制度手続きによらない子どもの非行の問題については、非行を含むあらゆる子どもの課題を担当する児童専門官の役割がやはり重大であり、そこにコミュニティの関係者であるチーフ、学校、警察、親、ボランティアなどとのしっかりとした連携体制の構築が必要となると思われる。ダイバージョンを適用された非行少年・少女のフォローについて、学校や警察との連携に比較的強い児童専門官が担当すべきか、非行の繰り返しやさらなる犯罪への関与を避ける予防の観点から保護観察官が担当すべきか、についてはさらなる検討が必要だが、上述の通り、いずれからの機関が監督・モニタリングの介入をしなければ、過激化するリスクをはらんでおり社会の脅威となると思われる。

3.3.5 コミュニティでの連携フォーラム及び少年司法関連機関とコミュニティとの連携の不足

個々の少年・少女にとって必要なサポートを行いながら、家庭や親に対しても個別の支援を実施する体制は、コミュニティレベルで実現するものである。サブカウンティに所在する児童専門官事務所や保護観察所による個別の少年・少女の家庭訪問は、交通手段の確保の難しさや予算制約により、十分に実施することは難しい。このような状況下で、コミュニティレベルでの関係者の参加や調整を強化し、サブカウンティレベルの少年司法関連機関と密に連携する体制構築が求められる。現状では、コミュニティレベルでの非行少年・少女の保護・更生に係るフォーラムはなく、ドナー等の支援を得られる一部の地域でのみ、AACの会議が実施されている。

個々の少年・少女の施設出所を支援する NGO の関係者らは、AAC は活用可能なフォーラムであるが、開催されるレベルは、より家庭や少年・少女本人に近いロケーションのレベルで、頻度は4半期に一度から毎月にするべきという見解を述べている。すなわち、フォーラムのレベルは地区で、さらにサブカウンティレベルのフォーラムと連携する体制ができていなければならない、また会議の頻度も増やすことが求められている。

AAC の Sub-Committee -Child Protection Working Group として「非行少年・少女の更生」グループを形成することで、メンバーによる更生支援活動を基軸とした取り組みの実施は可能である [39]。少年・少女の更生を社会内で支えることになる関係者らが、個別具体的な役割を担い、その進捗を共有しあうよう具体的な TOR を課すことも一案になると思われる。

3.3.6 施設に收容された非行少年・少女の教育権の保障

ケニアでは、施設に收容された非行少年・少女が、公教育を受けることができないケースがある。施設に收容されている全ての子どもの教育プログラムは、公教育システムに統合されなければならないことが 2016 年に Eldored High Court において確認されている [2]。しかし現実には、公教育が提供されていないケースも多く、教育を受ける権利（子どもの権利条約第 28 条）に反しており、早急に改善が必要である。

表 3-19 は本調査で聞き取りを行った児童拘置所、更生学校、少年院、保護観察宿舎について、公教育の提供状況を整理したものである。これによると、児童拘置所では制度上実施されず、更生学校では、初等教育レベルの公教育は提供されているが、中等教育はない。保護観察宿舎はもともと開放施設であるため、外部の初等・中等教育へのアクセスは可能である。少年院は初等、中等とも提供されており修了試験も受けることができるなど比較的充実している。

表 3-19 施設における公教育提供状況

施設種別	所管	期間	公教育提供状況	
児童拘置所	DCS	6 か月以内	無	制度上なし ¹⁰² 。
更生学校	DCS	最長 3 年間	有 初等のみ	カベテ更生学校：公教育教育プログラムは義務として全員が受ける ¹⁰³ 。 リコニ男子更生学校：算数、スワヒリ語などの公教育が提供されている（初等教育レベルまで）。現在、中等教育プログラムはなくなり、全施設で初等教育の提供のみとなっている ¹⁰⁴ 。
保護観察宿舎	PACS	1 年	有	シャンズ男子保護観察宿舎：公教育の提供が基本のプログラムで、社会と断絶しない開放型の施設であるため、施設外の普通の学校に通学する ¹⁰⁵ 。
少年院	KPS	最長 3 年	有	カマエ少年院：公教育は、小学校 7 年、8 年、中等学校 1 年～4 年まで受けることができ、現在は中等学校 3 年生までクラスがある ¹⁰⁶ 。 シモラテワ少年院：教育省のガイドラインに沿って実施する通常教育と職業訓練のプログラムがあり、各少年はいずれかを修了する。いずれも刑務官が教員を務める。通常教育プログラムで初等学校、中等学校を修了する際には、それぞれ KCPE・KCSE という全国試験を受ける。 ¹⁰⁷

出典：各施設聞き取りに基づき調査団作成

¹⁰² Machakos Girls' Rescue Centre and Children Remand Home 聞き取り（2021 年 7 月 22 日）

¹⁰³ Kabete Rehabilitation School 聞き取り（2021 年 7 月 8 日）

¹⁰⁴ Likoni Rehabilitation School 聞き取り（2021 年 7 月 14 日）

¹⁰⁵ Shanzu Boys Probation Hostel 聞き取り（2021 年 8 月 4 日）

¹⁰⁶ Kamae Girls Borstal Institution 聞き取り（2021 年 7 月 6 日）

¹⁰⁷ Shimo la tewa Bortal Instituion 聞き取り（2021 年 7 月 13 日）

ケニアの義務教育は6歳から14歳までの8年間で、初等教育（8年間）に相当する。よって、教育権の保障の観点から、児童拘置所も含めて最低限の義務教育（初等教育）は提供されなければならない、また、中等教育も提供されることが望ましい。ただ、卒業証書に発行施設名が記載されることで雇用の妨げとなることが指摘されており、配慮が必要とみられる¹⁰⁸。

教育の内容（カリキュラム）や質も担保される必要がある。教育省による支援は限定的で教材も不十分であり、教員についても、ケニア教育サービス委員会（Teachers Service Commission：TSC）を通じた配置ができていないことが指摘されている [2]。非行少年・少女の背景を考えると、丁寧な個別対応が必要なケースも少なくないことが容易に想像され、教員の高い力量が必要な現場のはずである。教育は基本的な子どもの権利であり、また、更生・社会統合の観点からも施設における教育権を保障する必要がある。

3.3.7 統合されたデータ管理システムの構築

各少年司法関連機関がそれぞれ独自にデータ管理をしており、統合された管理システムがないことは、ケニアの少年司法分野の課題である。NCAJが統合されたデータ管理システムとして開発を試みた Juvenile Justice Information Management System（JJIMS）は、パイロット地域での運用は行われたものの、最終化に至っていない。よって、子どもに特化したデータ収集ツールを持たない裁判所、矯正局、警察では、個々の組織内でも、非行少年・少女の現状について統計的に把握できていないものと想定される。

少年司法に関連する機関は政府機関だけでも6機関あり、その連絡・連携体制の強化において、統合されたデータ管理システムの不在は大きな障壁である。DCSでは既に、デジタルデータベースである Child Protection Information Management System（CPIMS）を整備し、2017年より運用を開始している。DCSの Child Protection Report 2016-2019は、CPIMSを通じて取得したデータを活用して作成されたもので、「根拠にもとづく子どもの保護プログラムの策定（evidence based child protection programming）」に向けて大きく進展したとしている [40]。少年司法分野についても同様に包括的なデータに基づき現状の把握と分析を行うことが求められており、データ管理システムの整備は大きな課題となっている。

なお、JJIMSが最終化に至らなかった具体的な要因は聞き取り調査では確認できなかったが、統合データベースの構築・維持、活用のためには、技術的・人的・財政的な整備が必要と考えられる。改めて、何がボトルネックになっているのか、検証する必要があるとともに、CPIMSの経験も活かして、実用性のあるデータ管理システムの構築が望まれる。

¹⁰⁸ UNICEF 聞き取り（2021年7月12日）

3.4 非行少年・少女の保護・更生にかかるドナー等の動向

犯罪や司法分野のドナーである UNODC、子どもの保護の観点から少年司法を支援する UNICEF、更生プログラムを現場で支援している NGO の CCA と CEFA に加え、ケニアのソマリア人元ギャングを対象に、脱過激化と社会復帰を支援する日本の NPO 法人アクセプト・インターナショナルに聞き取り調査を行った。各機関の支援動向をまとめる。

3.4.1 UNODC

団体概要

UNODC 東アフリカ地域事務所 (UNODC Eastern Africa) はナイロビにある。UNODC では、犯罪や司法分野の中心的ドナーとして、司法関連機関を対象に広く支援を展開している。ここでは、UNODC が EU とともに司法分野を支援する PLEAD と、少年司法に特化した児童局支援を中心に支援動向をまとめる。

(1) PLEAD (Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya)¹⁰⁹

UNODC は、ケニア政府、EU、国連、市民社会とともに、司法サービスの改善と禁固・懲役 (imprisonment) の代替方策の活用を目指す「ケニアにおける法的エンパワメントと援助提供のためのプログラム (PLEAD)」を実施している。PLEAD は、Kenya Vision 2030 に即し、政府による犯罪司法 (criminal justice) セクター改革を支援する包括的なプログラム/パートナーシップで、資金援助を行う EU にとって、サブサハラアフリカ地域最大の司法セクター支援である [41]。PLEAD の概要は以下のとおり。

表 3-20 PLEAD の概要

名称	Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya (PLEAD)
目的 アウトカム 達成目標	<p>目的：司法サービスと刑務所収監 (imprisonment) 代替策の活用改善</p> <p>主な 4 つのアウトカム</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特に貧困で脆弱な人々の法支援に焦点を当てた司法アクセスの改善 ▪ 裁判行政とケースマネジメント強化 ▪ 刑事司法制度の質と効率性の向上 ▪ 司法セクターを通じた協力の改善 <p>2022 年までの具体的な達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 未判決ケースの 50%減少 ▪ 拘置所混雑解消のため裁判待ち拘置者の 30%減少
対象地域	<p>合計 12 カウンティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 最大規模の都市部 5 カ所：キスム、モンバサ、ナイロビ、ナクル、ウアシンギシュ ▪ 最周縁地域 7 カ所：ガリッサ、イシオロ、ラム、マルサビット、タラリバー、ワジール
期間	2018 年～2022 年
予算	Ksh4.2 billion (EUR 34.15 百万)
C/P	<p>刑事司法関連 5 機関の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ NCAJ

¹⁰⁹ [Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya \(PLEAD\) \(unodc.org\)](https://www.unodc.org/programmes/plead/)

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 裁判所 ▪ 検察局 ▪ 保護局 ▪ Witness Protection Agency (WPA)
パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ EU が資金協力をしている ▪ UNDP も、PLEAD を通じて Department of Justice in the Attorney General's Office や市民団代と協働した法的サービスのアクセス拡大支援をしている

注：WPA は 2008 年に設立された証人の安全を守る機関

出所： [42] [43]UNODC 聞き取り（2021 年 7 月 26 日）に基づき調査団作成

PLEAD が支援する 5 関連機関別の具体的な支援概要は以下のとおり。いずれの支援も少年司法の基盤強化に裨益する取り組みであるが、特に原文に「Juvenile」あるいは「Children」と記載のある支援については下線を付した。

表 3-21 PLEAD : UNODC による機関別支援概要

NCAJ¹¹⁰
<p>目的：NCAJ の連携役割の重要性に鑑みた NCAJ 事務局の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ NCAJ のカウンシル会合や技術委員会会合支援 ▪ NCAJ の戦略計画策定と実践 ▪ 刑務所混雑解消のセクターワイドな国家戦略・行動計画の策定 ▪ 裁判所利用者委員会（CUC）向けデータ収集・報告ツールを含む機関間連携協力のプロトコールとツールの開発 ▪ 性犯罪者、<u>非行少年・少女</u>、一人親家庭等のデータ収集テンプレートの開発 ▪ 刑務所収監代替策促進の法修正 ▪ CUC 研修プログラムの策定と実施 ▪ CUC による意識啓発キャンペーン ▪ NCAJ 事務局整備
裁判所¹¹¹
<p>目的：裁判行政とケースマネジメント強化による滞留しているケースの減少と司法サービスの改善ならびに代替司法¹¹²および固有の法制度（indigenous jurisprudence）促進・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 判決ガイドライン実施 ▪ ケースマネジメントシステムの強化 ▪ Active Case Management の運用化 ▪ 弁護士を立てない訴訟当事者（Pro-Se Litigants）マニュアル策定・実践 ▪ 代替司法システム（Alternative Justice System: AJS）政策策定支援 ▪ 刑務所・拘置所からの直接解放プログラム支援（assisting direct prison and remand release initiatives）¹¹³ ▪ 裁判所に設置されているカスタマーケアデスクの強化
検察局¹¹⁴
<p>目的：関連機関のサービスの質と効率性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 検察局組織改革 ▪ 起訴にかかる研修プログラム ▪ Diversion Policy, Diversion Guidelines and Explanatory Notes 等の策定 ▪ 検察官の業績管理システム策定・展開

¹¹⁰ [PLEAD Partners - National Council on the Administration of Justice \(unodc.org\)](https://www.unodc.org/plead/partners/ncaj)

¹¹¹ [PLEAD Partners - The Judiciary \(unodc.org\)](https://www.unodc.org/plead/partners/judiciary)

¹¹² 裁判とは異なる様々な紛争処理アプローチのこと

¹¹³ 具体的な内容については情報がなく不明であるが、刑務所や拘置所といった施設収容から、脱施設化や保護観察等社会内処遇への変更支援及び保釈等の促進のこととみられる

¹¹⁴ [PLEAD Partners - Office of the Director of Public Prosecutions \(unodc.org\)](https://www.unodc.org/plead/partners/prosecutions)

<ul style="list-style-type: none"> ▪ 検察局向け Active Case Management の作成・実施 ▪ データ収集能力強化 ▪ <u>子どものケースを扱うための検察ガイドの策定</u> ▪ 司法サービスワーク実施や各種広報 ▪ 検察局内部苦情制度確立・運用 ▪ 機材整備
保護局¹¹⁵
<p>目的：部署の能力強化に焦点をあて、刑務所や施設内処遇ではなく、社会奉仕命令と保護観察命令の増加を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 組織変革と標準作業手順書のレビュー ▪ 保護観察官と保護司の研修¹¹⁶ ▪ <u>Juvenile と Youth にかかる戦略策定と Juvenile の throughcare と aftercare 手続きの見直し</u> ▪ 犯罪者の再統合にかかる国家政策（National Policy on Reintegration of Offenders）策定支援と犯罪者のエンパワメントプログラム実施 ▪ 保護局職員・裁判官の研修 ▪ 広報
Witness Protection Agency (WPS) ¹¹⁷
<p>目的：関連機関のサービスの質と効率性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 標準手順書や政策の作成 ▪ 保護担当官向けの研修 ▪ 機材整備 ▪ 広報

出所： [44]の各組織別ページに基づき調査団作成

この他にも、PLEAD を通じて以下の支援が行われた。

- COVID-19 で裁判所が開かれず、審判の遅れに伴う収容の長期化が懸念されたため、オンラインでの審判を推進するために全児童拘置所にパソコンの供与を実施した¹¹⁸。
- 警察を対象に 2020 年 7 月、オンラインによる研修コースが開設された。研修トピックは性暴力や SGBV、保釈と保証金、障がい者や非行少年・少女等への対応などで、司法セクターにおける COVID-19 対応の主導機関である NCAJ メンバーとして初めて PLEAD により裨益があったものである [45]¹¹⁹。

(2) 児童局支援（少年司法関連プログラム）

UNODC は児童局に対して非行少年・少女の保護・更生に関し、以下の支援を行っている。

¹¹⁵ [PLEAD Partners - Probation and Aftercare Service \(unodc.org\)](#)

¹¹⁶ UNODC からの聞き取りによると、社会内処遇を受けている受刑者に対し、監督、メンターシップ、アセスメントができるよう、ケニアの様々な地方から選ばれた 20 名の保護観察官に対し Training Of Trainers 研修を実施している。この 20 名からさらに他の保護観察官へ研修を実施していくことで持続可能な研修体制を目指している。2021 年 6 月にマニュアルが完成し、7 月に保護観察官 10 名を対象とした研修を実施したところである。8 月に 2 グループ目の 10 名を対象に研修を行う予定である。（2021 年 7 月 26 日）

¹¹⁷ [Witness Protection Agency \(unodc.org\)](#)

¹¹⁸ UNODC からの聞き取り（2021 年 7 月 26 日）

¹¹⁹ [National Police Service online training \(unodc.org\)](#)

■ 非行少年・少女の暴力的過激化予防（Preventing Violent Extremism for children in conflict with the law）

2018年より児童局との協働プログラムとしてカナダ政府からの支援を得て実施しており、フェーズ1では、女子のキリギティ及びダゴレットィ更生学校に対して実施した。フェーズ2では、男子のワムム、カベテ、リコニ、カカメガ更生学校まで対象を広げ、過激化予防のためのライフスキルトレーニングや職業訓練の充実化、また社会再統合のためのプログラムを実施している。フェーズ2は、2021年1月から開始されており、2023年12月に終了する予定である。女子の更生学校に対しては、職業訓練用にベーカーリーや養鶏に関する資機材を供与。また男子のカベテ更生学校に対してのみ、自動車整備の資機材の供与を行った¹²⁰。

■ 非行少年・少女の更生と社会再統合にかかる提言を含む政策文書作成支援

政策・施策の項で既述のとおり、ブループリントとアセスメントにかかる以下の文書の策定を行い2021年4月に公表した。非行少年・少女の取り扱いを含め、18歳未満の子どもに対する監督・処遇の任務は児童局が担当することになっていることから、児童局を支援することとしている¹²¹。

① Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya, 2021

② Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in conflict with the Law in Kenya, 2021

■ 国家テロ対策センター（NCTC）とのパートナーシップ

NCTCとのパートナーシップで、これまで保護観察と刑務所を対象とした過激化予防にかかる研修のマニュアル作成と研修を実施しているが、同様の研修を児童局、特に更生学校の職員を対象に実施する計画がある¹²²。

3.4.2 UNICEF

団体概要

UNICEFは、教育、子どもの保護（Child Protection）、保健、水と衛生、栄養の分野等で子どもの支援を行っている。少年司法関連の支援は、子どもの保護分野に含まれ、少年司法行政、代替家族による養育や親による養育（parenting）プログラムの他、子どものための緊

¹²⁰ UNODCからの聞き取り（2021年7月26日）。なお、UNODCのPreventing Violent Extremism for children in conflict with the lawプログラム実施時に、更生学校の中で全国統一小学校試験（KCPE）を受験し、出所した元非行少年たちを対象にした奨学金を募っており、彼らが教育を断続させずに受けることが社会復帰の観点からは大切であるとのことであった。

¹²¹ UNODCからの聞き取り（2021年7月26日）

¹²² UNODCからの聞き取り（2021年7月26日）

急プログラム、Children Bill における子ども支援のための予算確保、反女性性器切除 (Female Genital Mutilation: FGM) イニシャティブなどのプログラムを行っている。

支援概要

UNICEF の少年司法分野の支援は、NCAJ のタスクフォースへの参画や NCAJ 事務局支援を通じて行っている。法律制定、施設内の処遇の質向上、政策連携・実施などを行っており、Children Bill のドラフト作成や、サービスワーク実施等に貢献している [2]。また、UNICEF 職員がプログラムオフィサーとしてタスクフォースに出向し、事務局支援をしている。

UNICEF によると少年司法分野の課題・留意点については以下のとおりである。

- NCAJ が UNICEF の支援の下、少年司法の戦略（優先順位）を立てている。ケニアで少年司法分野の支援を行う開発パートナーはその戦略に沿って整備を行ってほしい。
- 実施上の課題は一貫したデータがないこと。少年司法にかかるデータ収集のシステムがない。NCAJ は少年司法情報マネジメントシステム (JJIMS) を立ち上げパイロット地域での運用を行ったが、最終化されなかった¹²³。
- もう一つの課題は政策の実施。法律は多くあるが運用、実施が問題。政府機関がその職務を果たせるよう支援するとともに、機関間の連携支援をしている。
- その他の課題は報告書や情報を一つの場所で保管する仕組みがないこと。NCAJ は Status Report を出しているが、このレポートやその他各機関による関連のレポートを一括して保管する場所がない。そのため活動の重複が起こっている。
- 刑事責任が問われるのは、ケニアでは 8 歳以上と国際的標準と比較しても低い。そのため Children Bill を修正したが、Children Bill の国会通過の遅延が課題。

3.4.3 CCA (Collective Community Action)

団体概要

2010 年から活動を開始し、2012 年に Trust として登録されたケニアの非政府系団体で、政府系の少年司法施設内での非行少年・少女の更生支援、および少年司法関連の政府系施設職員の能力強化を行っている。カベテ更生学校内に本部があり、全 10 名のスタッフがナイロビとその周辺の政府系少年司法施設内で活動を行っている。なお、14 の非政府系支援組織から成るコンソーシアムの一員で、14 機関のうち、9 機関がイタリア系 (CEFA 含む) で残り 5 つがケニアの組織 (CCA 含む) である¹²⁴。

¹²³ システムの運用の仕方としては、チーフからの事案の報告後、対象者のデータについて警察でシステムに入力。ケースが裁判に持ち込まれなかった場合、検察によるシステム入力は不要となるが、裁判になった場合は検察、裁判官が同じシステムに入力、施設に入所後は施設でも入力する。子供が司法システムに関与しているかが分かるようにすることが目的。

¹²⁴ ケニア各地で非行少年・少女の保護・更生で活動している Faraja Foundation はこのコンソーシアムには加盟していない (CCA からの聞き取り (2021 年 7 月 19 日))

活動概要

CCA の活動は、主に①非行少年・少女の更生に係る支援（少年司法施設の中で実施）と②更生学校及び保護観察宿舎の職員の能力強化である。

①非行少年・少女の更生支援

後述の CEFA（European Committee for Training and Agriculture）と 5 つある保護観察宿舎のうち、CEFA が支援している 4 か所以外のナイロビ保護観察宿舎を支援している。概要は以下のとおり。

表 3-22 CCA による非行少年・少女の更生支援

プロジェクト名	APRIRE PROJECT ¹²⁵
目的	非行少年・少女のコミュニティへの再統合
主な活動	施設の教育プログラムの提供、カウンセリング、ライフスキルトレーニング、職業訓練ツールキットの提供、学校に戻るためのサポート（奨学金）、職業訓練に関連した道具の供与、職に従事するためのインターンシップのアレンジ等。インターンシップは、機械整備、大工、石工、美容関係等の分野で CCA スタッフが受け入れ先を探すなど
期間	2018 年 8 月～2021 年 10 月（予定）
予算	1.8 mil USD
C/P	児童局、保護局
パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Challenge network of Kenya ▪ Tangaza University College (CCA スタッフ等への OJT マニュアルの作成) ▪ African Institute for Children Studies ▪ CEFA ▪ Association of Alternative Family Care of Children

出所：CCA 聞き取り（2021 年 7 月 19 日）に基づき調査団作成

この他、CCA の更生支援においては、本来は施設の児童専門官またはそのアシスタントが行うべき個別処遇計画（ITP）¹²⁶の作成支援や、家族訪問・家庭復帰調整や出所する際の家族の元までエスコートし、家で家族会議（FGDM）を行うなどを行っている。予算不足やモチベーションの問題から、本来オフィサーが行う業務の支援や代替を行っている。

②更生学校及び保護観察宿舎の職員の能力強化

Throughcare ガイドラインに基づいて、施設内の児童専門官、保護観察官にカウンセリングの基礎、心理サポート等についての研修を提供している。保護観察官については、ナイロビ内の施設は CCA が、ナイロビ以外は CEFA が対応する。施設内のオフィサーのみが対象

¹²⁵ “Aprire”はイタリア語で“Open”の意味、スワヒリ語のプロジェクト名は“Tuwarudishe Watoto Nymbani”（子どもたちを家に帰そう）。

¹²⁶ ITP（Individual Treatment Plan）：個別処遇計画。少年の個別の最終的な更生の目標、必要な介入、具体的な支援の計画を記載するもの。児童専門官もしくは保護観察官がアセスメントを基に策定することになっている。

で、フィールドの児童専門官、保護観察官は研修の対象者ではない。家族会議（FGDM）の実施支援も行っている。

今後の計画

①奨学金支援、②非行少年・少女の社会再統合、③代替的家庭養護の一環として里親養育促進、④裁判外紛争解決・ダイバージョン（司法手続きの回避）の促進を主軸としたプログラムを申請中である。

3.4.4 CEFA（European Committee for Training and Agriculture / Comitato Europeo per la Formazione e l'Agricoltura）

団体概要

CEFA（European Committee for Training and Agriculture / Comitato Europeo per la Formazione e l' Agricoltura）は、イタリア系の NGO で 1972 年に創設された。CEFA は、世界各国で最も貧しいコミュニティを支援して、食料自給の達成と基本的な権利（教育、仕事、健康、ジェンダー平等、表現の自由）の保障を目指している [46]。CEFA は、14 の非政府系支援組織から成るコンソーシアムの一員で、14 機関のうち 9 機関がイタリア系（CEFA 含む）、残り 5 つがケニアの組織である。

活動概要

CEFA によると、2005 年からケニアで非行少年・少女の支援を開始した。ナイロビの児童拘置所から始まり、現在は、全国の政府系施設に支援を拡大し、ケニア北東部のガリッサ県にあるガリッサレスキューセンターを除く全児童拘置所と更生学校で活動を実施している。

CEFA の活動は、主に①非行少年・少女の更生に係る支援（少年司法施設の中で実施）、②児童労働に関するプロジェクト（2010 年から実施中で、非行少年・少女に限らず子ども全般が対象）の 2 つである。①非行少年・少女の更生支援の詳細は以下のとおりで、上述の CCA（Collective Community Action）と、5 つある保護観察宿舎のうち、CCA が支援しているナイロビ保護観察宿舎以外の 4 か所を CEFA が支援している。

表 3-23 CEFA による非行少年・少女の更生支援

プロジェクト名	APRIRE PROJECT ¹²⁷
目的	非行少年・少女のコミュニティへの再統合
主な活動	施設のカウンセリング、ライフスキルトレーニング、職業訓練ツールキットの提供、家族会議（FGDM）実施支援等 ¹²⁸
期間	2018 年 8 月～2021 年 10 月（予定）
予算	1.8 mil USD

¹²⁷ “Aprire”はイタリア語で“Open”の意味、スワヒリ語のプロジェクト名は“Tuwarudishe Watoto Nymbani”（子どもたちを家に帰そう）である

¹²⁸ Foster care も同プロジェクトの活動に含まれるが、CEFA はこの部分の支援は関与しておらず、CCA や FADB が実施している。（CEFA からの聞き取り（2021 年 7 月 23 日）

C/P	児童局、保護局
パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ CCA ▪ Challenge network of Kenya ▪ Tangaza University College ▪ African Institute for Children Studies ▪ Association of Alternative Family Care of Children

出所：CEFA 聞き取り（2021年7月23日）に基づき調査団作成

上記プロジェクトにおいては、予算制約上、すべての入所者を支援対象にしているわけではない。支援対象の選定については、施設内でケースカンファレンスを開催し、再犯リスクや帰還後の環境を考慮の上、施設のオフィサー間で議論して決定している。ケースカンファレンスの開催頻度は施設によって異なるが、児童拘置所は毎週、少年院、少年刑務所、更生学校は四半期に一度開催される。但し、緊急の介入を要する場合は、臨時カンファレンスを開催することもある。

今後の計画

今後計画しているプロジェクトについては、現時点では計画はなく、ドナーを探しているとのことである。

3.4.5 アクセプト・インターナショナル

団体概要

「排除するのではなく、受け入れる」というコンセプトを軸に、テロと紛争の解決に取り組んでいる日本のNPO法人で、2011年設立のNGO「日本ソマリア青年機構」を母体とし、2017年にアクセプト・インターナショナルとして法人化された。過激化リスクの高い人々や地域を対象とした過激化防止と、一度テロ組織に加入してしまった人への脱過激化・社会復帰支援などを行なっている。テロリストやギャングなどの紛争当事者が脱過激化・積極的社会復帰を果たせる道を築くことで自主的な投降を増やすこと、そして、新たな加入者を生み出さないことで、紛争地域においてテロ組織の人的勢力を削ぐ取組みを基幹事業としている。ソマリア、ケニア、インドネシアの3カ国で4つのプロジェクトを実施しており、これまで、ナイジェリアや中国（新疆ウイグル自治区）でも活動を行った [47]。

ケニアでの活動概要

ケニアのソマリア人元ギャングの若者を対象に、脱過激化・積極的社会復帰支援事業を展開している。なお、ソマリア人対象であったが、2016年以降はケニア人も対象となっている。なお、ソマリア系はムスリムということもあり、男性が大多数である。女性を支援するNGOは多く、フォーカスされず支援から漏れてしまう可能性が高いため、アクセプト・インターナショナルでは若年層の男性を対象に活動を実施している。事業概要は以下のとおり。

表 3-24 アクセプト・インターナショナルのケニア事業概要

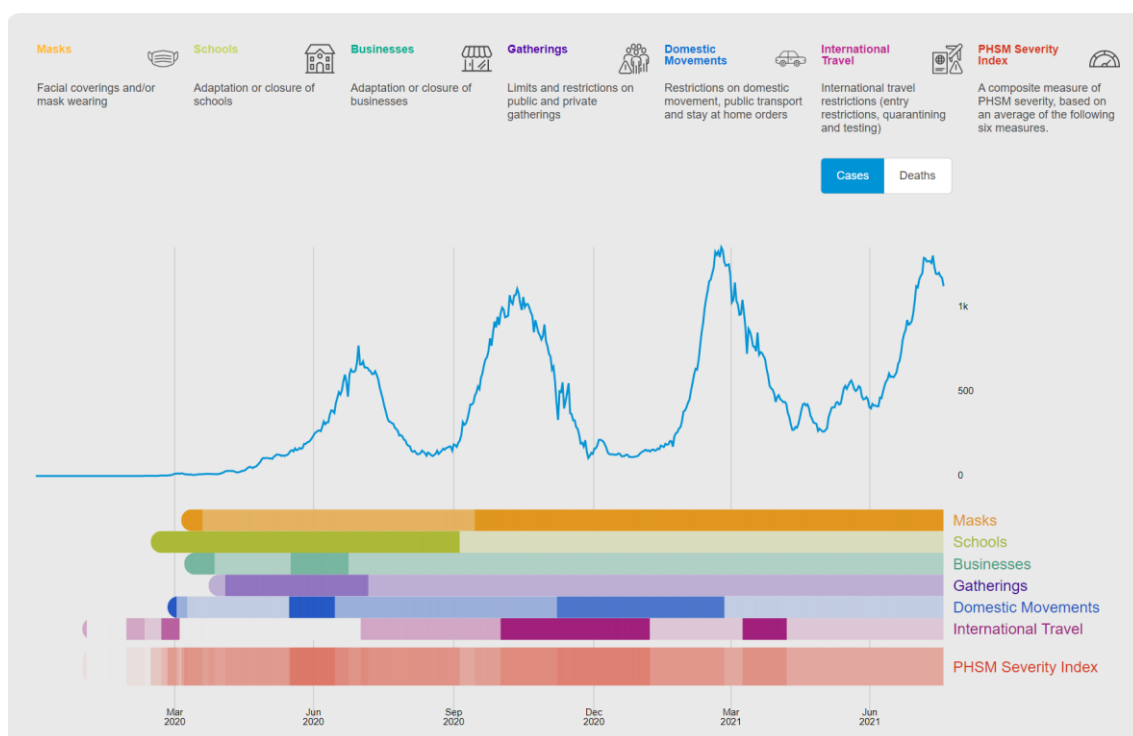
名称	脱過激化・積極的社会復帰支援事業
目的	社会から犯罪者として敬遠されているソマリア人ギャングの多くは 15～29 歳の若者であり、その将来性ゆえに「未来の社会を形作っていく存在」であるとも言え、そのような彼らの将来性に着目し、彼らを犯罪者として排除するのではなく、未来ある若者として受け入れ、彼らが自ら道を切り開く能力を培うもので、ソマリアギャングが現状加担している反社会的行為から距離を置き（脱過激化）、「未来の社会を形作っていく存在」となるために、自身あるいは社会の問題を解決する姿勢を身につけること（積極的社会復帰）を目指す
成果	累計で 230 人（1 年で 30～40 人位）受け入れと脱過激化 1 つのギャング組織の解体など
活動内容	半年間を 1 タームとして、1 人のギャングに対して計 3 ターム（1 年半）以上のプログラムを実施。プログラムは次に挙げる 5 つのコンテンツで成り立っており、参加者の段階に応じて異なるプログラムを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 ヶ月間の①意識改革プログラム（参加型議論と講義、社会貢献活動、リーダーシップ講座、修了式） ▪ 5 ヶ月間の②薬物更生プログラム、③カウンセリング、④スキルトレーニング、⑤就労支援 <p>現在は、参加者のモチベーションアップ、ライフスキル、専門スキルを 4 日間の講義と実践で学び、その後、長期フォローアップとして行動変容、就職状況調査を行っている。</p>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ソマリア人対象で開始されたが 2016 年よりケニア人も対象 ▪ 対象者は法定施設には入っておらず、軽犯罪（窃盗、強盗、薬物使用、売買等）がほとんどでそのままリリースされている社会内処遇の中にいる子どもで、基本的には元ギャング ▪ 中等教育（secondary）卒業生で失業している人が大多数
対象地域	ナイロビのイスリー地区、マザレやコロゴッチョスラムなど
期間	2013 年開始～現在

出所： [47]、アクセプト・インターナショナルヒアリング（2021 年 7 月 18 日）に基づき調査団作成

第4章 ケニアにおける非行少年・少女の保護・更生への COVID-19 の影響

4.1 少年・少女の非行・犯罪の要因における COVID-19 の影響

ケニアでは2020年3月12日から2021年8月23日までの間に229,009人の感染者、4,497人の死亡がWHOに報告されている¹²⁹。2020年7月～8月の第1波、2020年10月～11月の第2波、2021年3月～4月の第3波、2021年7月～8月の第4波と感染者数は増減を繰り返している。



出所：[48] (<https://covid19.who.int/region/afro/country/ke/measure>)

図 4-1 ケニアの1日あたりの新規感染者数と政府による対策（2021年8月23日現在）

この間、ケニア政府は COVID-19 拡大を押さえるため、以下のような対策をとっていた。

表 4-1 ケニア政府による主な COVID-19 対策措置

日時	対策
2020年3月16日～ 2021年1月2日	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の休校（小学校4年生、卒業試験のある8年生と中学4年生のみ2020年10月～登校を再開）
2020年3月16日～	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務の奨励、キャッシュレス決済の推奨

¹²⁹ [48]

日時	対策
2020年3月25日～ 2020年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> 貨物便を除く国際線の運航停止
2020年3月27日～	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の外出禁止 飲食店の営業時間短縮 公共スペースでのマスク着用の義務付け
2020年4月1日～	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値税、法人所得税、源泉徴収税の引き下げ
2020年4月6日～2020 年6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ナイロビ首都圏、モンバサカウンティ、キリフィカウンティ、クワレカウンティのロックダウン
2020年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> 若者の雇用による道路・インフラ修繕や教育インフラ（遠隔教育含む）等を含む、約537億ケニア・シリングの景気刺激策の発表
2020年6月6日～7月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ナイロビ首都圏（イスリー地区以外）、モンバサカウンティ（旧市街以外）、マンデラカウンティのロックダウン
2021年3月26日～ 2021年4月30日	<ul style="list-style-type: none"> 5地域（ナイロビ首都圏、カジアドカウンティ、マチャコスカウンティ、キアンブカウンティ、ナクルカウンティ）のロックダウン 小・中学校の対面式授業の禁止

出所： [49]、 [50]を基に、調査団作成

上記の内、特に学校の休校や、ロックダウンによる生計の悪化が、少年・少女の非行・犯罪や被害に大きな影響を与えていた。非行の危険性が高い少年・少女の家庭は、親の就労状況もインフォーマルセクターでの日雇い労働等、経済的に不安定であることが多い。ロックダウンなどの措置により、より脆弱性が増した結果、立場の弱い子ども・青少年にしわ寄せが行き、どうしようもなくなった子ども・青少年が状況に対処しようとして、犯罪に追い込まれるケースも見られた。例えば、休校や、親の就業状況の変化により性犯罪が増えたが、ケニアでは宗教や文化的理由から避妊はほとんど行われておらず、中絶は違法となっている。そのため妊娠した未成年者が、育てられないと悲観して新生児を遺棄して逮捕されるケースも発生している。また生計悪化により食料を与えられない子供が、空腹のため窃盗を行うケースも複数の関係者から指摘された。下表に、COVID-19による、少年・少女への影響や非行・犯罪及び被害事例の概要をまとめた。

表 4-2 COVID-19 と少年・少女への影響、非行・犯罪及び被害との関連概要

COVID-19 対策措置	少年・少女への影響	非行・犯罪および被害事例
学校の休校	<ul style="list-style-type: none"> 教育機会の喪失と時間のもてあまし 	<ul style="list-style-type: none"> 性犯罪（加害、被害）の増加 未成年者の違法な性行為や早期妊娠、結婚が増加 薬物利用者、利用量の増加
	<ul style="list-style-type: none"> 学校で提供されていた給食や生理用品へのアクセス消失 	<ul style="list-style-type: none"> 食料や生理用品を購入するため、売春や薬物運搬等違法業務への従事が増加。早期妊娠の増加。
経済活動の制限	<ul style="list-style-type: none"> 両親の失業、家庭にいる時間の長時間化による関係悪化、離婚 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭環境・経済環境の悪化による家出増加 SGBV による被害や家出の増加
	<ul style="list-style-type: none"> 家族の生計悪化 	<ul style="list-style-type: none"> 食料入手を目的とした、窃盗や暴行の増加

COVID-19 対策措置	少年・少女への影響	非行・犯罪および被害事例
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の仕事の減少による母親の出稼ぎ増加（住み込みメイド等） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童労働の増加 残された父親が息子、娘に性行為を強要、早期妊娠の増加

出所：児童局本局、ブルブル警察署、Village elders of Diani location、Assistant Chief of Bongwe sublocation、Nyali subcounty education officer、マチャコス Child Protection Volunteer、マチャコス警察署、Chief of Lukenya Location and Village Elder of Kwamboo village からの聞き取り（2021年7月5日、7月8日、7月15日、7月16日、7月19日、7月22日、7月23日）

4.2 COVID-19による非行少年・少女の保護・更生にかかる施策（処遇）、体制、運用等への影響

COVID-19による非行少年・少女の保護・更生にかかる施策（処遇）、運用については、以下のような影響が確認された。

表 4-3 COVID-19による施策（処遇）、運用への影響

機関	影響
法定施設	<ul style="list-style-type: none"> 収容人数の減少（受け入れ減、出所促進） 入所時のPCR検査陰性証明及び14日間の隔離 教育プログラムへの影響（試験不実施） 家族による施設訪問不可
裁判所	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで実施できるようになるまで閉廷 閉廷による社会内処遇の増加
警察	<ul style="list-style-type: none"> 性犯罪や、早期妊娠などの増加による業務多忙
チーフ	<ul style="list-style-type: none"> 非行の相談件数倍増による業務多忙
政府	<ul style="list-style-type: none"> 元非行少年・少女らも参加できる、若者への就業機会創出プログラムの実施
AAC	<ul style="list-style-type: none"> 会合の停止
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 住民集会（バラザ）の停止、再開後の人数制限

出所：聞き取りに基づき調査団作成

その詳細については、以下の通りである。

法定施設では、集団での密集を避けるため、各施設での収容数が大幅に削減された。例えば、児童局の施設であるカベテ更生学校では、COVID-19発生前の2019年12月には83人、2020年2月には65人が収容されていたが、COVID-19の影響で、施設への収容を避ける傾向が強まり、2020年6月より新規の受け入れを停止し、2021年7月の収容数は12人であった。矯正局管轄のシモラテワ少年院でも、2020年11月時点の収容人数は309人だったが、コロナの影響で収容人数は減少し、2021年7月時点では、237人であった。受け入れ停止と同時に、2020年4月～7月に施行されたロックダウンにより、カウンティ間の移動が制限されたため、実家への帰宅が困難となり、出所させることができないという状況が発生した¹³⁰。

¹³⁰ UNDPの質問票回答（2021年7月19日）

受け入れ再開後、入所時にはPCRテストの陰性証明書の提出及び、14日間の隔離が必要となった。また少年院では職業訓練プログラムの修了時に、National Industrial Training Authority (NITA) の試験を受けることになっているが、COVID-19の影響で、NITA試験官が例年通り来ることができず、職業訓練試験が実施できなかった¹³¹。また、接触を避けるため、家族による施設訪問などの取り組みも停止していた。

また、2020年は3月中旬から年末まで、裁判所が通常通り開かれなかったことから、通常であれば施設送致になるような非行少年・少女の事案も、社会内処遇とせざるを得ない状況も発生したようである。マチャコスアティリバー・サブカウンティの保護観察官からは、シャンズ保護観察宿舎に収容されていたギャンググループに関与した非行少年が施設から脱走し、地元で再補導されたが、審判にかけることができず、社会内で監督を続けたケースがあったとの話があった。かかる状況から、対面での審判の遅れを懸念し、UNODCがケニア全国のすべての児童拘置所にラップトップパソコンを供与し、オンライン裁判に対応できるように支援をした¹³²。

事件の届け出を受ける警察や、警察への届け出の前段階の相談先となるチーフからは、COVID-19による2020年3月中旬～12月の休校期間、相談件数が増加したとの回答が得られた。特に性犯罪・性虐待は多く、例としてはマチャコス警察署では、未成年者への性交のケース数は通常の3倍に増え、学齢期の女兒による早期妊娠・出産の件数も増加したとのことである。マチャコスアティリバー・サブカウンティのチーフも、少年・少女の非行で相談される件数は、通常の倍になったと証言した。聞き取りでは、警察官やチーフは、2021年1月に学校が再開したと同時に、このような子どもの事案の件数は通常に戻ったと回答した。

少年司法関連機関以外の行政機関による施策に関しては、コロナ禍における政府の雇用創出政策の一環で、Kazi za Mitaani（ストリートの仕事という意味のスワヒリ語）という若者への就業機会創出プログラムが2020年の3月～2021年の4月にかけて実施され、若者の犯罪や過激化防止に一定程度貢献した。これは18歳以上が応募できるもので、聞き取りを行ったクワレのムサブウェニ・サブカウンティ、ディアニ・ロケーションのチーフによれば、施設から帰還してきた少年たちにも応募を奨励し、応募を取りまとめる際、元非行少年やより脆弱な状況にいる若者が参加できるように考慮していた。

また集会の禁止や人数制限により、少年司法関係機関の会合や、関連のコミュニティでの集会の開催にも影響が出ている。少年司法関連機関によるフォーラムの対面式会合やAAC会合は、COVID-19以降、ほぼ開催されておらず、関係者間での協議が停滞している¹³³。またチーフによるコミュニティでの住民集会もCOVID-19以前は2週間に1回など定期的に

¹³¹ シモラテワ少年院からの聞き取り（2021年7月13日）

¹³² UNODCからの聞き取り（2021年7月26日）

¹³³ モンバサカウンティ児童専門官及びキサウニ保護観察所からの聞き取り（2021年7月14日及び8月4日）

開催されており、出所者の受け入れの依頼を含む、多くの情報共有・協議の機会となっていたが、開催が困難になっている¹³⁴。

なお、COVID-19による非行少年・少女に対するコミュニティの認識・対応の変化は特に確認されなかった。

¹³⁴ キベラサブロケーション アシスタントチーフからの聞き取り（2021年7月7日）

第5章 アフリカ諸国における非行少年・少女の保護と更生にかか る現状等の確認・分析（文献調査）

ケニア以外の東アフリカ共同体（East African Community: EAC）域内を中心に、ウェブサイト
で文献調査を行った。非行少年・少女に関する情報の量と質（情報の新しさ含む）は、国
によって異なり、関連する政府機関のホームページでも情報検索をしたが、アクセスできな
いケースもあった。ウェブ上で収集できる文献・情報にもとづいて、可能な範囲でまとめた
内容であることに留意されたい。

5.1 アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生に関する施策（処遇）、 体制、関連組織

EAC 加盟国のうちケニアを除くブルンジ、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガン
ダの5か国を対象として、キーワードを juvenile justice、children in conflict with the law、child
justice、justice for children、juvenile delinquency、child protection などとしてウェブサイト
で文献検索を行った。法制度、非行少年・少女を取り巻く状況（少年司法にかかる現状等）、政
策・施策、体制、関連機関について整理した。

5.1.1 ブルンジ

(1) 法制度

ブルンジでは、子どもの権利条約（CRC）、子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章
（ACRWC）とも批准しているが、子どもに関する包括的な国内法（Child Act など）は確認
できなかった。

表 5-1 ブルンジ：子どもに関する法制度

条約・法令等	批准・制定年
国連児童の権利に関する条約（UNCRC）／ 子どもの権利条約（CRC）	1990年10月批准
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（ACRWC）	2004年6月批准
子どもに関する包括的な国内法（Child Act など）	確認できない

出所： [51] [52]に基づき調査団作成

また、Burundian Penal Code 2009 では、刑事責任を問う年齢を13歳から15歳に引き上げ
たとある。なお、2012年3月時点の情報であるが、非行少年・少女の保護に関する法案（Bill
on the Protection of delinquent children）が国会で制定に向けて検討中とある [53]。

(2) 非行少年・少女を取り巻く状況

ブルンジは1962年のベルギーからの独立後に民族衝突が繰り返し発生し、長期の内戦に
よって経済基盤が荒廃、飢餓や貧困、大量の帰還民など多くの問題を抱えている。2007年
に東アフリカ共同体に加盟し、東アフリカ諸国との関係を強化しながら、貧困削減と経済の

安定を目指していたが、2015年5月、国軍によるクーデター未遂事件の発生以降、国内では人権・治安状況の悪化が続いた。ブルンジでは、有害な労働や人身取引、ジェンダーに基づく暴力（SGBV）を含む暴力、虐待、搾取の被害者や目撃者となっている子どもが多くいる。

UNICEFのホームページによると、子どもの権利にかかる課題として、出生登録の不備、子どもへの暴力、児童労働、ストリートチルドレン、子どもの保護にかかるデータ情報管理未整備の問題が挙げられる。ストリートチルドレンについては、2017年1月から2018年6月までに男子2,221人、女子177人が逮捕された。政府関係者が、ストリートチルドレンは武装団体にリクルートされやすく、安全保障上のリスクであるとみなしたためである。路上で生活し働く多くの子どもは強制的に移動させられ、親によるケアに欠ける子どもは特定の公的機関に收容されることが多い。ここ数十年、子どもの司法（Justice for children）分野では、警察や裁判所の能力強化が行われたものの、子どもの保護関連の法律・政策の実践や「子どもにやさしい法の執行（child friendly law enforcement）」など司法システムの実践面ではほとんど進展がない [54]。

UNICEFブルンジ事務所スタッフの刑務所で生活する子どもの実態報告（2014年10月15日）によると、ブルンジには11の刑務所で192人の子どもたちが厳しい環境で生活している。首都にある国内最大の刑務所では、定員800人のところ定員を大幅に超えて2,800人以上の成人と一緒に約80人の子どもが收容されている。15日以上拘留は禁じられているものの、裁判まで何か月も待たなければならないことも頻繁にある [55]。

上述の実態報告から2年後の報告（2016年7月28日）によると、進展がみられている。RumongeとRuyigiで新しい再教育センターが設立され、若者は安全な環境でカウンセリングや教育の機会、進行中の裁判に関する司法サービスを受けられるようになった。この再教育センターは、2015年社会政治的危機が発生する2日前に開設され、ブルンジの11の刑務所に收容されていた少年全員が移送された。しかし、2015年4月以降、300人以上の子どもたちが、「武装勢力への参加」や「デモへの関与」などに関連した犯罪容疑で逮捕・拘留され、その多くが成人の刑務所に送られた。UNICEFが、国連人権高等弁務官事務所（Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights: OHCHR）やNGOなどのパートナー団体と協力し、継続的なアドボカシー活動を展開したことで、100人以上の子どもたちが釈放され、家庭復帰した子どもや再教育センターで保護されて裁判所の決定を待っている子どもがいるとある [56]。

なお、Rumonge再教育センターには“デジタル・キオスク”と呼ばれる、子どもたちが利用できる太陽光発電のパソコン設備がある。そのため、インターネット回線なしでも、ICTや数学、識字を学ぶことができる。子どもたちの多くは、自宅に戻るとコミュニティから疎外され、差別を受けることがよくあるが、2015年11月に設置されたデジタル・キオスクは、子どもたちに、さらなる学びの機会を与え、好奇心を刺激し、将来の雇用の可能性を広げて

いる。再教育センターの運営を開始して1年の時点で、再犯ケースはわずか2件とのことである [56]。なお再教育センターでは、ベルギー系の民間団体 Terre des Hommes がベルギー及び UNICEF 支援により再犯防止と社会への再統合を目的とした支援を行っている [57]。

(3) 政策・施策

ブルンジにおける政策・施策文書に関するウェブ上の情報は限られる。UNICEF のホームページ上の情報では、Child Protection Policy 2020-2024 とアクションプランが策定されているとある [58]。しかしながら、当該資料は入手できなかった。

(4) 体制・関連組織

ブルンジの子どもの保護に関する主管省庁は、Ministry of Human Rights, Social Affairs and Gender (MoHRSAG) の Department of Family and Children である。少年司法については、Ministry of Justice の他、National Solidarity Human Rights and Gender も関与する。

5.1.2 ルワンダ

(1) 法制度

ルワンダでは、CRC、ACRWC とも批准しているが、子どもに関する包括的な国内法 (Child Act など) は確認できなかった。

表 5-2 ルワンダ：子どもに関する法制度

条約・法令等	批准・制定年
国連児童の権利に関する条約 (UNCRC) / 子どもの権利条約 (CRC)	1991年1月批准
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章 (ACRWC)	2001年5月批准
子どもに関する包括的な国内法 (Child Act など)	確認できない

出所： [51] [52]に基づき作成

ルワンダでは、ほとんどの非行 (delinquent behaviours) には、law No . 01/2012/OL of 02/05/2012 instituting the penal code が適用される。犯罪でない反社会的行為は既存の命令・規則 (Order & Regulations) が適用され、例えば、キガリ市にある更生センターとトランジットセンターについては、そのマンデートと機能を規定したキガリ市通達 (instruction) が適用される [59]。

(2) 非行少年・少女を取り巻く状況

ルワンダでは、2016年に非行に関する包括的な国家政策として National Policy Against Delinquency を制定している。同政策の現状分析によると、特に若年層 (youth) の非行 (delinquent behaviours) が増加傾向にある。これは、人口の14歳から35歳の層が最も非行に陥りやすいからであるが、一方で、非行率 (delinquency rates) は、彼らが年齢を重ねるに従い低下する傾向もある。ルワンダ社会における非行については、その多くが冷静かつ故意に実施されるものではなく、その要因・背景としては歴史的、環境的なものがある。特に子どもと若年層 (youth) 間で増大する非行問題の重要な要因として、①薬物、②貧困、③失

業、④教育の欠如¹³⁵、⑤家族の機能低下、⑥暴力・虐待¹³⁶、⑦仲間の影響が挙げられる。また、若年層の非行の防止と対応における課題としては、①中央の計画枠組みがなく関連機関の連携やフィードバックが不十分であること、②雇用機会の不足、③収容施設で身に着けたスキルと雇用市場需要のミスマッチ、④長期的な社会復帰・フォローアップ戦略やメカニズムの不在を挙げている [59]。

Justice for Children Policy (2014) でも、子どもの司法分野の課題として、まず、訓練を受けたソーシャルワーカー、保護観察官、警察、検察官、裁判官が不足していることを挙げている。特に、「ルワンダの司法システムには保護観察官がない (There is no probation officers in the justice system)」とある。また、ソーシャルワーカーや警察官、検察官、裁判官はいるものの、子どもにやさしいマナーで接する訓練を受けていないと指摘している。司法執行側と弁護側に、子どもに対する専門的な配慮や倫理感に欠けるものがあることや、司法システムやコミュニティメンバーの中には子どもの権利に関する理解が低いことなども指摘している。さらに、コミュニティベースの更生・再統合メカニズムの強化の必要性や、コミュニティまでカバーする社会福祉及び法律人材の数が限られるなど、主として人材に関する課題を挙げている [60]。

非行少年・少女の更生にかかる関連施設として、ルワンダには、政府系更生センター (rehabilitation center) 3カ所のうち、子どもが入所する Gitagata 更生センター (GRC) がある¹³⁷。GRC は、1975年政府により設立され、現在は18歳以上の女性と10歳から18歳未満の子ども (男女) を対象とし、ストリートチルドレン (男子) や非行を行った女子・女性が収容されている。定員は男女それぞれ500人で、更生プログラム (各種セラピー等)、医療、教育、職業訓練などが提供されている。18歳未満の子どもに対しては、公教育 (学校に戻す) も提供する。更生後は、復帰のために速やかに家族と再統合される。GRC 出所前に、明らかに行動変容がみられた場合のみ出身地の地方事務所に引き継ぐことになっている。2012年から2019年1月迄の期間に、1,307人の子どもが GCR 出所後、家族と再統合を果たしたとある [61]。

このほか、NGO や民間セクターが運営する更生センターもある。後述する非行対応に特化した機関である National Rehabilitation Service (NRS) は、民間更生センターの法令順守を監督する責任があり、14カ所の民間更生センターと覚書を結んでいる [62]。

トランジットセンターは一時的な収容施設で、全国28カ所に設置されている。原則、各ディストリクトに設置され、複数のディストリクトからなるキガリ市のみ、1カ所のセン

¹³⁵ 例えば、Ministry of Youth が実施した男性非行者には、非行のレベルと教育レベルに相関がみられ、更生中の80%は教育を受けたことがなく、14.9%が小学校中途退学であったとある。 [59]

¹³⁶ 例えば、女性非行者の調査では、73%が非行に染まる以前に身体的・性的暴力を受けた経験があり、63%が子どものときに家庭内において身体的暴力を受けた経験があったとある。 [59]

¹³⁷ 政府系更生センターの他2カ所は、18歳以上男性対象の Iwawa Rehabilitation Center、Nyamagabe Rehabilitation Center である。 [61]

ターを共有している。トランジットセンター内でも、対象者によっては教育プログラムが提供される [63]。

(3) 政策・施策

1) Justice for Children Policy (JCP) (2014)

ルワンダでは2014年、子どもの権利保障を強化するための政策として、Justice for Children Policy (JCP) が策定された。JCPの目指す成果は、以下の3つである。

- ① 子ども、家族、被害者、コミュニティの参画を通じた仲裁・回復と責任ある参加型の意思決定を促進するような子どもにやさしく迅速な司法システム
- ② 子どもにやさしく迅速な子どもの司法が提供されたクリティカルマスの増加
- ③ 効果的・効率的な子どもの司法を提供するための連携とモニタリング

JCPによると、少年司法には、①懲罰的 (punitive)、②福祉的 (welfare)、③混合 (懲罰的と福祉的) の3つのアプローチがあるが、ルワンダでは③混合 (懲罰的と福祉的) を採用している。また、JCPでは、修復的アプローチ¹³⁸を好ましいとしているが、その理由は、アブンジ制度 (Abunzi System) ¹³⁹というルワンダの伝統的な調停制度が存在すること、将来的な紛争予防につながることで、司法コストや、不要な紛争の予防を通じて費用対効果が高いこと、参加型で国民になじみがあり迅速な司法を促進するからとしている。ルワンダでは修復的司法アプローチを進めるために、アブンジ制度の司法システムへの導入にかかる改革を行った。また、従来の警察から裁判所までの流れを基本とした司法システムから、新たにダイバージョンの重要性を強調するための改革も行ってきたとある [60]。

2) National Policy Against Delinquency (NPAD) 2016

2016年、非行対策の国家政策として National Policy Against Delinquency (NPAD) が策定された。同政策は、非行の予防、対応、更生・社会再統合にかかる全ての介入の国家枠組みである。NPADでは、「非行 (delinquency) とは必ずしも犯罪ではなく社会秩序や安全に反する素行も該当し、薬物乱用、売買春、浮浪、ホームレス、常習的な物乞いや許可なく路上販売をすることも含まれる」と定義し、NPADの対象は、年齢を問わず法的に非行と分類されている行為全般を含むとある。同政策には、アウトカム、アウトプット、活動、予算、担当・関連機関を記載した5ヵ年間(2017/18から2021/22)の実施計画も含まれている [59]。NPADの概要は以下のとおり。

¹³⁸ 「犯罪者は国家の安全を脅かしたことによって制裁を受ける対象であり、両者は基本的には対立構造の中にあつた。これに対して、犯罪の処理を、被害者と加害者、被害者・加害者の生活するコミュニティの問題であると捉える考え方がある。これを修復的司法と呼ぶ」 [119]

¹³⁹ ルワンダでは、修復的司法のアプローチを行うための改革を行い、アブンジ調停委員会 (Abunzi mediation committees) を司法システムの一部とした。アブンジ/調停者が軽微な民事紛争や軽犯罪の裁判を行い、調停が失敗した場合に裁判所に送致するというものがある [60]

表 5-3 ルワンダ : National Policy Against Delinquency (NPAD) の概要

ビジョン	非行の無いルワンダ社会の実現
ミッション	あらゆる形態の非行予防と対応に向けた持続的な対策の確立
政策目標	<p>全体目標：持続的で内生的な修復的アプローチ（home-grown restorative approach）を通じ、子ども、若者（youth）及び成人の非行を減らすこと</p> <p>具体的目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 子ども・若者が非行に染まらないよう他の事に熱中・予防につながる環境・機会の整備 ▪ 更生のための持続的な方策の策定と実施 ▪ 既存の再犯予防の取組み、新たな再統合施策、及びフォローアップメカニズムの強化
基本理念	エビデンスに基づくアクション、家族を含めた更生、コミュニティ参加、修復的司法、社会的包摂、効果と効率性
優先分野	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非行予防にかかる持続的対策の確立 2. 非行対応にかかる適切な対策の策定と実施 3. 再統合とフォローアップにかかる持続的メカニズムの開発と実施 4. 統一した連携・報告枠組みの確立

出所： [59]に基づき調査団作成

(4) 体制・関連機関

ルワンダでは、Ministry of Gender and Family Promotion (MIGEPROF) が、家族、ジェンダーおよび子どもの権利擁護に関する国家政策、戦略及びプログラムを戦略的に調整する省である [64]。子どもの司法は Ministry of Justice (MINJUST) の管轄で、子どもの司法分野の政策である JCP の調整・実施を主導する機関として、議長や事務局などを務める。Ministry of Local Government (MINALOC) は、社会的保護 (Social Protection) セクターの政策主導機関である。非行の国家政策である NPAD の実施も、MINALOC が全体調整を担い、日常的な実施は各関連機関や「非行対応に特化した機関」が行うと NPAD に記載されている。MINALOC が NPAD の全体調整を行うのは、非行対応のリソースは地方レベルにあり、ボトムアップアプローチを採用するためであるとしている [59]。

NPAD に記載されている「非行対応に特化した機関」とは、2017 年に創設された National Rehabilitation Service (NRS) のことで、MINALOC が管轄する半独立的な機関のひとつである [65]。NRS のビジョンは、NPAD と同じく「非行の無いルワンダ社会の実現」である。NRS の全体ミッションは「あらゆる形態の非行撲滅」で、具体的なミッションとしては以下 9 つを挙げている。NRS には社会的・医療的更生ユニット (Social and Health Rehabilitation Unit) と非行予防・更生ユニット (Delinquency Prevention & Rehabilitation Unit) があり、公的更生

センターの運営も含まれる。民間の更生センター14カ所とは覚書を締結している。織概要はホームページから入手できる [66]。

表 5-4 ルワンダ：National Rehabilitation Service (NRS) の具体的ミッション

① 逸脱した態度・非行予防のための適切な対策
② 更生センター及びトランジットセンターの活動調整ならびにセンター運営のフォローアップ
③ 非行予防に向けた対策にかかる政府への助言
④ 更生センター及びトランジットセンター入所者へのカウンセリング提供と、素行の変革を助け必要に応じて個別処遇を行う施設内プログラムの策定とフォローアップ
⑤ 逸脱した態度・非行がみられる者の更生と社会再統合に向けた持続性のある対策策定と実施フォローアップ
⑥ 更生センター入所者に対し、社会への再統合に向け、公的な教育機関のプログラムに即した知識と職業教育の提供を保証すること
⑦ 更生センター及びトランジットセンター退所者の非行再犯予防メカニズムの確立
⑧ 非行の原因研究や非行の予防・撲滅の啓発キャンペーンの実施
⑨ 類似のミッションを掲げる他機関との連携

出所： [67]に基づき調査団作成

5.1.3 南スーダン

(1) 法制度

南スーダンでは、CRC には加入 (Accession) ¹⁴⁰しているが、ACRWC は署名までで、批准は確認できない。子どもに関する包括的な国内法である The South Sudanese Child Act が 2008 年に制定されている。

表 5-5 南スーダン：子どもに関する法制度

条約・法令等	批准・制定年
国連児童の権利に関する条約 (UNCRC) / 子どもの権利条約 (CRC)	2015 年 6 月 (Accession)
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章 (ACRWC)	2013 年 1 月署名 批准は確認できない
The South Sudanese Child Act 2008	2008 年制定

出所： [68] [69] [70]に基づき調査団作成

Penal Act, 2008 には、犯罪を犯した子どもについての特記事項がある。12 歳から 18 歳未満の場合は、上級裁判所または即座に公判に付すべきではない第 1 級と第 2 級の犯罪を扱

¹⁴⁰ 加入 (Accession) は署名を先に行わなくても、条約に拘束されることへの同意を表明する方法で、国際法上の効力は「批准」と変わらない

う裁判所によって判決が下され、矯正学校／少年院（reformatory school）などの施設送致となった場合は2年以上5年以下の収容期間となっている [71]。

(2) 非行少年・少女を取り巻く状況

子どもと女性に関する UNICEF の現状分析報告書である The Situation of Children and Women in South Sudan 2018-2020 (2021) によると、Child Act 2008 は非行も含む子どもの保護を扱う中心的な法的枠組みであるが、Child Act 2008 の認知度は低く、執行力も欠けている。長期紛争の結果、福祉と司法を含む包括的な子どもの保護システムはなく、子どもの保護問題対応能力は非常に低いため、子どもの保護機能は極端に限定的である。また Child Act を実践する規程がないため、子どもは搾取・虐待被害を受けやすい環境にある。政府は、子どもの保護に関与するアクターや、最も脆弱な子どもへのサービス規制基準設定など、効果的な子どもの保護システムを制定できていない。子どもの司法も含め全般的に脆弱な司法システムは、子どもの権利に関する国際的・国内基準に即していないため、非行少年・少女への支援や保護が不十分で子どもの権利が守られていない。子どもの違法逮捕、成人と一緒に長期拘留に加え、子どもは声を聴いてもらうこともなく、自分に関することなのに司法手続きに参加する機会もない。拘留された子どもは、ネグレクトや虐待、ジェンダーに基づく暴力（SGBV）などの被害をより受けやすくなる。また死刑（capital punishment）も適用され、少なくとも13人が2019年には処刑されたとある [72]。

2019年10月、成人と分けて収容できるよう首都ジュバに最初の少年院(reformatory school)が設立された。また、2020年には、COVID-19 対策として、拘留センターから148人の子どもが解放された。拘留センターから子どもを解放するため、オンラインケースマネジメント研修が進められ、67機関が受講したとある [72]。なお、COVID-19 対策で刑務所から解放された子どもの多くは、法律上拘置されるべきではない軽微な犯罪で刑務所に送られていることも分かった [73]。

Child Act 2008 には、子どもに特化した司法システムの確立として、ダイバージョンや拘留に代わる方法、社会福祉システムとの連携促進などが含まれている。しかし現実には、南スーダンではそのようなシステムはない。子どもの司法に特化した裁判所も Save the Children が Rumbek (Lakes State) に建設した1カ所に、少年司法裁判官が配置されているのみである。何歳の子どもであっても、成人と一緒に長期間にわたってしばしば逮捕され拘置される。Lake State では、2014年から2015年10月の間に少年164人、少女5人が刑務所に収容されたとある [74]。

(3) 政策・施策

南スーダンにおける非行少年・少女の保護・更生や子どもの司法を中心にした政府による政策・施策文書は入手できなかった。ここでは、UNICEF の現状分析報告書からわかった対策状況をまとめる [72]。

- 2019年10月、成人と分けて収容できるよう首都ジュバに最初の少年院（感化院）を

設立

- 少年・少女及び SGBV ケース向け法廷の運用推進
- 非行少年・少女のダイバージョンのパイロットプロジェクト（UNICEF 支援）
- 司法に関与するアクターの能力強化（子どもや若者の司法アクセス増加と子どもの拘留数の減少を目的とし、子どもの権利や Child Act、子どもにやさしいアプローチ等に関する研修など）（UNICEF、UNDP、OHCHR 支援）
- 2019 年 6 月、Child Protection Information Management System plus (CPIMS+) というオンラインデータベースとアプリケーション採用

この他、南スーダンの社会的保護(Social Protection)の政策枠組みとして、2015年にNational Social Protection Policy Framework が承認された。政策の監督省庁は Ministry of Gender、Child and Social Welfare (MGCSW) で、6つのプログラムのうち South Sudan Safety Net Project では、女性や子どもの貧困家庭等に現金給付を行っている [75]。

(4) 体制・関連組織

南スーダンの子どもに関する主務官庁は MGCSW で、CRC と Child Act 2008 の実践に向けた連携を行うマンデートがある。MGCSW の Directorate of Child Welfare が CRC と Child Act 2008 の実践をリードし、子どもの権利擁護と暴力、搾取、ネグレクト、虐待から子どもを守るための政策・施策の策定を行う [76]。国及び州レベルの Directorate of Social Welfare には、SGBV サバイバーの保護や加害者の告訴、コミュニティの問題対応力を強化するために良好な環境を提供するために Police Special Protection Units があるが、全国を見ると法サービスは脆弱で、警察も訓練が十分ではなくリソースも不足している [72]。

Ministry of Justice and Constitutional Affairs (MoJCA) は、Justice for Children (J4C) や新しい法的支援スキームの策定などを行う。MGCSW と MoJCA は、UNICEF の支援により連携フォーラムとして Justice for Children (J4C) ワーキンググループを設立している [72]。

この他、2016 年に Commission on Human Rights in South Sudan が設立された。Child Act 2008 で規定している Independent Child Commission はまだ設立されていない [72]。

5.1.4 タンザニア

(1) 法制度

タンザニアでは、CRC、ACRWC とも批准している。子どもに関する包括的な国内法として本土に適用される Law of the Child Act (LCA) と、自治政府をもつザンジバル [77]に適用される Zanzibar Children Act が制定されている。

表 5-6 タンザニア：子どもに関する法制度

条約・法令等	批准・制定年
国連児童の権利に関する条約（UNCRC）／ 子どもの権利条約（CRC）	1991年6月批准
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（ACRWC）	2003年3月批准
Law of the Child Act (LCA)（本土に適用）	2009年制定、2010年施行
Zanzibar Children Act（ザンジバル独自制定）	2011年制定

出所： [68] [69] [78] [79]

(2) 非行少年・少女を取り巻く状況

タンザニアでは、子どもにやさしい司法ではない。非行を行った子どもは、親のネグレクトや貧困、暴力の犠牲者ではなくしばしば犯罪者として扱われる。多くの子どもが成人と一緒に刑務所に収容され、暴力や虐待に対して脆弱な状況となっている [80]。政府は、子どもの司法（Child Justice）改革の5ヵ年戦略として A Five Year Strategy for Progressive Reform 2013-2017（第1次戦略）に続き、The Second Five-Year Strategy for Progressive Reform 2020/21-2024/25（第2次戦略）を策定して改革を進めている。第2次戦略策定時の現状分析に基づく第1次戦略期間の成果と課題は以下のとおり。

表 5-7 タンザニア：A Five Year Strategy for Progressive Reform 2013-2017（第1次戦略）の成果と課題

達成された成果
a) 法律手続きの改善：社会福祉の担当官からの意見等を要請し判決前に検討する等
b) 司法アクセス改善：少年司法裁判所が2013年の1カ所から2016年には130カ所に増加
c) 検察手続きの改善：少年司法に特化した検察官を各地域で任命する等
d) 法サービスへのアクセス改善：訴訟後見人による支援の確保や彼らの育成
e) 警察業務の強化：SGBVや子ども虐待対応強化の研修等
f) 拘留・収容施設の処遇や保護の改善：施設への査察実施等
g) 子どもの保護の改善：非行・犯罪を行った子どもも要保護児童として Department of Social Welfare にリファーされる等
h) 拘留・収容施設のサービス改善：更生プログラム、苦情手続き、関係者の能力強化等
i) 子ども支援の改善：法的支援サービスや警察所の子どもサポーター、ダイバージョンやコミュニティでの更生等
j) ワンストップセンター設立：子ども支援を行う9つのワンストップセンター設立
k) 起訴プロセスの改善：警察よりも法的専門知識のある検事が起訴する
l) 被害者・目撃者対応改善：子どもにやさしい環境づくり等
m) 法的支援の増加：子どもの福祉について助言する担当者の任命等
残された課題
a) コミュニティ住民や子ども自身が子どもの権利の認識不十分

- b) 関連インフラ不足（例：少年裁判所や人員不足）
- c) 関連省庁の予算不足、予算に反映されていないこと
- d) 中央レベルの連携やアカウントビリティの問題（ハイレベルの意思決定権者が含まれていないことや、ドナー資金の動員ができなかったことなど）
- e) 子どものケースを扱ううえで司法に携わるフォーマル、インフォーマル人材の能力不足
- f) 第1次戦略を長期セクター計画に反映できなかったこと
- g) ダイバージョンの法的未整備
- h) 収容施設における更生・再統合サービスの不足、成人の刑務所入所という従前からの問題、全国で拘留施設（retention homes）5カ所、感化院（approved school）¹⁴¹は1カ所しかないなど施設不足
- i) 刑務所入所中の母親と一緒にいる子どもの保護やサービスが不十分であること
- j) 司法システムと子どもに対する支援サービス（法支援サービス、コミュニティの更生プログラム等）間の連携不足
- k) 子どもに差別的な法律があること（少女が相続で差別されるなど）
- l) 子どもへの法的サービスを推進する啓発活動実施にかかるインセンティブ不足

出所： [79]

(3) 政策・施策

1) Child Justice Strategy

タンザニアでは上述のとおり、子どもの司法改革の第1次5カ年戦略として、2013年にChild Justice: A Five Year Strategy for Progressive Reform 2013-2017が策定された。その背景には、CRC、ACRWCの批准や国内法CLA2009の制定により、被害者、目撃者、容疑者のいずれであれ、子どもにかかる司法の法的枠組みは整備されたものの、国際的及び域内条約の基準に即した司法制度改革は行われていなかったことが挙げられる。策定にあたり、まず、Ministry of Constitutional and Legal Affairs (MoCLA) は、UNICEF支援により2011年に2つの包括的な調査¹⁴²を実施した。MoCLAは、関連する省庁・機関や市民社会（Civil Society）の代表等から構成されるChild Justice Forum (CJF)を設置し、これら調査の監督や提言の検討を行って第一次戦略が策定された。

第1次戦略の成果と課題を踏まえて、Child Justice: The Second Five-Year Strategy for Progressive Reform 2020/21-2024/25（第2次戦略）が策定された。第2次戦略策定に際しては、特に以下の課題が念頭に置かれた。

- 子どもの司法にかかる報告と送致（reporting & referral）に関する調整メカニズムが明確でないこと
- 子どもの司法にかかるアクター間の役割と責任が明確でないこと

¹⁴¹ 大人の犯罪者と処遇を異にした感化教育（矯正・更生教育）を実施する施設のこと

¹⁴² “Assessment of the Access to Justice System for Under-18s in Tanzania”と、“Analysis of the Situation for Children in Conflict with the Law”

- 子どもに対し質の高い司法サービスを提供するうえで関連アクターの能力が十分でないこと

これらに加え、人員不足、施設の低水準や機材・施設不足、資金不足といった従来からの課題もある。子どもの司法システムは公平で効果的であるとはおよそ言いがたい状況があるとし、さらなる改革推進に向け第2次戦略が策定されたものである。

策定のプロセスは第1次同様 CJF が中心となり、他のステークホルダーも広く参加して、最終的に MoCLA の承認・署名（2020年6月）により完成した。活動やスケジュール等の戦略実施枠組み（Strategic Implementation Framework）や必要資金の積算、モニタリングと評価の指標等も含まれている [79]。概略は以下のとおり。

表 5-8 Child Justice: The Second Five-Year Strategy for Progressive Reform 2020/21-2024/25（第2次戦略）の概略

ビジョン	公平で有効なタンザニアの子どもの司法システム
ゴール	タンザニアの政策、法律および実践が、子どもの権利に関する国内、域内及び国際的基準と規範に即したものとなる
戦略目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの権利にかかるコミュニティ住民と子どもの意識向上 2. 子どもの司法システムの能力強化 3. 子どもの保護施設の強化 4. 子どもの司法システム強化に向けた政策と法的枠組みの改革 5. 戦略実施における連携ならびにモニタリングと評価の改善

出所： [79]

2) National Plan of Action to End Violence Against Women and Children (NPA-VAWC) in Tanzania 2017/18 – 2021/22

The Five-year National Plan of Action to End Violence Against Women and Children (NPA-VAWC 2017/18–2021/22) は、女性と子どもに対する暴力に関する8つの行動計画を統合させた包括的5ヵ年計画として、2016年に策定された。達成目標（アウトカム）のうち特に少年司法に直接関わる取組みとしては、法的サービス改善を通じた女性と子どもの司法アクセス向上と、保護における優先計画のひとつに、Ministry of Health, Community Development, Gender, Elderly and Children (MoHCDCGEC) 主導による非行少年・少女向けの拘留施設（retention homes）の設置を挙げている点である [81]。

3) 子どもの司法にかかるデータ整備状況

UNICEF は、Achieving Justice for Children: A review of innovative data initiatives around the world (2021) の中で、タンザニアを含む5各国¹⁴³のデータ整備状況を調査した。同調査によるとタンザニアでは、Judicial Statistics Dashboard System (JSDS) というウェブベースの電子ファイリングとデータベースシステムを通じ、制度とツールの改善を試みている。JSDS は、

¹⁴³ ウルグアイ、モンテネグロ、タンザニア、ヨルダン、カナダの5か国

ケースの登録や調整のみならず、判決データベースとしても機能しており、さらに、ケースマネジメントシステムにも活用され、各種統計のデータソースともなっている。例えば、「窃盗の罪で有罪となり、保護観察、コミュニティサービス、教育的施設や施設収容等の処遇を受けた 18 未満の少女の地域別総数」といった統計レポートも作成可能である。ただし、同電子システムへのアクセスは全国一律ではなく、インフラの問題からほとんどの初級裁判所ではアクセスできない。司法セクターは他セクターとも協力して、電気やインターネットといった法廷インフラ整備に取り組んでいるところで、これにより JSDS の活用拡大も期待される。また、子どもの司法に関し、遠隔地のデータを国家レベル統計に取り込むことも可能にする とある [82]。

(4) 体制・関連組織

タンザニアで子どもの福祉を所管するのは、Ministry of Health, Community Development, Gender, Elderly and Children (MoHCDGEC) ¹⁴⁴である。子どもの司法改革の 5 カ年戦略の実施を担う体制は、Ministry of Constitutional and Legal Affairs (MoCLA) が全体調整およびモニタリングと評価を統括し、主要省庁には MoHCDGEC を含め以下のとおり 7 機関が挙げられている [79]。

子どもの司法改革第 2 次戦略の主要省庁

1. Ministry of Constitutional and Legal Affairs (MoCLA)
2. Ministry of Health, Community Development, Gender, Elderly and Children (MoHCDGEC)
3. Ministry of Education, Science and Technology (MoEST)
4. Ministry of Home Affairs (MoHA)
5. President’s Office – Regional Administration and Local Governments (PO-RALG)
6. Prime Minister’s Office (PMO)
7. Prime Minister’s Office – Labour, Youth, Employment and Disability (PMO – LYED).

このほか、公的・民間の人権団体や法律関係機関、NGO や市民社会団体 (Civil Society Organization: CSO) なども列挙されている。

5.1.5 ウガンダ

(1) 法制度

ウガンダでは、CRC、ACRWC とも批准し、子どもに関する包括的な国内法である Children Act は 1997 年に制定されている。

表 5-9 子どもに関する法制度 (ウガンダ)

条約・法令等	批准・制定年
国連児童の権利に関する条約 (UNCRC) /	1991 年 8 月批准

¹⁴⁴ 組織図は [Organization Structure \(moh.go.tz\)](http://moh.go.tz)

子どもの権利条約 (CRC)	
子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章 (ACRWC)	1994年8月批准
Children Act, Chapter 59	1997年8月制定、 2015年3月改正（子どもの権利擁護の強化、法的後見人の制限）

出所： [68] [52] [83]に基づき調査団作成

(2) 非行少年・少女を取り巻く状況

ウガンダでは、National Child Policy 2020 の策定に向けて現状分析を行った際、脆弱な子どもが増えていることが明らかとなった。原因は、家族の関係性や家庭、コミュニティの貧困、教育・訓練へのアクセス限定など多岐にわたるが、結果として様々な分野における子どもの福祉が脅かされ、非行増加を招いたとある。司法システムにおける子どもの状況については、改正 Children Act では司法への子どものアクセスを保障しており、死刑に相当するような犯罪 (capital offense) で告訴された子どもに対し、国の負担で訴訟費用を援助することを規定しているとある。なお、刑事責任を問われる年齢は12歳以上となっている。また、子どもの難民の場合、翻訳サービスの欠如や司法システムにおける差別といった別の問題も加わる。子どもにやさしく効果的な子どもの司法従事者や施設の整備、司法のあらゆる段階における迅速な処分を可能にするシステムの強化が重要である [84]。

UNICEFによると、子どもの刑務所収容は最後の手段であり、かつ可能な限り短期間でなければならない。しかしCRCに制定された基本的な権利は、しばしばウガンダでは無視されている。ストリートチルドレンなど脆弱な子どもは、浮浪 (vagrancy)、軽微な窃盗 (petty theft) や暴言 (use of abusive language) といった軽微またはステータスオフェンス (成人であれば罪に問われない身分にもとづく罪) のような罪により、逮捕・拘束されがちで、逮捕・拘留 (detention) 時の殴打もよくある。出生証明書がないため年齢を証明できず、刑事責任を問われない年齢 (12歳未満) であっても拘留されることも頻繁にある。子どもと成人を分離して拘留する必要性に対する意識は高まったものの、警察署には適切な施設がなく、身体的、性的虐待のリスクに晒される。法的代理人を付けることは難しく、親や親族の面会も許可されない。保釈の条件も厳しく、保釈は容易ではない。成人の法廷において公開で威圧的な雰囲気のもとに裁判を受けるケースもある。子どもに対し、成人と同じ手続きをとる裁判官もあり、子どもの最善の利益が配慮されていない。しかし、一部進展もみられ、MoGLSDはダイバージョンのガイドラインの承認を行うところでもある [85]。

施設については、ウガンダには、拘束された子どもが収容される4カ所の拘置所 (Remand Home)¹⁴⁵と、判決を受けた全国の子どもが収容される更生センター (Rehabilitation Centre)¹⁴⁶が1カ所ある。拘置所については、Remand Homes Management Information System

¹⁴⁵ Fort Portal、Gulu、Naguru、Mbale の4カ所

¹⁴⁶ Kampiringisa National Rehabilitation Centre の1カ所

(RHMIS)という政府の電子システムにより、施設内の子どもの活動や福祉の状況のモニタリングをしている [86]。

(3) 政策・施策

1) The Justice and Law Order Sector: Strategic Development Plan (SDP)

ウガンダでは、Justice Law and Order Sector (JLOS) の計画として、以下のとおり第4次までの Strategic Development Plan (SDP) が策定されている（第3次までは Strategic Investment Plan (SIP)）。JLOS とは、司法セクターの関連 18 機関から構成されるウガンダ政府のセクターワイドアプローチの取り組みのことで、詳細は後述する。

第1次：Strategic Investment Plan I (SIPI) FY 2001/02 – 2005/6

第2次：Strategic Investment Plan II (SIP II) FY 2006/07 – 2011/12

第3次：Strategic Investment Plan III (SIP III) FY 2012/13 – 2016/17

第4次：The Fourth Strategic Development Plan IV (SDP IV) FY2017/18-2020/21

SDP IV は、Vison 2040 の下で実施される最初の司法セクター計画で、SIP III における成果と課題を踏まえて策定された。SIP III 期間における子どもに関する成果としては、子ども 10 万人当たりの逮捕児童数の減少（2014 年の 9.4 人から 2016 年には 8.4 人）やダイバージョン（公的な裁判記録によると 84.1%）がある。その一方で、子ども 10 万人当たりの拘留（remand）は 2.07 人と、目標（1.0 人）を達成できていないことが挙げられている。また、SDP IV 策定において留意すべき課題の一つとして、若者・児童人口の多さを上げている¹⁴⁷。ウガンダでは、18 歳未満の人口が全体の 55%、18 歳から 30 歳の人口が 23%を占めており、将来的なアセットでもある。その一方で、失業率の高さと相俟って非行に至るリスクが高いため、犯罪に誘導される子どもを減らすとともに、犯罪を行った子どもの矯正が必要である。また、性暴力、ドメスティックバイオレンス、人身取引などからも子どもを護らなければならないとしている。SDP IV においては、さらに Child Justice Strategy と Justice for Children (J4C) プログラムを策定し、これらの課題に取り組むとある [87]。SIP IV の概略は以下のとおり。

表 5-10 The Fourth Strategic Development Plan IV (SDP IV) FY2017/18-2020/21 の概要

ビジョン	ウガンダ国民が安全・正義のある社会に暮らす
目標	セクターの全体目標は法の支配の推進である
開発戦略目標	目標 1：JLOS サービスインフラとアクセスの促進 （子どもの司法強化含む） 目標 2：人権の遵守および汚職との闘いの促進 目標 3：商業的司法（Commercial Justice）と競争環境の強化

¹⁴⁷ 他には、国境を越えた犯罪やテロリズム、サイバー犯罪、性的・ジェンダーベースの犯罪傾向の変化、気候変動と環境問題の影響による土地を巡る紛争、SDGs、テロリズム、難民が挙げられている。

子どもの司法強化に関する戦略	<p>「子どもの司法強化」は、目標 1 のインターベンションの一つに含まれ、戦略は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもにやさしいサービス促進 ・ 子どもの司法を担う人員と機関の能力強化 ・ 司法手続きの全プロセスにおける子どもに関するケースの迅速な処理 ・ 紛争終結地域の子どもに対する留意
-----------------------	---

出所： [87] に基づき調査団作成

The Justice for Children (J4C) Program は、JLOS のプログラムで、UNICEF の資金援助のもと、Centre for Justice Studies and Innovations (CJSI)により実施されている。J4C では、非行少年・少女だけでなく全ての子どもの司法という新しいアプローチをとっている [88]。プログラムの全体概要や現状に関する情報は入手できなかったが、2011 年より開始され 16 の District Chain-linked Committees を通じ、子どもの司法セクター関連機関の全般的な能力強化を目的とするプログラムを実施している [89]。また、修復的司法の参考マニュアルである Reference Manual on Restorative Justice (2014)の作成も行っている [90]。

このほか、The Directorate of Public Prosecutions では、UNICEF の支援を受け、Prosecuting child-related cases in Uganda: A Handbook for Uganda Directorate of Public Prosecutions を作成した。ハンドブックは、犯罪の被害者・目撃者ならびに告訴された子どもをカバーしている。告訴された子どもについては、ダイバージョンや子どもにやさしい法廷手続き等の情報を提供している。

また、UNICEF の報告によると、2019 年、警察によって新国家ダイバージョンガイドラインが発行された。ダイバージョンの基準が改善され、非行少年・少女に裨益する結果となった。警察によるダイバージョンは UNICEF 支援のパイロット事業を経て全国レベルに拡大し、4,353 の該当ケースのうち 3,302 ケースでダイバージョンが行われ、実施率 75.8%と増加したとある [91]。

2) National Child Policy (NCP) 2020

National Child Policy (NCP) 2020 は、ウガンダの子どもに関連する既存政策¹⁴⁸を統合する上位政策として策定された。NCP では、重点分野別に優先的アクションと戦略 (Priority Actions and Strategies) を設定し、うち、子どもの司法に関しては以下が挙げられる。

- 重点分野【子どもの参加】の戦略 1：子どもの参加にかかる国際・地域基準の国内適用の遵守と実施を確実に行う
- 重点分野【子どものケアと保護】戦略 3：国内の子どものケアと保護セクターが子どもに対するあらゆる形態の暴力、搾取、虐待、ネグレクトの予防と全ての子どもを守る

¹⁴⁸ National Orphans and Other Vulnerable Children Policy (2004), the National Social Protection Policy (2015), National Youth Policy and Action Plan (2016)等

上記戦略のもと、子どもの司法へのアクセスを確実に提供することや、子どもの司法システムを「子どもにやさしくジェンダーセンシティブなシステム」とすることなどが、アクションとして含まれている。 [84]

(4) 体制・関連組織

ウガンダの非行少年・少女の保護・更生の担当省庁は、Ministry of Gender, Labour and Social Development (MoGLSD)である。国家レベルでは、MoGLSD 内に National Children Authority があり、子どもの保護に関する全ての政策・施策の調整、モニタリングと評価を行う [92]。MoGLSD の Department of Youth & Children Affairs では、若者と子どもに関する法制度・政策のレビューと普及、実行を監督する [93]。

地方レベルでは、首都カンパラの場合は、カンパラ首都庁 (Kampala Capital City Authority : KCCA) が保護観察と社会福祉 (Probation and Social Welfare) の機能を持ち、子どものケアと保護を行っている。KCCA のカウンシルには保護観察官がおり、特に非行や権利侵害があった場合の少年・少女の支援を行う。保護観察官は、子どものケースを調査して裁判所が適切な判決を下すことができるようにする。また、ストリートチルドレンの更生と再定住に向け、KCCA では、トランジットセンターを設立した。KCCA は、子どもたちが自宅に戻れるよう地方との協議を行っている。また、子どもに関するケースや、成人の裁判所で被ったトラウマの改善を目的とし、家庭子ども裁判所を 5 カ所に設置したとある [94]。

また、JLOS は、Ministry of Justice and Constitutional Affairs (MoJCA) をリード機関とし、全 18 関連機関¹⁴⁹から構成されるウガンダ政府のセクターワイドアプローチの取り組みのことである。MoGLSD もメンバー機関のひとつで、特に、子どもの司法と保護観察 (probation) 機能を担当する。SDP IV の実施体制も JLOS の 18 機関を中心に構成され、各種委員会や専門部会などが設置されている。子どもの司法タスクフォースも設置され、J4C プログラムが担当するとしている [87]。

5.2 アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生にかかるドナー等の動向

5.2.1 UNICEF

(1) 支援方針・理念

UNICEF の非行少年・少女の保護・更生支援は、「子どもの保護 (child protection)」に含

¹⁴⁹ 18 機関 Ministry of Justice and Constitutional Affairs (MoJCA); Judiciary; Ministry of Internal Affairs(MIA); Directorate of Citizenship and Immigration Control(DCIC); Office of the Director of Public Prosecutions (DPP); Uganda Police Force (UPF); Uganda Prison Service (UPS); Judicial Service Commission (JSC); Law Development Centre (LDC); Ministry of Gender, Labour and Social Development (MoGLSD)-Gender, Justice for Children, Labour and Probation Functions; Ministry of Local Government (MoLG)-Local Council Courts; Tax Appeals Tribunal (TAT); Uganda Human Rights Commission (UHRC); Uganda Law Reform Commission (ULRC); Uganda Law Society (ULS); Centre for Arbitration and Dispute Resolution (CADER); Uganda Registration Services Bureau (URSB); and National Identification and Registration Authority (NIRA) [87]

まれ、幾つかの支援分野の中で、「罪を犯したとされる子ども」への支援に相当する。以下は、UNICEF による非行少年・少女への支援における方針や理念がまとめられており、UNICEF の支援を理解するうえで役立つため掲載する [95]。

「罪を犯したとされる子ども」という言葉は、何らかの犯罪について容疑者として疑われたり、逮捕された結果、司法制度に関わるすべての 18 歳未満の子どものことを言う。「罪を犯したとされる子ども」の多くは、路上生活、不登校、物乞い、飲酒などの軽犯罪を犯している。こうした罪は、「地位犯罪 (Status Offence)」という違反行為として知られ、成人では刑事罰が適用されない。また、おとなによって利用されたり強要されたりして罪を犯してしまう子どもたちもいる。大抵の場合、人種、民族、社会・経済的な地位に関連する差別や偏見によって、ときには何も罪を犯していないときでさえ罪を犯したとされたり、法執行当局から厳しい扱いを受けたりする。

少年司法制度の分野では、UNICEF は、投獄を減らし、暴力、虐待、搾取から子どもたちを守ることを目指している。罰則処置よりも、より安全かつ適切で効果的なアプローチとして、家族とコミュニティを巻き込む形での社会復帰を促進している。

おとな向けに策定された司法制度は、多くの場合こうした問題に十分に組み込む能力が欠如し、また子どもたちの社会への再統合の可能性に悪影響をおよぼす傾向がある。このような全ての理由から、UNICEF は分離（子どもたちを訴訟手続きやコミュニティの決議から分離させること）、復帰司法（子どもたちと家族、犠牲者、コミュニティと共に、仲介、矯正（復帰）、責任を促進すること）、懲役、禁固、服役、収監のような施設内処遇に代わる処置（カウンセリング、保護観察、コミュニティサービス）を強く訴えている。

上述のとおり、UNICEF の少年司法制度の分野における支援方針は「投獄を減らし、暴力、虐待、搾取から子どもたちを守ることを目指している。罰則処置よりも、より安全かつ適切で効果的なアプローチとして、家族とコミュニティを巻き込む形での社会復帰を促進している」である。以下各国における UNICEF の支援動向を記載するが、この支援方針に即した内容であることがわかる。

(2) EAC5 各国における支援

ケニア以外の EAC 加盟国 5 各国における UNICEF の非行少年・少女の保護・更生に関連する支援動向を以下にまとめた。なお、情報源は基本的に各国 UNICEF 事務所のホームページと 5.1 で既述の情報に基づいているが、新たに参照した資料のみ出所を追加してある。

ブルンジ¹⁵⁰

UNICEF は、Country Programme 2019-2023 において、子どもの保護分野の支援として①効果的なシステム・ガバナンス、②質の高い子どもの保護サービス、③家庭・コミュニティ支援を挙げている。少年司法については、子どもに関する法制度の強化や司法セクター改革、コミュニティベースの調停（reconciliation）と修復（reparation）に特徴があるとしている [UNICEF, 2018]。

表 5-11 UNICEF Brundi Country Programme 2019-2023 : 子どもの保護分野の支援計画

効果的なシステム・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法制度枠組みのレビュー ・ 子どもの保護に関する新たな政策の策定や既存の法政策の適用 ・ CRC のレポーティングとモニタリング ・ 暴力、搾取や虐待（人道的アクション含む）の予防と対応にかかる連携メカニズム ・ 司法セクター改革（ソーシャルワークの制度化やスタッフ雇用・任命におけるジェンダー平等含む） ・ 子どもにやさしくジェンダーセンシティブな代替養育の確立 ・ データマネジメントの改善
質の高い子どもの保護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に女の子のニーズに焦点をあて、司法システム（ケースマネジメントシステム含む）のアクターの能力強化支援 ・ 地方の子どもの保護機関とコミュニティベースの子どもの保護委員会の能力強化 ・ 保健施設における出生登録の導入 ・ 地方レベルでの緊急への備えや対応
家庭・コミュニティ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの保護委員会や連帯グループの強化 ・ コミュニティベースの調停（reconciliation）、修復（reparation）、コミュニケーションの強化を通じた行動変容

出所： [96]に基づき調査団作成

また、既述のとおり UNICEF は NGO の Terre de Hommes を通じ、再教育センターにおいて再犯防止と社会への再統合を目的とした支援を行っている。

ルワンダ¹⁵¹

UNICEF は、保護を必要とする子どもの数は、子どもの保護システムのキャパシティを超えているとして、Child Protection 分野では以下の支援を行っている。

- 44 カ所のワンストップセンター設立（暴力被害を受けた子どもが通報したり、メンタルヘルスカウンセリングや医療サービスを受ける場所）
- 専門職であるソーシャルワーカーや心理・法律の専門家、警察、約 3 万人のコミュニティの児童保護ボランティアの人員整備
- 孤児院等で暮らしていた 3 千人あまりの子どものための里親家庭開拓
- Justice for Children Policy（JCP）等の策定

¹⁵⁰ [Child protection | UNICEF Burundi](#)

¹⁵¹ [Child protection | UNICEF Rwanda](#)

南スーダン¹⁵²

UNICEF は、南スーダンの子どもの状況に鑑み以下の取り組みを行っている。

- 武装グループによる子どものリクルートを止め、子どもの解放を促し、解放された子どもに包括的な社会復帰プログラムの提供を行う
- パートナーと協力して、家族と別れた子どもの家族への再統合を行う
- 児童婚 (child marriage) を予防するために、宗教指導やコミュニティリーダーを含むコミュニティの関与を呼び掛けていく
- SGBV の被害者を支援し、全ての子どもに安全な環境を提供するように取り組む
- South Sudan Law Society と契約を結び、Ministry of Justice and Constitutional Affairs (MoJCA) の法的支援スキームの確立を支援している
- 子どもの司法システム強化のための技術的支援と集中的なアドボカシーを Ministry of Gender, Child and Social Welfare (MoGCSW) と MoJCA とともにやっている [97]
- 連携フォーラムとして、Justice for Children (J4C) ワーキンググループ設立を支援している

タンザニア¹⁵³

子どもの保護は、タンザニアの法制度において明確に定義され、包括的な子どもの保護システムは 51 の地方政府に拡大されている (内 24 カ所は UNICEF が直接支援)。その中で、UNICEF は以下の支援を行っている。

- 政府とパートナーを支援して、子どもの保護システムのスケールアップを行い、子どもへの暴力、虐待、ネグレクト、搾取の予防と対応を行う (法制度の強化、予防と対策の改善、家族・コミュニティにおける有害な社会規範への取り組み、国・市民登録のキャパシティと統計システム改善等)
- 子どもの保護に関する地方レベルの保護委員会の設置と強化
- 啓発とケースリファラル支援
- 地方の社会福祉事務所のケースマネジメント能力強化
- 警察署にジェンダーデスクとチルドレンデスクの設立
- 虐待ケースのワンストップセンター含む保健施設の能力強化
- 少年裁判所の設置
- 子どもの拘留・懲役の防止
- ヘルプラインによるリファラルの強化
- Child Protection Management Information System の確立

¹⁵² [Child protection | UNICEF South Sudan](#)

¹⁵³ [Child protection | UNICEF United Republic of Tanzania](#)

ウガンダ¹⁵⁴

UNICEF 支援の子どもの司法プログラムは、「少年司法」から「全ての子ども（犯罪者、目撃者、失踪者、非合法的養子縁組の被害者）を含む」ことに焦点をシフトさせた。UNICEF は、政府を支援して以下を行っている [98]。

- 司法システムを通じ子どもにやさしい法サービスの標準化
- 司法センター全体における質の高いダイバージョン基準の制度化
- 子どもにやさしい司法へのアクセス向上と法サービスの提供のための制度・技術的キャパシティ強化
- 子どもの司法に関する主な指標モニタリングと年間進捗報告作成の国の能力強化
- 国際法・条約の批准支援

ダイバージョンについては、以下の具体的な成果を上げている。

- 2019 年、警察による新国家ダイバージョンガイドラインの発行により、ダイバージョンの基準が改善され、非行少年・少女に裨益する結果となった。警察は UNICEF 支援のパイロット事業を経て全国レベルに拡大した。
- UNICEF は、13 カ所の高等裁判所の子どもの司法コーディネーターを支援し、子どものダイバージョンに貢献した。
- The Directorate of Public Prosecutions では、UNICEF の支援を受け、犯罪の被害者・目撃者ならびに告訴された子どもをカバーするハンドブックとして、Prosecuting child-related cases in Uganda: A Handbook for Uganda Directorate of Public Prosecutions を作成した。告訴された子どもについては、ダイバージョンや子どもにやさしい法廷手続き等の情報を提供している。

その他具体的な支援事例として以下が挙げられる。

- 軽微な犯罪の処理促進のため、UNICEF 支援により裁判官をカンパラの Naguru 児童拘置所に配置できた
- 政府によるヘルプラインのアップグレードを支援し、40%から 5%へと未対応ケースの数を減少させるとともに、SGBV ヘルプラインと子どものヘルプラインを統合した
- UNICEF 支援のもと、69 人の保護観察官と社会福祉担当官を 9 ディストリクトに配置した

5.2.2 UNODC

国連薬物犯罪事務所 (UNODC) は 1997 年に設立され、不正薬物と越境組織犯罪と闘う世界の指導的機関である。薬物と犯罪、テロリズムに関する国際条約を批准、実施する国家に対して技術援助を行い、これらの国際条約と整合した国内立法を発達させ、司法担当官の研修を実施する [99]。UNODC における子どもの司法 (Justice for Children) 分野の支援は、CRC

¹⁵⁴ [UNICEF Uganda](#)

に基づく子どもの権利保障を基本に、子どもの司法セクター改革の技術支援や、法制度枠組みの見直しにともなう法支援・法アドバイザー、調査研究、人材育成、教育・広報等多岐に亘る [100]。

3章で既述のとおり、UNODCはケニアにおいて大規模な PLEAD プログラムを実施しているが、他の EAC 諸国における司法分野の支援情報は限定的で、UNODC 東アフリカ地域事務所のホームページからわかったのは、以下のウガンダにおける 1 件のみである。5.1 で各国の政策・施策を調査する過程でも、UNICEF に関する記載は頻繁にあったが、UNODC に関する情報はなかった。また、UNODC の Promoting the Rule of Law and Human Security in Eastern Africa Regional Programme 2016-2021 の現行プログラムリストにも、ケニア以外の EAC 諸国に対する司法に関連するプログラムは見当たらなかった [101]。

ウガンダ

ウガンダは、2019 年 7 月より、刑務所を支援して暴力的過激化予防を行う "Supporting the management of violent extremist prisoners and the prevention of radicalization to violence in prisons" に参加した。同プログラムは、UNODC のグローバルプログラムで、他にカザフスタンとチュニジアも参加しており、ウガンダは 3 か国目の参加となった。刑事司法システムの関係機関の中でも特に警察を中心に支援を行って、刑務所に収容されている脆弱な受刑者の過激化予防や、既に過激化しているとして刑務所に収容されている受刑者の運営対応能力強化を行うものである [102]。

5.2.3 The African Child Policy Forum (ACPF)

The African Child Policy Forum (ACPF) は、アフリカの子どもに関する政策研究と対話を行う独立した非営利の汎アフリカ (pan-African) 機関で、エチオピアの首都アディスアベバに本部がある。EAC には、子どもに関する部会として The Inter-Agency Working Group on Children (IAWG) があり、ACPF もメンバーとなっている。EAC5 か国における国別の活動については確認できなかったが、アフリカ地域の少年司法に関連する ACPF の取り組みとして、特筆できるのは、The Child Law Resources (CLR) の提供である。サイトは以下のとおり (<https://www.africanchildforum.org/clar/index.html>)。

CLR は、アフリカ諸国の子どもに関連する包括的な法律・政策のデータベースサイトで、Save the Children の資金援助により 2013 年に開設されている。CLR では、国際、地域のリソースのほか、各国別サイトでも Child Related Law、Child Related Policies、State Party Reports (ACERWC、UNCRC 関連) のアクセスとダウンロードが可能である。なお、サイトの最新更新日は不明である。

この他、10 年前の情報になるが Global Conference on Child Justice in Africa という国際会議を 2011 年 11 月に、Defence for Children International¹⁵⁵ と共催した。同国際会議の成果の一つ

¹⁵⁵ 1979 年に設立され、ジュネーブに本部があり、世界各国で子どもの保護と権利に関する活動を展開する NGO

として、“Achieving Child-Friendly Justice in Africa”（2012）というレポートをまとめている。同レポートの作成も Save the Children の資金援助による。

5.2.4 Terre des Hommes

Terre des Hommes は、福祉と権利擁護を支援するスイスの民間機関で、特にリスクにさらされている子どもや若者を対象としている。Annual Report 2020 によると、EAC5 か国の中で活動を展開しているのはブルンジと南スーダンであるが、非行少年・少女に直接関連する支援はブルンジのみである [103]。

ブルンジ

ブルンジでは、Ministry of Justice とともに、非行を犯した子どもの権利を保障しつつ社会に再統合できるような修復的司法を実施している。既存の文化に根差した実践を支援するような子どもの保護枠組みを確立すべく、地域社会のシステムにおけるアクターの強化と支援を行っている。

- ストリートチルドレンを支援して家庭復帰につなげるなどの子どもの保護
- 司法システムのアクター（警察官、ソーシャルワーカー、少年・少女拘留センター、司法専門職）への修復的少年司法についての研修
- 自由の剥奪とならない代替的な方法
- 拘留されている子どものケアや再犯予防のための心理プログラム
- 3 歳未満の子どもは刑務所の母親とともに暮らしコミュニティへ再統合に向けた準備を行うなど

具体的なプロジェクト情報としては、ベルギー及び UNICEF 支援を受けて、拘留されている子どもの更生（Rehabilitation of minors in detention）のプロジェクトを実施している。再犯防止と社会への再統合を目的とし、Ruyigi と Rumonge にある再教育センターの子ども・若者の支援や、Ngozi 刑務所の若い女性の支援を行っている。再教育センターでは、余暇活動や心理的プログラム、家族のセンター訪問や電話の支援、スタッフのソーシャルワーカーによる法的支援や、職業訓練、刑務所退所時には仕事に必要なスターターキットの提供などを通じた家族とコミュニティへの再統合支援を行っている [57]。

5.3 アフリカ諸国における非行少年・少女の保護・更生にかかる地域内連携の動向

5.3.1 アフリカ連合（AU）

(1) 子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（ACRWC）

「子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（African Charter on the Rights and Welfare of the Child: ACRWC）」が、1990 年にアフリカ統一機構（2002 年よりアフリカ連合（African

Union: AU)) によって採択された（発効は 1999 年）。国連が 1989 年に採択し 1990 年発効となった「子どもの権利条約（Convention on the Rights of the Child: CRC）」にもとづき、アフリカ地域に即して制定された憲章である。AU はアフリカ 55 の国・地域が加盟する世界最大級の地域機関で、同憲章は 53 か国で批准している [104]。

(2) 児童の権利・福祉専門家委員会（ACERWC）

「児童の権利・福祉専門家委員会（African Committee of Experts on the Rights and Welfare of the Child: ACERWC）」は 2001 年に設置された委員会で、憲章に掲げられた子どもの権利の推進と保護ならびにそれらの実施モニタリング等をマンデートとしている。ACERWC の戦略計画（2015-2019） [105]では、プロジェクトや活動に焦点を当てるのではなく、子どもを中心としたより戦略的なプログラムアプローチを通じた加盟国における改革の取り組みに対する支援にシフトするとしている。戦略計画のアウトカム目標は、①憲章への政治的コミットメントと各国のオーナーシップ、②国レベルでの法政策環境整備、③子どもの権利の進展加速となっている。

ACERWC は、毎年 6 月 16 日に AU 加盟国で行われる「アフリカこどもの日」（The Day of African Child: DAC）のテーマを決める。2020 年は“Access to a child-friendly justice system in Africa” で、第 1 回の 2002 年以降初めて「司法システム」が取り上げられた。また、ACERWC、加盟国関連省庁、国連機関、市民団体、アカデミアなどのステークホルダーが参加してアフリカこどもの日を記念するウェビナーも開催した [106]。ウェビナーのパネル概要は以下のとおり。

表 5-12 2020 年「アフリカこどもの日」ACERWC 開催ウェビナー

パネル	テーマ
パネル 1	アフリカで適用可能な子どもにやさしい司法アクセスにかかる国際的・地域規範と基準
パネル 2	子どもにやさしい法廷と法的手続きへのアクセス～アフリカ諸国のグッドプラクティスと限界
パネル 3	自由を奪われた子ども～規範と実践
パネル 4	脆弱な状況にある子どもの司法アクセス～アフリカにおける規範的基準と実践
パネル 5	アフリカにおける子どもにやさしい司法アクセスの改善における市民団体（CSOs）の役割

出所： [52]

5.3.2 東アフリカ共同体（EAC）

(1) Inter-Agency Working Group on Children (IAWG)

東アフリカ共同体（East African Community: EAC）は、ブルンジ、ケニア、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガンダの 6 か国から構成される地域共同体で、1999 年に条約に署名し 2000 年に発効となった。本部はタンザニアにある。EAC には、子どもに関する部会として、The Inter-Agency Working Group on Children (IAWG) があり、メンバーは UNICEF、UNHCR、Save the Children International, Plan International, World Vision International, the African

Child Policy Forum (ACPF) 等である。IAWG の主要目的は、加盟国での EAC Child Policy の実施、関連政策や国際基準・規範の策定と実施支援である。IAWG は、技術的・資金的援助、市民団体との効果的なパートナーシップを通じて支援している。

(2) EAC Child Policy (2016)

EAC 加盟国の子どもの権利に関するアプローチの調和 (harmonisation) を念頭に、IAWG の支援も受けて EAC Child Policy が策定された。EAC 人口の 50%以上が子どもであるが、各国の法律を超えた様々な課題を抱えたグループとも認識されている。域内政策枠組みを必要とする新たな課題として、家族や自国から強制的に引き離された子ども (EAC の難民人口のうち最大のグループは子どもである)、EAC 国境を越えた子どもの人身取引や犯罪を犯した子どものタイムリーな司法アクセスなどがある。2016 年、EAC Child Policy は UNCRC や ACRWC の理念に則り EAC の包括的な子どもの政策として加盟国により採択された [107]。概要は以下のとおり。

表 5-13 EAC Child Policy の概要

項目	内容
ビジョン	子どもの権利と福祉が保障された EAC
ミッション	連携とマルチセクトラルなアプローチを通じて、子どもの生存、発達、保護および参加に係る権利の実現を促進する
中心となる価値	人権の尊重、公平性、参加、尊厳、持続性
全体目的	子どもの福祉の実現に向け各国の取り組みの発展と連携及び強化を促進するうえで機能する地域枠組みを提供する
具体的目的	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 各国の子どもに関する法律、政策・実行計画にかかる域内調査と効果的な実施を促進する ▪ 各国の子どもに関する権利に関する計画策定、リソース配分及び能力強化を促進する ▪ 研究とイノベーション及びナレッジマネジメントを通じエビデンスにもとづく計画策定と意思決定の強化 ▪ 子どもに関する意思決定において当事者である子どもの意味ある参加を促進する

出所：[107]

地域の調和と国境を越えた加盟国間の連携を強く打ち出している EAC Child Policy の採択に続き、具体的なガイダンスを提供するための Framework for Strengthening Child Protection Systems in the East African Community が 2018 年に策定された。その基本理念は、①子どもの最善の利益の追求、②差別なく公平であること、③子どもの参加である。また、枠組みのコンポーネントとそのアウトカム指標として以下が設定されている。以下はその概要である。コンポーネント 3 にあるように、本枠組みでは子どもの保護システムにおけるコミュニティに根差したメカニズムが果たす役割を重視している [108]。

表 5-14 Framework for Strengthening Child Protection Systems in the EAC の概要

コンポーネント	アウトカム
1. 適切な政策・法制度	あらゆる場面におけるあらゆる形態の暴力、虐待及び搾取からの子どもの保護のために適切な法律や政策が全て整備される
2. 明確な構造と機能ならびに十分なキャパシティ	子どもへの暴力の防止と対策のための人道的アクションを含む政策・施策の効果的な施行と実施のためのマルチセクショナルなステークホルダー連携体制が改善される
3. コミュニティに根差した効果的、持続的な子どもの保護メカニズム	コミュニティに根差した子どもの保護メカニズムが固有の規範と実践を強化し法制度とリンクする
4. 効果的なプロモーション、予防と対応	社会保護システムが暴力、虐待及び搾取への子どもの脆弱性に直接対応する
5. 充分なリソース配分と効果的な財政運営	子どもの保護システム強化の取り組み予算が見積もられリソース配分がなされる
6. 意思決定のための質の高いエビデンスとデータ	子どもの保護に関する情報とデータマネジメントならびにサーベイランスシステムが確立され、調和されて機能する

出所：[108]

5.3.3 国連アフリカ犯罪防止研修所 (UNAFRI)

国連アフリカ犯罪防止研修所 (United Nations African Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders: UNAFRI) は、1989 年に設立されウガンダの首都カンパラにある。UNAFRI は、世界各国に 18 機関ある国連犯罪防止・刑事司法プログラム・ネットワーク機関 (いわゆる PNI)¹⁵⁶のひとつで、アフリカ地域の犯罪防止・刑事司法における政府、アカデミックおよび科学的機関、NGOs、専門家の域内協力の促進を目的とする。政策・施策に資する研究や研修のほか知識と経験の域内共有の促進もその役割としており、他地域の関連機関との連携もマンデートのひとつである。少年・少女の非行・犯罪の予防と規制にかかる効果的な政策・施策の策定や処遇 (treatment) についても、目的のひとつとして具体的に述べられている。全アフリカ諸国がメンバーの対象であるが、実際に加盟 (ratified the statute) しているのは 29 개국¹⁵⁷で、EAC6 개국の中では南スーダン以外は全て加盟している。

Concept Note (2020) において、深刻な財政難に直面していることが述べられている。所長 (Director)、副所長 (Deputy Director) を始め分野アドバイザーもほとんど空席となって

¹⁵⁶ 1960 年代以降、国連加盟国が拡大し、多くの途上国が加盟した。アジア研 (国連アジア極東犯罪防止研修所、UNAFEI) は 1961 年に設置が決まり、設立は翌 62 年である。それから ILANUD (国連ラテンアメリカ犯罪防止研修所、1975 年設立、コスタリカ)、HEUNI (国連ヨーロッパ犯罪防止研究所、1981 年設立、フィンランド) をはじめ、他の国連犯罪防止・刑事司法プログラム・ネットワーク機関 (いわゆる PNI) が成立した。PNI は現在世界各地に 18 機関があり、それぞれプログラムに沿った特色ある活動を行っている [117]。

¹⁵⁷ 29 개국は、Burkina Faso, Burundi, Cameroon, Democratic Republic of Congo, Republic of the Congo, Egypt, Equatorial Guinea, Ghana, Gambia, Guinea, Kenya, Libya, Malawi, Morocco, Mozambique, Niger, Nigeria, Rwanda, Senegal, Seychelles, Sierra Leone, Somalia, Sudan, Tanzania, Togo, Tunisia, Uganda, Zambia and Zimbabwe [109]

いる [109]¹⁵⁸。また、Concept Note (2020) の主な活動と成果のリストには、2013 年の活動を最後に記載がなく、ホームページの活動情報も 2014 年までしか掲載されていない [110]。財政難や空席状況と合わせると、近年は所定の活動はあまり行われていないと推察される。

5.4 第 5 章のまとめ

EAC5 か国の状況

法制度については、5 か国とも国際条約の CRC は批准しており、地域憲章の ACRWC は南スーダンのみ署名段階であるが、他 4 か国は批准済みである。子どもに関する包括的な国内法については、ブルンジとルワンダのみ確認できなかった。

表 5-15 5 か国の子どもに関する法制度整備の状況

国	CRC	ACRWC	子どもに関する包括的な国内法 (Child Act など)
ブルンジ	批准	批准	確認できない
ルワンダ	批准	批准	確認できない
南スーダン	加入 (批准)	署名	制定済み (2008 年)
タンザニア	批准	批准	本土：制定済み (2009 年) ザンジバル：制定済み (2011 年)
ウガンダ	批准	批准	制定済み (1997 年)

出所：調査団作成

各国の課題、政策・施策、体制・関連組織は以下のとおり。なお、政策・施策の欄に 5.1 の各国情報から得た特徴的な施策を記載した (*)。

表 5-16 5 か国の課題、政策・施策、体制・関連組織の状況

	課題	政策・施策	体制・関連組織
ブルンジ	<ul style="list-style-type: none"> 成人と一緒に刑務所拘置 出生登録不備 暴力、児童労働 ストリートチルドレン データ情報管理未整備 	Child Protection Policy 2020-2024	<ul style="list-style-type: none"> MoHRSAG Ministry of Justice National Solidarity Human Rights and Gender
ルワンダ	<ul style="list-style-type: none"> 中央計画枠組み不在 関係機関の連携等不十分 雇用機会の不足 施設の訓練と雇用市場のミスマッチ 社会復帰・戦略・メカニズムの不在 人材不足・能力不足 	<ul style="list-style-type: none"> Justice for Children Policy (2014) National Policy Against Delinquency (2016) * 修復的司法 * アブンジ制度 (伝統的調停制度) * ダイバージョン	<ul style="list-style-type: none"> MIGERROF MINJUST MINALOC NRS
南スーダン	<ul style="list-style-type: none"> Child Act の認知度・執行力不足 (規制、規定基準等の不在) 福祉・司法の包括的司法システム不在 保護システムの欠如 	非行少年・少女の保護・更生や少年司法に関するものは不明	<ul style="list-style-type: none"> MGCSW MoJCA Justice for Children ワーキンググループ

158 全 22 人のうち運転手、メッセンジャー等のサポートスタッフも含めて 11 人しかいないとある

	課題	政策・施策	体制・関連組織
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの違法逮捕 ・成人と一緒に長期間拘留 ・死刑の適用 	*ダイバージョン	(UNICEF 支援の連携フォーラム)
タンザニア	<ul style="list-style-type: none"> ・成人と一緒に刑務所収容 ・子どもの権利の認識不十分 ・少年裁判所 ・子どもの司法の人員不足 ・ダイバージョンの法的未整備 ・施設の更生・再統合サービス不足 ・施設不足 ・司法とサービス間の連携不足 	Child Justice 5y Strategy for Progressive Report - 2013-2017 - 2020/21-2024/25 *ダイバージョン	MoHCDGEC MoCLA MoEST MoHA PO-PALG PMO PMO-LYED 他公的・民間人権団体・法律関係機関、NGO、CSO Child Justice Forum
ウガンダ	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱な子どもの増加と非行増加 ・軽微、身分犯罪による逮捕・拘留 ・拘留時の暴力 ・出生登録不備 ・成人と分離した拘留施設の不足 ・法定代理人付き添いが困難 ・成人の法廷、成人と同じ手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLOS Sector Strategic Development Plan - FY2001/2-2005/6 - FY2006/07-2011/12 - FY 2012/13-2016/17 - FY2017/18-2020/21 ・ Child Justice Strategy 制定 (予定) ・ Justice for Children プログラム ・ National Child Policy (2020) *ダイバージョン *修復的司法	MoGLSD MoJCA JLOS(司法分野全 18 関連機関セクターワイドアプローチ) 子どもの司法タスクフォース

出所：調査団作成

入手できた情報に基づくと EAC5 か国の状況は以下のとおり。

CRC は全 5 か国批准・加入しており、ACRWC も南スーダン以外は批准しているので、子どもの権利保障について法的に拘束される状況はある。しかし、現状は、成人と一緒に刑務所入所、軽微な犯罪による逮捕・投獄と長期間の拘留、施設・人材不足、更生・社会再統合プログラムの不備などの共通課題がみられた。国によって、その深刻さは異なるとみられるが、いずれにせよ法の理念と実践とには大きなギャップがある。

国家の取り組み状況としては、ブルンジ、南スーダンを除く 3 か国では、子どもの司法 (Child Justice) に関する国家政策・戦略を策定し実施に取り組んでいる。タンザニアでは現在、第 2 次 5 ヶ年戦略計画の実施期間中 (2020/21-2024/25) で、ウガンダでも、子どもの司法を含む司法セクター戦略計画は第 4 次 (2017/18-2020/21) まで確認できた。ルワンダでは、子どもの司法政策策定 (2014) に続き、非行 (delinquency) に特化した包括的な国家政策が策定 (2016) された。さらに、政策を実行するための更生 (リハビリテーション) に特化した公的機関も設置 (2017) するなど、非行対応を明確に打ち出しているという特徴がみられた。

裁判外紛争解決やコミュニティベースの調停や修復も、少年司法において重要な施策となっている。ダイバージョンの推進については、ブルンジを除く4か国で確認された。特にウガンダでは、戦略計画において逮捕・拘留児童数の減少を目標値に含めており、ダイバージョンの数や割合についても一定程度把握できている。ルワンダでは、コミュニティにおける伝統的な調整制度を司法システムに組み入れる改革をおこなっている。修復的司法に関しても、ルワンダとウガンダにおいて明示的に提唱されている。子どもの更生と再統合の観点のみならず、司法システムの効率化の観点からも推奨されている。

以上のとおり、法制度の実行力に課題があるものの、5か国の中ではルワンダ、タンザニア、ウガンダでは非行少年・少女の保護・更生にかかる取り組みは進展していると考えられる。ブルンジ、南スーダンについては、情報が限られることもあり、また紛争の影響も考慮するとまだ制度造りの初期の段階ではないかと推察される。

ドナー動向

ドナー動向の特徴としては、UNICEFのプレゼンスが高いことがあげられる。調査したEAC5か国すべてで、非行少年・少女の保護・更生にかかる具体的な支援を展開していることが確認できた。支援内容も、法制度・政策策定支援といった上流から、ブルンジにおけるTerre de HommeのようなNGO支援など支援の範囲も多岐に亘る。また、関連省庁や民間セクターのステークホルダー連携の促進もおこなっている。

UNICEFでは、非行少年・少女の支援は、支援分野の柱の一つである「子どもの保護（child protection）」に含まれる。5.2.1で既述のとおり、UNICEFは、「罪を犯したとされる子ども」として彼らを捉え、あくまでも子どもの保護や子どもの権利保障の観点から支援を展開している。上述の裁判外紛争解決やコミュニティベースの調停・修復なども、UNICEFの支援アプローチと合致する。

この他、アフリカの子どものに関する政策研究と対話を行う汎アフリカ機関としてACPFがある。ACPFは、EACの子どものに関する部会のメンバーでもあり、アフリカにおける児童分野の主要ステークホルダーの一つとみられる。UNODCについては、少年司法分野において具体的な支援の展開は確認できなかった。

域内連携

AUは、ACRWCという域内憲章を通じて、アフリカ加盟国の法的基盤整備を促進している。また、ACERWCという児童の権利・福祉専門家委員会により、憲章の推進や実施モニタリングを行うとともに、加盟国の当該分野の改革を支援するアプローチをとっている。子どもの司法については、2020年「アフリカ子どもの日」のテーマが、ACERWCにより“Access to a child-friendly justice system in Africa”（アフリカにおける子どもにやさしい司法へのアクセス）と設定されたように、域内における重要アジェンダの一つであると理解できる。

EAC では、域内の調和と国境を越えた連携を強く打ち出し、子どもの権利に関する政策（2016）や、子どもの保護に関して具体的なガイダンスを提供するための枠組み（2018）も策定している。子どもの作業部会である IAWG が設置され、政策の実施を促進しており、UNICEF や ACPF もそのメンバーとなっている。特に非行少年・少女の保護・更生に焦点を当てた取り組みは確認できなかったが、子どもの権利や子どもの保護システム強化の観点で、少年司法の理念の実現を支えているといえる。

UNAFRI については、アフリカにおける司法分野のネットワーク機関として、具体的な研究や人材育成（研修）の連携を担うことが期待された。しかし、厳しい財政難や空席も多いことから、その役割を果たすのは難しいと想像される。

第6章 ケニアにおける非行少年・少女の保護と更生にかかる協力

方針の検討

6.1 ケニアにおける非行少年・少女の保護・更生にかかる支援ニーズ

6.1.1 支援ニーズの概要

ケニアでの聞き取りや、2021年7月28日に実施した現地ワークショップの中のグループワークで示された、主な支援ニーズをまとめたものが下表である。

表 6-1 主な支援ニーズ

支援段階	No.	内容	支援対象者	ドナー・NGO等による支援	優先度
全体	1	研修	少年司法にかかる6機関の職員及びボランティア	UNODC、CEFA、Plan International、Collective Community Action、Kenya School of Government、ケニアの未来	◎
	2	少年司法6機関共通の情報管理システム	少年司法6機関	UNICEF（パイロット実施。支援終了済み）	◎
予防、出所後	3	保護司の活用支援	保護司	Plan International、ケニアの未来	◎
法定施設内	4	社会復帰のための更生プログラムの確立	法定施設	JICA（協力隊）、CEFA	○
出所後	5	出所者の再統合支援（情報共有、環境適正化、コミュニティ内での支援）	出所者、親（保護者）	なし	◎
	6	教育、職業訓練、就職支援	出所後もしくは社会内処遇となった少年・少女	UNODC、アクセプト・インターナショナル、Plan International、ケニアの未来	◎
	7	公立の薬物更生施設の設置	出所後もしくは社会内処遇となった少年・少女	なし	○
	8	Halfway Houseの設置	出所後、適切な環境の家庭に戻るできない少年・少女	なし	○

出所：ケニアでの聞き取り及びワークショップ結果

6.1.2 各ニーズの詳細

各ニーズの詳細について、以下に記載する。

(1) 研修

少年司法に関する 6 機関、ドナーや NGO による、保護観察官や児童専門官を対象とした各種研修は不定期に行われているものの、施設内職員のみが対象で、保護観察局や児童専門官事務所職員は対象外であるなど、一部の職員のみしか研修を受講することができていない。また保護局や児童局に比べ、矯正局、警察、検察、裁判所は特に研修機会が不足している。6 機関合同の CCPO 研修も、受講者からは大変評判が良く、再開が望まれていたが、資金とコーディネーションが課題となって、2014 年、2015 年の間の 3 回のみしか実施できていない。

6 機関の専門職員以外では、コミュニティで実際に非行少年・少女やその家族と接する機会が多い児童保護司、保護司や、施設で少年・少女の世話をする職員への研修の必要性も指摘された。児童保護司、保護司は採用時や不定期に研修を受講する機会はあるが、計画的に系統だった研修を受講しているわけではない。また施設では、施設長のみが児童専門官などの専門職員だが、これらの専門職員よりも、子どもの世話係、料理人、生活指導等の職員のほうが子供と接する時間が長い上に研修機会がないので、非行少年・少女との接し方や教育的な知識を身につける研修を受講させるべきとの提案もあった¹⁵⁹。

またカウンセリング研修のニーズが、機関や勤務場所（施設内／フィールド事務所）問わず多く挙げられたが、このニーズに応える定期研修は実施されていない。児童保護司、保護司などのボランティアからもカウンセリングを含む研修受講の要望が寄せられており、定期的なカウンセリング研修実施のニーズが非常に高い。

(2) 少年司法 6 機関共通の情報管理システム

2 章及び 3 章で述べたように、各少年司法機関では独自のデータ管理を行っており、他機関との共有がなされていない。そのため、全体の傾向を正確に分析し、重複なく優先度の高い支援を実施したり、介入計画を立てたりすることが困難になっている¹⁶⁰。現在児童局で使用されている Child Protection Information Management System と、警察、検察、裁判所がパイロットで試行した Juvenile Justice Information Collection System は UNICEF が導入を支援したものの、少年司法にかかわる 6 機関が共通で使用できる情報システムの構築、もしくは関連機関が必要とする情報の共有体制の構築が必要とされている。この点は UNICEF のみならず、少年司法機関側からも指摘があったが¹⁶¹、情報の機密性の高さに加え、各機関の壁が厚く、実現が難しいとのことであった。

¹⁵⁹ 保護観察宿舎配属の協力隊からの聞き取り（2021 年 7 月 4 日）

¹⁶⁰ UNICEF からの聞き取り（2021 年 7 月 12 日）

¹⁶¹ NCAJ、保護局からの聞き取り（2021 年 7 月 5 日、8 月 2 日）

(3) 児童保護司／保護司の活用支援

現在、児童保護司および保護司は全くの無給であり、経費も支払われていない。したがって、自身の生計も立てながら、コミュニティでの要保護児童、非行少年・少女やその家族へのカウンセリングや病院、警察等への付き添い、サブカウンティの児童専門官事務所、保護観察所への報告等を行うことは、多くの人にとって困難であり、1期3年間の任期の間に、活発に活動する児童保護司／保護司はごく少数に減ってしまっている。児童保護司／保護司を監督する児童専門官や保護観察官も、自身がコミュニティへ頻繁に赴くことは困難であることから、児童保護司／保護司の協力を重視しており、交通費などの経費や少額の報酬の支払いを行うべきだとの意見が聞かれた¹⁶²。また、児童保護司／保護司の活動は、問題のある家庭に入り込んだり、チーフやニュンバクミなど他の関係者にも状況に応じて協力を得ることが必要になることから、チーフ及びコミュニティからの認知度向上が必要であるとの点も指摘された¹⁶³。

(4) 社会復帰のための更生プログラムの確立

現在、非行少年・少女が6カ月以上滞在する法定施設としては表6-2の4種類の施設があるが、少年院以外は、出所後を見据えた教育や技能訓練の質、量が十分ではない。アイデンティティ及び認知の変化や行動変容にあたり重要なカウンセリングも、一部の少年・少女のみを対象に、不定期に実施されている状況である。さらに、薬物、過激化に特化した更生プログラムがないため、そのようなプログラムを作成したいとの意見も聞かれた¹⁶⁴。このように、法定施設でのプログラムは現状では不十分である。実際に出所者のコミュニティへの受け入れ支援や就職のあっせんをしているチーフからも、「施設からは、何の技術も身につけずに帰ってくる」との言葉があり¹⁶⁵、出所者の社会復帰を困難にしているため、法定施設での更生プログラムの質、量の向上を図る必要がある。

表 6-2 主な法定施設での教育及び技能訓練提供状況

施設	教育	技能訓練
少年院	初・中等教育を提供	あり
更生学校	初等教育のみ提供	あり
保護観察宿舎	施設外の小学校・中学校へ通学	なし
拘置所	なし	なし

出所：聞き取りを基に、調査団作成

(5) 出所者の再統合支援

出所者の再統合支援にあたり、大きく3点のニーズが指摘された。すなわち、関係者間の情報共有、環境整備、コミュニティからの受容である。

¹⁶² Machakos Sub County Children Officer からの聞き取り（2021年7月19日）

¹⁶³ Machakos Child Protection Volunteer、Probation County Director of Machakos からの聞き取り（2021年7月19日、8月3日）

¹⁶⁴ 保護局本局からの聞き取り（2021年8月2日）

¹⁶⁵ Area Chief of Maweni sublocation からの聞き取り（2021年7月12日）

関係者間の情報共有については、3.3 で前述したように、現在、法定施設とフィールドの児童専門官事務所との情報共有ができておらず、更生学校出所者は、出所後何の支援も受けていない。一方、保護観察宿舎や少年院の出所者については、法定施設とサブカウンティの保護観察所との情報共有体制が構築されており、出所後も、保護観察期間中は、月に一回の保護観察所での面接機会があるが、支援内容としては十分ではない。

聞き取りやワークショップでのグループワークから、矯正機関と、フィールドの児童専門官事務所、保護観察所との情報共有が不十分であること、またフィールドの児童専門官事務所、保護観察所と、学校、チーフ、保護司、出所者家族等、関係者間の情報共有も不十分であることが明らかになった。出所後も関係者による出所者の見守りや支援が必要だが、出所する際にその情報が関係者に共有されないため、アフターケアが困難となっている。そのため、この 1) 法定施設とサブカウンティレベルの児童専門官事務所・保護観察所及び 2) サブカウンティレベルの児童専門官事務所・保護観察所とコミュニティとの 2 層の関係者間の連携体制の構築が必要とされている。また、2) のサブカウンティレベルとコミュニティ間の連絡体制やコミュニケーションを強化するにあたり、ロケーション AAC を活性化し、関係者のマッピング、役割の明確化を行い、コミュニケーションの流れを明らかにするとともに、出所後のケアの枠組み（アフターケアフレームワーク）を築くことが必要ではないかとの意見が出された。

次に、再統合にあたり課題となっているのが受け入れ家族による環境整備である。法定施設滞在中、少年・少女の様子はその家族に報告されておらず、出所情報も事前に知らされていないケースがあるため、家族側で環境整備ができていない。出所者だけでなく、家族側も経済状況、薬物やアルコール依存症、SGBV など、問題を抱えていることが多いが、家族に対する支援は行われていない。そのため、出所者は、出所前と同様の環境に戻ることも多く、それが再犯の要因になっている。受け入れ家族が適切な環境を整備できるよう、CBO と連携したカウンセリングサービスの提供や仕事の斡旋などの支援が必要である。また、施設に入らず、社会内処遇やダイバージョンとなった少年・少女についても、同様の環境整備が必要である。

さらに、コミュニティの人々からのスティグマも課題であり、何か事件が起こると疑われる、嫌われているという疎外感が、再犯につながる要因となるとの声が挙げられた¹⁶⁶。被害者を含むコミュニティの人々からの受容をはぐくむことが必要だが、コミュニティ集会（バラザ）やラジオプログラムを通じてコミュニティの人々からの理解を促すことが一つの手段として考えられる。また、出所者間のピアエデュケーションや、自らの非行体験を基に、

¹⁶⁶ Maweni Sub-Location の元受刑者からの聞き取り（2021 年 7 月 12 日）

非行予防のための啓発教育を地域の子どもへ行うことも、出所者本人の立ち直りや、地域の人々の出所者を見る目を変えることにつながり、有効である¹⁶⁷。

(6) 教育、職業訓練、就職支援

出所後、多くの出所者は小学校や中学校への復学や就職を望んでいるが、学費や生活費がないため、復学・進学できなかつたり、就職先が見つからないという困難を抱えている。奨学金制度は、カウンティ開発基金（County development fund）や大統領奨学金（presidential bursary）など公的なものから、UNODC や Plan International などが実施している民間のものまで存在しているが、必要としている子どもの数に比べ、支給対象者数や金額が非常に少ないため、出所者にはなかなか利用できないのが現状である。また食べていくにも事欠く生活であるにもかかわらず、政府の Cash transfer や社会福祉サービスは、対象外であるため利用できない。そのため、出所者対象の、教育を継続するための奨学金制度が必要であるという意見が多く挙げられた。

また、出所者の多くが就職を望んでいるが、仕事の情報や斡旋などの支援が得られないという課題がある。ケニアでは、公開された求人情報による就職は一般的でなく、コネクションによる就職が多いため、チーフや保護司、少年司法関係機関による就職先や徒弟先の紹介が望まれる。また、非行からの立ち直りは一直線ではなく、行きつ戻りつしながら更生していくことが一般的なため、就職先に対する事前の説明や理解を得ておくことが、出所者の就労を長続きさせるうえで必須だと考えられる [111]。日本にある協力雇用主制度を導入することも検討の一つとなろう。

また、一部の更生学校では出所時にツールキットを渡していたが、継続的なフォローアップがないと、起業に至らず、ツールキットを売ってしまうとの話があった¹⁶⁸。起業するには資本金やファイナンシャルマネジメント等の知識が必要なこともあり、出所者には敷居が高いことも考えられる。まずは、徒弟として経験を積む機会を紹介することが必要かもしれない。また、就労の前提として技能訓練が必要な場合には、カウンティ政府が管轄する Vocational Training Centre (VTC) など無償の訓練機会につなげることも望まれる。

(7) 公立の薬物更生施設の設置、コミュニティでの啓発

薬物は小学校高学年から成人まで広い年代で浸透しており、薬物への依存症が、しばしば非行少年・少女の犯罪を起こすきっかけとなっている¹⁶⁹。薬物依存の背景には「生きづらさ」や「喪失体験」があり、医学的な介入・治療とカウンセリングにより、身体、脳、心、人間関係の回復を図っていくことが必要である。また、一旦依存症になると常に再発の危険性があり、薬物が入手できない法定施設ではやめられても、出所後に再発してしまう可能性が高

¹⁶⁷ アクセプト・インターナショナルによるケニア事業説明会（2021年8月11日）（<https://accept-int.org/event/2021-08-11/>）

¹⁶⁸ Likoni Rehabilitation School からの聞き取り（2021年7月12日）

¹⁶⁹ [115]

い¹⁷⁰。したがって薬物を使わないで生活できるようにするには、出所後も継続的な支援が必要であるが、現在、公立の宿泊設備付き薬物更生施設はケニア全土でマザレの 1 か所のみで、十分ではない¹⁷¹。また私立の薬物更生施設は複数あるものの、高額で出所者には利用が難しい。

またコミュニティ内に薬物が蔓延しており、すぐに入手できる状態であることから、コミュニティ内での薬物乱用防止教育、啓発の必要性が高いとの声も聞かれた。

(8) Halfway House の設置

(5) 出所者の再統合支援でもニーズとして挙げられたように、受け入れ側の環境整備が適切に行われないケースのほか、受け入れ先が見つからないなどで、出所後に適切な戻り先がない出所者が多数いる。このような出所者が適切な環境で生活できる場を提供することにより、再発防止のみならず、学業への復帰や就職・起業を促進できる。日本でも非行の危険性がある少年・少女や、出院後戻る家庭のない少年・少女、鑑別所で保護者の身元引受拒否や、少年院の出院時期が大幅に過ぎても行先がない少年・少女を受け入れる自立準備ホームの運営が民間事業者により行われているが¹⁷²、そのような一時的な滞在場所が不足しているため、より多くの設置が望まれている。

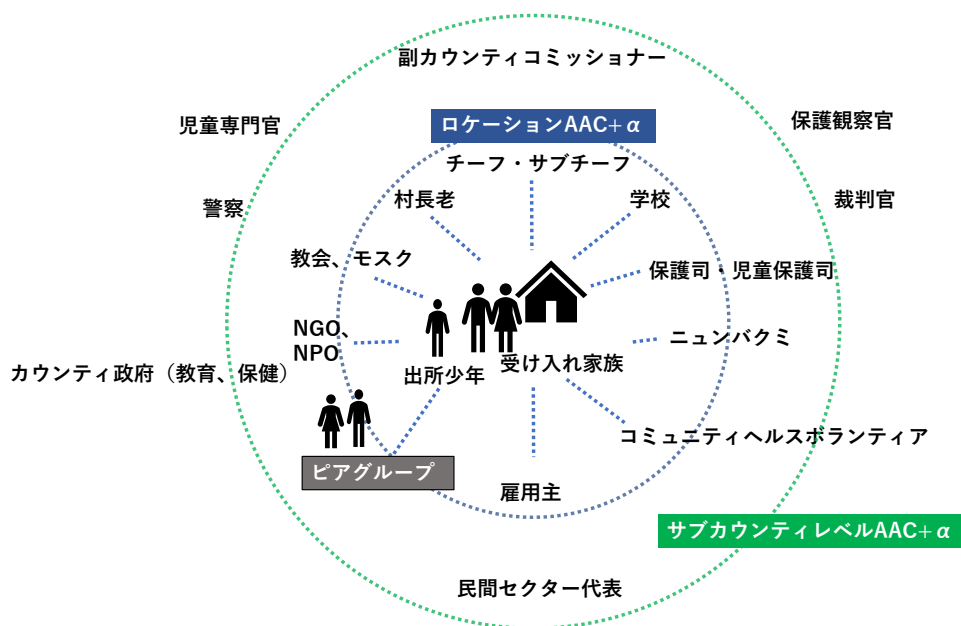
6.2 コミュニティ内における非行少年・少女の保護と更生にかかるプラットフォームの検討

6.1 に示されたニーズを見ると、特に出所後のニーズが多いことが分かる。したがって、元非行少年・少女が出所後に戻ってくるコミュニティでの保護と更生にかかる体制（プラットフォーム）の構築が重要である。関係者からの聞き取りやワークショップで聴収した意見から、出所後のコミュニティでの更生支援について理想的な枠組みは以下のように想定される。

¹⁷⁰ [116]

¹⁷¹ Probation County Director of Machakos からの聞き取り（2021年8月3日）

¹⁷² 再非行防止サポートセンター愛知からの聞き取り（2021年7月7日）



出所：調査団作成

図 6-1 コミュニティでの保護と更生にかかる体制（プラットフォーム）案

プラットフォームの構築は、上記のように、2層の体制が考えられる。非行少年・少女により近いロケーションレベルでのプラットフォームと、関連省庁の出先機関で最もコミュニティに近いレベルが存在するサブカウンティレベルでのプラットフォームが想定される。現在すでに多くの少年司法関連機関が参加している AAC の仕組みを用いて、そこに保護司など関連メンバーが加わる形でプラットフォームを活性化することが有効であると考えられる。なお、3章でも述べられているように、現在サブカウンティレベルの AAC 会合は、NGO や民間セクターからの資金を得て定期的実施されていることが多いが、ロケーションレベルの AAC 会合はほぼ実施されていない、もしくは不定期開催となっている。この仕組みを利用するためには、プラットフォームの意義や役割を明確にし、各組織のマネジメントとして参加を義務付けるような仕組みづくりが必要である。

また、内務・政務調整省の行政官が各レベルの AAC 議長を務めることが、AAC ガイドラインで規定されており、下位レベルから上位レベル AAC への報告も実施されることになっているが、実態が伴っていない可能性もある。現況確認の上、議長もしくは書記から上位レベルの AAC 議長／書記に報告書を提出する、もしくはオンラインで上位レベルの AAC 会合に出席し報告するなどの体制を整えるとともに、NCCS への共有時に併せて NCAJ にも情報共有を行うなどの措置が必要である。なお、プラットフォームは AAC をベースとしていることから、リーディング機関・とりまとめ役は AAC 同様、内務・政務調整省の行政官を想定するが、地域によりチーフらとりまとめ役の少年の保護・更生への理解・関心が異なることも考えられるため、書記は児童局、保護局、裁判所など少年司法分野を中心に扱う機関が務め、補佐する体制とすることが望ましい。

AAC を活用したプラットフォームは、レベルごとに表 6-3、表 6-4 のようなメンバー、TOR のもと、非行少年・少女や出所者の保護・更生支援枠組みとなることが望まれる。なお、役割分担の調整やフォローアップ、公教育や職業訓練受講のための奨学金制度の紹介、コミュニティメンバーへの研修については、2014 年からケニアの少年司法分野で活動している「ケニアの未来」からの協力を得ることが可能である。その他、法定施設や児童専門官事務所等に配属されている海外協力隊による活動のフォローアップや、アクセプト・インターナショナルなど研修や技能訓練実績のある NGO による研修・技能訓練支援を得ることも可能ではないかと考えられる。

表 6-3 ロケーションレベルプラットフォーム案

ロケーションレベルプラットフォーム案	
メンバー	チーフ/サブチーフ、児童専門官、保護観察官、村長老、保護司、児童保護司、ニュンバクミ、コミュニティヘルスボランティア、学校、雇用主、NGO/NPO、教会・モスク、出所者のピアグループ、地域在住のカウンセラー
TOR	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童、非行少年・少女、出所者及びその家庭に関する情報共有と支援に係る役割分担 コミュニティメンバーに対する、非行少年・少女や出所者への対応にかかる教育、啓蒙 教育機会や雇用機会の相談、調整、斡旋 ロケーションレベルで対応できない場合の、サブカウンティレベルプラットフォームや、警察、病院等へのリファー
実施体制	チーフ/サブチーフが主催者となり、コミュニティ内で実施。
会合頻度	四半期に 1 回
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 非行少年・少女等の課題やニーズは男女により異なることから、メンバーも男女同等の割合を目指し、それぞれのニーズに適した支援を検討する。 コミュニティメンバーは非行や保護・更生の専門知識を持っていないことが多いため、定期的に児童専門官や保護観察官による教育機会を提供し、コミュニティメンバーが基礎的な知識・理解の上で支援活動に携われるようにする。

出所：調査団作成

表 6-4 サブカウンティレベルプラットフォーム案

サブカウンティレベルプラットフォーム案	
メンバー	副カウンティコミッショナー、児童専門官、保護観察官、学校、民間セクター代表、NGO/NPO、教会・モスク、警察、裁判官、カウンティ政府（教育、保健）
TOR	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童、非行少年・少女、出所者及びその家庭に関する情報共有と支援に係る役割分担 ロケーションレベルプラットフォームからの報告の共有、対応協議 教育機会や雇用機会の相談、調整、斡旋
実施体制	副カウンティコミッショナーが主催者となり、サブカウンティの会議室で実施。
会合頻度	四半期に 1 回

サブカウンティレベルプラットフォーム案	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 非行少年・少女等の課題やニーズは男女により異なることから、メンバーも男女同等の割合を目指し、それぞれのニーズに適した支援を検討する。 カウンティ政府も関連のリソースや人員を保有していることから、プラットフォームへの巻き込みを行い、VTC への非行少年・少女や出所者の入学斡旋、コミュニティヘルスボランティアとの連携などを模索する。

出所：調査団作成

6.3 今後の協力へ向けた提案

6.1 で挙げられた支援ニーズのうち、特に優先度が高い4つの課題にアプローチする、今後の協力案を以下に示す。なお、実施にあたっては、成果3、4及び法定施設については全国が対象となるが、成果1、2については新しい試みであり、法定施設からコミュニティまでの一連の情報共有の流れやコミュニティでの更生支援を徹底させることを考えると、パイロット地域として1カウンティを選出し、モデルを確立してから全国に波及させることが望ましい。パイロット地域の候補としては、カウンティ政府との連携の試みが確認されていること、ギャンググループへの参加や薬物依存、貧困やネグレクトに起因する非行が深刻なことなどから、モンバサカウンティが第1候補として挙げられる。第2候補としては、ウアシンギシュカウンティが挙げられる。州都エルドレットのAACが活発で、UNODCやSOSなどのドナー・NGOからも評価が高いこと、協力隊が児童専門官事務所や児童拘置所に配属されており、モデルづくりが行いやすいと考えられることが理由である。その他、モチベーションやポテンシャルの高いカウンティを探す際には、UNDP、UNODC、Plan Kenyaなど、少年司法分野のプログラムを実施しているドナーやNGOからの評価を参考にするとよいと考えられる。

表 6-5 元非行少年・少女の保護・更生にかかる包括的アフターケアプロジェクト

目的	関係者によるプラットフォームを活用した、元非行少年・少女の地域での立ち直り支援
支援スキーム	技術協力プロジェクト
被益者	<ul style="list-style-type: none"> 出所者、保護観察など社会内処遇の対象者となった少年・少女及びその家族 少年司法関連機関職員及び更生支援関係者
対象機関	(主要カウンターパート) 児童局、保護局、矯正局、裁判所、検察、警察、National Council Administration of Justice (NCAJ) (パイロット地域) カウンティ政府 (保健、教育)、CUC、チーフ、児童専門官、保護観察官、児童保護司、保護司、コミュニティヘルスボランティア、学校
成果1：法定施設からコミュニティまでの情報共有と連携が強化される	1.1. 法定施設からサブカウンティ事務所までのアフターケアのための情報共有システムの構築 - 現在の情報共有及びフォローアップシステムの分析と課題の抽出 - ‘Throughcare Guidelines’ のレビューと更新 - 施設及びフィールドの児童専門官と保護観察官への研修 - システムの運用とモニタリング

	<p>1.2. サブカウンティ AAC とロケーション AAC の機能強化（保護・更生支援への活用に資するプラットフォーム化）</p> <ul style="list-style-type: none"> - パイロット地域のサブカウンティ AAC とロケーション AAC の現在の運営状況の確認 - ボトルネックの特定と解決 - TOR とメンバーの合意（保護局の巻き込み含む） - AAC の活発化と、出所者への継続的な監督とアフターケアの AAC アジェンダへの組み込み <p>1.3. 児童保護司／保護司の支援の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> - Handbook for Child Protection Volunteers 及び Volunteer Probation Officer Guideline のレビュー、児童保護司と保護司の処遇と TOR の更新 - 研修を受けた児童専門官と保護観察官による、児童保護司と保護司への研修 - 児童専門官／保護観察官と児童保護司／保護司の間のケースの監督や定期的な報告にかかるメカニズムの構築
<p>成果 2：コミュニティでのより良い環境づくりにより、元非行少年・少女の立ち直りが支援される</p>	<p>2.1. 家庭環境整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - 児童保護司／保護司を活用した、親への訓練（養育、ジェンダー、性教育、技能）とカウンセリングの提供 - 法定施設にいる子どもの様子を家庭へ定期的に共有 <p>2.2. コミュニティでの出所者、社会内処遇対象者の受容、啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> - チーフや保護司、児童保護司、保護観察官、児童専門官による出所者等再統合のための啓発活動の実施（バラザ、コミュニティラジオ等の活用） - 保護観察官の監督による、出所者のピアグループ結成支援 - 出所者ピアグループによる地域貢献活動の実施 <p>2.3. 出所者への技能訓練と教育の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> - 出所者のニーズの見極め - 支援プログラムの計画 - 出所者のニーズに応じた技能プログラムの提供（VTC や NGO との連携） - チーフや保護司などによる、就職先や徒弟先の紹介 - 各種奨学金制度の紹介 - 保護観察官、児童専門官、保護司、児童保護司による、出所者の雇用、起業、学業復帰の支援とフォローアップ - 児童保護司、保護司、コミュニティヘルスボランティアによる、ジェンダー研修、性教育の提供 <p>2.4. コミュニティにおける更生と再統合システムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> - パイロット地域における成果 1～2 の好事例と教訓の収集 - コミュニティにおける更生と再統合モデルの構築と、児童局、保護局のネットワークを通じた全国への普及
<p>成果 3：統一された情報の収集と共有システムが構築される</p>	<p>3.1. 収集情報の統一化</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各機関における現在の情報管理システムの分析 - 統一して収集・共有すべき情報の特定化 - 各機関の情報システムへの、不足項目の組み込み <p>3.2. 情報共有体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> - 統一して収集した情報の共有、利用、管理に係る規則の策定 - 情報共有、利用、管理に係る職員の研修 - 情報共有の実施
<p>成果 4：CCPO 研修を通じて少</p>	<p>4.1. 持続的な研修システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> - CCPO 研修の主導機関（NCAJ を想定）と各機関の役割及び責任について

<p>年司法関連機関の能力が強化される</p>	<p>てのコンセンサス確立</p> <ul style="list-style-type: none"> - 持続可能な研修方法の検討（対面／オンライン／ハイブリッド） - 予算編成と研修予算の確保についての能力強化 <p>4.2. 研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> - 研修トレーナーへのリフレッシュ研修の実施（2021 年度に UNAFEI が実施予定） - オンラインを活用した、少年司法関連 6 機関への研修実施。特に少年・少女のケースが周縁化されていて研修ニーズが高い警察への訓練強化 - チーフや保護司、児童保護司、教員、法定施設の専門官以外の職員など対象者を拡大した地域研修の実施
<p>日本側投入</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 専門家（制度構築、アフターケアサービス、研修計画、技能訓練計画、就業支援、データマネジメント&セキュリティ） - 現地業務費（研修、マニュアル印刷費、交通費、情報システムの改修等）
<p>日本の優位性</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 日本のアフターケアシステムとその運用経験 - 開発途上国での情報管理システム支援経験 - CCPO 研修に関する前プロジェクトの経験
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 保護局の巻き込みが重要だが、困難であることが予想される。前広に Principal Secretary への協力依頼を行うなど、上層部の巻き込みに留意が必要。 - 統一情報管理システムを構築することは資金、技術、時間的な面からも大掛かりなものとなるため、収集・共有が必要な情報の特定と、その共有メカニズムの構築のほうが取り組みやすい。裁判所や CUC など力のある機関を中心として、少年司法分野のいずれかの機関がマクロデータを集約して他機関に共有できるシステムとすることが考えられる。 - CCPO 研修は多機関合同であることに意味があるため、オンラインでも対面でも、多機関からの参加者が意見や意識を共有できるよう配慮する必要がある。また前プロジェクトの CCPO 研修からバージョンアップさせ、これまで研修対象となっていなかった実務者（チーフ、保護司等）に向けた地域ごとの研修を組み込むことにより、実務者が自身の活動の意味を理解し、より適切に行動できるようになることが期待される。
<p>ジェンダー視点での留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 女子は加害より被害（特に SGBV）を受けやすいため、ジェンダー研修や性教育を実施することが望まれる。特に、男性／男子に対しては、性犯罪予防教育や男性の意識変革を促すジェンダー研修、女性／女子に対しては早期妊娠予防のための性教育、自己肯定感を高め、守るべき自分の権利を学ぶジェンダー研修を、コミュニティのボランティア（児童保護司、保護司、コミュニティヘルスボランティア）により実施することが望ましい。 - 出所者の技能訓練や雇用・起業支援については、男女で希望業種が異なることが予想されるため、訓練計画策定の際には、男女それぞれの訓練希望や雇用市場を確認し、対象業種を設定することが必要である。
<p>将来的な面的展開の可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ケニア国内では、UNODC 及び UNICEF との連携による面的展開が考えられる。UNODC は非行少年の Throughcare 及び Aftercare 手続きの見直しや保護司の採用、研修を予定しているため、1.1‘Throughcare Guidelines’見直しや、1.3 保護司の研修での連携が考えられる。また UNICEF は情報管理システム構築の経験があり、子どものためのフォーラムの形成やコミュニティでの家庭支援・啓発なども関心領域であるため、1.1 情報共有システムの構築、1.3 児童保護司／保護司の支援の最大化、2.1 家庭環境整備支援、2.2 コミュニティでの出所者、社会内処遇対象者の受容、啓発、3.1 収集情報の統一化、3.2 情報共有体制の構築での連携が可能であると考えられる。

	- 周辺国への面的展開においては、EAC6 か国全てで少年司法分野の支援を行っている UNICEF と連携し、ケニアの保護司制度を紹介することが考えられる。
--	--

第7章 参考文献

1. **CCOPs, NACJ, JICA.** Child Care and Protection Officers Training Manual Facilitator's Manual. 2020.
2. **NCAJ.** Status Report on Children in the Justice System in Kenya. Status Report on Children in the Justice System in Kenya. (オンライン) 2019年. (引用日: 2021年6月5日.) <https://www.judiciary.go.ke/download/status-report-on-children-in-the-justice-system-in-kenya/>.
3. **UNAFEL.** ケニア非行少年処遇制度研修. 国連アジア極東犯罪防止研究所. (オンライン) (引用日: 2021年8月19日.) ケニア非行少年処遇制度研修.
4. **JICA.** 案件概要表. JICA 技術協力プロジェクト. (オンライン) (引用日: 2021年8月19日.) https://www.jica.go.jp/activities/project_list/knowledge/ku57pq00002jvfms-att/LE2007_515_ken.pdf.
5. **National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General.** Children Act. 2010 (revised in 2012).
6. **Ministry of Labour and Social Protection, State Department of Social Protection, Department of Children's Services.** Child Protection Report 2016 - 2019. 2019.
7. **Kenya National Bureau of Statistics.** Economic Survey 2020. 2020.
8. **Directorate of Children Services (DCS).** Kenya Child Protection Data. (オンライン) 2021年. (引用日: 2021年8月18日.) <https://data.childprotection.go.ke/institutions/#000/AAAA>.
9. **National Council on Administration of Justice (NCAJ).** Status Report on Children in the Justice System in Kenya. 2019.
10. **National Council on Administration of Justice, Legal Resources Foundation Trust and Resouce Oriented Development Initiatives.** Criminal Justice System in Kenya:An Audit. 2016.
11. **Directorate of Children Services (DCS).** Child Protection Information Management System. (オンライン) (引用日: 2021年7月12日.) <https://data.childprotection.go.ke/>.
12. **内閣府.** 少年非行事例等に関する調査研究報告書. (オンライン) 2005年. (引用日: 2021年8月20日.) <https://www8.cao.go.jp/youth/suisin/hikou/kenkyu/index.html>.
13. **Office of the Inspector General National Police Service.** Annual Crime Report. 出版地不明 : Office of the Inspector General National Police Service, 2019.
14. **U.S.Department of State.** Country Reports on Terrorism 2019 : Kenya. U.S.Department of State. (オンライン) (引用日: 2021年8月19日.) <https://www.state.gov/reports/country-reports-on-terrorism-2019/kenya/>.
15. **Institute for Economics & Peace.** Global Terrorism Index 2020: Measuring the Impact of Terrorism. Sydney : Institute for Economics & Peace, 2020.
16. **国際協力機構 (JICA).** Analysis of Counter- Terrorism and Juvenile Justice Sector in Kenya. 出版地不明 : 国際協力機構 (JICA), 2020.

17. **BothaAnneli**. Assessing the vulnerability of Kenyan youths to radicalisation and extremism. 出版地不明 : Institute of Security Studies, 2013. 10260404.
18. **Kenya National Commission on Human Rights**. Youth Radicalization in the Coastal Region. Nairobi : Kenya National Commission on Human Rights, 2016.
19. **Charles Villa-VicencioBuchanan-Clarke and Alex HumphreyStephen**. Community Perception of Violent Extremism in Kenya. South Africa : Institute for Justice and Reconciliation, 2016. 978-1-928332-13-8.
20. **Odhiambo E.OOnkware, and Maito T. LeshanProf.Kennedy**. Domestic Radicalisation in Kenya. 出版地不明 : Global Institute for Research & Education, 2015. 2319-8834.
21. **Counter Extremism Project**. Kenya: Extremism and Terrorism. 出版地不明 : The Counter Extremism Project (CEP) .
22. **DCS**. Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya. (オンライン) 2021 年 1 月. (引用日: 2021 年 6 月 20 日.) https://www.socialprotection.go.ke/wp-content/uploads/2021/04/DCS_Assessment-of-Rehabilitation-and-Reintegration-Programmes_HR.pdf.
23. **NCCS**. National Plan of Action for Children 2015-2022. (オンライン) 2015 年. (引用日: 2021 年 6 月 10 日.) http://www.childrenscouncil.go.ke/images/documents/Policy_Documents/National-Plan-of-Action-for-Children-in-Kenya-2015.pdf.
24. **UNODC**. UNODC Eastern Africa News and Stories. (オンライン) 2021 年 4 月 28 日. (引用日: 2021 年 6 月 20 日.) <https://www.unodc.org/easternafrica/en/Stories/the-launch-of-publications-on-rehabilitation-and-social-reintegration-for-the-department-of-childrens-services.html>.
25. **MoLSP**. Draft National Family Promotion and Protection Policy. (オンライン) 2019 年 12 月. (引用日: 2021 年 8 月 23 日.)
26. **PACS**. Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017. (オンライン) (引用日: 2021 年 7 月 3 日.)
27. **ODPP**. Diversion Policy. Diversion Policy. (オンライン) 2019 年. (引用日: 2021 年 8 月 1 日.) <https://www.odpp.go.ke/wp-content/uploads/2019/10/ODPP-Diversion-Policy.pdf>.
28. **DCS**. HANDBOOK FOR CHILD PROTECTION VOLUNTEERS (CPVs). 2019 年.
29. **PACS**. VPO and POs Refresher Training in Mavoko/Mwala Subcounties. 2019 年.
30. -. Community Probation Volunteers Programme. (オンライン) 不明年. (引用日: 2021 年 7 月 20 日.) <https://www.probation.go.ke/about-us/14-programmes1/28-volunteer-probation-officers-programme.html>.
31. **County Government**. County Government Tool Kit. (オンライン) 2020 年 9 月. (引用日: 2021 年 8 月 18 日.) <https://countytoolkit.devolution.go.ke/basics-of-devolution>.
32. **DCS**. Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in Conflict with the Law in Kenya. (オンライン) 2021 年 1 月. (引用日: 2021 年 6 月

- 20 日 .) https://www.socialprotection.go.ke/wp-content/uploads/2021/05/BLUEPRINT-FOR-REHABILITATION-AND-SOCIAL-REINTEGRATION-PROGRAMMES_AD_fa_new_Web.pdf.
33. **NCCS**. Guidelines for the Formation and Operation of Area Advisory Councils. 2020 年.
34. **NCAJ**. Court Users' Committee Guidelines. (オンライン) 2019 年. (引用日: 2021 年 8 月 2 日.) https://www.unodc.org/documents/easternafrika//Criminal%20Justice/CUC_GUIDLINES_2019_final.pdf.
35. **DCS, PACS, KPS**. Final Printing of Throughcare Guideline . 2013.
36. **National Police Service**. Community Policing Information Booklet (2nd edition). 出版地不明 : National Police Service, 2020 年.
37. **Kawaharada Toru**. 19 Extensive Participation of VPOs in the Japanese Probation System. 出版地不明 : 特定非営利活動法人ケニアの未来, 2019 年.
38. **United Nations**. 少年司法運営に関する国連最低基準規則(北京ルールズ). (オンライン) 1985 年 . (引用 日 : 2021 年 8 月 23 日 .) http://www.kodomo-hou21.net/_action/giffiles/Beijing_Rules.pdf.
39. **Unknown**. COUNTY CHILD PROTECTION SYSTEMS GUIDELINE. (オンライン) 2013 年. (引用日: 2021 年 7 月 21 日.) <https://bettercarenetwork.org/sites/default/files/County-Child-Protection-Guidelines-2013.pdf>.
40. **DCS**. Child Protection Report 2016-2019. (オンライン) 2020 年. (引用日: 2021 年 6 月 5 日.) <https://laboursp.go.ke/wp-content/uploads/2021/03/Child-Protection-Report-2016-2019.pdf>.
41. **UNODC**. Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya. (オンライン) 2021 年. (引用日: 2021 年 7 月 20 日.) <https://www.unodc.org/easternafrika/plead/>.
42. -. Annual Report 2019, Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya - PLEAD. Annual Report 2019, Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya - PLEAD. (オンライン) 2020 年 3 月 . (引用 日 : 2021 年 7 月 20 日 .) https://www.unodc.org/documents/easternafrika//Criminal%20Justice/UNODC_PLEAD_ANNUAL_REPORT_2019.pdf.
43. -. Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya. Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya. (オンライン) 2021 年. (引用日: 2021 年 7 月 20 日.) <https://www.unodc.org/easternafrika/plead/>.
44. -. Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya. Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya. (オンライン) 2021 年. (引用日: 2021 年 7 月 28 日.) <https://www.unodc.org/easternafrika/plead/index.html>.
45. -. Launch of first ever online training for Kenya's National Police Service . (オンライン) 2020 年 7 月 29 日. (引用日: 2021 年 8 月 1 日.) <https://www.unodc.org/easternafrika/en/Stories/national-police-service-online-training.html>.
46. **CEFA**. WHAT IS CEFA? WHAT IS CEFA? (オンライン) unknown 年. (引用日: 2021 年 8 月

- 5 日.) <https://www.cefaonlus.it/en/whatwedo/what-is-cefa/>.
47. アクセプトインターナショナル. 活動内容.(オンライン) 2021 年.(引用日: 2021 年 8 月 5 日.) <https://accept-int.org/activity/approach/>.
48. **World Health Organization.** WHO Health Emergency Dashboard WHO (COVID-19) Homepage. (オンライン) (引用日: 2021 年 8 月 24 日.) <https://covid19.who.int/region/afro/country/ke>.
49. 在ケニア日本国大使館. 新型コロナウイルス感染症関連情報.(オンライン) (引用日: 2021 年 8 月 24 日.) https://www.ke.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00210.html.
50. **JETRO.** ビジネス短信.(オンライン) (引用日: 2021 年 8 月 24 日.) <https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/05/88b0d32b3d083181.html>.
51. **United Nations Human Rights.** UN Treaty Body Database. (オンライン) (引用日: 2021 年 7 月 20 日.) https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/15/TreatyBodyExternal/Treaty.aspx?Treaty=CRC&Lang=en.
52. **ACRWC.** 36804-sl-AFRICAN CHARTER ON THE RIGHTS AND WELFARE OF THE CHILD.pdf (au.int). 36804-sl-AFRICAN CHARTER ON THE RIGHTS AND WELFARE OF THE CHILD.pdf (au.int). (オンライン) 2021 年 7 月 20 日. 36804-sl-AFRICAN CHARTER ON THE RIGHTS AND WELFARE OF THE CHILD.pdf (au.int).
53. **The African Child Policy Forum (AcPf).** Harmonisation of Children's Laws in Eastern and Southern Africa-Country Briefs. (オンライン) 2012 年.(引用日: 2021 年 7 月 15 日.) https://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CEDAW/Shared%20Documents/MWI/INT_CEDAW_ADR_MWI_19522_E.pdf.
54. **UNICEF Burundi.** Child Protection Brundi. (オンライン) (引用日: 2021 年 7 月 25 日.) <https://www.unicef.org/burundi/child-protection>.
55. **UNICEF.** 世界の子どもたち ブルンジ: 罪を犯したとされる子どもたち 刑務所ではなく、再教育センターへ. (オンライン) 2014 年 10 月 15 日.(引用日: 2021 年 7 月 23 日.) <https://www.unicef.or.jp/news/2014/0131.html>.
56. -. 世界の子どもたち ブルンジ 刑務所に収容されていた子どもたち 再教育センターで社会復帰の道へ. (オンライン) 2016 年 7 月 28 日.(引用日: 2021 年 7 月 20 日.) <https://www.unicef.or.jp/news/2016/0199.html>.
57. **Terre des hommes.** Rehabilitation of minors in detention. (オンライン) 2019 年.(引用日: 2021 年 7 月 26 日.) <https://www.tdh.ch/en/projects/rehabilitation-minors-detention>.
58. **UNICEF Burundi.** Social Protection Finance Law 2020 | 2021 Burundi. (オンライン) (引用日: 2021 年 8 月 5 日.) <https://www.unicef.org/esa/media/8061/file/UNICEF-Burundi-2020-Social-Protection-Budget-Brief-EN.pdf>.
59. **Ministry of Local Government, Rwanda.** National Policy Against Delinquency. (オンライン) 2016 年 12 月 . (引用日: 2021 年 7 月 28 日.)

https://www.nrs.gov.rw/fileadmin/Laws_and_Regulations/Policies/National%20Policy%20Against%20Delinquency%20%20Final%20Version%20of%207th%20December%202016.pdf.

60. **Ministry of Justice, Rwanda.** Justice for Children Policy. (オンライン) 2014年10月。(引用日: 2021年7月26日.)

https://www.minijust.gov.rw/fileadmin/user_upload/Minijust/Publications/Policies/Justice_for_Children_Policy.pdf.

61. **National Rehabilitation Service, Rwanda.** GITAGATA REHABILITATION CENTRE. (オンライン) (引用日: 2021年7月25日.) <https://www.nrs.gov.rw/index.php?id=137>.

62. -. PRIVATE REHABILITATION CENTRES. (オンライン) (引用日: 2021年7月20日.) <https://www.nrs.gov.rw/index.php?id=145>.

63. -. DISTRICT TRANSIT CENTERS. (オンライン) (引用日: 2021年7月24日.) <https://www.nrs.gov.rw/index.php?id=144>.

64. **Ministry of Gender and Family Promotion, Rwanda.** About the Ministry. (オンライン) 2021年。(引用日: 2021年7月27日.) <https://www.migeprof.gov.rw/about>.

65. **Ministry of Local Government, Rwanda.** Social Protection Sector Strategic Plan (SP-SSP) 2018/19 - 2023/24. (オンライン) 2018年12月。(引用日: 2021年7月23日.) https://www.minaloc.gov.rw/fileadmin/user_upload/Minaloc/Sector_docs/Social_Protection_Sector_Strategic_Plan.pdf.

66. **National Rehabilitation Service, Rwanda.** NATIONAL REHABILITATION SERVICE (NRS) ORGANIZATIONAL STRUCTURE. (オンライン) 2020年8月20日。(引用日: 2021年7月17日.) https://www.nrs.gov.rw/fileadmin/user_upload/National_Rehabilitation_Service_Organisation_Structure.pdf.

67. -. NRS Mission Vision and Objectives. (オンライン) (引用日: 2021年7月26日.) <https://www.nrs.gov.rw/index.php?id=12>.

68. **UNHR.** UN Treaty Body Database, United Nations Human Rights. (オンライン) 2021年7月14日。(引用日: 2021年7月20日.) https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/15/TreatyBodyExternal/Treaty.aspx?Treaty=CRC&Lang=en.

69. **ACRWC.** 36804-sl-AFRICAN CHARTER ON THE RIGHTS AND WELFARE OF THE CHILD.pdf (au.int). (オンライン) 2021年7月20日. <https://au.int/sites/default/files/treaties/36804-sl-AFRICAN%20CHARTER%20ON%20THE%20RIGHTS%20AND%20WELFARE%20OF%20THE%20CHILD.pdf>.

70. **Humanium.** Children of South Sudan. (オンライン) 2020年9月8日。(引用日: 2021年7月25日.) <https://www.humanium.org/en/south-sudan/>.

71. **Ministry Legal Affairs and Constitutional Development, South Sudan.** Penal Code Act 2008.

(オンライン) 2009年2月10日。(引用日: 2021年7月26日.)
<https://www.wipo.int/edocs/lexdocs/laws/en/ss/ss014en.pdf>.

72. **UNICEF South Sudan.** The Situation of Children and Women in South Sudan 2018-2020. (オンライン) 2021年7月。(引用日: 2021年7月27日.)
<https://www.unicef.org/southsudan/media/8191/file/UNICEF-South-Sudan-Situation-Analysis-2021.pdf>.

73. -. The Child Defender. (オンライン) 2020年6月11日。(引用日: 2021年8月5日.)
<https://www.unicef.org/southsudan/stories/child-defender>.

74. **The Child Rights Civil Society Coalition.** Universal Periodic Review of the Republic of South Sudan Stakeholders' Submission to the Human Rights Council. (オンライン) 2016年。(引用日: 2021年7月24日.) https://www.upr-info.org/sites/default/files/document/south_sudan/session_26_-_november_2016/js1_upr26_ssd_e_main.pdf.

75. **Ministry of Gender, Child and Social Welfare, South Sudan.** South Sudan National social Protection Policy Framework Annual Report 2020. 出版地不明: Ministry of Gender, Child and Social Welfare (MGCSW), 2021.

76. **MCSW.** Directorate of Child Welfare. (オンライン) 2021年。(引用日: 2021年7月20日.)
<https://mgcsw.gov.ss/child-welfare/>.

77. **外務省.** タンザニア連合共和国基礎データ. (オンライン) (引用日: 2021年7月20日.)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/tanzania/data.html#section1>.

78. **Future Policy.org.** Zanzibar's Children's Act. (オンライン) (引用日: 2021年7月23日.)
<https://www.futurepolicy.org/rightsofchildren/zanzibars-childrens-act/>.

79. **Ministry of Constitutional and Legal Affairs, Tanzania.** CHILD JUSTICE THE SECOND FIVE-YEAR STRATEGY FOR PROGRESSIVE REFORM 2020/21 - 2024/25. (オンライン) 2020年6月。(引用日: 2021年7月20日.) <https://happychildren.or.tz/wp-content/uploads/2021/03/THE-SECOND-CHILD-JUSTICE-STRATEGY.pdf>.

80. **UNICEF Tanzania.** Child Protection. (オンライン) (引用日: 2021年7月20日.)
<https://www.unicef.org/tanzania/what-we-do/child-protection>.

81. **Ministry of Health, Community Development, Gender, Elderly and Children, Tanzania.** NATIONAL PLAN OF ACTION TO END VIOLENCE AGAINST WOMEN AND CHILDREN IN TANZANIA 2017/18 - 2021/22. (オンライン) 2016年12月。(引用日: 2021年7月15日.)
<https://www.unicef.org/tanzania/media/496/file/tanzania-2016-NPA-VAWC.pdf>.

82. **UNICEF.** Achieving Justice for Children: A review of innovative data initiatives around the world (2021). (オンライン) 2021年2月。(引用日: 2021年7月20日.)
<https://www.unicef.org/tanzania/media/496/file/tanzania-2016-NPA-VAWC.pdf>.

83. **JLOS, Uganda.** The Justice law & Order Sector. (オンライン) 2021年7月16日。(引用日: 2021年7月25日.) <https://www.jlos.go.ug/index.php/about-jlos/projects/justice-for->

children/item/481-the-legal-framework-relating-to-justice-for-children-in-uganda.

84. **MoGLSD, Uganda.** National Child Policy 2020. (オンライン) 2020年. (引用日: 2021年8月18日.) <https://www.unicef.org/uganda/media/8166/file/Final-Uganda-National%20Child%20Policy-October-2020-lores.pdf>.

85. **UNICEF Uganda.** Justice for Children, UNICEF Uganda. (オンライン) 2021年7月10日. (引用日: 2021年7月20日.) <https://www.unicef.org/uganda/what-to-do/justice-for-children>.

86. **MoGLSD, Uganda.** Remand Home MIS. (オンライン) 2021年7月16日. <https://mglsd.go.ug/remand-home-mis/>.

87. **JLOS, Uganda.** FOURTH STRATEGIC DEVELOPMENT PLAN (SDPIV)2017-2020. (オンライン) 2017年8月. (引用日: 2021年7月15日.) <https://drive.google.com/file/d/1n2eTUalt8VBrqw1gJ0mugMAli0yAEZD/view>.

88. **The Justice Law and Order, Uganda.** Justice for Children (J4C). (オンライン) (引用日: 2021年7月26日.) <https://www.jlos.go.ug/index.php/about-jlos/projects/justice-for-children>.

89. **JLOS, CJSI - Uganda.** Justice for Children DDC News, Issue 6, December 2013 - February 2014. (オンライン) 2015年8月23日. (引用日: 2021年7月20日.) <https://www.jlos.go.ug/index.php/document-centre/justice-for-children/358-justice-for-children-dcc-news-issue-6-dec-2013-feb-2014/file>.

90. **JLOS.** Reference Manual on Restorative Justice. (オンライン) 2014年. (引用日: 2021年8月1日.) <https://www.jlos.go.ug/index.php/document-centre/justice-for-children/362-justice-for-children-reference-manual-on-restorative-justice/file>.

91. **Uganda Directorate of Public Prosecutions.** Prosecuting child-related cases in Uganda: A Handbook For Uganda Directorate of Public Prosecutions. (オンライン) (引用日: 2021年7月25日.) https://www.unicef.org/uganda/media/1776/file/Prosecuting_child_related_cases_in_Uganda.pdf.

92. **Ministry of Gender, Labor and Social Development, Tanzania.** National Children Authority. (オンライン) (引用日: 2021年7月27日.) <https://mglsd.go.ug/national-children-authority/>.

93. **Ministry of Gender, Labour and Social Development, Uganda.** Department of Youth & Children Affairs. (オンライン) (引用日: 2021年7月28日.) <https://mglsd.go.ug/youth-and-children-affairs/>.

94. **Kampala Capital City Authority, Uganda.** Services offered by KCCA. (オンライン) (引用日: 2021年7月20日.) <https://www.kcca.go.ug/Probation%20and%20Social%20Welfare>.

95. **UNICEF.** ユニセフの主な活動分野 | 子どもの保護. (オンライン) (引用日: 2021年7月20日.) https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act04_12.html.

96. **UNICEF Burundi.** Country Programme document Brundi. (オンライン) 2018年7月31日. (引用日: 2021年7月28日.) https://sites.unicef.org/about/execboard/files/2018-PL9-Burundi_CPD-ODS-EN.pdf.

97. **UNICEF South Sudan.** Child Protection in South Sudan Briefing Note. (オンライン) 2021 年.
(引用 日 : 2021 年 7 月 26 日)
https://www.unicef.org/southsudan/media/7626/file/Child%20Protection%20Briefing%20Note_2021%20Q1_FINAL.pdf.
98. **UNICEF Uganda.** Justice for children. (オンライン) (引用日: 2021 年 7 月 27 日.)
<https://www.unicef.org/uganda/what-to-do/justice-for-children>.
99. **国際連合広報センター.** 国連薬物犯罪事務所. (オンライン) (引用日: 2021 年 8 月 20 日.)
https://www.unic.or.jp/info/un/unsystem/other_bodies/unodc/.
100. **UNODC.** Children, Victims and Gender in the Criminal Justice System. (オンライン) (引用日:
2021 年 8 月 15 日) <https://www.unodc.org/unodc/en/justice-and-prison-reform/childrensvictimswomensissues.html#children>.
101. -. Promoting the Rules of Law and Human Security in Eastern Africa 2016-2021. (オンライン)
2015 年 . (引用 日 : 2021 年 7 月 30 日)
https://www.unodc.org/documents/easternafrika/FrontOffice/07413_UNODC_Promoting_the_Rule_of_Law_English.pdf.
102. -. Uganda Joins Global UNODC Programme to Prevent Violent Extremism in Prisons. (オン
ライン) 2021 年. (引用日: 2021 年 8 月 10 日.) <https://www.unodc.org/easternafrika/en/uganda-joins-global-unodc-programme-to-prevent-violent-extremism-in-prisons.html>.
103. **Terre des hommes.** Annual Report 2020. (オンライン) 2021 年 6 月 9 日. (引用日: 2021 年 8
月 10 日.) <https://www.tdh.ch/en/media-library/documents/annual-report-2020>.
104. **African Child Policy Forum.** STATUS OF RATIFICATION OF AFRICAN REGIONAL
INSTRUMENTS. (オンライン) (引用 日 : 2021 年 7 月 23 日)
http://www.africanchildforum.org/clr/Status%20Table/PDFs/Status_table_PDF_2019V2/STATUS%20OF%20RATIFICATION%20OF%20AFRICAN%20REGIONAL%20INSTRUMENTS.pdf.
105. **ACERWC.** STRATEGIC PLAN (2015-2019). (オンライン) (引用日: 2021 年 7 月 26 日.)
https://au.int/sites/default/files/pages/32903-file-acerwc_strategic_plan_2015-2019.pdf.
106. -. Access to a child-friendly justice system in Africa. (オンライン) 2020 年. (引用日: 2021 年
7 月 26 日) https://au.int/sites/default/files/newsevents/conceptnotes/38637-cn-final_concept_note_dac_2020_english.pdf.
107. **EAC Secretariat.** The East African Community Child Policy 2016. (オンライン) 2017 年. (引
用 日 : 2021 年 7 月 27 日)
<http://repository.eac.int/bitstream/handle/11671/2013/EAC%20Child%20Policy.pdf?sequence=1&isAllowed=y>.
108. -. Framework for Strengthening Child Protection Systems in the East African Community. (オ
ン ラ イ ン) 2017 年 3 月 . (引用 日 : 2021 年 7 月 21 日)
<https://www.eac.int/documents/category/children>.

109. **UNAFRI**. Supporting Crime Prevention and Criminal Justice System in Africa Strategic and Programme Directions (A Concept Note). (オンライン) 2020年8月20日. (引用日: 2021年7月15日.) <http://unafri.or.ug/wp-content/uploads/2021/01/UNAFRI-CONCEPT-NOTE-edited-for-email.pdf>.
110. -. **UNAFRI Activities - 2014**. (オンライン) (引用日: 2021年7月29日.) <http://unafri.or.ug/index.php/unafri-activities-2014/>.
111. **法務総合研究所**. 研究部報告 58 青少年の立ち直り (デシスタンス) に関する研究. 2018.
112. **Commercial Support Service Branch, NoDH**. Capital Infrastructure, Medical Equipment & Static Plant 4th Quarter Review Report. 出版地不明 : NDoH, 2015.
113. **Probation and Aftercare Service**. Probation Juvenile and Youth Justice Strategy. 2017.
114. **Hirschi: .Travis**. Causes of Delinquency. Berkeley, California : University of California Press, 1969.
115. **Department of Children's Services**. Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya. 2021.
116. **ワンネス財団**. 薬物依存症を知る. (オンライン) (引用日: 2021年8月20日.) https://oneness-g.com/dependence/drug_addiction/.
117. **アジア刑政財団**. アジア刑政通信 No.56. (オンライン) 2016年4月1日. (引用日: 2021年7月10日.) <https://www.acpf.org/wp-content/uploads/2018/01/acpf58.pdf>.
118. **NCAJ**. NCAJ Committees. (オンライン) (引用日: 2021年8月20日.) <https://ncaj.go.ke/committees/>.
119. **藤原正範**. 犯罪被害者と刑事司法・少年司法. (作者) 日本司法福祉学会 (編). 改定新版 司法福祉. 出版地不明 : 生活書院, 2017.
120. **NCCS**. The National Children Policy Kenya 2010. (オンライン) 2010年. (引用日: 2021年6月20日.) <https://bettercarenetwork.org/sites/default/files/2020-10/National-Children-Policy%202010.pdf>.

添付資料 1 : 現地調査日程表

現地調査日程表

Date	Day	Time	Place to visit	
02 July 2021	Fri	PM	Ito Departure from Japan	
03 July 2021	Sat	PM	Ito Arrival in Kenya (EK719)	
04 July 2021	Sun	AM	Team meeting all members	
05 July 2021	Mon	AM	Probation and Aftercare Services, Ministry of Interior and Coordination of National Government Department of Children's Services, Ministry of Labour, Social Security and Services	
		PM	National Council Administration of Justice (NCAJ) Secretariat	
06 July 2021	Tue	AM	Kamiti Youth Collective Training Centre Kamae Girls Borstal Institution Cafasso Halfway House, Kamiti	
		PM	Judiciary/Milimani Children's Court Kenya Prisons Services, Ministry of Interior and Coordination of National Government	
07 July 2021	Wed	AM	Nairobi County Coordinator (Nyayo House) Child Protection Volunteer (Kibera) Chief and Sub-Chief (Kibera) SubCounty Probation Officer (Kibera) SubCounty Children Officer (Kibera)	
			PM	National Crime Research Centre
			AM	Ministry of Interior- Gender desk Officer Buruburu Police Station Makadara Probation Hostel District Probation Officer Makadara
				PM
09 July 2021	Fri	AM	Office of the Director of Public Prosecution (ZOOM) National Counter Terrorism Centre	
		PM	Morirta Departure from Japan	
10 July 2021	Sat	AM	Preparing the report and the workshop	
		PM	Morita arrival in Kenya (EK719) Team meeting	
11 July 2021	Sun	Full day	Move from Nairobi to Mombasa	
12 July 2021	Mon	AM	Assistant Chief of Maweni sublocation and ex-child offenders Ministry of Interior- Gender desk Officer Makupa Police Station	
		PM	Judiciary/Tononoka Children's Court UNICEF (Teams)	
13 July 2021	Tue	AM	Shimo la tewa Borstal Institution Shanzu Probation Hostel	
		PM	Preparing the report and the workshop	
14 July 2021	Wed	AM	County Director of Children, Mombasa Manager Likoni Rehabilitation School Manager Likoni Children Remand Home	
		PM	Sub-County Children Officer Kisauni	
15 July 2021	Thu	AM	Move from Mombasa to Kwale (Go to a community with the Chief and volunteers of Ward in Diani)	
		PM	Move from Kwale to Mombasa	
16 July 2021	Fri	AM	Education Officer's Office in Kisauni, Teachers from Khadija Secondary School	
		PM	Preparing the report and the workshop	
17 July 2021	Sat	Full day	Move from Mombasa to Nairobi from Nairobi to Machakos	
18 July 2021	Sun	AM	Accept International (Teams)	
		PM	Preparing the report and the workshop	
19 July 2021	Mon	AM	CEC Children Machakos County Machakos County Coordinator	
		PM	SubCounty Children's Officer and Child Protection Volunteers CCA (Teams)	
20 July 2021	Tue	AM	Sub-county children office ,Child Protection Volunteers	
		PM	Preparing the report and the workshop	
21 July 2021	Wed	AM	Preparing the report and the workshop Education's Officer's Office Township Primary School	
		PM	Preparing the report and the workshop	
22 July 2021	Thu	AM	Machakos Girls' Rescue Centre and Remand Home Machakos Sub County Police Station-Gender Desk (Child Protection Unit)	
		PM	Preparing the report and the workshop	
23 July 2021	Fri	AM	Chief and Sub-Chief, Community people in Athi River	
		PM	CEFA Representative (Teams)	

Date	Day	Time	Place to visit
24 July 2021	Sat	AM	Move from Machakos to Nairobi
25 July 2021	Sun	Full day	Preparing the Report and the Workshop
26 July 2021	Mon	AM	Preparation of the Workshop
		PM	UNODC
27 July 2021	Tue	AM	JICA Kenya office
		PM	Preparation of the Report and Workshop Children Magistrates Court Machakos Virtual Interview (Teams)
28 July 2021	Wed	AM	Workshop
		PM	Team meeting
29 July 2021	Thu	AM	Team meeting
		PM	Morita and Ito Departure from Kenya (QR1336)
30 July 2021	Fri	PM	Arrive in Japan
31 July 2021	Sat		
01 August 2021	Sun		
02 August 2021	Mon	AM	Kenya Police Service HQS- Directorial of Community Policing, Gender and Children
		PM	Probation and Aftercare Services HQS
03 August 2021	Tue	AM	County Director of Probation and Aftercare Services- Machakos Community Probation Volunteers in Machakos Sub-County Probation Office
		PM	Athi-river Sub-County Probation Officer, Machakos
04 August 2021	Wed	AM	Kisauni Sub-County Probation Officer, Mombasa Shanzu Boys Probation Hostel, Mombasa

添付資料 2 : 写真

写真



カミティ YCTC でのインタビュー調査の様子
(ナイロビ)



マウエニ地区のアシスタントチーフへのインタ
ビュー調査の様子 (モンバサ)



シモラテワ少年院のコンピューターラボ
(モンバサ)



リコニ更生学校の石工訓練ワークショップ(モン
バサ)



村の長老へのインタビュー調査の様子
(クワレ)



児童保護司へのインタビュー調査の様子
(クワレ)



キサウニサブカウンティの教育官へのインタビュー調査の様子（モンバサ）



カウンティコーディネーター（児童専門官）へのインタビューの様子（マチャコス）



児童専門官と児童保護司へのインタビュー調査の様子（マチャコス）



Township Muslim Primary School でのインタビュー調査の様子（マチャコス）



女子児童救護所と児童拘置所でのインタビュー調査の様子（マチャコス）



警察署でのインタビュー調査の様子（マチャコス）



保護局本局でのインタビュー調査の様子(ナイロビ)



保護司へのインタビュー調査の様子 (マチャコス)



ワークショップでの調査結果の共有



グループディスカッション



グループディスカッションの結果発表



3 グループの結果のまとめ

添付資料 3 : 収集資料リスト

収集資料リスト

S/N	資料名	著者／発行機関	発行年	ソフト	ハード
1	The framework for the national child protection system for Kenya	The National Council for Children's Services	2011	○	
2	Constitution of Kenya	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2010	○	
3	Children Act 2001 (Revised Edition 2012)	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2012	○	
4	The Children in Conflict with the Law (Practice and Procedure) Rules	The Chief Justice	2020	○	
5	The Children Bill 2020	Ministry of Labour and Social Protection	2020	○	
6	The Children Bill 2019	Ministry of Labour and Social Protection	2019	○	
7	The Children Bill 2017	Dr. Kibaya Imaana Laibuta (Legislative Counsel/ Expert)	—	○	
8	Extract from the Report on the AUDIT OF THE CHILDREN BILL, 2020: Reforms in Legislation Introduced by the Bill to Repeal the Children Act, 2001	Ministry of Labour and Social Protection	2020	○	
9	The Persons Deprived of Liberty Act	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2014	○	
10	Probation of Offenders Act (Revised Edition 2012)	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2012	○	
11	The Borstal Institutions Act (Revised Edition 2012)	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2012	○	
12	Criminal Procedure Code (Revised Edition 2012)	National Council for Law Reporting with the Authority of the Attorney-General	2012	○	
13	Guidelines for the Alternative Family Care of Children in Kenya	Government of Kenya	2014	○	
14	Bail and Bond Policy Guideline	National Council on Administration of Justice (NCAJ)	2015	○	
15	NPS Community Policing Information Booklet	Office of the Inspector General National Police Service	2017	○	
16	Report of the Judiciary Technical Committee Developing the Criminal Procedure Bench Book	The Judiciary of Kenya	2018	○	
17	Sentencing Policy Guidelines	The Judiciary of Kenya	2017	○	
18	State of the Judiciary and the Administration of Justice Annual Report 2018/2019	The Judiciary of Kenya	2020	○	
19	Diversion Policy	Office of the Director of Public Prosecutions	2019	○	
20	Diversion Guidelines and Explanatory Notes	Office of the Director of Public Prosecutions	2019	○	
21	Criminal Justice System in Kenya	National Council on Administration of Justice (NCAJ), Legal Resources Foundation Trust, and Resource Oriented Development Initiatives (RODI)	2016	○	
22	Court Users' Committee Guidelines	National Council on Administration of Justice (NCAJ)	2019	○	
23	Status Report on Children in the Justice System in Kenya	National Council on Administration of Justice (NCAJ)	2019	○	
24	The National Children Policy	National Council for Children Services (NCCS)	2010	○	
25	Annual Crime Report	Office of the Inspector General National Police Service	2018	○	
26	Guidelines for the Establishment and Operation of Area Advisory Council for Children (AACs) (Revised 2020)	National Council for Children Services (NCCS)	2020	○	
27	Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2021	○	
28	Caseworker's Toolkit- Case Management for Reintegration of Children into Family or Community Based Care	Department of Children's Services	2019	○	
29	Child Protection Report 2016-2019	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	—	○	
30	County Child Protection Systems Guidelines	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	—	○	
31	Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in Conflict with the Law in Kenya	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2021	○	
32	Draft National Family Promotion and Protection Policy	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2017	○	
33	Handbook for Child Protection Volunteers (CPVs)	Department of Children's Services	2019	○	
34	Guidelines for the Formation and Operation of Area Advisory Councils	National Council for Children Services (NCCS)	2016	○	
35	Guidelines for Child Protection Case Management and Referral in Kenya	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2018	○	
36	Guidelines for Child Protection Case Management and Referral in Kenya	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2019	○	
37	Probation Juvenile and Youth Justice Strategy 2013-2017	Department of Probation and Aftercare Service, the Ministry of Interior and Coordination of National Government	—	○	
38	少年司法運営に関する国連最低基準規則(北京ルールズ)	United Nations	1985	○	
39	Throughcare Guidelines	5JJAs	2013	○	
40	Faraja Foundation Annual Report	Faraja Foundation	2019	○	
41	Children's Rights in Kenya – an Analysis Based on the CRC Reports	Save the Children	2006	○	
42	Promoting Child Rights	Save the Children	2012	○	
43	Country programme document for Kenya (2018-2022)	UNDP	2018	○	
44	Manual for the Measurement of juvenile justice indicators	UNODC	2006	○	

S/N	資料名	著者/発行機関	発行年	ソフト	ハード
45	Baseline Study: Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya	UNODC	2018	○	
46	Annual Report 2019: Programme for Legal Empowerment and Aid Delivery in Kenya	UNODC	2020	○	
47	Youth: Programmatic Overview	UNODC	—	○	
48	Profile of Borstal Institutions	Kenya Prison Services	2021		○
49	Profile of Rehabilitation Schools	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2021		○
50	Profile of Probation Hostels	Department of Probation and Aftercare Service, the Ministry of Interior and Coordination of National Government	2021		○
51	Profile of Remand Home	Ministry of Labour and Social Protection Department of Children's Services	2021		○
52	Profile of Rescue Center	Machakos Girls' Rescue Centre	2021		○
53	Profile of YCTC	Nairobi County Youth correction center YCTC	2021		○
54	シモラテワ少年院 学校カレンダー、タイムテーブル	シモラテワ少年院	2020		○
55	カミティYCTC 組織図、タイムテーブル	カミティYCTC	2021		○
56	シャンズ保護観察ホステル タイムテーブル	シャンズ保護観察ホステル	2021		○
57	マカダラ保護観察ホステル タイムテーブル	マカダラ保護観察ホステル	2021		○
58	セントジョセフカファソ中間施設 組織図、タイムテーブル	セントジョセフカファソ中間施設	2021		○
59	更生保護に係る資料	法務省保護局	2020	○	
60	再犯防止に係る資料	法務省保護局	—	○	
61	保護司と学校との連携パンフレット	法務省保護局	2020	○	
62	Framework for Strengthening Child Protection Systems in the East African Community	EAC	2018	○	
63	Minimum Standards on Comprehensive Services for Children and Young People in the East African Community	EAC	2018	○	
64	Supervision report format (For school)	Kibera Sub-County Children Office	2018		○
65	Weekly time table of the program	Kabete Rehabilitation School	2021		○
66	ワムム更生学校プログラム	ワムム更生学校	2019	○	
67	Approaching the essence—「社会のリアル」に学ぶ—「罪を犯した人」のその後 支援とは何か、何ができるか	厚生労働省	2021	○	
68	ルボ・少年院 ～少年の更生現場で何が？～	NHK (クローズアップ現代) https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4543/index.html	2021	○	
69	少年院の中で成人式 「やればできる」怖さもあるけど	朝日新聞デジタル https://www.asahi.com/articles/ASP4V3WBRP32UTIL01F.html	2021	○	
70	The Care re-integration model	Department of Probation and Aftercare Service, the Ministry of Interior and Coordination of National Government	—	○	
71	Guidelines and Template Pre-release Assessment and Re-integration Planning for Borstal Inmates	Department of Probation and Aftercare Service, the Ministry of Interior and Coordination of National Government	—	○	

添付資料 4 : 面談者リスト

面談者リスト

Date	City	Organization	Name	Position
5/7/2021	Nairobi	Department of Probation and Aftercare Services, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Ms. Florence Mueni	Assistant Director
5/7/2021	Nairobi	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Ms. Hellen Mafumbo	Principle Children Officer
5/7/2021	Nairobi	National Council of Administration of Justice	Hon. Teresia Matheka	Secretariat
6/7/2021	Nairobi	Youth Correction Training Centre	Ms. Nelius Muchoya	Deputy Officer in charge
6/7/2021	Nairobi	Kamae Borstal Institution	Ms. Betty Jepkosgei	Officer in Charge
6/7/2021	Nairobi	St. Joseph Caffasso Half-Way House	Sister. Celestine Auma	Deputy Administrator
7/7/2021	Nairobi	Judiciary	Ms. Mary Otindo	Children's Magistrate
7/7/2021	Nairobi	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Hoyd Isadia	County Director of Children Services
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County Children Office	Mr. Mohammed Oka	Child Protection Volunteer
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County Children Office	Mr. Peter Makan	Child Protection Volunteer
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County Children Office	Ms. Wilkistar Agola	Child Protection Volunteer
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County	Mr. Alex Matiiri	Senior Assistant Chief
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County Children Office	Ms. Teresa Kariuki	Principle Children Officer
7/7/2021	Nairobi	Kibera Sub-County Probation Office	Ms. Lydia Kariuki	Principle Probation Officer
7/7/2021	Nairobi	National Crime Research Centre	Mr. Chrispinas Aben	Research Officer

Date	City	Organization	Name	Position
8/7/2021	Nairobi (Buruburu)	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Temita Muraa	Inspector Manager of Buruburu Child Protection Unit
8/7/2021	Nairobi	Makadara Male Probation Hostel	Mr. Paul Kimani King'e	Assistant Director
8/7/2021	Nairobi	Makadara Probation Office	Mr. John Ngugi	Principle Probation Officer
8/7/2021	Nairobi	Kabete Rehabilitation School	Mr. James Nyaga	Manager of Rehabilitation School
9/7/2021	Online interview	Office of the Director of Public Prosecutions	Ms. Linda Ndambiri	Principal Prosecution Council
9/7/2021	Nairobi	National Counter Terrorism Centre	Mr. Robert Ochola	Consultant
9/7/2021	Nairobi	National Counter Terrorism Centre	Mr. Jack Ombaka	Head of the Department
12/7/2021	Mombasa	Maweni Sub Location Administration Office	Mr. Bernard Omolo	Acting Area Chief of Maweni sublocation and Assistant Chief of Maweni ward & Ziwa Ngowhe ward
12/7/2021	Mombasa	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Hannah Hjon Kiragu	Police officer
12/7/2021	Mombasa	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Nelly Marando	Police officer
12/7/2021	Mombasa	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Amina Salim	Police officer
12/7/2021	Mombasa	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Dael Rotich	Police officer
12/7/2021	Mombasa	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Gladys Makoram	Police officer
12/7/2021	Mombasa	Judiciary	Ms. Lucy Sindani	Magistrate

Date	City	Organization	Name	Position
12/7/2021	Online interview	UNICEF	Ms. Roselyne Kabata	Child Protection Officer
13/7/2021	Mombasa	Shimo la tewa Borstal Institution	Ms. Rosemary Njenga	Supt 1/Charge
13/7/2021	Mombasa	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Phillip Nzenge	County Children's Coordinator
14/7/2021	Mombasa	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Ms. Irene Rukaria	Manager Children's Remand
14/7/2021	Mombasa	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Kenneth Mbito Murvya	Manager of Likoni Rehabilitation School
14/7/2021	Mombasa	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Kennedy Kuria	Sub County Children Officer-Nyali
15/7/2021	Mombasa	Bongwe Sublocation	Mr. Musa Mada	Assistant Chief
15/7/2021	Kwale	Msambweni Sub-County Children office	Ms. Jane Mwaka	Child Protection Volunteer
16/7/2021	Mombasa	Ministry of Education, Nyali	Ms. Mary Kanyoro	Sub County Education Officer
16/7/2021	Mombasa	Khadija Secondary School	Mr. Charles Kanyore	Deputy Principal/Disciplinary Master
17/7/2021	Mombasa	Office of Deputy County Commissioner	Mr. Harun Kamau	Deputy County Commissioner of Kisauni
19/7/2021	Machakos	Machakos County Government of Education, Skills training and Social welfare	Ms. Ruth Nduku Mutua	County Executive Committee member of Education, Skills Training & Social Welfare
19/7/2021	Machakos	Machakos County Government of Education, Skills training and Social welfare	Ms. Zuhura Rajab	Chief Social Welfare Officer
19/7/2021	Machakos	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Ms. Salome Muthama	County Coordinator
19/7/2021	Online interview	CCA	Mr. Martin Munyagia	Child protection project manager

Date	City	Organization	Name	Position
19/7/2021	Machakos	Machakos Sub County Children Office	Ms. Rosephela Kalekye	Child Protection Volunteer
19/7/2021	Machakos	Machakos Sub County Children Office	Ms. Mueni John	Child Protection Volunteer
19/7/2021	Machakos	Machakos Sub County Children Office	Ms. Emily Kimanzi	Assistant Director of Department of Children Services
20/7/2021	Machakos	Athi river sub county children office	Ms. Mercy Muli	Sub County Children Officer
20/7/2021	Machakos (Mlolongo)	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Daniel Ngwili Kyenza	Child Protection Volunteer
20/7/2021	Machakos (Mlolongo)	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Kilungu Davies Malonza	Child Protection Volunteer
20/7/2021	Machakos (Mlolongo)	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Ms. Tabitha Wayua Kivuva	Child Protection Volunteer
20/7/2021	Machakos (Githunguri)	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Ms. Dinah Akinyi Mitula	Child Protection Volunteer
20/7/2021	Machakos (Athi River)	Department of Children Services, Ministry of Labour and Social Protection	Mr. Elijah Mutie Mboya	Child Protection Volunteer
21/7/2021	Machakos	Teachers Service Commission	Ms. Fernice Mwito	Teachers Service Commission Deputy County Director
21/7/2021	Machakos	Township Muslim Primary	Mr. Raphael Mulela	Headteacher
21/7/2021	Machakos	Township Muslim Primary	Ms. Amina Hussein	Deputy Headteacher
22/7/2021	Machakos	Machakos rescue centre and remand home	Ms. Damaris Kasyula	Manager

Date	City	Organization	Name	Position
22/7/2021	Machakos	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Freder Achieng	Gender head in charge
22/7/2021	Machakos	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Felistus Tabitha	Police Commander (Ward)
22/7/2021	Machakos	Kenya Police Service (Gender and Children Desk)	Ms. Lucy Akai	Police Commander (Ward)
23/7/2021	Machakos	Muthani location, Athi River District	Ms. Jane Muia	Community people
23/7/2021	Machakos	Muthani location, Athi River District	Mr. Makau Mutuku	Community people
23/7/2021	Machakos	Muthani location, Athi River District	Mr. Onesmus Mweu	Community people
23/7/2021	Machakos	Muthani location, Athi River District	Ms. Grace Katumbi	Community people
23/7/2021	Machakos	Muthani location, Athi River District	Ms. Agnes Mutua	Community people
26/7/2021	Online interview	UNODC	Ms. Rebecca Nyandiwa	Programme Officer
27/7/2021	Online interview	Judiciary	Ms. Hon Anne Nyoike	Children's Magistrate
26/7/2021	Filled questionnaire	UNDP	Mr. Beatrice Gathoni Njenga	Project Officer
26/7/2021	Filled questionnaire	UNDP	Ms. Agnes Rogo	Deputy Director/ Programs Manager
26/7/2021	Filled questionnaire	UNDP	Mr. Dennis Amonde	Head of Programmes ACE Africa
2/8/2021	Nairobi	Kenya Police Services	Ms. Judy Jebet	Director of Community Policing, Gender, and Child Protection
2/8/2021	Nairobi	Kenya Police Services	Ms. Phidiliah Kisinyo	Deputy Director of Community Policing, Gender, and Child Protection

Date	City	Organization	Name	Position
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Mr. Boniface Muindu	Deputy Director
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Ms. Teresia Kimoko	Principle Probation Officer
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Mr. Hitler Ogenche	Deputy Director
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Ms. Caroline Atieno	Principle Probation Officer
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Mr. Steven Kivuva	Principle Probation officer
2/8/2021	Nairobi	Probation and Aftercare Services HQS, Ministry of Interior and Coordination of National Government	Mr. Joy Riungu	Principle Probation Officer
3/8/2021	Machakos	Machakos County Probation Office	Ms. Serah M. John	Probation County Director of Machakos
3/8/2021	Machakos	Machakos Sub-County Probation Office	Ms. Angelina Kyule	Community Probation Volunteers
3/8/2021	Machakos	Machakos Sub-County Probation Office	Ms. Angelica Kiilu	Community Probation Volunteers
3/8/2021	Machakos	Athi-river Sub-County Probation Office	Ms. Lillian A Otieno	Principle Probation Officer
4/8/2021	Online interview	Kisauni Sub-County Probation Office	Mr. Wycliffe Wathome	Sub-County Probation Officer
4/8/2021	Online interview	Shanzu Probation Hostel	Ms. Joyce Wachira	Officer in charge

添付資料 5 : 質問票

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Department of Children's Services, Ministry of Labour and Social Protection

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up

cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

- 6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

- 6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

- 6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7.1 ~ 7.5.

→ If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1.	Age					
7.2.	Gender					
7.3. Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know					
	7.3.2. (If Yes) Types of offences					
	7.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
7.4. Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	7.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

11. Please provide the following domestic legal and policy instruments listed in the Blueprint

for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya, Department of Children's Services (2021) p.4:

S/N	Title	Check after provided
1	Constitution of Kenya	
2	Children Act	
3	Children Bill	
4	Criminal Procedure Code	
5	Borstal Institutions Act	
6	Probation of Offenders Act	
7	Persons Deprived of Liberty Act	
8	Sentencing Policy Guidelines	
9	Bail and Bond Policy Guidelines	
10	Throughcare and Aftercare Procedures for Children in Statutory Institutions in Kenya	
11	National Standards and Regulation for Statutory Children's Institutions	
12	Probation and After Care Services: The National Standards Manual	
13	Criminal Procedure Bench Book	
14	Office of the Director of Public Prosecutions Diversion Policy	
15	Office of the Director of Public Prosecutions Diversion Guidelines and Explanatory Notes	
16	Standard Operating Procedures for Implementing Alternative Family and Community Based Care for Children in Kenya	
17	Guidelines for the Alternative Family Care of Children in Kenya	
18	Case Management for Reintegration into Family and Community Based Care for Children	

Current situation and issues of statutory institutions

12. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

12.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

12.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

12.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

12.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

12.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

12.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

12.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

12.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

13. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

13.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

13.2. Status of functioning and its impact

13.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

14. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

14.1. Coordination mechanism between central and local administrations

14.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

14.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

14.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

15. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* 【post-release programmes】 : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

16. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

16.1. Legislation & organizational structure

16.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

16.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

16.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

16.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

17. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

17.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

17.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

17.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

17.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE

FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

17.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

18. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

19. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

19.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

19.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

19.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

20. What needs do juveniles in the communities have?

21. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

22. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

23. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

24. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

25. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

26. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

26.1. Human resources in the community

26.2. Institutions available in the community

26.3. Relevant support forum in the communities, if any.

26.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

26.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

27. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your office.

27.1. What roles are they undertaking in the communities?

27.2. What impact did they bring about?

27.3. How does your office communicate with the volunteers?

27.4. Has any reporting system been established?

27.5. Are regular meetings set up?

27.6. What challenges do your office as well as your volunteers face in the current situation?

27.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

28. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

28.1. Name of the organization

28.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

28.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

28.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

29. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

30. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

31. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

32. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

33. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from instutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

34. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

35. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

36. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

37. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

- 37.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

- 37.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

- 37.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

- 37.4. How should the gender aspects be reflected/included?

- 37.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

38. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

38.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

38.2. Coordination policy & its history

38.3. Activities

38.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

12.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

**Department of Probation and Aftercare Service, Ministry of Interior and
Coordination of National Government**

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity

Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes 2. No 3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7 .1 ~ 7 .5.

--→ If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1.	Age					
7.2.	Gender					
7.3.	Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know				
		7.3.2. (If Yes) Types of offences				
		7.3.3. (If Yes) Number or times of offences				
7.4.	Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group				
		7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to				
		7.4.3. Geographical area (sub county) that				

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Current situation and issues of statutory institutions

11. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

11.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

11.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

11.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

11.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

11.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

11.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

11.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local

administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

11.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

12. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

12.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

12.2. Status of functioning and its impact

12.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

13. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

13.1. Coordination mechanism between central and local administrations

13.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

13.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

13.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

14. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

15. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

15.1. Legislation & organizational structure

15.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

15.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

15.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

15.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

16. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

16.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

16.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

16.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and

responsibilities are held at each level of administration?

- 16.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 16.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

17. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

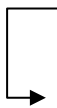
Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

18. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

- 18.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 18.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know



If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

18.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

19. What needs do juveniles in the communities have?

20. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

21. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

22. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

23. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

24. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

25. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

25.1. Human resources in the community

25.2. Institutions available in the community

25.3. Relevant support forum in the communities, if any.

25.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

25.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

26. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your office.

26.1. What roles are they undertaking in the communities?

26.2. What impact did they bring about?

26.3. How does your office communicate with the volunteers?

26.4. Has any reporting system been established?

26.5. Are regular meetings set up?

26.6. What challenges do your office as well as your volunteers face in the current situation?

26.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

27. Please provide the following information of development partners related to the children’s sector and juvenile justice sector:

27.1. Name of the organization

27.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

27.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

27.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

28. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

29. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

30. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

31. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

32. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

33. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

34. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

35. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

36. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

36.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

36.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

36.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

36.4. How should the gender aspects be reflected/included?

36.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

37. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

37.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

37.2. Coordination policy & its history

37.3. Activities

37.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

11.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

**National Council for Administration of Justice,
Special Taskforce on Children Matters**

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

Background of juveniles

4. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 4.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 4.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 4.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

- 4.4. Educational background (by age range, by gender)

- 4.5. Working status (by age range, by gender)

- 4.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

4.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

4.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

4.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

4.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

4.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

5.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

5.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

5.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

6. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 6 .1 ~ 6 .5.

→ If no, please skip to Q.7.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
6.1. Age						
6.2. Gender						
6.3. Previous record of committing offenses	6.3.1. Yes/No/I don't know					
	6.3.2. (If Yes) Types of offences					
	6.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
6.4. Basic information of participation in a radical group	6.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	6.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	6.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	6.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
6.5. Participation of family members in radical groups	6.5.1. Yes/No/ I don't know					

7. Regarding juveniles, please answer the following;

7.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

7.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

7.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

8. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

8.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

8.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

9. Please provide the information related to juveniles on the following:

9.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

9.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

9.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

9.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

9.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

10. Please provide the following domestic legal and policy instruments listed in Volume II of the

Status Report on Children in the Justice System in Kenya, (NCAJ special task force (2019) p.59 (Annex C).

S/N	Title	Check after obtained
1	Compendium of Emerging Case Law on children matters	
2	Court Practice Directions	
3	Rules of Procedure for Enforcement of Fundamental Rights	
4	Monitoring, Supervision & Inspection Guideline	
5	Recommendations on Service Standards for Key Juvenile Justice Institutions	
6	Protection & Care Form [P&C form]	
7	Diversion Toolkit (Draft)	
8	Operational Standards for Police Child Protection Units (Draft)	
9	Policy on Mandatory Continuous Professional Development for Juvenile Justice Actors (Draft)	
10	Children's Court Protocol (Draft)	
11	Child Court User Committee Guidelines	
12	Protocol on Sensitisation on Children Matters	
13	Throughcare Guidelines	
14	Reintegration Policy	
15	Sexual Offences Proposed Amendment	
16	JJIMS User Operation Manual and Guide	
17	JJIMS Needs Assessment	
18	Comparative Study of Child Holding Institution (Likoni Remand and Kisumu Remand)	
19	Proposed practice guidelines (incl. Case Study) on handling children involved in terrorism/and radical extremism	
20	Proposal on transportation and feeding of children by Justice agencies	
21	List of State-owned Child Holding Institutions in Kenya	

Current situation and issues of statutory institutions

11. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

11.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and

their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

11.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

11.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

11.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

11.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

11.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

11.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

11.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

12. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

12.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

12.2. Status of functioning and its impact

12.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

13. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

13.1. Coordination mechanism between central and local administrations

13.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

13.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

13.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

14. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* 【post-release programmes】 : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

15. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

15.1. Legislation & organizational structure

15.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

15.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

15.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

15.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

16. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

16.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

16.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

16.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

16.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE

FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

16.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

17. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

18. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

18.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

18.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

18.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

19. What needs do juveniles in the communities have?

20. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

21. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

22. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

23. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

24. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

25. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

25.1. Human resources in the community

25.2. Institutions available in the community

25.3. Relevant support forum in the communities, if any.

25.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

25.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Development partners

26. Please provide the following information of development partners related to the children’s sector and juvenile justice sector:

26.1. Name of the organization

26.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

26.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

26.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

27. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

28. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

29. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

30. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

31. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

32. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

33. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

34. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

35. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

35.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

35.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

35.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

35.4. How should the gender aspects be reflected/included?

35.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

36. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

36.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

36.2. Coordination policy & its history

36.3. Activities

36.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

11.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Judiciary

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity

Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes 2. No 3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7 .1 ~ 7 .5.

--→If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1. Age						
7.2. Gender						
7.3. Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know					
	7.3.2. (If Yes) Types of offences					
	7.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
7.4. Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	7.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Current situation and issues of statutory institutions

11. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

11.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

11.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

11.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

11.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

11.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

11.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

11.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local

administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

11.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

12. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

12.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

12.2. Status of functioning and its impact

12.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

13. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

13.1. Coordination mechanism between central and local administrations

13.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

13.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

13.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

14. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

15. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

15.1. Legislation & organizational structure

15.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

15.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

15.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

15.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

16. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

16.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

16.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

16.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and

responsibilities are held at each level of administration?

16.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

16.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

17. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

18. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

18.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

18.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

18.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

19. What needs do juveniles in the communities have?

20. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

21. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

22. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

23. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

24. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

25. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

25.1. Human resources in the community

25.2. Institutions available in the community

25.3. Relevant support forum in the communities, if any.

25.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

25.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Development partners

26. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

26.1. Name of the organization

26.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

26.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

26.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

27. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

28. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

29. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

30. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

31. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from instutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

32. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

33. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

34. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

35. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

35.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

35.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

35.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

35.4. How should the gender aspects be reflected/included?

35.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

36. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

36.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

36.2. Coordination policy & its history

36.3. Activities

36.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

11.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

**Department of Kenya Prisons Service, Ministry of Interior and Coordination of
National Government**

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity

Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes 2. No 3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)
- If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7.1 ~ 7.5.

--→ If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1. Age						
7.2. Gender						
7.3. Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know					
	7.3.2. (If Yes) Types of offences					
	7.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
7.4. Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	7.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Current situation and issues of statutory institutions

11. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

11.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

11.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

11.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

11.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

11.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

11.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

11.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local

administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

11.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

12. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

12.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

12.2. Status of functioning and its impact

12.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

13. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

13.1. Coordination mechanism between central and local administrations

13.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

13.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

13.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

14. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

15. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

15.1. Legislation & organizational structure

15.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

15.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

15.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

15.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

16. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

16.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

16.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

16.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and

responsibilities are held at each level of administration?

- 16.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 16.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

17. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

18. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

- 18.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 18.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know



If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

18.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

19. What needs do juveniles in the communities have?

20. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

21. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

22. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

23. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

24. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

25. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

25.1. Human resources in the community

25.2. Institutions available in the community

25.3. Relevant support forum in the communities, if any.

25.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

25.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

26. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your office.

26.1. What roles are they undertaking in the communities?

26.2. What impact did they bring about?

26.3. How does your office communicate with the volunteers?

26.4. Has any reporting system been established?

26.5. Are regular meetings set up?

26.6. What challenges do your office as well as your volunteers face in the current situation?

26.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

27. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

27.1. Name of the organization

27.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

27.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

27.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

28. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

29. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

30. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

31. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

32. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

33. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

34. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

35. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

36. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

36.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

36.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

36.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

36.4. How should the gender aspects be reflected/included?

36.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

37. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

37.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

37.2. Coordination policy & its history

37.3. Activities

37.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

11.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

National Police Service

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity

Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7.1 ~ 7.5.

--→ If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1. Age						
7.2. Gender						
7.3. Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know					
	7.3.2. (If Yes) Types of offences					
	7.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
7.4. Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	7.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Current situation and issues of statutory institutions

11. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

11.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

11.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

11.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

11.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

11.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

11.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

11.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local

administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

11.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

12. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

12.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

12.2. Status of functioning and its impact

12.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

13. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

13.1. Coordination mechanism between central and local administrations

13.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

- 13.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

- 13.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

14. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

15. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

- 15.1. Legislation & organizational structure

- 15.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

15.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

15.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

15.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

16. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

16.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

16.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

16.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and

responsibilities are held at each level of administration?

- 16.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 16.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

17. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

18. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

- 18.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 18.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

18.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

19. What needs do juveniles in the communities have?

20. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

21. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

22. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

23. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

24. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

25. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

25.1. Human resources in the community

25.2. Institutions available in the community

25.3. Relevant support forum in the communities, if any.

25.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

25.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

26. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your office.

26.1. What roles are they undertaking in the communities?

26.2. What impact did they bring about?

26.3. How does your office communicate with the volunteers?

26.4. Has any reporting system been established?

26.5. Are regular meetings set up?

26.6. What challenges do your office as well as your volunteers face in the current situation?

26.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

27. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

27.1. Name of the organization

27.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

27.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

27.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

28. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

29. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

30. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

31. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

32. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

33. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

34. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

35. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

36. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

36.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

36.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

36.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

36.4. How should the gender aspects be reflected/included?

36.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

37. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

37.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

37.2. Coordination policy & its history

37.3. Activities

37.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

11.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

The Office of the Director of Public Prosecutions

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

CCPO training

1. Does CCPO training regularly conducted?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, how do you frequently conduct CCPO training? Would you kindly share the general information of implementation status (date and period of training, place (up to sub-county), the number of participants, target participants, contents of training)?

→ If no, why?

2. (Only respondents who chose 1.Yes in Q1) Do you currently use 'the curriculum and guidelines' and 'training facilitator's manual' for CCPO training?

1. Yes

2. No

3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If no, why?

3. Regarding the CCPO training, would you provide us with the following information?

3.1. Obstacles for implementation/recommencement of the joint CCPO training

3.2. The necessary budget per CCPO training/ per trainee (USD or KSH)

3.3. The expected number of CCPO trainees per year

3.4. The budet amount for training of your organization, among it, the budet amount which can be allocated for CCPO training (USD or KSH)

3.5. Possibility of the financial support for CCPO training from Development Partners (Name of donor(s) and the amount (to be) supported)

3.6. Desirble implementation structure (Leading agency and participating agencies)

National Implementation Team

4. Does National Implementation Team (NIT) still exist? We understand that NIT tried to revise the CCPO training modules after the completion of JICA project (The Project for Capacity

Building of Child Care and Protection Officers in Juvenile Justice System) and completed the revision with the support of JICA's follow-up cooperation. After the follow-up cooperation, does NIT continue working together?

1. Yes 2. No 3. Don't know (Please introduce the person who has the information.)

→ If yes, what activities does the National Implementation Team do?

Background of juveniles

5. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

5.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

5.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

5.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

5.4. Educational background (by age range, by gender)

5.5. Working status (by age range, by gender)

5.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

5.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

5.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

5.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

5.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

6. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

6.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

6.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

6.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

6.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

7. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 7 .1 ~ 7 .5.

--→ If no, please skip to Q.8.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
7.1. Age						
7.2. Gender						
7.3. Previous record of committing offenses	7.3.1. Yes/No/I don't know					
	7.3.2. (If Yes) Types of offences					
	7.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
7.4. Basic information of participation in a radical group	7.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	7.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	7.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	7.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
7.5. Participation of family members in radical groups	7.5.1. Yes/No/ I don't know					

8. Regarding juveniles, please answer the following;

8.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

8.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

8.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

9. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

9.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

9.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

10. Please provide the information related to juveniles on the following:

10.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

10.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

10.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

10.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

10.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

11. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

11.1. Coordination mechanism between central and local administrations

11.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

11.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

11.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

12. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

13. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba

Kumi and any other)

13.1. Legislation & organizational structure

13.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

13.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

13.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

13.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

14. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

14.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➔ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

- 14.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

- 14.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

- 14.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 14.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

15. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

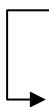
16. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county

level, please answer the following questions.

16.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

16.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know



If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

16.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Development partners

17. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

17.1. Name of the organization

17.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

17.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure,

activities, recent topics etc.

17.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

18. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

19. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

20. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

21. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

22. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

23. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

24. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

24.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

24.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

24.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

24.4. How should the gender aspects be reflected/included?

24.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Regional Cooperation

25. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region:

25.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

25.2. Coordination policy & its history

25.3. Activities

25.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Borstal Institutions and YCTC 共通

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

- 1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Current situation and issues of statutory institutions

2. Please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

2.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

2.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

2.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

2.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

2.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

2.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was

committed from.

- 2.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

- 2.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

3. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

- 3.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

- 3.2. Status of functioning and its impact

- 3.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

4. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

4.1. Coordination mechanism between central and local administrations

4.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

4.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

4.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

5. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* 【post-release programmes】 : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

6. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

6.1. Legislation & organizational structure

6.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

6.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

6.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

6.5. How various types of volunteers (could) coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Issues in the current policy, system and relevant organizations

7. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Department for Public Service, Ministry of Public Service and Gender

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Community volunteers

1. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

1.1. Legislation & organizational structure

1.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

1.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

1.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

- 1.5. How (could) various types of volunteers coordinate with each other for rehabilitation and reintegration?

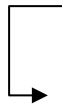
Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

2. For relevant ministries, juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

- 2.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 2.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know



If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

- 2.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

3. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

- 3.1. Human resources in the community

3.2. Institutions available in the community

3.3. Relevant support forum in the communities, if any.

3.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

3.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

4. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your Ministry.

4.1. What roles are they undertaking in the communities?

4.2. What impact did they bring about?

4.3. How does the field office under your Ministry communicate with the volunteers?

4.4. Has any reporting system been established?

4.5. Are regular meetings set up?

4.6. What challenges do the field office under your Ministry as well as your volunteers face in the current situation?

4.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Effects from COVID-19

5. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

6. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

7. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

8. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

9. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

10. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

10.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

10.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

10.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

10.4. How should the gender aspects be reflected/included?

10.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

District Probation Officer & District Children's Officer

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles whom you take care of on the listed items?

1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

2. Would you provide us with the latest data of juveniles whom you take care of on the listed items?

2.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

2.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

2.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

2.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.
--→ If no, please skip to Q.4.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1.	Age					
3.2.	Gender					
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;
- 4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Current situation and issues of statutory institutions

5. If you know, please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

- 5.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

- 5.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

- 5.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

5.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

5.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

5.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

5.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

5.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

6. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

6.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

6.2. Status of functioning and its impact

6.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* [post-release programmes] : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals

including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

9.1. Legislation & organizational structure

9.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

9.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

9.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

10.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

10.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

12. **For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level**, please answer the following questions.

12.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

12.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

12.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

13. **For local administrators**, please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of

community responses:

13.1. What is done for the rehabilitation of juveniles in the community?

13.2. For realizing rehabilitation of juveniles in the community, what are supposed to do for them?

13.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

13.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

13.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

13.6. What roles do you have for rehabilitation and reintegration of juveniles in the communities?

13.7. How many juveniles have you supervised in the communities?

13.8. If you have done in supervision of juveniles in the communities, what exactly you did?

13.9. Do you have any partners/institutions that you work with in the communities for rehabilitation and reintegration of juveniles, apart from children/probation office ?

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

14. What needs do juveniles in the communities have?

15. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

16. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

17. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

18. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

19. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

20. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

20.1. Human resources in the community

20.2. Institutions available in the community

20.3. Relevant support forum in the communities, if any.

20.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

20.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

21. Please provide information on utilization of volunteers who are attached to your office.

21.1. What roles are they undertaking in the communities?

21.2. What impact did they bring about?

21.3. How does your office communicate with the volunteers?

21.4. Has any reporting system been established?

21.5. Are regular meetings set up?

21.6. What challenges do your office as well as your volunteers face in the current situation?

21.7. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

22. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

22.1. Name of the organization

22.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

22.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

22.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

23. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

24. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

25. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

26. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

27. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of juveniles from the institutions)?

28. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

29. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

30. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

31. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

31.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

31.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

31.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

31.4. How should the gender aspects be reflected/included?

31.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

5.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Teachers of Rehabilitation School, Remand Home, Probation Hostel 共通

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

2. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes

2. No

3. Don't know



→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 2.1 ~ 2.5.

→ If no, please skip to Q.3.

Questionnaire (Teachers of Rehab. School, Remand Home, Probation Hostel 共通)

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
2.1.	Age					
2.2.	Gender					
2.3.	Previous record of committing offenses	2.3.1. Yes/No/I don't know				
		2.3.2. (If Yes) Types of offences				
		2.3.3. (If Yes) Number or times of offences				
2.4.	Basic information of participation in a radical group	2.4.1. Reasons for participating in a radical group				
		2.4.2. Age range of radical groups which they belonged to				
		2.4.3. Geographical area (sub county) that				

Questionnaire (Teachers of Rehab. School, Remand Home, Probation Hostel 共通)

	he/she was found.					
	2.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
2.5. Participation of family members in radical groups	2.5.1. Yes/No/ I don't know					

3. Regarding juveniles, please answer the following;

3.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

3.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

3.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

4. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

4.1. Coordination mechanism between central and local administrations

4.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

4.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

4.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the

pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

5. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* [post-release programmes] : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

6. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

6.1. Legislation & organizational structure

6.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

6.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

6.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub

chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

6.5. How various types of volunteers (could) coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

7. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

7.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

7.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

7.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

7.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

7.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

8. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

9. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

9.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

9.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

9.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

9.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities.

9.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

10. Please provide the following information in relation to challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities:

10.1. What needs do juveniles in the communities have?

10.2. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

10.3. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

10.4. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

10.5. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

10.6. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

11. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

11.1. Human resources in the community

11.2. Institutions available in the community

11.3. Relevant support forum in the communities, if any.

11.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

11.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Child Protection Volunteer & Volunteer Probation Officer

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles whom you take care of on the listed items?

1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

General information of juveniles

2. Would you provide us with the latest data of juveniles whom you take care of on the listed items?

2.1. The number of cases and the number of juveniles (by age range, by gender)

2.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

2.3. The breakdown of caseload by county (by age range, by gender)

2.4. The recidivism rate (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.

--→ If no, please skip to Q.4.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;

4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Current situation and issues of statutory institutions

5. If you know, please provide the following information on Statutory Institutions (Rehabilitation School, Rescue centres, Children remand homes, Probation hostels, Borstal institutions, Youth Corrective Training Centres (YCTC), and any other).

5.1. Capacity and actual number of total/per room inmates by institution (by gender, etc.) and their profiles

Please fill in the last section (1) – (7) of this questionnaire.

5.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

5.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles for their Rehabilitation and Reintegration

- 5.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

- 5.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

- 5.6. Coordination system with the field offices (children/probation) where the juvenile was committed from.

- 5.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles for their rehabilitation and reintegration

- 5.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles

6. Please provide the information on the Child Protection Units (CPUs).

- 6.1. Plans to establish CPUs nationwide, and actual numbers already established (by region/county/sub-county) and since when

- 6.2. Status of functioning and its impact

6.3. What types of Children are accommodated in the CPU?

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* [post-release programmes] : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals

including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

9.1. Legislation & organizational structure

9.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

9.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

9.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

10.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

10.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

12. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

- 12.1. What is done for the rehabilitation of juveniles in the community?

- 12.2. For realizing rehabilitation of juveniles in the community, what are supposed to do for them?

- 12.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 12.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

12.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

12.6. What roles do you have for rehabilitation and reintegration of juveniles in the communities?

12.7. How many juveniles have you supervised in the communities?

12.8. If you have done in supervision of juveniles in the communities, what exactly you did?

12.9. Do you have any partners/institutions that you work with in the communities for rehabilitation and reintegration of juveniles, apart from children/probation office ?

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

20. Please provide information on the office which you are attached.

20.1. How does your office communicate with you (the volunteers)?

20.2. Has any reporting system been established?

20.3. Are regular meetings set up?

20.4. What challenges do your office as well as you (volunteers) face in the current situation?

20.5. What sorts of further interventions are required to enhance the work of volunteers, if any?

Development partners

21. Please provide the following information of development partners related to the children's sector and juvenile justice sector:

21.1. Name of the organization

21.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

21.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc.

21.4. Any roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters

Effects from COVID-19

22. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

23. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

24. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

25. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

26. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from instutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of juveniles from the institutions)?

27. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

28. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

29. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

30. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

30.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

30.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

30.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

30.4. How should the gender aspects be reflected/included?

30.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

5.1

(1) Rehabilitation Schools (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		

* Actual: as of June 2021 or most recent monthly figures available

(2) Rescue Centres (Responsible Agency: Dept. of Children Service)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(3) Children Remand Homes (Responsible Agency: Dept. of Children Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No.	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		
5			M: F:		M: F:		
6			M: F:		M: F:		
7			M: F:		M: F:		
8			M: F:		M: F:		
9			M: F:		M: F:		
10			M: F:		M: F:		
11			M: F:		M: F:		
12			M: F:		M: F:		
13			M: F:		M: F:		
14			M: F:		M: F:		

(4) Probation Hostels (Responsible Agency: Probation and Aftercare Service) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		

(5) Borstal Institutions (Responsible Agency: Kenya Prison Services_)

Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

(6) Youth Corrective Training Centres (YCTC)(Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		

(7) Reception Centres (Responsible Agency: _____) Timing and Duration of Stay (_____)

No .	Location (County)	Age Range	No. of inmates				Profiles of inmates
			Capacity		Actual*		
			Total	By unit/room	Total	By unit/room	
1			M: F:		M: F:		
2			M: F:		M: F:		
3			M: F:		M: F:		
4			M: F:		M: F:		

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Assistant Chief (Local Administration)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

2. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

2.1. Coordination mechanism between central and local administrations

2.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

2.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

2.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

3. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

4. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

4.1. Legislation & organizational structure

4.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

4.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

4.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

4.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

5. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

5.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

5.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

5.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

5.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

5.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

6. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

7. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

7.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

7.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

7.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

7.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

7.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile

R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

7.6. What roles do you have for rehabilitation and re-integration of children in conflict with the law in the communities?

7.7. How many children in conflict with the law have you supervised in the communities?

7.8. If you have done in supervision of children in conflict with the law in the communities, what exactly you did?

7.9. Do you have any partners/institutions that you work with in the communities for rehabilitation and reintegration of children, apart from children/probation office ?

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

8. Please provide the following information in relation to challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities:

8.1. What needs do juveniles in the communities have?

8.2. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

8.3. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

8.4. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

8.5. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

8.6. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

9. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

9.1. Human resources in the community

9.2. Institutions available in the community

9.3. Relevant support forum in the communities, if any.

9.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

9.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

10. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

11. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

12. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

13. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

14. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

15. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

16. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

17. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Concepts of the platform for juvenile rehabilitation and reintegration

18. To promote juvenile rehabilitation and reintegration in their communities, the survey team considers establishing a platform consisting of multiple relevant organizations would be one of the choices. Considering establishing this platform, would you share your ideas on the following points?

- 18.1. Which relevant organizations and development partners are expected to participate?

- 18.2. Which administrative level (country level, sub-county level etc.) is the best to make the platform work effectively for rehabilitation and reintegration of juveniles?

- 18.3. How should the structure of platform be arranged for actual implementation of it? Such as coordination of each organization, the leading organization, supervising organization, the role of each organization, expected activities and their flow, monitoring etc.

- 18.4. How should the gender aspects be reflected/included?

- 18.5. Juvenile rehabilitation and integration could touch sensitive issues. What should be

considered to make this platform truly helpful for juveniles and sustainable?

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

People in the Community

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

1. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

1.1. Coordination mechanism between central and local administrations

--

1.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

--

1.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for
Juvenile rehabilitation and reintegration

--

1.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the
pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

--

2. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* [post-release programmes] : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

3. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

- 3.1. Legislation & organizational structure

- 3.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

- 3.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

- 3.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

3.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

4. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

4.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

4.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

4.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

4.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 4.5. Are there any programmes/ initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

5. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

6. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

- 6.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

- 6.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

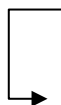
- 6.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

6.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes

2. No

3. Don't know



If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

6.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

7. Please provide the following information in relation to challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities:

7.1. What needs do juveniles in the communities have?

7.2. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

7.3. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

7.4. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

7.5. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

7.6. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

8. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

8.1. Human resources in the community

8.2. Institutions available in the community

8.3. Relevant support forum in the communities, if any.

8.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

8.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

9. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

10. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

11. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

12. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

13. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

14. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

15. If you found any changes, please provide examples.

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Children in the Community
(Ex-juveniles/clients under non-custodial sentence)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

1. The status of family, friendships, educational background, or working experiences (by age range, by gender)

2. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

3. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

5. Are there any programmes/ initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

6. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

7. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

8. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

9. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

10. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

11. What needs do juveniles in the communities have?

12. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

13. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

14. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

15. Institutions available in the community

16. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

17. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles? If you found any changes, please provide examples.

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

**Questionnaire (Education Officer's Office, Primary & Secondary School, Teachers
Service Committee, County Executive Committee Member of Education, Skills
training & Social Welfare 共通)**

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Background of juveniles

1. Would you provide us with the latest data of juveniles on the listed items? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 1.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 1.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 1.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

1.4. Educational background (by age range, by gender)

1.5. Working status (by age range, by gender)

1.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

1.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

1.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

1.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

1.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

2. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles

2.1. Coordination mechanism between central and local administrations

2.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

2.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

2.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

3. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* 【post-release programmes】 : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and

Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

4. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other)

4.1. Legislation & organizational structure

4.2. TORs, roles & responsibilities, budgets

4.3. Recruitment, deployment & payment system (e.g. numbers by area, qualifications & profiles, expenses etc.)

4.4. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

4.5. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

5. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

5.1. Is National Family Promotion and Protection Policy the fundamental policy?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please provide the approved one, and any other relevant policies as well.

5.2. Plans (e.g. Long/mid/short/annual plans with budgets implications) and how far they are implemented as planned

5.3. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

5.4. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

5.5. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

6. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

7. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

7.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

7.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

7.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

7.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities.

7.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

8. Please provide the following information in relation to challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities:

8.1. What needs do juveniles in the communities have?

8.2. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

8.3. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

8.4. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

8.5. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

8.6. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

9. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

9.1. Human resources in the community

9.2. Institutions available in the community

9.3. Relevant support forum in the communities, if any.

9.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

9.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Halfway House

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Department of interviewee: _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General information of juveniles/youthful offenders from YCTC who are accommodated at the Halfway House

1. Would you provide us with the latest data of juveniles/youthful offenders whom you take care of on the listed items?

1.1. The number of juveniles/youthful offenders (by age range, by gender)

1.2. The types of offense/delinquency (including terrorism) (by age range, by gender)

1.3. The recidivism rate (by age range, by gender) after discharged in 2 years

Radicalization of juveniles

2. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 2.1 ~ 2.5.

→ If no, please skip to Q.3.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1.	Age					
3.2.	Gender					
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;

3.1. Do you think juveniles/youthful offenders and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

3.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles/youthful offenders away from radicalization? (by gender)

3.3. Could you tell us characteristics of juveniles/youthful offenders who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Current situation and issues of the halfway house

5. Please provide the following information on the Halfway house.

4.1. Capacity and actual number of total/per room inmates (by gender, etc.) and their profiles

4.2. Governance & organogram, staff, budgets with breakdown

4.3. In care, leaving care, after care programmes for juveniles/youthful offenders for their Rehabilitation and Reintegration to the communities.

4.4. Would you provide us with the weekly timetable? If they are at the age for schooling, to which extent, are you be able to provide the education programme with them? Also, do you provide any counselling service, moral education, vocational training etc.?

- 4.5. If the above education and services are insufficient, what are the major reasons? How will they be improved?

- 4.6. Coordination system with the field probation offices where the juvenile/youthful offenders was committed from.

- 4.7. Any other coordination system with other Juvenile justice agencies (JJAs) and local administration, private sector, etc. for juveniles/youthful offenders for their rehabilitation and reintegration

- 4.8. Any issues for rehabilitation and reintegration of Juveniles/youthful offenders (if possible, asking inmates themselves too)

6. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

**Challenges on juvenile/youthful offenders rehabilitation and reintegration in communities
(if possible, asking inmates themselves too)**

7. What needs do juveniles/youthful offenders in the communities have after discharged from your institution?

8. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan- aftercare)

9. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles/youthful offenders to meet their needs above?

10. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

11. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

12. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Effects from COVID-19

13. Due to COVID-19, which type of juveniles/youthful offenders were negatively affected?

14. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles/youthful to commit offences?

15. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile/youthful rehabilitation and reintegration?

16. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

17. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles/youthful

offenders? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of juveniles/youthful offenders from the institutions)?

18. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

19. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

20. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

National Counter Terrorism Center (NCTC)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Radicalization of juveniles

1. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes

2. No

3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 1.1 ~ 1.5.

--→ If no, please skip to Q.2.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
1.1. Age						
1.2. Gender						
1.3. Previous record of committing offenses	1.2.1. Yes/No/I don't know					
	1.2.2. (If Yes) Types of offences					
	1.2.3. (If Yes) Number or times of offences					
1.4. Basic information of participation in a radical group	1.3.1. Reasons for participating in a radical group					
	1.3.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	1.3.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	1.3.4. How was he/she recruited by radical groups					
1.5. Participation of family members in radical groups	1.4.1. Yes/No/ I don't know					

2. Regarding juveniles, please answer the following;
- 2.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 2.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 2.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

3. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53).

- 3.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

- 3.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

4. Please provide the information related to juveniles on the following:

4.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

4.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

4.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

4.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

4.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

5. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

5.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

5.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

5.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

6. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

6.1. Human resources in the community

6.2. Institutions available in the community

6.3. Relevant support forum in the communities, if any.

6.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

6.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Regional Cooperation

7. Please provide information on the regional networking/cooperation in the anti-terrorism in African region, particularly to deter children/junenile/youths from terrorism.

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

National Crime Research Center

Date of interview: 7 July _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

Crime committed by juveniles

1. We would like to know the number of crime by juvenile, by county, by type of crime, by county, by gender, and by age blackets. Is there a open database of crime/ offence by juveniles to know such information? If there is, please share with us the URL.

2. Could you tell us the major type of crimes committed by juveniles?

3. Regarding the major type of crimes committed by juveniles, is there any different characteristic by county?

4. Regarding the major type of crimes committed by juveniles, is there any different characteristic by gender?

5. Could you tell us the recidivism rate of juveniles? If there is a open database by the type of crimes, please share with us the URL.

6. Could you tell us the major root causes of crime committed by juveniles?

Background of crimes committed by juveniles

7. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

8. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

9. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

10. Educational background (by age range, by gender)

11. Working status (by age range, by gender)

12. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

13. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

14. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

15. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

16. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

17. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

18. Among juveniles is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 1.1 ~ 1.5.

--→ If no, please skip to Q.2.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
18.1. Age						
18.2. Gender						
18.3. Previous record of committing offenses	18.3.1. Yes/No/I don't know					
	18.3.2. (If Yes) Types of offences					
	18.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
18.4. Basic information of participation in a radical group	18.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	18.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	18.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	18.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
18.5. Participation of family members in radical groups	18.5.1. Yes/No/ I don't know					

19. Regarding juveniles, please answer the following;

19.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

19.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

19.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

Corrective Community Action

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children's sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

Name:

Purpose:

Duration:

Budget:

C/P:

Target areas:

Target groups:

Major activities/supports:

Any future plan:

1.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or

development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

1.4. Your organization’s roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

1.5. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

2.4. Educational background (by age range, by gender)

2.5. Working status (by age range, by gender)

2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.

--→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;
- 4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

5. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53), if you know.
- 5.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

- 5.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

6. Please provide the information related to juveniles on the following, if you know:

6.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

6.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

6.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

6.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

6.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

9.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

12. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

12.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

12.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

12.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

12.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

12.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

If yes, how does it work?

If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for

rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

20. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

21. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

22. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

23. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

24. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

25. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

26. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

27. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

28. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

29. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Regional Cooperation

30. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region, if you know:

30.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

30.2. Coordination policy & its history

30.3. Activities

30.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

**European Committee for Training and Agriculture
(Comitato Europeo per la Formazione e l'Agricoltura)**

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children's sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

--

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

Name:
Purpose:
Duration:
Budget:
C/P:
Target areas:
Target groups:
Major activities/supports:
Any future plan:

- 1.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

- 1.4. Your organization's roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

- 1.5. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

2.4. Educational background (by age range, by gender)

2.5. Working status (by age range, by gender)

2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3 .1 ~ 3 .5.

--→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;
- 4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

5. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53), if you know.

- 5.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

- 5.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

6. Please provide the information related to juveniles on the following, if you know:

6.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

6.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

6.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

6.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

6.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

9.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

12. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

12.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

12.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

12.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

12.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

12.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes

2. No

3. Don't know

If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes

2. No

3. Don't know

If yes, how does it work?

If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for

rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

20. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

21. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

22. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

23. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

24. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

25. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

26. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

27. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

28. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

29. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Regional Cooperation

30. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region, if you know:

30.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

30.2. Coordination policy & its history

30.3. Activities

30.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

United Nations Development Programme (UNDP)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children's sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

1.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

1.4. Your organization's roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

1.5. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

2.4. Educational background (by age range, by gender)

2.5. Working status (by age range, by gender)

2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3 .1 ~ 3 .5.

→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;
- 4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

5. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53), if you know.
- 5.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

- 5.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

6. Please provide the information related to juveniles on the following, if you know:

6.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

6.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

6.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

6.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

6.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

9.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

12. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

12.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

12.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

▶ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

12.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➔ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➔ If yes, how does it work?

If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

20. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

21. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

22. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

23. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

24. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

25. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

26. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

27. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

28. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

29. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Regional Cooperation

30. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region, if you know:

30.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

30.2. Coordination policy & its history

30.3. Activities

30.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

United Nations Children’s Fund (UNICEF)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children’s sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

1.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

1.4. Your organization’s roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

1.5. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

2.4. Educational background (by age range, by gender)

2.5. Working status (by age range, by gender)

2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.

→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;

4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

5. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53), if you know.

5.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

5.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

6. Please provide the information related to juveniles on the following, if you know:

6.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

6.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

6.3. Actions planned to implement 'Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya' (January 2021) launched in April 2021

6.4. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

6.5. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* **【post-release programmes】** : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

9.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

12. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

- 12.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

- 12.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

- ▶ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

- 12.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➔ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➔ If yes, how does it work?

If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

20. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

21. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

22. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

23. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

24. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

25. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

26. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

27. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

28. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

29. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Regional Cooperation

30. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region, if you know:

30.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

30.2. Coordination policy & its history

30.3. Activities

30.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC)

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children’s sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

1.3. Regarding the “Blueprint for Rehabilitation and Social Reintegration Programmes for Children in Conflict with the Law in Kenya” (Jan. 2021) and “Assessment of Rehabilitation and Social Reintegration Programmes, Services and Practices for Children in Conflict with the Law in Kenya (Jan.2021), just launched in April 2021:

1.4. How and why UNODC provided assistance in preparing the Blueprint and the Assessment for the Department of Children’s Services.

1.5. How and which relevant organizations/stakeholders including DCS were involved in

preparing the Blueprint and the Assessment

1.6. Any actions planned by the government, UNODC and any other interested partners to implement the Blueprint

1. Yes 2. No 3. Don't know

If yes, please let us know the details:

If no, please let us know constraints or issues, if you know:

1.7. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

1.8. Your organization's roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

1.9. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

- 2.4. Educational background (by age range, by gender)

- 2.5. Working status (by age range, by gender)

- 2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.

→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1.	Age					
3.2.	Gender					
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;
- 4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

- 4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

- 4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Policy and system of juvenile rehabilitation and reintegration

5. Please provide the latest updates on the following Agenda for Action listed in the Status Report of National Council for Administration of Justice (NCAJ) 2019 (p.53), if you know.

- 5.1. Children Bill 2018: status of enactment, major changes in the Bill from the Act 2001 in relation to Juvenile Justice Sector, including whether the Bill carries rules and procedures which were absent in the Act 2001.

- 5.2. Establishment of a Child Justice Policy Implementation and Quality Control Committee by National Council for Administration of Justice (NCAJ) (as proposed with a 3-year term of service to ensure implementation of the recommendations of the Task Force on Children's Matters. Membership of the Committee to be expanded to include the education and health sector, local administration, community leaders, Nyumba Kumi Initiative and the academia) : any developments to date and whether it is already in the process, if not, what are the constraints

6. Please provide the information related to juveniles on the following, if you know:

6.1. Present status of NCAJ special taskforce on children's matter, plans & activities with operational budgets

6.2. Coordination mechanism at central level, particularly for juvenile rehabilitation and reintegration, including the structure, memberships including NCAJ, 6 Juvenile Justice Agencies and any other relevant government & private agencies

6.3. Outline of the reporting system of juvenile cases from community to central level and which items to be reported

6.4. Any management and information system (MIS) on relevant data, data collection and management mechanism and how it is operated and utilized at each level of the offices.

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

7. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

7.1. Coordination mechanism between central and local administrations

7.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

7.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

7.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

8. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* [post-release programmes] : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

9. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

9.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help

juveniles for their rehabilitation and reintegration?

9.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

10. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for the families and children in need of care and protection:

10.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

10.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

10.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

11. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly

for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Communities' recognition and response to juvenile rehabilitation and reintegration

12. For juvenile justice agencies, NCTC, and NCJA at the national level as well as sub-county level, please answer the following questions.

12.1. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

12.2. Do you have any collaborative activities with the community?

1. Yes 2. No 3. Don't know

➤ If yes, please describe what activities. what institution is the main counterpart to do community-based activities?

12.3. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile rehabilitation and reintegration but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

13. What needs do juveniles in the communities have?

14. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order

under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

15. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

16. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

17. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

18. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

19. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

19.1. Human resources in the community

19.2. Institutions available in the community

19.3. Relevant support forum in the communities, if any.

19.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

19.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

20. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

21. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

22. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

23. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

24. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

25. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

26. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

27. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration. However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

28. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

29. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Regional Cooperation

30. Please provide the following information on the regional networking/cooperation in the Juvenile Justice sector in African region, if you know:

- 30.1. Regional networking/cooperation mechanism (with EAC, UNAFRI, AU, ACERWC and any others)

- 30.2. Coordination policy & its history

- 30.3. Activities

30.4. Roles of Kenya and areas of Kenya's comparative advantages in the region

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

アクセプト・インターナショナル

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

General Information on Development Partners

1. Please provide the following information related to the children's sector and juvenile justice sector:

1.1. Overview of the assistance policy of your organization

1.2. Programmes/projects – completed, on-going and in pipeline

1.3. The existence of a consortium/groups of the government-development partners and/or development partners, if there is such a consortium or groups, tell us the members, structure, activities, recent topics etc., and any collaboration with other development partners

1.4. Your organization's roles and membership in the NCAJ Special Task Force on Children Matters, if any

1.5. Opinions on recent movements and developments in the Juvenile Justice Sector

Background of juveniles

2. Would you provide us with the latest information of juveniles on the listed items, if you have? Also, if there is an open database, please share with us the URL.

- 2.1. The status of residing with parents (both, one or neither) or adult guardian(s), or staying at boarding school when they commit offences (by age range, by gender)

- 2.2. Socio-economic status of parents/guardians and their tendency of following the rules

- 2.3. Relationship with parents (whether the juvenile grew up in the way of forming the attachment)

- 2.4. Educational background (by age range, by gender)

- 2.5. Working status (by age range, by gender)

- 2.6. To which extent do they have social bond in 4 aspects, namely, 1) attachment with parents, school and peers/friends, 2) commitment (investment in their future), 3) involvement (busyness in their daily life) and 4) belief (following social norms and values) (by age range, by gender)?

- 2.7. Physical or mental disorder (by age range, by gender)

- 2.8. Triggers/push factors that led them to commit offences (by age range, by gender)

- 2.9. Factors for keeping away from delinquencies and offences (by age range, by gender)

- 2.10. Characteristics of juveniles who are at a high risk to commit delinquencies and offences (by age range, by gender)

- 2.11. Characteristics of juveniles who reoffend (by age range, by gender)

Radicalization of juveniles

3. Among juveniles of the programme(s) of your organization, is there any case that they participated in radical groups?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, regarding such individual case, please let us know the following 3.1 ~ 3.5.

→ If no, please skip to the next question.

		Case1	Case2	Case3	Case4	Case5
3.1. Age						
3.2. Gender						
3.3. Previous record of committing offenses	3.3.1. Yes/No/I don't know					
	3.3.2. (If Yes) Types of offences					
	3.3.3. (If Yes) Number or times of offences					
3.4. Basic information of participation in a radical group	3.4.1. Reasons for participating in a radical group					
	3.4.2. Age range of radical groups which they belonged to					
	3.4.3. Geographical area (sub county) that					

	he/she was found.					
	3.4.4. How was he/she recruited by radical groups					
3.5. Participation of family members in radical groups	3.5.1. Yes/No/ I don't know					

4. Regarding juveniles, please answer the following;

4.1. Do you think juveniles and gang groups are at a relatively high risk of joining extremist organizations? If yes, please explain the reasons.

4.2. Could you tell us the factors for keeping juveniles away from radicalization? (by gender)

4.3. Could you tell us characteristics of juveniles who are at a high risk to be radicalized? (by age range, by gender)

Collaboration among the relevant organizations in activities in communities

5. Please provide the following in relation to rehabilitation and reintegration for juveniles, if you know.

5.1. Coordination mechanism between central and local administrations

5.2. Coordination mechanism among the organizations in the same governmental level

5.3. Offices and organizations both government and private working/potentially working for Juvenile rehabilitation and reintegration

- 5.4. Roles and responsibilities of children's officers and probation officers at local level in the pre-release reintegration, supervision orders, aftercare services

6. Please explain the gaps between the following proposed post-release programmes* listed in the Blueprint and the present practices. What should be needed for the children to be provided with the necessary post-release programmes (both budgetary and non-budgetary)?

* 【post-release programmes】 : Re-entry meetings (eg. to engage with key individuals including the parents or guardians, community leaders like the area chief, neighbours and school principals amongst others), Supervision and guidance, Recreational Activities and Guided Peer Groups, Apprenticeship, Education, Mentorship, Offender Specific Services, Alternative Care Arrangements

Community volunteers

7. Please provide the following information on volunteers (probation, children, health, Nyumba Kumi and any other), if you know.

- 7.1. How could they coordinate with relevant local administrations including area chief and sub chief, health, education, schools and private organizations at community level to help juveniles for their rehabilitation and reintegration?

- 7.2. How various types of volunteers (could)coordinate with each other for rehabilitation and reintegration

Social welfare services for the families and children

8. Please provide the following information in relation to social services/welfare services for

the families and children in need of care and protection:

- 8.1. What are the major social and welfare services, how they are delivered/implemented from central, county, sub-county, ward, to communities/individuals, and what roles and responsibilities are held at each level of administration?

- 8.2. What programmes/initiatives are running and planned, including SOCIAL ASSISTANCE FUND (cash transfer), and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

- 8.3. Are there any programmes/initiatives available for/targeting the juveniles for their rehabilitation and reintegration, and their outlines (purpose, activities, targets, schedule, actors, budgets, implementation structure etc.) and impact & issues?

Issues in the current policy, system and relevant organizations

9. What are the challenges/gaps/missing links in the present juvenile justice system particularly for rehabilitation and reintegration of juveniles at local administration and community levels?

Community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses

10. Please provide the following information in relation to community perception about juvenile rehabilitation and reintegration and examples of community responses:

- 10.1. What is done for the rehabilitation of children in conflict with the law in the community?

10.2. For realizing rehabilitation of children in the community, what are supposed to do for them?

10.3. How community recognizes juveniles who go through in the Juvenile Justice System?

10.4. Do you have any collaborative activities with the justice agencies?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, please describe what activities. what institution/office is the main counterpart to do community based activities?

10.5. If there is any support from the communities which might be helpful to promote juvenile R&R but not yet obtained, please describe what they are and how can they be obtained.

Challenges on juvenile rehabilitation and reintegration in communities

11. What needs do juveniles in the communities have?

12. What objectives are juveniles usually asked to accomplish in the communities? (Court Order under probation/objectives of Individual Treatment Plan)

13. What intervention/supports are undertaken in communities for juveniles to meet their needs above?

14. Who are the actors in the communities for implementing interventions/supports mentioned above?

15. Is there any forum to support actors who are engaged in the actual support for juveniles in the communities?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, who are members of the forum? What the forum is undertaking?

16. Is there any reporting channels between Juvenile Justice Agencies and communities where the juvenile is residing at?

1. Yes 2. No 3. Don't know

→ If yes, how does it work?

→ If no, why doesn't it exist or work properly?

Useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities

17. Please provide information on useful resources or system for rehabilitation of juveniles in the communities.

17.1. Human resources in the community

17.2. Institutions available in the community

17.3. Relevant support forum in the communities, if any.

17.4. Relevant policy and budget available for utilizing resources in the community for rehabilitation of juveniles, if any.

17.5. Necessary interventions in enabling such systems to be more effective.

Effects from COVID-19

18. Due to COVID-19, which type of juveniles were negatively affected? Who became the high-risk group to be compelled to commit offences?

19. What kind of impacts by COVID-19 were observed to the causes of leading juveniles to commit offences??

20. What sorts of influences of COVID-19 were observed in a treatment and service delivery for juvenile rehabilitation and reintegration?

21. How did you deal with the above mentioned influences and challenges?

22. How does COVID-19 impact on the community based rehabilitation for juveniles? (e.g. shift from institutional rehabilitation to community based rehabilitation (probation), discharges of children in conflict with the law from the institutions)?

23. Does COVID-19 bring any changes in the community regarding the recognition and responses to juveniles?

24. If you found any changes, please provide examples.

Needs for juvenile rehabilitation and reintegration

25. Currently, multiple organizations are working for juvenile rehabilitation and reintegration.

However, are there any needs that are not covered by any organization or covered but not satisfactorily? If yes, what sorts of support and activities are required?

Opinions and Suggestions on platform

26. Opinions/suggestions on how to improve coordination among stakeholders for R &R of juveniles

27. Opinions/suggestions on an idea about creating a platform at each level of governance, particularly below sub-county to community

Thank you for your cooperation!

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

ケニア国非行少年・少女の保護・更生に関する情報収集・確認調査

国連アジア極東犯罪防止研修所: UNAFEI

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Position of interviewee: _____

Place of interview: _____

過去の JICA を通じた協力について

1. 1990 年代より、UNAFEI では、JICA による協力の一環として本邦研修や専門家派遣など、ケニアの少年司法分野において長年の支援活動を行ってこられました。これらの支援を通じた先方政府機関・関係者の変化について、どのようにお考えでしょうか。

2. 2020 年には、前「少年保護関連職員応力向上プロジェクト」のフォローアップ協力として、研修モジュールの改定等が行われました。このフォローアップ協力を通じ、先方政府機関・関係者のキャパシティや意欲等について、どのような見解をもたれたでしょうか。

3. これまでの UNAFEI による協力を通じ、残された課題には、どのようなことがあるとお考えでしょうか。

非行少年・少女の更生と社会再統合支援ニーズについて

4. 現在、ケニアでは様々な機関が少年・少女の更生と社会再統合（Rehabilitation & Reintegration）に向けて取り組んでいますが、取り残されているニーズや、取り組みが不十分なニーズがあれば、教えてください。

5. JICA/UNAFEI の支援を通じて残された課題や、上記現状ニーズを踏まえ、少年・少女の更生と社会再統合（Rehabilitation & Reintegration）のために、どのような支援が求められるとお考えでしょうか。

6. 効果的な支援方法や活動についてのご意見、アイデア等をお聞かせください。

7. 日本/JICA による少年・少女の更生と社会再統合（Rehabilitation & Reintegration）支援を行うにあたり、特に留意すべき点があれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**

ケニア国非行少年・少女の保護・更生に関する情報収集・確認調査

海外協力隊

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Placement & since when (配属先&配属時期) _____

Place of interview: _____

所属先の概要

1. 配属先施設の少年・少女の年齢層、人数、主な非行・犯罪の種類、収容期間の概略を、簡単に教えて下さい。

非行少年・少女の背景

2. 非行少年・少女の現状に関し、以下の点について教えて下さい。また、年齢層別、性別による傾向についても、合わせて教えて下さい。
 - 2.1. 非行時に誰と住んでいたのか：親（両親、父のみ、母のみ）あるいは別の成人した保護者、全寮制寄宿学校に在学中など【年齢層別・性別傾向】

- 2.2. 親／保護者の社会経済状況および規範遵守志向

- 2.3. 親との関係性（愛着が形成されるような養育が行われていたのか）

2.4. 少年・少女の教育水準【年齢層別・性別傾向】

2.5. 少年・少女の雇用・就業状況【年齢層別・性別傾向】

2.6. 「社会との絆（Social Bond）が多い場合は非行をしない」という理論では、非行を抑制する絆として、1）愛着（attachment）：両親への愛着、学校への愛着、仲間への愛着、2）投資（commitment）：学業やキャリア形成などへの投資、3）巻き込み（日常生活における忙しさ）、4）規範観念（Brief）：社会規範や規則の遵守に肯定的、の4つがあります。非行少年・少女は、どの程度これらの社会的絆を持っていると思いますか。【年齢層別・性別傾向】

2.7. 身体的あるいは精神的疾患の有無【年齢層別・性別傾向】

2.8. 非行・犯罪のきっかけ（トリガー／プッシュ要因）【年齢層別・性別傾向】

2.9. 非行を引き留めた要因【年齢層別・性別傾向】

2.10. 非行リスクの高い少年・少女の特徴等【年齢層別・性別傾向】

2.11. 再犯リスクの高い少年・少女の特徴等【年齢層別・性別傾向】

非行少年・少女の過激化に繋がりうる背景

3. 非行少年・少女の過激化について次の質問に回答願います。

3.1. 非行少年・少女は、過激派組織に参加するリスクが比較的高い集団だと思いますか？もしそうであれば、その理由を教えてください。

3.2. 少年・少女の過激化を抑制する要因を教えてください。【年齢層別・性別傾向】

3.3. 過激化リスクが高い少年・少女の特徴を教えてください。【年齢別・性別傾向】

施設の現状と課題

4. 施設のケアや矯正プログラムについて教えてください。

4.1. 非行少年・少女の保護・更生と社会再統合を見据えて、イン⇒リービング⇒アフターケア／プログラムでは、どのようなことが行われているか教えてください

4.2. 週の日課表を教えてください。また、学齢期の少年・少女の場合、どの程度教育プ

プログラムが提供されていますか。カウンセリングや道徳教育、職業訓練等も行われているのでしょうか。

4.3. 少年・少女の保護・更生と社会再統合に関して、課題があれば教えてください。

コミュニティ内で活用可能な仕組み、組織

5. 非行少年・少女の保護・更生支援のためにコミュニティ内で活用可能な仕組み、組織について教えてください。

5.1. コミュニティ内の人材

5.2. コミュニティ内の組織

5.3. コミュニティ内の関連する支援フォーラム（もしあれば）

5.4. コミュニティ内青少年の保護・更生のために活用できる関連施策や予算（もしあれば）。

5.5. これらの仕組みがより効果的に機能するために必要な介入

6. ボランティア人材（保護司、児童ボランティア、保健ボランティア、Nyumba Kumi など）の活用について伺います。.

6.1. ボランティアは、コミュニティにおいてどのような役割を担っていますか。

6.2. 彼らはどのようなインパクトをもたらしましたか。

6.3. あなたの所属先は、ボランティアと連絡をとっていますか。

6.4. どのような報告システムになっていますか。

6.5. 定期的な会合が設定されていますか。

6.6. あなたの所属先とボランティアは、現状、どのような課題に直面していますか。

6.7. ボランティアの働きを強化するためには、さらにどのような介入が必要でしょうか。（もしあれば）

非行少年・少女の保護・更生と社会再統合にかかる支援ニーズ

7. 現在、ケニアでは様々な機関が少年・少女の更生と社会再統合（Rehabilitation & Reintegration）に向けて取り組んでいますが、取り残されているニーズや、取り組みが不十分なニーズがありますか。もしあれば、どのような支援や活動が必要だと思いますか。

ご協力ありがとうございました。

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**
ケニア国非行少年・少女の保護・更生に関する情報収集・確認調査

更生保護ネットワーク¹

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Organization, Dept. and designation (機関、部署 & 職位)

Place of interview: _____

非行少年・少女について

1. 非行・再犯をしてしまう主な背景要因について、①年齢層別、②性別による傾向を教えてください。③義務教育終了年齢層の少年・少女に特徴的な要因があれば、それらも教えてください。

保護司の活動について

保護司は、保護観察官と協力して、主に①保護観察、②生活環境調整、③犯罪予防活動を行い、住居、就労、保健・医療・福祉サービス、非行防止、民間協力者の発掘、更生保護に関する広報・啓発活動等を行っていると感じています。保護司の活動に関し、以下の点について教えてください。

2. 更生・社会復帰／社会再統合に向け、特に義務教育終了年齢層の少年・少女を対象とする支援活動の具体的事例や、主な課題を教えてください。

¹ 日本更生保護協会、全国保護司連盟、全国更生保護法人連盟、日本更生保護女性連名、日本 BBS 連盟から構成される。

3. 保護司は非常勤の国家公務員ですが、実質的に民間のボランティアであり、給与も支給されませんが、活動内容に応じて、実費弁償金が支給されるとあります。非行少年・少女を対象とした保護司活動を行うにあたり必要な費用は、実費弁償金により概ね賄われているのでしょうか。それとも、個人負担も多いのでしょうか。

4. 再犯防止のためには、家庭、学校、職場、地域社会が非行少年・少女を排除しないことが重要ですが、一方で課題ともなっています。社会包摂の阻害要因と促進要因を教えてください。

他の機関との連携について

5. 少年非行問題を扱うネットワークとしては、①要保護児童対策地域協議会、②学校・教育委員会が調整役となっているネットワーク、③警察が調整役となっているネットワークなどがあります。この他にも有効な連携体制やネットワークがあれば、教えてください。また、これら様々なネットワークの特徴や役割についても教えてください。

6. これら様々なネットワークと保護司との連携状況についても教えてください。

非行少年・少女の更生・社会再統合にかかるプラットフォームの可能性

更生・社会再統合を促進する観点から、協議会／連絡会（プラットフォーム）を設置する可能性を検討しています。以下の点についてお考えを聞かせて下さい。

7. 協議会／連絡会（プラットフォーム）の設置主体（レベル）は、都道府縣市町村・学区など、どのレベルや域内に設置することが効果的であると思われますか。

8. 協議会／連絡会（プラットフォーム）の構成機関として、どの機関・関係者が含まれることが望ましいでしょうか。

9. 複数の協議会／連絡会（プラットフォーム）間では、どのような役割分担や連携を行うとよいでしょうか。

10. 協議会／連絡会（プラットフォーム）を円滑かつ効果的に運営するにあたり、留意事項や想定される課題があれば教えて下さい。

11. 非行少年・少女の性別による支援ニーズの違いにはどのようなものがありますか。またその異なるニーズに対応するにあたり、留意事項や課題があれば教えて下さい。

12. 協議会／連絡会（プラットフォーム）では、個人や家庭等の問題や情報を扱うにあたり、留意事項や課題があれば教えて下さい。（例：人権への配慮や個人情報管理、非行少年・少女及び家族へのスティグマ防止など）

ご協力ありがとうございました。

**Questionnaire for the Data Collection Survey on
Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya**
ケニア国非行少年・少女の保護・更生に関する情報収集・確認調査

更生支援団体

Date of interview: _____

Name of interviewer: _____

Name of interviewee: Ms./ Mr. _____

Organization, Dept. and designation (機関、部署 & 職位)

Place of interview: _____

貴団体の活動概要について

1. 非行少年・少女に関し、貴団体としての支援方針と主な活動内容を教えてください。

2. 非行・再犯をしてしまう主な背景要因について、①年齢層別、②性別による傾向を教えてください。③義務教育終了年齢層の少年・少女に特徴的な要因があれば、それらも教えてください。

3. 更生・社会復帰／社会再統合に向け、特に義務教育終了年齢層の少年・少女を対象とする支援活動の具体的事例や、主な課題を教えてください。

4. 再犯防止のためには、家庭、学校、職場、地域社会が非行少年・少女を排除しないことが重要ですが、一方で課題ともなっています。社会包摂の阻害要因と促進要因を教えてください。

他の機関との連携について

5. 少年非行問題に関して有効な連携体制やネットワークがあれば、教えて下さい。また、これら様々なネットワークの特徴や役割についても教えて下さい。

非行少年・少女の更生・社会再統合にかかるプラットフォームの可能性

更生・社会再統合を促進する観点から、協議会／連絡会（プラットフォーム）を設置する可能性を検討しています。以下の点についてお考えを聞かせて下さい。

6. 協議会／連絡会（プラットフォーム）の設置主体（レベル）は、都道府県市町村・学区など、どのレベルや域内に設置することが効果的であると思われますか。

7. 協議会／連絡会（プラットフォーム）の構成機関として、どのような機関・関係者が含まれることが望ましいでしょうか。

8. 複数の協議会／連絡会（プラットフォーム）間では、どのような役割分担や連携を行うとよいでしょうか。

9. 協議会／連絡会（プラットフォーム）を円滑かつ効果的に運営するにあたり、留意事項や想定される課題があれば教えて下さい。

10. 非行少年・少女の性別による支援ニーズの違いにはどのようなものがありますか。

またその異なるニーズに対応するにあたり、留意事項や課題があれば教えてください。

11. 協議会／連絡会（プラットフォーム）では、個人や家庭等の問題や情報を扱うにあたり、留意事項や課題があれば教えてください。（例：人権への配慮や個人情報管理、非行少年・少女及び家族へのスティグマ防止など）

ご協力ありがとうございました。

添付資料 6 : ワークショップ参加者リスト

Participant list

For the Workshop on Juvenile Rehabilitation and Reintegration in the Republic of Kenya

No.	Location	Organization/ Position	Name
1	Nairobi	Office of the Director of Public Prosecution	Ms. Linda Ndambiri
2	Nairobi	UNICEF	Ms. Roselyne Kabata
3	Nairobi	Project Formulation Advisor (Education/Child Protection/Gender Affairs), JICA Kenya Office	Ms. Mika Okamura
4	Nairobi (Kibera)	Sub-County Children's Officer	Ms. Laurence Sadia
5	Machakos	Community Child Protection Volunteer	Ms. Rosephela Kalekye
6	Nairobi	Community Probation Volunteer	Mr. Michael Odhiambo Asao
7	Mombasa	Assistant Chief of Maweni Sublocation	Mr. Benard Omolo
8	Mombasa	Magistrate Childrens Court Mombasa	Ms. Hon Lucy Sindani
9	Nairobi	UNODC	Ms. Eva Monyani
10	Nairobi	CEFA	Mr. Francis Ndolo
11	Nairobi	County Probation Director	Ms. Margaret Mwaniki
12	Kibera	Community Child Protection Volunteer	Ms. Wilkister Agola
13	Machakos (Athiriver)	Chief of Lukenya Location, Athiriver Sub-County, Machakos	Mr. Tirus Ndambuki
14	Mombasa	Shimolatewa Borstal Institution	Ms. Rosemary Njenga
15	Nairobi (from Nakuru)	National Council Administration of Justice (NCAJ) Secretariat	Ms. Hon. Matheka Teresia
16	Nairobi	Police Ministry of Interior and Coordination of National Government	Ms. Phideliah Kisinyo
17	Nairobi	UNDP	Ms. Zaius Ali
18	Nairobi	Correctional Community Action	Mr. Martin Munyagia
19	Nairobi	JICA Officer	Ms. Ayumu Uchida
20	Nairobi	JICA Officer	Mr. Kohei Sato
21	Nairobi (Kibera)	Sub-County Probation Officer in Kibera	Ms. Lydia Kariuki
22	Machakos	Sub-County Children's Officer	Ms. Emily Kimanzi
23	Nairobi	Makadara Probation Office Officer	Mr. John Ngugi

JICA Survey Team

24	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Utako Morita
25	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Mina Hashiba
26	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Yu Ito
27	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Bernadette Kyany'a
28	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Mary Khaemba
29	Nairobi	JICA Survey Team	Ms. Caroline Kiuna

